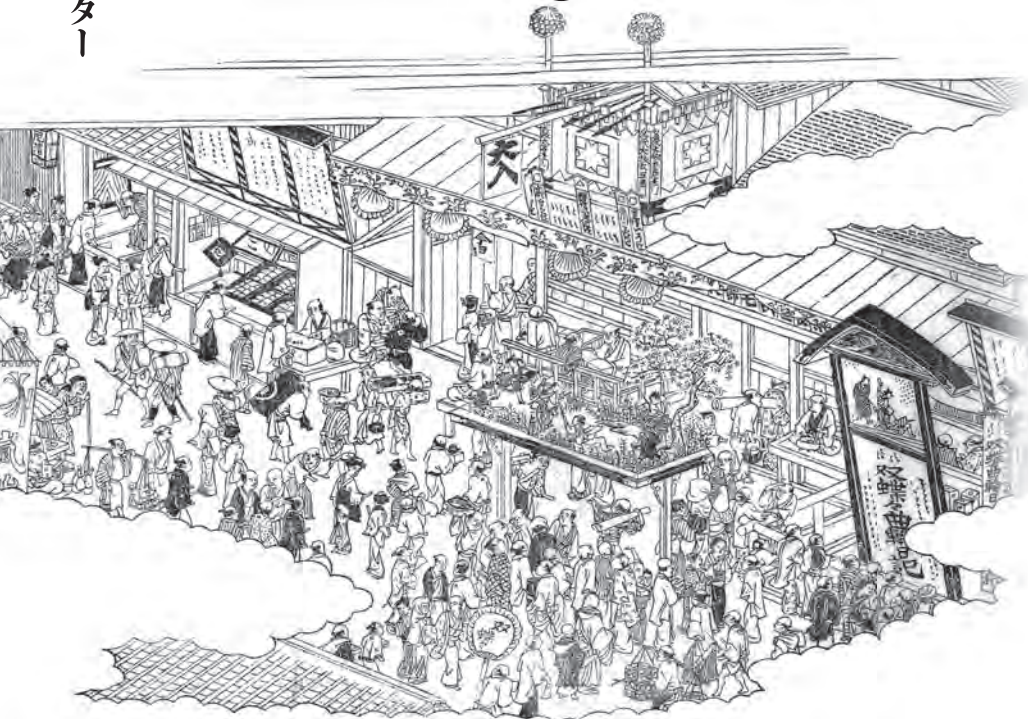
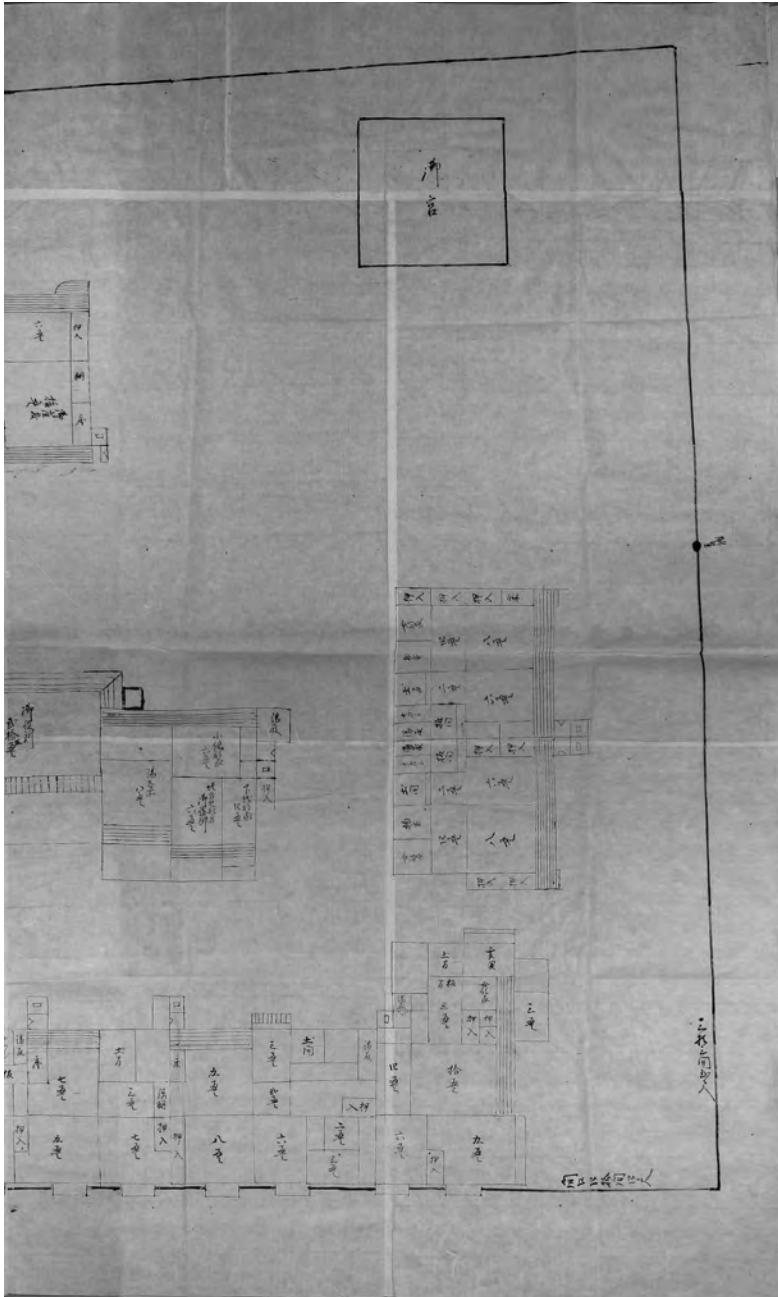


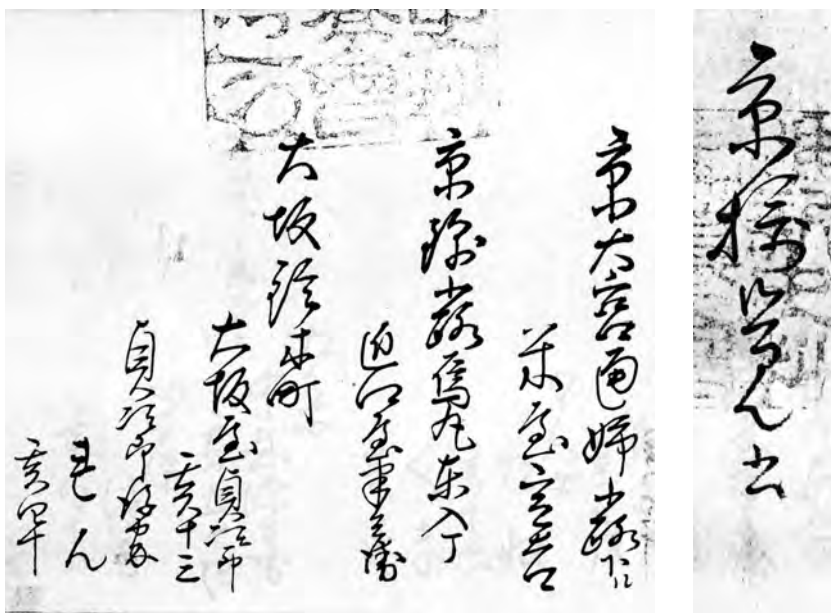
大坂代官竹垣直道日記(四)

関西大学・なにわ大阪文化遺産学研究センター





図書館社会科学系図書館所蔵村上家文書)



『京撰覚書』の表紙（部分）と書出し。用達大坂屋貞次郎らの名がみえる。



『拾布五』の表紙と書出し。

なにわ・大阪文化遺産学叢書 15

大坂代官竹垣直道日記(四)

関西大学なにわ・大阪文化遺産学研究センター

目次

目次

i

凡例

ii

『大坂代官 竹垣直道日記』(弘化四年正月～嘉永二年二月)

『京撰覚書』

1

『拾布玉』(弘化二年十二月～嘉永二年正月)

237

解説

竹垣直道の出会った人びと — 久須美祐明と采石 —

藪田 貫 255

大坂の風景画帖と竹垣直道 — 『浪華勝概帖』と『竹垣直道日記』 —

内海 寧子 261

天保再建時の谷町代官所絵図

木村 修二 269

『大坂代官 竹垣直道日記』(一) ～ (三) 正誤表

285

索引(人名・地名)

335

凡例

一、本書は、東京大学史料編纂所蔵『竹垣直道御代官日記』の弘化四年正月元日～嘉永二年二月二十九日と『竹垣直道御代官京撰覚書』、『代官和宮用人竹垣三右衛門日記』の弘化二年十二月二十一日～嘉永二年正月十五日を全文翻刻した。

一、『代官和宮用人竹垣三右衛門日記』は、原題が「拾布玉」とみられるため、その名称を付した。

一、翻刻にあたって、改行をはじめとする体裁ならびに用字については、原本の形を尊重するようにつとめた。ただし、編者の判断により、必要に応じて読点「、」、および並列点「・」をつけた。

一、用字については原則として原本の表記に従った。異体字・古体字・略字は正字または現在通用の字体に改めた。ただし、以下のものについては、編者の判断により、原本のまま使用した。

「夕」(より)「メ」(しめ)「哥」(歌)「躰」(体)「釵」(劍)「鶴」(鶴)「杵」(杉)「寫」(島)「畧」(略)「俣」(儘)「富」(富)「忝」(松)「鴈」(鴈)「外」(卯)「鍍」(鉄)「峯」(峰)「郵」(村)「帀」(紙)「卑」(町)「碁」(棋)

一、変体仮名は平仮名に改めた。ただし、助詞として使用されている、「江」(え・へ)「而」(て)「与」(と)「尔」(に)「者」(は)「茂」(も)は、活字を小さくして使用した。

一、編集者による校訂は（ ）に入れ、傍注とした。誤記・意味不明などの場合には、正字を傍注とするか、(ママ)を付した。脱字は(脱)と注記した。疑念が残る場合には、(カ)を加えた。

一、虫損箇所については★、判読不能箇所については■とし、推読できた場合には（ ）に入れ、傍注とした。

一、抹消された文字で判読できる場合や、訂正・重ね書きは、左傍に見せ消し記号「ㄣ」を付し、右傍に訂正後の文字を記した。

一、闕字については一字あけとした。

一、原本中の行間の補記については、へ へで括り、原則として本文に挿入した。

一、印章については、㊦㊧などを用い、印面の文字については、（ ）に記した。

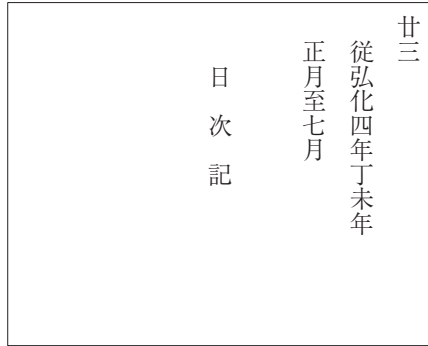
一、本書には、現在の人権意識からみて明らかな身分的差別表記がみられるが、差別の歴史を科学的に研究し、その理解に供するため、そのまま掲載した。利用者は、この趣旨を理解して利用して頂きたい。

廿三

從弘化四年丁未年

正月至七月

日次記



正月元日

昨夜ハ漸雨、朝曇
四ツ時比ハ晴

一明六ツ半時役所之もの一統禮受

龍太郎も出席為致候、家来禮受

同断、相濟出宅

一追手御門ハ

御城入、松平伊賀守殿逢有之

御目付酒井作右衛門申置、米倉丹後守殿

逢有之、加番土井能登守・松平左衛門尉・

内藤因幡守・小笠原備後守申置

米津越中守殿逢有之、番頭久貝

因幡守・堀出雲守申置、四ツ時比

御城出、外年禮如左○坂本鉦之助通

○三田彦三郎○西井源二郎○池田庄太夫

○柳道太郎 ○岡部金十郎○永田傳左衛門

○近山藤四郎○設楽八三郎○安食善之丞

○須田五郎兵衛△□銅座御普請役○田中廣三郎 同市川保助

○水品權十郎○比留間兵三郎○永井能登守

○石川長次郎○水野若狭守

右何れ江も申置、四ツ半時過帰宅

一坂本鉦之助入来通候よし

一長屋家内共年礼ニ出、自分も逢遣ス

一年賀来客、甲斐庄喜右衛門・設楽

其外地役、其余市在之もの共相越

二日之分

一杉浦〔義親之〕文通、久須江之式封差越

同二日 晴昼後漸過雨又半晴

一朝五ツ時比設樂入來通逢、無程

同伴如左〔尼崎又右衛門申置〕○建國寺

御宮拜礼、例之通金百足献備

坐敷ニ而休足、地役罷越居院主ニも逢

○専念寺

御靈屋拜礼、例之通金五拾疋

献備、坐敷ニ而休足、地役前同断○天満

組屋敷年礼如左○内山彦次郎

○朝岡助之丞○荻野勘左衛門○中嶋豹三郎

○近藤左衛門○葛山久之丞○松井金次郎

○小川甚五右衛門○吉田百輔○山本善之助

○大須賀元輔○磯矢頼母○松井与五右衛門

○吉田覚之丞○田坂源左衛門○工藤左之助

○

○

○

○

右相仕廻○宮寺五平次○杉浦重郎兵衛

○紀州藏屋敷江罷越、旧冬紗綾被下候

御礼も申置○御普請役梶山鉄六外人

○渡辺三十郎○大竹次郎助

右相濟、石町ニ而設樂江者離れ、四ツ半時過

帰宅

一池田庄太夫人來逢

一年賀來客有之

一昼後出宅、水路御普請所見廻相越

八軒屋上手石垣築立、川内石堀上方

水替等取懸罷在候、出役昇三郎

与力豹三郎・左衛門、同心覚輔・五郎兵衛

詰居逢、會所江も立寄、八ツ時過帰宅

同三日 半晴昼後曇

一朝六ッ半時出宅、年礼○石川良左衛門

○山村与助○島田鉄太郎○土屋四郎二郎

○川上猛次郎

右申置、設楽江立寄同伴、天王寺

御靈屋拜礼、帰途年礼○瓦屋藤左衛門

○成瀬又太郎○笹本茂三郎○御普請役

○星野市郎兵衛

右相濟、四ッ半時比帰宅

一年賀来客有之

同四日 曇

一御城代夕廻状到来

旧臘廿五日

精姫君様、有馬中務大輔江

御縁組被

仰出之、誠以目出度御事候旨

被 仰下、恐悦之御事候、此段申達候

以上

正月四日

松伊賀守

御代官御蔵奉行宛

右比留間江順達、設楽江写遣ス

一八ッ時過出宅

御城入、御城代御定番酒井作右衛門江

御縁組恐悦申置、八ッ半時過帰宅

一龍太郎、朝今年礼ニ出、昼後帰宅

一年賀来人有之

同五日 晴風

一中沢齋助、紀州難船吟味相濟、帰坂

いたし逢

一摂州東成・西成・川辺郡・兎原郡

打出村役人共、年礼ニ出一同逢、礼

受ル、右村々龍太郎加冠之祝義も

申出ル

一年賀来人有之

同六日 晴風

一年賀來人有之

一生玉社・玉造稻荷江為代參權進

差遣ス

仰渡有之候段、申來ル

一右ニ付、善左衛門者明九日、仁右衛門者來ル

十一日直印呼出、差紙遣ス

一高橋左三郎入來逢、飯振舞夜

五ツ時過歸ル、久須美江之沓封持參受取

一坂本江龍太郎參り、卷物二持參

一設楽江文通、明日參候様申遣、坂本江も

同斷申遣ス、手紙設楽江届方頼遣ス

同七日 曇昼後雪

一御用始ニ付、役所ニ而一同祝義受ル

手代共不殘・吉田孫三郎・大坂屋定次郎・

平野屋新兵衛代又兵衛江酒振舞

同八日 晴

一中山昇三郎二条出役、今朝出立

一当月二日出八日限御用狀到來

○播州太郎太夫村仁右衛門・摂州

江口村庄屋善左衛門、仁右衛門者

永々苗字、善左衛門者其身一代

苗字

御免之旨、去月廿九日奉行衆被

同九日 半晴夜雨

摂州西成郡

江口村

庄屋

善左衛門

右之もの義、品々奇特之取斗いたし候ニ付

去午年中御褒賞之儀、申立置候處

十二月廿九日為御褒美、其身一代苗字

御免被 仰付候段、伊勢守殿江伺之上

奉行衆被 仰渡候ニ付、今朝呼出申渡書下

壹通渡遣ス

一右善左衛門義、田中性相名乗度段

申立候ニ付、承届ル

一右之趣両町奉行江達書遣ス

一設楽・坂本八ッ時比合相越、夕飯振舞

寛話、夜九ッ時過帰ル

到来、江府三ヶ日御規式如恒例

首尾好相濟候段、御達有之、御蔵方江

順達、返書来ル

同十一日 晴

一撰州兔原・八部・河辺・有馬郡村々

河州茨田郡村々年礼ニ出、例之通

礼受ル

播州加東郡

太郎太夫村

百姓

同十日 曇

一旧臘廿八日出廿五番御用状到来

○石井勝之進合頼納挨拶金五百疋

到来

右品々奇特之取斗いたし候ニ付、永々

仁右衛門

苗字

御免被 仰付候ニ付、其段書取を以申渡

一水野合文通、年賀品々到来

○久須美正一郎合龍太郎江宛

卷物差越、書状も来ル

一御城代合自分共并御蔵方連名廻状

同十二日 半晴

一 昼後將碁嶋御普請所見廻、八軒屋

上手石垣築立、將碁嶋縁新堤取懸

与力豹三郎・左衛門、同心覚助・十次郎

罷出逢、夕刻帰宅

一 杉浦重郎兵衛、伏見御林山松伐出

御用ニ付、銀拾五枚被下候段、昨十一日

御城代申渡相濟候段、同役為知

一 水品権十郎、先役之節、海岸

繪圖等之儀相勤候ニ付、銀五枚被下候段

旧冬廿六日江戸ニ而被仰渡相濟候段、同役為知

右写設楽分来ル

一 水野江昨日之返書并柴川海苔・

有馬花活遣ス

一 同家江又文通、兵庫豆腐遣ス

一 同家分昨日之返書、又品々到来

一 潤八郎、今朝上京

同十三日 快晴

一 早昼出宅、年礼○甲斐庄喜右衛門

○清水一橋代官○両門跡

右相仕舞、夕刻帰宅

同十四日 曇

一 朝荻野勘左衛門入来逢、八幡屋

新田地先新開之儀ニ付、内談およふ

昼前帰宅

一 西小弥太呼ニ遣し、昼後來逢

卷物渡遣し、其余談遣ス

一 八ツ時過設楽入来逢、去午送金之儀

相談有之、蕎麥飯振舞、暮六ツ時過

帰ル

一 水野分看・文通、来ル十七日分川渡

取懸之儀申来、及返書

同十五日 晴

一朝六ツ半時過月並出礼

御城入、伊賀守殿・越中守殿者逢

有之、丹後守殿者不快逢断

四ツ時過退散、初藏會所ニ而着替

いたし、年礼〇八田伴右衛門

〇丹羽源十郎〇

右返礼申置〇尼崎蔵屋敷申置

九ツ時過帰宅

一鈴木町御貸附御用始ニ付、銃助遣ス

自分者外御用ニ付、不相越旨申遣ス

一夕刻設楽今文通、料理品差越ス、及

返書

一釵術稽古始有之

同十六日 曇

一山口瀬左衛門、播州今帰坂逢

同十七日 半晴昼後雨

一釵術居合稽古有之

但、昨年之通二七五十稽古日ニ付、已後

不記

一潤八郎、昨夜〔船〕ニ而帰坂之よし逢

〇京地ニ而千種有功江逢申込、逢候よし

龍太郎元服之祝哥申受来

懐紙壹枚呉ル

同十八日 半晴風

一山口瀬左衛門昇三郎当分代、岡田

銃助公事方当分助、申付ル

一朝五ツ時過出宅、九條村関板為

見分相越、懸兩人連ル、九ツ時過帰宅

一初御用日ニ付、金公事申渡有之

一設楽悴遊ニ来ル、逢

同十九日 曇時々雪

一朝六ツ半時過出宅、設楽同道ニ而

堺江相越、四ツ半時過紀伊国屋与助

宅江着、弁当後柴田日向守方江

為年札相越逢、例之通酒出入、暫時

談話、同人江示指画頼、帰途今宮

庄屋勝右衛門宅ニ而小休、七ツ半時過帰宅

同廿日 晴

一朝五ツ半時過出宅、京橋樋屋木場江

相越、堤方諸色見分、夫々將碁嶋

御普請所見廻、与力豹三郎・左衛門ニ逢

同心共話合逢、出役瀬左衛門、九ツ時過帰宅

同廿一日 晴

一昼後設楽入来逢、運賃取極之事

相談有之

一坂本々文通、本式冊返し、梅花

連魚到来

一同人方江昼後龍太郎參ル、返書為持遣ス

一金公事申渡有之

同廿二日 曇昼雨又晴夕雷雨一聲

一朝谷丁濱分乗船、堤方河州八番村

見廻之積ニ而赤川迄參候處、雨降

出候ニ付見合、昼比帰宅

一江戸江初番御用状、八日限ニ而出ス

○久須美先生順三郎壹封

○正一郎江壹封

坂本壹封、杉浦式封

針五箱進物

○木原又左衛門式封

○おたの江奥文壹封

○内藤茂之助壹封 簪人

メ

同廿三日 半晴風

一水野江文通、參候儀問合返事申越ス

一夕七ツ時過同人方江參逢、八幡屋

新田地先新開之儀申談ス、夜ニ入

帰宅

一夜並河復一入來、論語講聽聞

今日發會ニ付正服ニいたす、五ツ時過帰ル

同廿四日 晴風

一朝五ツ時過出宅、難波御藏為立會

相越、仮役永田傳左衛門并与力共出役

渡來有之、諸番手代江饅頭五十入一箱

遣ス、九ツ時過退散○永并能登守方江

為不快見舞相越、用人ニ逢申置

○将棊嶋御普請所見廻、出役瀬左衛門

与力豹三郎・左衛門・同心共逢、七ツ時比帰宅

同廿五日 雨

撰州御影村

百姓

憲吉

右身持不宜、如何之所行有之候ニ付

一通吟味之上、手鎖宿預申付ル

撰州江口村

庄屋見習

得次郎

同州本庄村

同

友三郎

右親共実貞ニ相勤候ニ付、袴帯釵上訴

差免ス

一金公事申渡有之

同廿六日 半晴

一鈴木尚太郎為捕方差遣ス、灘目筋

博奕いたし候もの共、都合式拾五人差送候

尔付、一通吟味之上、宿拾人者入牢

其外之もの共拾五人者、手鎖宿預申付ル

一八ツ時過分坂本江参ル、龍太郎者先江

参り居、一同目錄傳授之卷物受取

龍太郎者先江帰、自分者夕飯被振舞
暮六ツ時過帰宅

返辞申遣ス

一坂本江文通、妻不快尋、手製煮メ
遣ス、返書来ル

同廿七日 曇昼比夕雪、夕夕積雪

一山木数馬江文通、同品遣ス、返書来ル

一朝六ツ半時過谷丁濱乗船、川浚

見廻、難波橋上手山崎ノ鼻・木津川

同廿九日 半晴

上之口見廻、詰合之与力同心共ニ逢、出役

鎗三郎○将碁寫御普請所江

一池田入来逢

立寄見廻、勘左衛門・源左衛門・同心共詰合

一天王寺村江御法事ニ付、取締与して

逢、川崎村續淀川西縁揚場取繕

差遣候岡田寛一郎江献備目録

之儀申談置、出役瀬左衛門、九ツ時過帰宅

一杉浦江文通、正一郎届状遣ス、大二郎

同晦日 晴

返書差越ス

一文恭院様七回御忌ニ付、一昨廿八日今日迄

同廿八日 晴

一設楽分文通、天王寺

於天王寺御法事執行有之候間、今朝

御霊屋拜礼之義問合、及返書

六ツ半時出宅、設楽同道いたし罷越、拜礼

一同人江又文通、献備品差越使勝蔵ニ逢

帰宅

一杉浦江文通、久須美江之壺封差越、受取為遣ル

一設楽江文通、明日出礼之儀断申遣

美濃部壺封届ル、返書来ル

一無記事

同三日 晴夕曇夜雨

一朝五ツ時過出宅、樋屋木場江相越

堤方諸色見分いたし、四ツ半時比帰宅

一坂本江龍太郎遣し、過日父子江

炮術目録傳授有之候礼申述ル

金五百疋相贈ル

一江戸御用状、去月廿四日出ニ而到来

二月朔日 朝雨明方止、昼後又雨

一朝五ツ時過谷丁濱分乗船、堤方懸兩人

召連ル、河州茨田郡八番村当春

御普請所仕立中見廻、且堤裏吹水所

見分、村役人并水下村々役人共も罷出

候ニ付、自普請仕様之儀、堤裏吹所

取繕等いたし候者無詮ニ付、川表堤様通

より九尺、又者式間程も隔、堤腹ニ懸

杭木打渡、又大腹付いたし候方可然旨

申諭、尚衆評いたし可申立旨申渡

一同屈伏いたす、夕七ツ時過帰宅

○内藤茂之助 壺封

○木原又左衛門 壺封

○築山茂左衛門 壺封

○松村忠四郎 壺封

○御沙汰書

○播磨屋證文

○横山丁地代書付并金式分

ノ

同二日 曇折々雨

同四日 雨

一番外六日限ニ而、江戸江書状差立ル

○久須美順三郎江壹封

是者龍太郎之剪紙傳授之

礼状金五百疋入、正一郎江之書状も

封入

○金井伊太夫江壹封

○木原又左衛門壹封

○松村忠四郎壹封

ノ

一雨天ニ付、川浚并將棊嶋普請

休日

同五日 晴暖

一 撰州打出村

百姓

重敲

市兵衛

外四拾貳人

右博奕一件口書申付、即日御仕置申付ル

撰州横屋村

百姓

市兵衛

外三拾三人

右博奕一件入牢申付ル

一御城代松平伊賀守殿之廻状到来

去月廿二日之於東叡山

文恭院様七回御忌御法事

有之候旨申来ル、御藏奉行江順達

一右ニ付設楽之問合有之、及返書

一星野市郎兵衛江文通、返書来ル

一昼後出宅、股引・半天、懸兩人連

九条江関板見分○將棊嶋

見廻、勘左衛門・同心ニも逢、七ツ時過

帰宅

同六日 半晴

一朝四ツ時過出宅、懸兩人召連、堀川

吹田屋藤助木場江相越、堤方諸色

見分致ス、九ツ時過帰宅

一太田権進儀、存寄有之候ニ付、暇差遣候段

受人大坂屋貞二郎呼寄、連吉・次平太

為申渡、明日中引拂之儀をも為申渡ル

同七日 晴暖

一初午前日ニ付、昼後分開門いたし

稻荷祭例之通為致ル、市中在方之もの共

表門・裏門分入、庭前をも為通、賑敷事也

一太田権進義、今晚引拂候由、侍共申聞ル

一役所半引

同八日 曇夕分雨

一役所休日

一稻荷祭例之通、昨日之通朝分

開門、庭前市在之もの共群集

通行いたす

一設楽・近山・西井倅共遊ニ来ル

同九日 終日雨

一鳴尾村庄屋倅共兩人江戸分帰便、如左

到来

○おたの・おるち其外届物八封

メ

一水野分文通、重詰物到来、受取為遣ル

一与八郎、高野参詣承届、今日出立

同十日 曇

一水野江昨日之返書遣し、移り品遣ス

一尼又分文通、御城代来ル十三日七ツ時之

供揃七ツ半時出宅、堺市中巡見之旨

為知来ル

一昨日之雨ニ而淀川出水、水丈届

二月十日未ノ下刻

天満定杭六尺

同日申ノ下刻

同 六尺五寸

同十一日 曇昼後晴

一御城代今廻状到来、写設楽江廻し

本紙者比留間江遣、返書来ル

一右ニ付昼後

御城入、三手并御目付江廻勤○坂本江

相越、先般目錄傳授之礼申述ル○成瀬

又太郎旅宿江參逢、五郎太石頼有之

夕七ツ半時過帰宅

一川筋出水ニ付、今日普請休日

一右ニ付川浚相止候旨、町奉行今申越、及

返書

同十二日 曇

一水筋水引落候ニ付、将基鳥普請

相始ル

一右ニ付、明十三日今川浚相始候旨、町奉行今申越、及返書

撰州御影村

徳兵衛

外九人

右博奕一件ニ付、吟味中入牢申付ル

同十三日 曇折々雨

一御城代堺巡見ニ付、地方・堤方出役

手代差出ス

一 撰州横屋村

佐兵衛

外廿九人

右博奕一件口書申付、直ニ重敲御仕置

申渡、例之通相済

一夜並河復一入来、論語講父子聴聞

同十四日 曇昼後晴

一 設案分文通、使辰蔵ニ逢、返書申遣ス

右博突一件口書取之、直ニ御仕置申渡
例之通相濟

外四拾四人

同十五日 晴月明

一朝六ツ半時出札

御城入、伊賀守殿・丹後守殿逢有之

越中守殿者不快ニ付逢無之、五ツ半時過

退散○将棊嶋御普請所見廻

備前寫初蔵會所ニ而着替いたし

役所江相越、同心共話合逢、四ツ半時比

帰宅

右博突一件入牢申付ル

同州河原村

一 坂本江奥より使遣し、右使江

彼岸桜・木蓮到来

一夜月明、庭前閑歩有哥

右同断宿預申付ル

一 坂本分文通有之、留守不及返書

同十六日 曇昼後雨

一 撰州篠原村

重敲

久次郎

同十七日 終日雨

撰州二ツ茶屋村

撰州源神河原村

松五郎小兵衛

外三拾四人

小兵衛

外拾人

橋本藤左衛門

女房

りやう

同州神戸村

太兵衛

右心得違之廉差免申渡

一河州築留（今日酉刻）水丈八尺届、夜四ツ半時比
申立ル

為心得相達候

二月

今度京橋口御門御修復ニ付

此節御修復中、京橋一手

之外通行差留候、此段為心得相達候

二月

右昨日相渡候書付之由、申来ル

一設楽江文通、坂本同伴之事申遣

返書来ル

一坂本江一昨日之返書、廿日可參事

申達ス

一午上刻、天満定杭水丈七尺届出ル

一右ニ付定例之通、水防出役差出ス

同十八日 曇

一今十八日卯上刻、天満定杭六尺

一同日卯下刻、同断六尺五寸

一右ニ付水防廻状堤通江出ス

一昨十七日地役廻状、写設楽分差越ス

玉造御門御修復ニ付、去午十月

十日今御修復中、玉造口一手之外

通行差止候段、相達置候處、追々御修復

出来ニ付、他之通行差支無之候、此段

同十九日 半晴

一無記事

同廿日 曇昼後雨

一 設楽分文通、不及返書、保助江口上申遣ス

撰州駒林村

義右衛門

右博奕一件入牢申付ル

一 昼後出宅、坂本江相越桃谷之桃

満開ニ付、兼約候甲斐庄喜右衛門

罷越居逢、娘共江土産之品遣シ

お讓江者別ニ人形志ツ遣ス、設楽者廻船

見分分相越遅し、尼崎又右衛門も参

談話、雨中之桃花一望、主人田楽を

製し振舞、甲氏者夕刻帰り、夫分

又長談、夜九ツ時過帰宅

同廿一日 折々雨

一 竹尾清右衛門出府、昨夜西宮泊ニ而

今夕着ニ付、岡田寛一郎遣し、猶又潤八郎

遣ス、病氣ニ付廻勤等無之よし

一 将棊嶋普請、出水ニ付休日

一 撰州神戸村松右衛門外三拾七人博奕一件

口書申付、直ニ重敲御仕置申渡、出牢申付候事

一同州東須磨村松三郎外四拾八人博奕一件

入牢申付ル

同廿二日 朝曇昼前分快晴

一 高橋全三郎入来逢

一 昼九ツ時過出宅、野服○竹尾清右衛門

旅宿定次郎方江相越、清右衛門面會

難波納米之儀談有之、孫女ニも逢

拾才ニ成候よし○設楽江立寄同伴

天王寺村牢屋表門前普請出来采

見分、牢内をも見廻、入牢人共江食物

遣候様孫三郎江申付ル、吟味所ニ而休足

平服ニ着替いたす○四天王寺舞樂

一 覽与して設楽同伴、例之棧敷江

参ル、成瀬又太郎・岡部金十郎・大竹

次郎助・渡辺三千郎并龍太郎・全三郎

参り居一同逢、舞楽一覽如左

左方	右方	左方	右方
太平楽	狛 鉦	北庭楽	
右方	左方	右方	
長保楽	陵 王	納曾利	
左方	右方	左方	
甘 別	林 歌	蕪莫者	
右方	左方	右方	
八 仙	賀 殿	地 久	
左方	左方	左方	
還城楽	抜 頭 <small>舞者 右方 出ル云々</small>	陪 臚	

右一覽、御勘定方者夜ニ入帰ル、自分其外

舞楽相濟、兩輿還幸をも見物いたし

夜五ツ時過設楽・龍太郎并岡部金十郎

同伴帰宅

一 淀川出水八尺迄ニ相成候付、今朝淀川

東縁江与八郎、西縁江寛一郎遣ス

何れも無別条

一 茂久左衛門・鎗三郎・梶三郎・善作為

清酒(改脱)今朝遣ス

一出水ニ付、将基嶋普請休

同廿三日 時々雨

一 竹尾江文通、菓子并孫女江品物遣

口上ニ而返事申越ス

一 将基嶋普請休

一夜ニ入、石井益太郎江戸へ帰坂

一 銃助妻出産、男子出生届ル

同廿四日 曇

一 将基嶋普請休

一 竹尾手代間普四郎罷越、清右衛門へ

贈物木綿一・刀懸一持参逢、急須・茶盆等

遣ス

一同人今日昼立、枚方泊之よし

同廿五日 曇

一金公事申渡有之

一 坂本へ文通、重話送ル、且短冊為見ニ来ル

返書短冊も返ス

一 茂久左衛門外兩人者帰坂、梶三郎者兵庫江
罷越、跡分帰候積

一 出水引落、川浚明日相始候旨、町奉行
申越、及返書

一 御城代廻状来ル、御蔵奉行江廻ス

同廿六日 晴

一 撰州西代村林右衛門外四拾七人博奕

一件、口書申付、直三重敲御仕置申付

例之通相済

一 同州善法寺村善五郎外四拾七人

博奕一件、入牢申付ル

一 昼後堤方出役、懸兩人連ル、淀川通

川崎村御普請仕立中見廻、夫々及

差圖○北長柄村鶴満寺中之花

一 覧、彼岸桜者末、真桜盛也○帰途

源八渡舟、桜の宮通行、山桜満開

真桜も咲出ル、神主宅ニ而休足、村役人

桜花〔両枝〕を呉ル、単ノ真桜ニ而佳花也、夕
七ツ時比帰宅

同廿七日 晴

一金公事申渡有之

同廿八日 快晴

一 明六ツ時過出宅、桜宮桜花一覽

山桜者満開、真桜早キ者七、八分

遅キ者一、二分花也、暫く逍遙

源八渡船西岸之花一覽、五、六分之

開花○天満堀川江廻ル、何れも

遅桜ニ而未開○将棊鳴御普請所

見廻、萩野勘左衛門詰合居逢

四ツ時過帰宅

一 鳴尾村百姓十兵衛不埒之取斗

有之、吟味之上手続留預入牢申付ル

一 〔撰州〕荒生村皮多鶴々々・与右衛門犬殺

いたし、支配所ニ而召捕候上、入牢
申付ル

一成七又太郎入来逢

一坂本入来逢、夕刻分參、夜五ッ半時比
帰ル

一岡田銃助悴、今日六日目ニ付名付

遣ス、扇子料金百疋相渡、書付遣ス

岡田銃助惣領

岡田豊太郎

右弘化四丁未年二月廿三日誕生

同廿九日 快晴

一設楽分文通、明日參候様申越、承知之旨

口上ニ而申遣ス

三月朔日 晴

一御城代分廻状到来

最樹院様御法事済之旨、申来ル

例之通御藏奉行江廻達

一江戸御用状到来

○増田金五郎・竹内清太郎分印状

壹封来ル、永井遠江守御預所作柄

内糺之儀、申越ス

メ

一右内糺之儀、江口村善左衛門出合居候ニ付

呼出、内調申付ル

一昼後出宅、服紗麻着用

御城入、三手御目付江御法事済、恐悦

申置○途中御弓町々家ニ而着替

堀川吹田屋藤助木場江罷越、扨樋

見分、懸兩人召連ル○笹本茂三郎義

去月十八日分吐血ニ而引込居候ニ付、為見舞

罷越、手製万年味噌遣逢、暫く談話

大方快氣いたす○設楽江兼約ニ付

七ッ時過分相越、坂本参り居一同寛話

酒肴・蕎麥等被振舞、夜四ツ時過
帰宅

○堀川樋ノ口堤桜満開一覽
○設楽土産、茶盆・酒器等遣ス

同二日 晴

一無記事

同三日 晴

一朝六ツ半時役所一同上巳祝儀受ル

夫々

御城入、三手共逢有之、番頭・加番

例之通申置○近來出札出刻限

遅く相成候ニ付、早メニ出候様三手分沙汰

有之候旨、宮寺申聞ル、四ツ半時比帰宅

同四日 晴昼後薄曇到而漸雨

一今日者役所早メニ為引候事

同五日 曇折々漸雨

一明六日夕寝屋川五郷船、今夕改

相始候旨、町奉行分申越、及返書

同六日 半晴

一兔原郡住吉村辰三郎儀、米

百石上納いたし、凶年手当いたし度段

願出候ニ付、伺之上可及沙汰旨申渡

一同郡打出村宗五郎、一通吟味之上

入牢申付ル

一江戸御用状来ル

○おたのめ壺通

メ

同七日 半晴、昼比夕時々雨、夕風

一朝五ツ時過出宅、堤方廻村、与八郎

壺人召連、谷丁濱分乗船、淀川通

八番村、当未春定例御普請所

出来栄見分いたす、庄屋宅ニ而弁当

今日者昼食用意いたし、右者八番村之外

水下村々々膳部差出度旨、申聞候得共

右躰之儀者一般ニ差留之義ニ付、已来共

用意等致間敷旨、与八郎公為申聞、承為差出ル

○毛間村、当春定例御普請所

出来栄見分いたす○川崎村、右

同断普請中見廻、八ッ時過帰宅

一金公事申渡有之

同八日 雨夕晴

一撰州住吉村辰五郎、上納初伺書

御取箇組頭江之書状相添、為替

組江相渡差立ル

一孫八郎出勤、便設楽江壹封遣ス

同九日 晴

一孫八郎儀、城州表先祖墓參

いたし、右序京都江廻り度よし

相願承届、明日出立ニ付、今夕左之通渡遣ス

○千種有功江自詠一首・羽二重壹反・

純子机懸一・墨水芳野浪花之花

三種箱ニ入相贈、有文江も贈物いたし

色紙短冊染筆頼遣ス

一中寫豹三郎出勤いたし候由、玄関江

罷越申置

同十日 晴

一撰州北平野町空兵衛外三人者入牢

仙助者手鎖宿預、次助外四拾式人者

手鎖村預申付ル、但博奕一件也

一同州鳴尾村善二郎義、同村

半四郎方江罷越、及不法候始末、吟味之上

入牢申付ル

一撰州木野村秀吉外式人入牢、栄蔵

外式拾壹人手鎖村預申付ル

但、博奕一件

一 村田嘉言江使遣し、詠草直し、出来
差越ス

同十一日 晴

一 当地三番御用状差立ル、八日限也

○ 一柳一太郎江返書壺封

○ おるち江壺封

✕

一 撰州神戸村盗物質ニ取候一件

落着申渡

一 河州守口町三四郎外壺人入牢

伊三郎外式拾人手鎖宿預、申付ル

但、博奕一件也

同十二日 雨

一無記事

同十三日 半晴

一 並河復一公文通候間、夜講断申越ス
一金公事申渡有之

一 林茂久左衛門、為吟味牢屋敷江遣ス

一 撰州北野村四五右衛門外式人入牢

由兵衛外五人手鎖村預、ます外四人

村預、申付ル 但、博奕一件

一 清次郎・銚助、博奕捕之相濟帰坂

同十四日 雨昼後曇

一 将棊嶋普請休

撰州打出村

善八郎

与次兵衛

清五郎

右不屈之始末、吟味之上入牢、村役人并

小前兩人者帰村申付ル

一 撰州天王寺村源次郎外壺人手鎖

村預、寺領藤吉者同斷宿預、申付ル

但、博奕一件

同十五日 晴

一 早朝治平太設樂江遣

御城入斷申遣ス、途中ニ而為申聞候由

一 五ツ時過出宅、難波御藏為立會

相越、池田庄太夫 罷出ル

納渡（米）・大豆有之、出役昇三郎

九ツ半時比退散○西横堀石屋江寄

石類一見致ス○永井能登守方江立寄

今日者番頭・御定番水野等参り居

取込之躰也、用人ニ逢申置、七ツ時過

帰宅

一 設樂分文通、御用材之義申越、及返書

同十六日 雨

一 龍太郎元服祝義ニ付、役所之もの其外

内祝振舞延し置候處、今日一同相招

表ニ而酒肴振舞遣ス、如左

○役所一統拾四人中沢齋助老人播州
出役ニ付欠席

○里村保助 ○吉田孫三郎

○大坂屋定次郎 ○平野屋新兵衛

○真佐木理右衛門 ○平福村新右衛門

○網屋勘左衛門 ○廣嶋屋平四郎

○大坂屋新左衛門

右八ツ半時比酒肴出し、夕七ツ半時過一同退散

同十七日 半晴

一金公事申渡有之

一 甲斐庄喜右衛門分文通、哥合本二冊返し

千種桜画賛差越一覽達し、及返書

短冊耄枚遣ス

同十八日 晴

一無記事

同十九日 折々雨

一去暮龍太郎元服ニ付、祝義申與

贈物等銘々いたし候ニ付、今日昼後

左之もの共呼寄、酒肴振舞遣ス

江口村庄屋 天王寺村後見

○田中善左衛門 源三郎

同 庄屋

○孫右衛門 丈三郎

同

三番村 五郎兵衛

傳右衛門悴 同見習

○黒田善右衛門 猶次郎

北平野町庄屋

下新庄村 庄左衛門

○助左衛門 南平野町同見習

○万三郎

三番村 東高津村

○勘左衛門 源兵衛

今津村

○仁左衛門 源左衛門

鳴尾村 守口町

○六兵衛

○藤右衛門 今津村

市郎兵衛 彌十郎

南寺方村

○庄左衛門

門真三番村

○五郎兵衛

七番村

右八ツ半時比呼寄 自分共父子逢遣し

酒肴振舞、夕七ツ半時 西橋波村

過相濟、一同退散 久右衛門

大枝村

○藤兵衛

一右ニ付潤八郎・茂久左衛門妻共并

潤八郎娘せい呼寄、酒飯振舞遣ス

同廿日

弁次郎

一無記事

右兄寅之助江為疵負候一件、吟味中

入牢申付ル

同廿一日 晴

一昼後再

一撰州天王寺村為吉外五拾四人

御城入

博奕一件、落着申渡、御仕置相濟

盛姫君様御逝去ニ付、御機嫌伺

一御城代夕廻状来、例之通御藏方江

三手江申置

廻達

盛姫君様御逝去之達

同廿二日 半晴

一御同人夕呼出来、四ツ半時過

一昼後出宅、銅坐話柳道太郎方江

御城入、御城代江罷出ル、用人波多

相越、暇乞餞別之品遣ス、内藤江之

与太夫を以書取御渡有之、受取直ニ帰宅

壱封相頼○丸橋金之助江申置

前同斷、停止之義達

御普請役三軒共申置

一右設楽并御藏方江廻達

一夕刻村田七郎相越逢、夕飯振舞

一右停止觸、支配所一鉢江出ス

夜五ツ時過帰ル

一中沢斎助、播州積立相濟帰坂

一明日御金藏納之處、納方差支

播州河崎村

候ニ付、夜中潤八郎・茂久左衛門其外

百姓

差遣、当納之分炭安江申付、為取斗

一ト先納方者相濟

同廿三日 半晴

一朝五ツ時過出宅、潤八郎・尚太郎

召連、西成郡光立寺村取下場并

新開之場所見分相濟、百姓源藏

宅ニ而弁当、江口善左衛門罷出逢遣

○将碁寫御普請所江相廻、見廻

勘左衛門、其外同心共昇三郎罷在逢

八ツ時過帰宅

同廿四日 快晴

一朝五ツ時過難波御藏為立合相越

納渡米有之、庄太夫——罷出ル

出役銚助、与力共も相越逢

○西本願寺過日使者差越候、為

挨拶留守居江相越申置、今明日者

新堂供養有之、門跡右之新堂江

被參、修行有之由ニ付相待、見物致ス

夕七ツ時比帰宅

一勝安兵衛江書状出ス、香奠等遣ス

一松田直兄来、不逢、金百疋遣ス

同廿五日 晴

一四天王寺使僧相越

御靈屋寄附之儀申来ル

一山口瀬左衛門、御普請小屋場江差遣

又太郎分懸合之材木無之段申遣ス

一平新一件ニ付、潤八郎林藏方江遣ス

一龍太郎西本願寺江相越、新堂

修行見物いたし来ル

同廿六日 朝晴漸雨半晴

一朝六ツ半時過谷町濱分乗船、川浚

見廻、天保山迄相越、与力丹羽源十郎・

同心共罷在逢、源十郎案内いたし

高燈籠一見○湊屋新田迄

帰帆いたし候處、西本願寺

天保山江參候由ニ而、堤筋通行

見物いたす、右ニ付堤上群集

八ッ時比帰宅

一御忌解廻状到来

右例之通御藏方江廻達

一右ニ付石川江文通、返書来ル

一同人ハ夜文通差置

一河州大枝村弥四郎立戻候ニ付

一通吟味之上、手鎖宿預申付

親類村役人江取締方申渡ス

一坂本左三郎入来逢

同廿七日 快晴

一破損奉行ハ石川江之書通

鳥田・水品連名ニ而石川より到来

是迄

姫君様ニ而者御機嫌伺廻勤例

無之ニ付、不罷出心得之旨申来ル

水品江順達

一右之趣設楽江申遣ス

一江戸御用状到来

一懸屋平野屋新兵衛義、御用金取

納方滞候ニ付、書取江既書付写

添、茂久左衛門江為持、水野若狭守江

差出ス

同廿八日 曇

一設楽、此程ハ風邪のよしニ付

為見廻煮メ相製、文通ニ而遣ス

返書来ル

一石川良左衛門来逢

一平野屋新兵衛、親類一同水野江

呼出被成、納方申渡候よし

一平福駅新右衛門入来、色紙短冊
相贈、移りニ扇遣ス

一川表水引落、明日ハ川浚始候旨
町奉行申越、及返書

同廿九日 半晴少し雨

一自分風邪氣ニ付平臥、逐々

發熱致ス、服薬

一設楽ハ侍使ニ而不快候ニ付、足帛

届書頼来、自分も不快ニ付

比留間江一同頼遣ス、同人持参差出候由

申越候ニ付、為挨拶手代遣ス

一池田入来逢

一安田春庵呼ニ遣し、診察為致

薬申受ル

一村田嘉言来、不快ニ付不逢

一谷丁筋御城代屋敷裏出火

尔付、最寄一同江見舞遣ス、夫々

挨拶申来ル

同卅日 晴

一設楽ハ文通、及返書

一春庵来逢

一自分不快、今日者大ニ快方

四月朔日 晴

一自分快方

一御用状出ス○組頭江壹封、永井

遠江守御預所去午作方内糺、申立ル

一設楽ハ文通、重話もの差越、不快

見廻申越、及返書

一播州安楽田町権兵衛、伊勢参宮

いたし候由ニ而御被呉ル

同二日 晴

一金公事申渡有之

一西井の文通、看到来、返書移品遣ス

同三日 晴

一自分不快、快氣起居

一春庵入来逢

一博奕一件、貧家之もの出牢

村預申付ル

同四日 晴

一小弥太呼寄逢、風呂敷一端遣

春稽古皆出席之もの六人江

半紙五帖・扇壹本ツ、遣ス

○比留間三人○近山○西井

○設楽

一江戸御用状来ル

○おたの・おぬちの壺封ツ、

○久須美六郎左衛門の壺封

ノ

一博奕一件之もの共、手鎖差免

村預申付ル

一成瀬江文通、煮肴遣ス

一自分全快、髪月代致ス

一春庵入来逢

同五日 曇夕雨

一博奕一件之もの共、手鎖差免、村預

申付ル

一〔摂州〕鳴尾村善三郎、出牢申渡

一〔河州〕大枝村弥四郎、手鎖宿預差免

他参留申付ル

一成瀬の昨日之返書・移品到来

一千種江之壺封、孫八郎江渡差立ル

○桜之宮の花并路草

○茶の服紗三○飛州猪口一

○以賀丸江手遊もの壺包

○短冊状之庵文絹地二通

ノ

同六日 晴

一撰州新喜多新田地主大坂榎木町

今木屋市太郎、去午七月中水損

手当等行届候段、誉置申渡、支配人

重助江為褒美金貳百疋遣ス

一同州御影村寛之助外式人博奕

一件、出牢村預申渡

同七日 晴

一金公事申渡有之

一昼後将棊嶋普請所見廻相越

若狭守西立會分廻、堤上ニ而逢、同道

見廻致ス、備前嶋邊瀬割堤并

八軒屋濱石垣築立取懸、与力勘左衛門

源左衛門・同心共詰居逢○帰途水野江

相越逢、平新一件申談ス、庭中處々

一見、若狭守同伴致ス、夕七ツ半時過帰宅

一当春細川越中守通行ニ付、太刀

壹腰・銀五枚相贈候由、兵庫表

藏元与三左衛門持參、茂久左衛門差出ス

一成瀬又太郎分文通、丹州表御林山

支配名前之儀問合来、及返書

同八日 曇四ツ時過分雨

一朝六ツ半時過出宅、堤方廻村、与八郎

保助召連ル、当春定例出来栄見分

○神崎川通

○杭瀬梶ケ寫立合枳樋

○杭瀬村枳樋尼崎堤役出
一同逢

○佃村土方

○蒲葺新田土方

○大和田村土方

右見分相濟候處雨降出、場所差支

候ニ付今日者見合、直ニ帰帆、夕七ツ時比
帰宅

同九日 雨夜大風雨

一無記事

同十日 昼後分晴

一大和橋水丈八尺届有之ニ付、為水防

嶋林梶三郎差遣ス

一天満橋水丈届

未上刻 六尺

申上刻 六尺五寸

同中刻 七尺

酉上刻 七尺五寸

右ニ付水防廻状出ス

同十一日 晴

一昨夜亥上刻迄ニ天満水丈

九尺之注進有之ニ付、今明六ツ時過
出宅、懸与八郎召連、淀川東縁
水見分与して出役、東縁通分

河州茨田郡壹番村迄相越

同所ニ而四ツ半時過茶店ニ而弁当

永井肥前守家来、途中ニ詰居逢

中山昇三郎儀守口宿ニ而逢、弁当

所迄罷越候ニ付、枚方邊迄可見廻旨

申付、先江遣ス、自分者弁当後、仁和寺村

地内迄見廻、川表壹尺斗も減水ニ付

同所分東縁帰途○河州八番村堤

往返共見廻、自普請所上置腹付共

八、九分通出来、洩水も大躰止り候得共

両三所少々ツ、吹水いたし候処、可氣遣

躰ニ者無之○守口宿本陣ニ而休足

河州貳番村

長次郎兄

長右衛門

三十八

〔此もの二十六〕
長次郎女房

もよ

二十二才

庄屋

喜兵衛

惣代

利右衛門

右呼出、長次郎義八番村自普請所

人足ニ出候処、先日過而及水死候ニ付

檢使差遣事済候得共、右自普請所者

水下村々数ヶ村江懸、不容易場所ニ而

自分存寄を以申諭、普請中右躰

及変死候段、不運与者乍申不便之事

尔付、長次郎江香奠金百疋差遣候旨

申渡、〔女房江〕為取遣ル○中野村江罷越候時分者

凡式尺斗も減水致ス、夕七ツ半時過

帰宅

一河州石川通中野村切所出水之段

届出、明日出立之積

一市場仁右衛門之儀、潤八郎申聞、差出候

切手式枚者明日差戻可遣旨、申付ル

同十二日 曇暮少し雨

一早朝播州

入札開札見届ル

一朝五ツ時比出立、保助召連、与八郎者

先江差立ル、河州石川通都築金三郎

当分御預所中野村切所見分相越

○葛井寺弁当、寺門茶店ニ而暫時

休足

○八ツ半時比中野村江着、夫々步行ニ而

場所江罷越ス、去冬仕立候新堤八拾五間

之内、尚又五拾三間切所、内九間者半法

欠所ニ成、内堤廿四間及欠所、手当申付

直三日論見、夕七ツ半時過相濟、居村
庄屋弥太郎宅江罷越泊

同十三日 雨

一朝髪月代致ス○五ツ半時過出立

石川通碓井村以樋水洩所

堤欠所見分、以樋者村方ニ而手当

申付、土方者難場ニ付目論見、杭出

壺所をも目論見○築留見廻

近々御城代巡見ニ付、取締申付ル

○青地組會所ニ而昼食、九ツ時過出立

平野郷・天王寺村夕夕七ツ半時比帰坂

一 保助、堺江罷越夕刻帰坂逢、明

後十五日七ツ時出立ニ而、日向守切所

為見分罷越候由、申聞ル

一 夕刻坂本入来逢、五ツ半時過帰ル

一 江戸御用状到来

○ 茂久左衛門、元メ取立伺済来ル

ノ

同十四日 晴

一 昨十三日分金公事申渡有之、其外

役入等申渡有之

一 明十五日日向守中野村切所見分ニ付、為

立會今昼九ツ時比出立、与八郎・保助

兩人召連ル、天王寺村・平野郷・川野邊・

葛井寺・誉田等定例之道筋

罷越、夕七ツ半時過中野村着、庄屋

弥七郎宅江泊

同十五日 半晴

一朝髪月代致ス

一 四ツ時過中野村切所江罷越、無程

柴田日向守も相越、同道いたし

場所見分、夫々及談、与力岸

一 九郎家来共ニも逢、日向守与

暫く及談話、同人者古市村ノ

乗船ニ而帰候よし、自分者一通

場所及見、弥七郎宅江一旦

引取、昼飯後九ツ時過出立

○碓井村切所及見、夫ノ定例之

道筋帰ル○（ト）本町ニ而坂本ニ逢

夕七ツ半時過帰宅

一真佐木利右衛門ノ酢到来

同十六日 晴

一去十一日出立、昨十五日水防出役ノ

帰坂之積御届書持参、四ツ時過

御城入、三手江出ス

○伊賀守殿 山本市右衛門

○丹後守殿 今藏熊藏

○越中守殿 渡辺金四郎

右出ス、御城代ニ而永井能登守・

柴田日向守参り居逢、四ツ半時過

帰宅

一林茂久左衛門義、元メ取立伺相濟

候ニ付今朝申渡、加給金式両遣ス

一治平太、真佐木理右衛門方江遣シ

短冊挟壹ツ遣ス

同十七日 晴

一神祖御祭礼ニ付、役所休日

一御服中ニ付、御城代拜礼無之ニ付

一同拜礼不罷出

撰州ニツ茶屋村

百姓

次左衛門

右

將軍 宣下御祝義之御赦ニ

御免申渡

同十八日 快晴

一曉七ツ時出立、築留江相越、駕籠・

鑓箱・長柄為持、与八郎・足輕茂助

召連ル、丸羽織・野袴着用、四ツ半時比

築留江着、休所ニ而休足之上、場所

見廻、八ツ時比御城代松平伊賀守殿

御越、町奉行水野若狭守相越、一同ニ逢

築留壺番樋・式番樋共御案内いたし

巡見相濟、品々御尋有之、夫々

申上ル、相濟會所江一同相越、若狭守

御逢有之、引續自分共罷出、御逢

御談話有之退散、若狭守休所江

罷越逢、休所江引取、堺与力岸

一九郎・同心共兩人相越逢、八ツ時過

御城代引拂有之、引續自分共も

場所引拂、帰途太子堂村ニ而御城代

休中通抜、暮六ツ時過帰宅

但、上本町分始終設楽同伴

保助者道明寺邊江出役相濟候而

築留江相越

同十九日 半晴小雨

摂州東明村

徳三郎

国三郎

利三郎

東明

庄屋

善左衛門

石屋

年寄

茂十郎

右当月初旬、人形芝居相催候一件

吟味之上書面之通申付ル

播州三子村

弥七郎

右古銀配分いたし候一件、吟味之上

入牢申付ル

摂州石屋村

手鎖宿預

佐五郎

右不行跡之始末吟味、書面之通申付ル

一五ッ半時過設楽入来同道、四ッ時比否

谷丁濱乗船、淀川通河州茨田郡

八番村江相越、堤方懸兩人連ル

○国分寺村御普請所見廻○九ッ時過

八番村江相越、同村役人其外水下

村々御料私領村々役人、一同罷出ル

堤見分致ス

字 ○堤長

字 ○堤長

右腹付丈夫ニ出来致ス、此場所者先年

切所續ニ而、出水之度ニ堤裏江所々

吹水いたし、懸念之場所ニ付壹度

急破、当春定例御普請ニ割合

根通、新規御普請丈夫ニ相仕立遣し

腹付者多分之入用も相懸候義ニ付

冥加之ため水下一鉢申合、自普請

をも可致旨、及理解置候處、一同申合

いたし、仕様等者夫々及差圖、是迄

度々見分いたし、先般分取懸候處

此節いたし候ニ付、昨日七番村利右衛門・

今市村三郎右衛門呼出、自分・設楽分

酒三樽遣し、今日上棟与唱、地神

相祭候ニ付、見分旁相越候也、夫々見分

至極手丈夫ニ出来、村々一同安堵

いたし候よし、自分取扱を大悅

いたし候由也、地神を相祭候趣ニ付

設楽同伴、拜ス、堤上ニ棧敷設有之

休足、村々惣代共一同呼出逢、何れも

申合、行届普請丈夫ニ出来候段

誉遣ス、夫分近邊ノ之老若男女江

餅を遣し、又まき遣ス、一見、七ツ時過

備前嶋大渡し江上陸○設楽同道

水野若狭守方江相越、用人ニ逢

昨日築留之儀、及挨拶申置

七ツ半時過帰宅

京橋江之引合申合遣ス

撰州木野村

重敲

秀吉

外五拾壹人

右博奕一件、落着申渡

同州打出村

善八郎

外三人

同廿日 雨

撰州東明

甚助

右人形一件、吟味手鎖宿預申付ル

一石川長次郎江使、口上ニ而明日出立

錢別菓子一折・急須一遣ス

一近藤左衛門入来逢、米倉丹後守殿

別段逢度よし、云々申来ル

同廿一日 半晴

一京橋家来医師佐藤寛斎

左衛門今申通候由ニ而来、初而逢

右出牢〔手鎖〕宿預申付ル

一八ツ半時出宅○八軒屋濱石垣築立

場所見廻、与力勘左衛門・同心共詰居逢

一明日出立御普請役申置

一大屋善九郎着歡申置

一石川長次郎逢、明日出立之よし

一和泉屋源兵衛江預置候石燈籠

三本及見

一永井能登守申置

一田中新五兵衛逢

一成瀬又太郎逢、丹州水上郡

御林山之義申談

右相済、六ツ半時比帰宅

一留守江藤方手代来、申置候由

同廿二日 半晴

一撰州御影村岩之助外式拾五人

博奕一件、落着申渡

一田井新五兵衛文通、酒三升・鯖相添遣ス

返書・墨水■到来

一番外御用状出し六日限

○おたの江壺封 證文人

×

一近藤左衛門今文通、氷砂糖一折

到来、返書・烟包一・茶詮一遣ス

同廿三日 晴

一田中新五兵衛方江鈴木尚太郎遣

三男同道、奥野弥太郎江入門相済候由

尚太郎申聞ル

一撰州東明村甚助外四人、人形芝居

いたし候一件差免、手鎖宿預免ス

一同州石屋村佐五郎差免、右同断

一朝佐藤寛齋入来逢、今日昼後

京橋江可参旨、今朝為申遣候處

普請中取込、廿九日今来月二日比之内

参候様いたし度旨申来ル、夫々及挨拶置

一昼後

御城入、明日出立届

○御城代 飯塚権左衛門

○京橋 今藏熊藏

○玉造 関轍

但、御目付者兩人共留守

右相済、八ツ半時比帰宅

一明日出立之儀、設楽江申遣文通

返書来ル

同廿四日 半晴

一灘目新開場〔見分〕堤方兼出立、明六ツ半時比

出宅、宮部潤八郎・六嶋清二郎・侍

栗田連吉・中田力召連ル○今津

六石建場ニ而弁当

今津村

百姓

善吉

右先年身持不宜、及教諭候處

其後謹慎いたし、行状宜相成候趣ニ付

呼出、為褒美金貳百疋為取遣ス、親類・

村役人共も差添出ル○九ツ半時過昔屋村

濱手新開場江着、休所取補理

有之休足、願人御影西田屋弥平次

罷出逢、新開場昔屋村一筆・深江村

五筆、夫々見分、大繩反別取調いたす

○住吉村濱先石及見○同村新開場

〔字小穴〕年季明之場所見分○七ツ〔半〕時過同村

百姓善左衛門宅江着泊○御影村役人并

嘉納屋憲吉・親類共罷出ル、一同逢

憲吉身分之儀及沙汰○吉田喜平次・

横屋村与左衛門等罷越逢

同廿五日 雨

一朝五ツ時過住吉出立○西宮濱手

新開可相成場所見分、町濱立合之

場所ニ付、打合熟談いたし、可申置旨

申付、大繩取調致ス、西宮濱先ニ而

休足、網引致し居候ニ付、参り一覽

休所江帰り弁当、九ツ時早メ也○今津

居村通行、常源寺立寄、院主并

娘ニ逢、六石建場前ニ善吉并

同人母・親類共、褒美之礼ニ出、逢遣ス

尼崎・神崎定例之道筋帰途

夕七ツ半時過帰宅

一林茂久左衛門妻出產、男子出生

いたし候由、届出ル

一池田庄太夫留守中入来のよし

同廿六日 曇

一久米正齋、花菖蒲を贈ル、移

扇遣ス

同廿七日 曇 昼後夕立夕晴

一淀川通堤方廻村、明六ツ半時過

出立、谷町濱乗船、懸兩人・侍次平太・

力召連ル○西ノ村手始出来栄

見分、土方高槻堤役小宮山登

罷出逢○下ノ村右同断、土方并

水刃○柱本右同断○三嶋江土方

何れも出来栄見分いたす、途中高槻

使者罷出逢○船中弁当、九ツ時少し早メ

○枚方宿上陸、同宿之内往還岡村・

岡新町立合板橋見分、天保七

申年懸替之よし、及大破惣躰

修復手当差加有之、橋臺石垣ニ相成

有之、右者文政二卯年岸本様堤方

御勤役之節、石垣ニ被成遣候よし、今般者

門樋ニいたし、内郷逆水留ニも被成候様

いたし度段願ニ付、内郷之様子をも

及見、夫々相尋、尚繪圖面取調可差出旨

申渡、宿内村役人宅ニ而休足し

天の川を渡、磯寫村江出候途中

夕立雷氣也、同村々乗船、八ツ半時過

楠葉村江着、淀川役遠藤團次

罷越居初而逢、堤上置并往還

悪水樋出来栄見分、樋上土方不宜

手直し申付、七ツ時比年寄庄次郎

宅江着泊○居間椽續より少し上りて

書齋様之間有之、四畳半ニ而西北

外寫を越、淀川を望、廣瀬・高濱・

山崎山■外之山々、眺望殊之外よし

此書齋ニ而髪月代いたし、七ツ半時過

次平太并懸兩人召連、裏口より出

壺丁斗外嶋行て、淀川縁ニ到ル、天氣

新晴、山水之眺望甚夕佳也、自分之

乗船并淀藩之船此處ニ待、夜泊也

船頭佐吉船中ニ居、處々眺望、暫く

逍遙、夕方泊江帰ル、六ツ半時過夕飯出

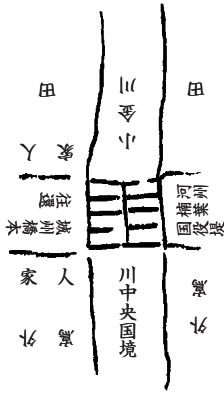
食事致ス

同廿八日 晴

一朝六ツ半時比出立、昨日手直し申付候

塚樋、上手直し出来及見○楠葉

村国役堤へ及見、河・城国境如左



橋本町より京街道、町分れより左

京道、直八幡道、御幸道中程ニ

出ル、御幸を右江社前正面ニ出ル

一ノ鳥居より入て、左厄除神社

阿弥陀堂廻廊等あり、又入て

左社あり、武内宿禰を祀ル、行て

神輿石臺あり、左方六松樹あり

六本衾互いふ、就中大松一樹松葉を

採る、少し登りて二ノ鳥居ル到ル

又登る、小溪板橋を渡ル、常ハ此橋

なし、一昨廿六日臨時祭ありし故

此橋ありと云、渡りて少し登り、此處ニ而

遥拝致ス、是今直ニ下りて八幡町ニ出ル

町上ニて野外数甲ニして、京街道

堤ニ出ル、三津村を経て木津川へ

出ル、大橋者去年之出水ニ而破損いたし

往來止、上手ニ而舟渡し、淀城下町ニ

到ル、大橋を左ニ望、孫はしニ到ル

此橋も去年之出水ニ而破損、下手ニ而

渡船、城下ニ到ル、大手前薬師片木

与四兵衛宅江立寄、茶製一覽、品々

煎茶を買、此茶宇治の淀領ニ而

作り、此地ニ而製ス、店ニ而茶を啜シ

休足、大手を左ニ望、町續ニ而淀川ニ出ル

小橋又破損、上手ニ而渡船、川中央

淀城并水車を看ル、處々之眺望

絶景也、前岸小橋を左ニ見て、河辺ニ

到ル、眺望弥佳也、七番町過書坐

ニ而休足、同所江申付船を買、桂川縁

式番町迄参り、又六番町唐人

馬木河岸ハ乗船、淀川を下ル

淀城水車を看ル、(川筋)城外(前後)家中之もの

屋敷あり、中央領主之下屋敷躰之もの見ユ

庭中淀川ニ續て、又風景宜与見ユ

八幡・山崎を左右ニ望、處々之眺望

絶妙与いふへし、橋本ニ乗船

待居乗替、四ツ半時過前嶋村ニ着

淀出役・高槻堤役出居逢

○前嶋 土方 ○大塚町村共

○點野 土方 土方 塚樋

○一番 土方 ○四番 水刴

○七番 土方 ○下嶋 水刴

○江口 土方

右見分相濟、(暮)六ツ時過帰宅

一御城代御書取星野一郎兵衛ハ一紙ニ而廻ル

大手口大御門并續御多門、御普請御入用

積取調ニ付、右御門下西組御石垣為見廻

足代取補理、所々切割取懸候処、最寄

石屑等落散候間、右改中明廿八日より柵

御門之方メ切、大扉之方往来為致候間、此段申達候

四月廿七日

同廿九日 薄曇

一淀川通出来栄見分、朝五ツ半時

出宅、懸兩人召連、谷丁濱乗船

○橋寺 土方 ○天王寺庄 塚樋

○三番 土方 黒田傳右衛門宅
弁当

○新家 水勿 ○増寫 高畑 塚樋

○北長柄 土方 田安殿家来

○川崎 土方

右出来栄見分相濟、備前嶋渡場の

上陸○将棊嶋并八軒屋普請所

見廻、勘左衛門并同心共詰合逢、夕

七ツ時過帰宅

五月朔日 雨

一今朝堤方廻村可致處、雨天ニ付

延引

一江戸九番御用状、去月廿一日出二而

六日限差立、七ツ時過到来、自分義

同日式万石増地被 仰付候段、申来ル

如左

四月廿日伊勢守殿、三阿弥を以御渡

御勘定奉行江

御代官

竹垣三右衛門

明廿一日四ツ時

御城江名代可被差出候

四月廿日

右名代御殿詰御勘定鈴木大太郎江

土佐守殿被仰渡、五ツ半時之御受大太郎の

差出置候段、築山茂左衛門・岩田鉄三郎・

福田八郎右衛門江後藤一兵衛の切紙を以

名代之儀申達、翌廿一日八郎右衛門為

名代登

城いたし候處、支配所高式万石増地

被 仰付候段、阿伊勢守殿被仰渡、大岡

主膳正殿侍坐、松平河内守殿御差添

之旨、八郎右衛門出役之もの江申達候由申越

右ニ付家族江申聞、役所一同内祝義

受ル、夫々手都合も有之ニ付、明日御用状

着之積、元メ共江申聞置

一 右ニ付設楽江文通、内吹聴申遣ス、返書来ル

一 左藤寛斎合連名ニ而文通、京橋江

明後三日参候得者、都合宜旨申越、返書

為及置

右相済退散○永并能登守江

相越、悴岩之丞御番入飲用人江

申置、石川落合逢○新五兵衛

旅宿江立寄着替いたし、九ツ時過帰宅

一 設楽入来逢、昼後帰ル

一 江戸江御用状出ス

○増地御礼状、奉行衆・吟味役・組頭

書状

○築山 ○青山 ○斎藤

○岩田 ○高橋平作

○矢部木弥一右衛門 ○松村忠四郎

○福田八郎右衛門 ○鈴木大太郎

○おたの・おろち江志封

右書状差立ル

一 夜分佐藤寛斎江連吉、文通

ニ而京橋江明朝参候義、申遣ス

一金公事申渡有之

同二日 半晴

一 連吉、左藤寛斎江遣し、明日

昼前京橋江可参旨申遣ス

一 四ツ時過

御城入、昨朔日帰坂届如左出ス

○御城代 飯塚権左衛門

○京橋 川上猛次郎

○玉造 渡辺金四郎

○御目付式人共留守

同三日 晴曇立有之夕雨

一朝五ツ時過池田庄太夫為歎參ル、逢

一役所一統増地祝義受ル

一朝五ツ半時過出宅

御城入御礼廻勤○御城代

兩御定番○御目付者兩人共留守

○米倉丹後守殿別段被逢度旨

先達而之被申越、今日廻勤序

罷越、奥ニ而被逢、酒飯被振舞

四ツ半時過退散、立婦礼申述ル

○坂本通逢○西井○池田通逢

○設楽通逢○内山近○安食

○比留間○永井通用人ニ逢申置

○田中○成瀬○水野通用人ニ逢申置

右何れも吹聴相濟、夕七ツ時比婦宅

一江戸御用状到来、去月廿二日

最寄替被仰渡有之

柴田善之丞

都築金三郎

多羅尾久右衛門

自分

設楽八三郎

右最寄替、増地者自分斗也

一増地為歎來人有之

同四日 晴

一田安荒川又太郎与申もの罷越、南名柄

外鳴之儀ニ付、云々申來ル、里村保助面會

申聞候ニ付、夫々為申談遣ス

一設楽入來、増地為歎横麻上下地

鯉節壺箱相贈ル

一昼後出宅、設楽同道、紀伊殿藏

屋敷江罷出、菊千代殿御養子被

仰出候、恐悅申置○尼崎又右衛門江

増地吹聴申置○宮寺江罷越

吹聴、杉浦大二郎参り合、酒出し夕

刻退散○杉浦江罷越逢、暮合帰宅

一 田中新五兵衛歛申置

一 池田ハ文通、今般之歛縵蒲燒到来

同五日 晴雲立有之

一朝役所一統端午礼受ル

一 六ツ半時比

御城入、伊賀守殿・越中守殿御逢

有之、丹後守殿者普請申置

番頭式軒・加番四軒例之通申置

○坂本同道、山木数馬江立寄

吹聴○山村与助江吹聴申置、四ツ半時比

帰宅

一定例之通祝義相濟

一 都築金三郎江之書状式封、孫八郎江

渡ス

一 池田江昨日之返書、移加賀落雁遣ス

一 比留間ハ歛看到来、及返書

同六日 雨

一 役所半引

一同役江増地吹聴状、如左出ス

○森八左衛門○小田又七郎○藤方彦市郎

○勝田次郎小服紗
ニツ入

メ

一 八ツ半時比ハ坂本来逢、飯振舞

夜五ツ時過帰ル

同七日 半晴

一 納庄屋帰便御用状来ル

○久須美正一郎壹封、小手出来差越ス

一 水野若狭守ハ文通、今般之歛申越

哥一首相添、松魚節一連到来、及

返書

一 水品権十郎・星野市郎兵衛歛

申置

同八日 曇冷氣

- 一 石川良左衛門明後日出立、暇乞ニ来ル、申置
- 一 村田七郎分詠草差越、且菓子一折差越候處
- 云々子細有之、直ニ次平太分文通ニ而為差戻ル
- 一 夕刻田中新五兵衛罷越、酒飯振舞、夜
- 五ツ半時比帰ル
- 一 石川江文通、為餞別水砂糖一折遣ス
- 留守受取来ル

同十日 曇

- 一 村田嘉言江詠草遣し、直ニ一覽差越ス
- 被頼候短冊遣ス
- 一 石川良左衛門、今朝出立いたし候由
- 島田鉄太郎分一紙廻ル、星野江順達
- 一 柴田日向守分文通、頼置候画式枚認メ
- 差越、受取遣候よし

同九日 曇夜四ツ時過雷雨

- 一 昼後出宅○将基嶋御普請所見廻
- 八軒屋船場及見、与力中嶋豹三郎・
- 同心共、出役尚太郎○星野一郎兵衛
- 歛罷越ス、答礼申置○水品権十郎
- 右同断○石川良左衛門逢、明日出立
- 暇乞罷越候也、七ツ時比帰宅
- 一 坂本分文通、増地歛松魚節一箱
- 到来

同十一日 晴

- 一 朝六ツ半時出宅、川浚見廻、谷町濱
- 乗船、木津川江相越○藤山勝次・
- 酒井要五郎増地吹聴申置
- 甲斐庄喜右衛門同断通逢、酒飯
- 被振舞閑話、夕七ツ時過帰宅
- 一 高橋全三郎入来逢、夜ニ入帰ル
- 一 夜五ツ時過京橋向片町出火
- 玉造御藏風下ニ付、老番手
- 火消人足出ス○支配所村々并

諸向出火見舞之もの来ル

○夜四ツ半時比鎮火

一里村保助の増地の歎看到来

一田中新五兵衛の使、火事羽織借ニ来ル

直ニ渡遣ス

同十二日 晴

一田中新五兵衛家来、実者同人三男

大澤熊吉、稽古場江罷越候尔付

小弥太呼寄、門入之儀申聞、門入為致ル

一寸呼逢遣ス

一村田七郎入来、短尺并五色紙到来

更紗服紗二遣、逢断申遣ス

一江戸江御用状差立ル

○おたの江之老封

○漣平其外一同江増地祝義

遣候段、為申遣ル

同十三日 晴

一先般増地蒙 仰候内祝ニ付、左之もの共

呼寄、酒振舞遣ス

○役所合拾五人 ○吉田孫三郎

○里村保助 ○大坂屋定次郎

○炭屋安兵衛 ○豊嶋屋門藏

○横屋村

与左衛門

右相招、昼八ツ半時比の始、七ツ半時比相濟

一今朝龍太郎庭上江出候處、北之庭

築山谷間之松根江靈芝

大小九本生立有之、一同一覽

役所之もの其外一覽いたし度旨申聞

皆々為見遣ス

一甲斐庄喜右衛門の文通、今般之歎

自詠懷紙一枚并鯛一枚到来

及返書

ノ

一土屋四郎二郎一紙写設楽ハ

到来、御城代御書取昨十二日渡之由

京橋御門御修復ニ付、当二月ハ

京橋一手之外通行差止候段

相達置候處、右御場所等修復中

申置いたし候間、当分他之通行

差支無之候、此段（為心得）申達候相

五月

同十四日 半晴

一朝五ツ半時過出宅、玉造御藏江出役

寛政度初唐箕操有之立會

仮役須田五郎兵衛并

御城内御藏目付罷出逢、今日ニ而

唐箕操申置いたし候而、五郎兵衛

申聞ル、四ツ半時過退散〇八軒屋

濱石垣築立場所見廻、荻野

勘左衛門・田坂源左衛門・同心共詰居

逢、九ツ時過帰宅

一御城代公用人ハ文通、設楽連名

ニ而只今老人可罷出旨、伊賀守殿

被仰聞之段申越ス、及返書

一御城代廻状到来

徳川民部卿殿病氣之處

養生不被相叶、去七日逝去絶

言語候

公方様

右大將様御機嫌被為替御儀

無之旨被仰下候、此段申達候、以上

五月十四日 松 伊賀守

御代官御藏奉行宛

徳川民部卿殿逝去付、尾張

宰相殿御養方弟松平昌丸殿

被遊

御世話、一橋家相續被

仰出候、一橋領拾万石其俣被遣

徳川与被称候様被 仰出候旨被仰下候

此段申達候、以上

五月

松 伊賀守

前同断宛

右定例之通比留間江廻達

一七ツ半時比

御城入、伊賀守殿江罷出ル、公用人

飯塚権左衛門を以御書付御渡

徳川民部卿殿病氣之處

養生不被相叶、去七日逝去ニ付

諸事穩便ニいたし、普請者今

十四日夕明後十六日迄、鳴物者来ル

廿日迄停止候付、火之元入念候様

可被致候

五月十四日

右落手直ニ帰宅、定例之通取斗候

一支配村々停止觸出ス

同十五日 半晴

一月並出礼無之旨、地役廻状到来

一朝四ツ時過

御城入、御機嫌伺御三手申置

御目付者留守、昼前帰宅

同十六日 曇小雨

一九ツ半時過出宅、坂本江參ル、設楽も

罷越寛話、酒飯被振舞、夜五ツ時過

帰宅

土産ニ更紗服紗一、加賀落雁一箱

贈ル

一千種有功江頼置候扇染筆出来

贈候哥之返し桜之哥来ル、又染物

書画自分江贈越ス

同十七日 朝雨晴

一朝五ツ時過谷町濱乗船、堤方

廻村、懸兩人連ル

神崎川

○中嶋新田 ○西嶋新田

○北西嶋 ○南西嶋

○嶋屋新田 ○恩貴嶋新田

右当未春、定例御普請出来栄

見分相済、七ツ時過帰宅

同十八日 晴夕曇

一朝五ツ時過谷丁濱乗船、堤方

廻村、如左昨日

中津川

○六軒屋 ○西野新田

○野田村 ○南新田

○木屋新田 會所ニ而弁当

○湊屋新田○福嶋

右前同断、出来栄見分済

○八軒屋御普請所見廻、田坂源左衛門・

同心共詰合逢○長崎帰支配勘定

石川貞之丞方江立寄逢、七ツ時過帰宅

一左藤寛斎方使、羊羹壹箱

到来

同十九日 曇小雨

一平野屋新兵衛不納金之内

納方致ス

一甲斐庄江文通、来ル廿二日招候義

申遣ス、返書来ル

一石川貞之丞江書通、羊羹一箱・

團扇贈ル

一八ツ時過水野江参ル、磯矢頼母ニ

逢、平新不納金之儀申談候上、水野ニも

逢、同様申談ス、夕方帰宅

同廿日 半晴

一設楽・坂本江文通、廿二日可参旨申遣

返書来ル

一 江戸御用状到来

○ おたの沓封

○ 采石の龍太郎江沓封

ノ

一 与八郎、東川方江罷越、南長柄水除

之義談来ル

一本庄安藝守殿家来伴李太夫

平馬罷越、初而逢遣ス

同廿一日 晴

一金公事申渡有之

一 甲斐庄江文通、明日招候義申遣、返書来ル

一 真佐木利右衛門方江治平太遣し

嵐山紀行返ス

一朝田中新五兵衛人来逢

同廿二日 晴

一 博奕過愈牢女共、出牢申渡

一朝甲斐庄喜右衛門入来、増地歛申置

申置

一 昼九ツ半時比の甲斐庄入来、八ツ時過の

設楽・坂本入来、一同寛話、夕刻

酒飯出ス、銘々土産之品到来、甲氏者

夜五ツ時過、両氏者四ツ時比帰ル

同廿三日 曇

一 中井修治来、並河復一今日出席

可致處、又不快之由の而断申越ス

同廿四日 雨

一 雨天ニ付、難波納渡延引

同廿五日 曇折々雨

一金公事申渡有之

一 水野江文通、手製酢遣ス、移到来

一 尼又分文通、御城代神崎川巡見

来ル廿七日延引、来月朔日之積

同日延候ハ、同月五日之積、申来ル

同廿六日 曇晴又漸雨

一朝五ツ時過出宅、難波御蔵出役

納渡有之、比留間兵三郎・永田

傳左衛門・与力其外罷出ル、九ツ時過

退散○永井能登守江立寄、用人ニ

申置、成瀬又太郎・大竹次郎助

御用ニ付罷越居逢、八ツ時比帰宅

一成瀬江文通、煮肴并有馬山椒

遣ス、返事来ル

一 甲斐庄分文通、詩哥差越受取

遣置候よし

一 増田雄右衛門分増地欲肴贈り

茂久左衛門持参之よし

同廿七日 曇漸雨烈風

一 江戸御用状到来

○高橋平作内状壹封

○福田・青山各壹封

メ

一金公事申渡有之

一 夕方高橋全三郎入来逢、五ツ時比

帰ル

一 甲斐庄江昨日之返書遣ス

同廿八日 曇雨

一朝五ツ半時過出宅、保助老人召連

堤方廻村、寮屋川通徳庵堤

上置并欠所繕共、河州茨田郡

今津村外三ヶ村立會場所、(出来卷)見分濟

今津村ニ而弁当、上置場所手直し

之儀、村役人共江心得方申諭ス、今津

村分船ニ而帰途、谷丁濱分上陸、九ツ

半時比帰宅

一夕刻田中新五兵衛入来、酒振舞

夜五ツ時比帰ル

同廿九日 雨夕方雷雨

一坂本分文通、桃到来、及返書

右相済、四ツ時過帰宅

一定例之通今日堤方年番、設楽ニ引渡

廻船方年番、同人分受取渡相済、堤方

御證文式通、与八郎ニ為持差遣、受取書

差越ス

一淀川出水、天満水丈

辰上刻 六尺

辰下刻 六尺五寸

巳下刻 七尺

右ニ付、神崎川江森田善作、中津川江

森田鑓三郎為水防遣ス

戌中刻 七尺五寸届出ル

六月朔日 雨夕止

一朝六ツ半時比

御城入、伊賀守殿・越中守殿御逢

有之、京橋者普請中ニ付申置

○近山藤四郎申聞候者、兼而及引合候

納札引分之儀、今般御勘定所懸合

相済、差納者居置、納札斗ニ而引分

之積取極候間、其心得を以取斗候様

別段不申越候旨申聞候間、承知之旨答置

設楽ニも同様申聞ル

同二日 晴

一鑓三郎・善作減水ニ付、川々分引取

撰州鳴尾村

仁吉

右手鎖村預差免、帰村申付ル

一金公事申渡有之

一番外六日限御用状出ス

○高橋平作江沓封、過日之返書

并風聞書写沓冊とも遣ス

○勝安兵衛江沓封

✕

同三日 晴

一播州二子村平三郎外沓人、古銀

押隠候一件、永并能登守江差出ス

一安食分小児宮参之赤飯到来

及返書、移經節遣ス

一夜三人並河復一人来、論語講

父子聴聞

一佐藤寛斎江連吉遣し

同四日 晴

一藤方彦市郎、昨夜西宮泊ニ而

着坂ニ付、嶋林梶三郎十三迄

遣、着坂いたし候由、四ッ時過罷帰申聞ル

一未七番御用状出ス

○おたの江沓封

○杉浦大二郎分采石江之沓封

✕

一未拾貳番御用状来ル

○漣平分手元江沓封

✕

一八ッ時過近藤左衛門入来逢

○木津川口大浚立會之儀ニ付

内談申来ル、夫々及挨拶置、明日

是分可申遣旨談遣ス

一藤方彦市郎入来逢、暫く談話

七ッ時比帰ル

一右入来已前、手代口上ニ而土産物

品々相贈ル

同五日 曇昼後折々過雨

一 播州川尻村徳二郎外八拾三人

博奕一件、口上申付、直ニ重敲御仕置

申渡

一 丹後守殿江時候見舞、家老共江

文通ニ而有馬籠花活一・山椒一壺

相贈ル、返書来ル

一 御城代神崎川巡見ニ付、江口村江

岡田寛一郎、堤方与八郎遣ス

一 木津川口大浚達方之儀ニ付、西

奉行所江茂久左衛門遣し、近藤

左衛門江夫々為及引合ル

一金公事申渡有之

一 九ツ半時過出宅、八軒屋濱御普請所

見廻、荻野勘左衛門・大須賀元輔・

同心共詰合逢○藤方彦市郎旅宿

大坂屋定次郎宅江相越逢、設楽

落合、安食・土屋も相越逢、土産

品々遣ス、且おみち江之壹封届方頼

七ツ半時比帰宅

一 宮部孫八郎妻義、今晚出産

男子出生之旨届出ル

同六日 晴

一 藤方彦市郎今朝出立ニ付、為見立

梶三郎遣ス

一 播州高篠村^{新田}国三郎外九拾四人博奕

一件、口書申付、重敲御仕置申渡

一 大竹次郎助・渡辺三十郎江文通、兼而

頼有之、安倍野狐〱書写一枚

山椒壺遣ス、返書差越ス

一 水野江文通、かち染之義申遣、服紗

一ツ為見ニ遣ス

一 町奉行今木津川口臨時大浚

伺済之旨申来、及返書

一 近藤左衛門今茂久左衛門江文通ニ而

同七日 曇昼後晴

一播州太郎太夫村庄兵衛外七拾

三人博奕一件、口書申付、重敲

御仕置申渡

一金公事申渡有之

一昼後出宅、増地歎并懸替吹聴

罷越候与力江相越○荻野勘左衛門

○中嶋豹三郎 ○近藤左衛門

○大須賀元助 ○小川甚五右衛門

○天草江罷越候留役増田作右衛門

三橋豊之進江罷越逢、書役

三人申置、夕刻帰宅

同八日 半晴

一水野分文通有之、返書跡分遣候積為申遣ル

一播州加東郡蜷子野新田新キ

新田名目之儀申渡

同九日 曇辰九刻土用

一播州青野原新田久右衛門外八人

博奕一件、口書取之、重敲御仕置

申付ル

一播州河崎村弁次郎、兄重之助与

口論之上、同人疵受候一件、口書申付ル

一甲斐庄喜右衛門入来申置

一柴田日向守分文通、半切挟一到来

及返書、移有馬細工烟草入一・土瓶敷一

遣ス

一水野江昨日之返書遣ス

一千種有功江返哥并金五百疋

遣ス、孫八郎江渡ス

一渡辺三十郎江文通、暑氣見舞

今日小弥太到来之菓子遣ス、返書来ル

同十日 半晴

一朝六ツ半時過宅、暑中見舞如左

御城内三手・番頭式軒・加番四軒

申置○水野若狭守○坂本留守

○丸橋金之助 妻三逢

御普請役式軒

○池田留守、孫三逢○設楽逢

○永井能登守○成七又太郎

○石町會所ニ而着替、野服ニ成ル

○八軒屋御普請所見廻、豹三郎・

左衛門・同心共詰合逢、四ツ半時比帰宅

○設楽入来、留守江通候よし

○坂本入来逢、昼飯振舞

○近藤六蔵罷越逢遣ス

紋付盃一・刀懸一ツ遣ス

○暑氣見舞、来客有之

同十一日 朝曇晴

一御用状到来

○おたの・おるち合両封

ノ

一川表水引落、明日合内川浚始

町奉行合申来ル

一大竹次郎助江文通、暑氣見舞

奈良漬・菓子遣、返書来ル

一比留間合文通、奈良漬到来、及返書

一嘉言合使、短冊・菓子到来

同十二日 晴

一嘉言江治平太遣し、暑氣見舞

醤油一樽遣ス

一成瀬又太郎江文通、暑氣見舞

菓子一折遣ス

同十三日 晴

一摂州天王寺村文吉外拾七人博奕

一件、落着申渡、重敲御仕置申付ル

一成七合昨日之返書来ル

一 甲斐庄江文通、暑中見舞（巻）麵一箱・

短冊廿枚遣ス、受取

一 西井（分）使、菓子到来、及返書

一 夕刻田中新五兵衛入来、酒振舞

五ツ時過帰ル

同十四日 晴

一 甲斐庄（分）使、菓子道明寺到来、及

返書移遣ス

一 兵庫津岡方名主正直屋弥右衛門

名主役承、町奉行被申付候旨、届出ニ付

先格之通逢遣ス

鳴林与八郎

右之もの勝手ニ付出府相願、来月

上旬出立いたし度旨、願書差出候所存寄

有之、右願者聞濟、今日（分）十日之間出立

可致旨、潤八郎・茂久左衛門江申渡

鈴木尚太郎

右堤方懸申渡

一 右之趣達書設樂遣し、自書をも

遣ス、返書来ル

一 杉浦（分）使、ミの部（分）之書状、設樂之分共

差越、受取遣ス

同十五日 晴

一朝六ツ半時谷丁濱（分）乗船、川浚

見廻、堂嶋川筋（分）川口番所

前東堀浚所見廻○悪水路―

御普請所見廻、東堀土砂取場

今橋石垣（堤）築立、取懸罷在候場所

并八軒屋（堀）續石堤之場所見廻、与力

勘左衛門・元助、同心共一同逢、四ツ半時過

帰宅、右序甲斐庄喜右衛門・友山

勝次・酒井圓五郎・尼崎藏屋敷

暑氣見舞申置

一 大竹次郎助（分）文通、素麵到来

同十六日 晴夜月明清光

一 嘉祥ニ付、役所休日

一 水野若狭守江文通、暑氣見舞

菓子一折・短冊七拾枚遣ス

一 永井能登守江同断、菓子一折遣ス

返書・密柑漬一壺到来

一米倉家老江文通、右密柑漬暑氣

見廻として遣ス、返書差越ス

一 設楽分文通、酢壺重到来、及返書

一 水野分文通、暑氣尋向蒲鋒并

水吞其外到来、及返書

一 比留間江使、菓子一折遣ス、返書来ル

一 当月 日出 御用状到来

○ 自分義、当月七日被為

召、拝領物被 仰付候段、伊勢守殿

被仰渡、金式枚被下置候旨申来

右御品も到来致ス

未六月六日、伊勢守殿友阿弥を以御渡

御勘定奉行江

御代官

築山茂左衛門

右明七日四時

御城江罷出候様可被申渡候

御代官

竹垣三右衛門

明日右之刻限

御城江名代可被差出候

六月六日

右

御殿ニおゐて、自分共名代御勘定小野

仙藏江土佐守殿被仰渡候由、組頭兩人分

築山江申来、同人分留守役所江相遣、翌七日

自分名代岩田鉄三郎罷出ル、如左

御代官

竹垣三右衛門

御廻米御取締之儀、格別骨折候ニ付

拝領物被 仰付候段、阿伊勢守殿被仰渡

大岡主膳正殿待座、金式枚拝領

御勘定奉行——殿差添被罷出

○築山茂左衛門并御勘定愛知竹七郎・

吉田半左衛門・高橋平作も同様被仰渡

同席ニ而、同御品柄拝領致ス

一右御用便到着ニ付、廻勤之儀、明日御日柄ニも有之

一同見合、明日到着、(明後日廻勤)之積ニ致ス

一右之趣設楽江内々申遣ス、返書来ル

一並河復一入来、論語夜講、父子聴聞

同十七日 晴月明

一河州大枝村年番弥四郎義、身持不宜

尔付、逐々吟味之上、他参留申付置候處

改心いたし、宥免願出候ニ付差免、親類・

村役人江も、取締方申渡遣ス

一鈴木尚太郎、堺奉行江出役いたし候ニ付

右序日向守江暑氣見舞、玉椿

一折・有馬茶盆一枚遣ス

同十八日 晴朝少し過雨

一今般拝領物被 仰付候、廻勤明六ッ半時比

御城入、如左

○松平伊賀守殿 ○米倉丹後守殿

○米津越中守殿 ○御目付

右仕来之通御礼与唱申置

○坂本鉦之助通逢 ○西井源次郎

○池田庄太夫通逢 ○設楽通留守

○安食善之丞 ○近山藤四郎

○比留間兵三郎 ○水品権十郎

○永井能登守 ○成七又太郎

○水野若狭守

右相済、四ッ時過帰宅

一拝領物被 仰付候祝義、役所一同其外共

受ル、且遣物如左

金百疋ツ、 役所拾四人

吉田孫三郎
侍 兩人

金貳朱ツ、
足輕 兩人

銀壹兩ツ、
中間七人

銀七枚
宮部孫八郎

是懸御用骨折候ニ付遣ス

銀壹枚
森田慎平

廻船御用達

銀壹枚ツ、
苦屋久兵衛

廣嶋屋平四郎

網屋勘左衛門

嘉納屋治作

是者平四郎・勘左衛門江申渡遣ス

廻船改方

大坂屋新左衛門

大和屋万次郎

嘉納屋弥兵衛

大和屋嘉左衛門

是者新左衛門江申渡遣ス

金五疋
廻船御用達

下代共

惣代

平八

治兵衛

右夫々逢候上遣ス

一江戸表江御用状出ス、六日限便

○築山茂左衛門
○愛知竹七郎

○吉田半左衛門
○高橋平作

○岩田鋏三郎
○小野仙蔵

右壹封ツ、遣ス

○江戸役所之もの江祝義如左

金三百疋ツ、
元ノ加判
三人

銀貳枚
桑山主助

金百疋ツ、
平六人

金貳朱ツ、
小遣三人

同十九日 半晴暫時過雨

一比留間兵三郎、飲入来申置

一同人江文通、増地歛挨拶、鯉節

壹箱遣ス、返書来ル

一池田江文通、同断、鳥子餅・小倉野・

切手十口壹枚・蒲鋒遣ス、返書来ル

一西井江暑氣見舞遣ス、返書来ル

一真佐木利右衛門江鯉節一筥遣ス

同廿日 半晴昼後遠雷夕雨

一河州茨田郡三ツ嶋村外六ヶ村役人

呼出、当月廿五日都筑金三郎江

引渡候段申渡

一甲斐庄江文通、及返書

一水品権十郎歛ニ来ル

同廿一日 晴

一明六ッ時過谷丁濱江乗船、川浚見廻

安治川口浚所見廻ル、与力・同心共逢

○帰帆懸甲斐庄并友山・酒井江

拝領物吹聴申置

○八軒屋御普請所見廻、勘左衛門・

元助・同心共逢、石堤築立追々出来

四ッ時過帰宅

一設楽・坂本・山本江暑氣見舞遣ス

返書来ル

一金公事申渡有之

同廿二日 曇少シッ、雨涼氣

一水野江文通、増地歛挨拶、更紗

一反遣ス

一甲斐庄江文通、同断、鯉節一箱

遣ス

一設楽文通、同断并龍太郎元服歛

挨拶、鳥子餅代大手饅頭・切手十口七枚・

赤飯老重・鯉節一箱遣ス、返書来ル

一坂本江同断、饅頭・切手五枚・鯉節

一箱・赤飯耆重遣ス、返書来ル

一 同人昼前入来逢

一 庭前松根ニ生立候灵芝五ツ、今日

昼時採之

一 近山・星野拜領物歛入来申置

同廿三日 晴

一 河州茨田郡三ツ寫村外六ヶ村、来ル

廿五日為引渡、都筑金三郎方江山口

瀬左衛門差遣、今夜船ニ而出立

○金三郎江自書・琥珀糖一箱遣ス

一 並河復一入来、夜分論語講聽聞

五ツ時過歸ル

同廿四日 晴

一 朝五ツ時過出宅、暑氣見舞并挨拶

如左相越

○尼崎又右衛門

○荻野勘左衛門

○朝岡助之丞

○磯矢頼母

○中嶋豹三郎

○近藤左衛門

○松井与五右衛門

○小川甚五右衛門

○吉田覚之丞

○大須賀元助

○内山彦次郎

右相仕廻、杉浦江立寄逢、同道出宅

○八軒屋御普請所見廻、同心共詰合

逢、石堤築立、天神橋下根通石取懸

四ツ半時比帰宅

一 豊田藤之進、御留守居番被 仰付候歛

書状并更紗一反・小更紗二差送、右序

久須美先生江之耆封頼遣、家来宛

ニ而十日限之積、飛脚屋江渡ス

一 甲斐庄今文通、明日設楽同伴

之儀申越、受取為遣置ル

一 設楽江文通、返書来ル

去ル廿一日地役廻状ニ而廻ル、御城代

御書取

御城御修復式度目ヶ所之内

追手口冠木御門、御修復取懸り候ニ付、明廿二日夕御修復懸諸職人人足并追手一手之外、他之通行差留候、此段申達候

六月

同廿五日 朝晴昼後曇時々雨

一天満祭ニ付休日

一河州茨田郡三ツ嶋村外六ヶ村ニ付都築金三郎江郷村引渡候ニ付

朝五ツ半時過

御城入、(御届書)如左出ス

○御城代 飯塚権左衛門

○京橋 今倉熊藏

○玉造 小原作左衛門

○御目付兩人共取次

右相濟、昼前帰宅

一昼九ツ半時比出宅、甲斐庄江相越

逢、坂本父子・設樂も逐々来ル

妻悴ニ初而逢、夕刻分物見江参り

天満まつり見物、船数艘出、人群集

夜五ツ時比神輿渡御、御旅所江入

輿暫く通、帰船をも拜ス、酒飯等出

馳走ニ成、夜四ツ半時比一同退散、九ツ時過

帰宅

一留守江水野分使、拜領物歛祝哥并

火籠一到来

同廿六日 曇

一摂州味泥村重兵衛悴重右衛門

行状不宜ニ付、吟味之上入牢申付ル

一山口瀬左衛門、今朝大津分帰宅

一甲斐庄分文通、堂上短冊三枚・砂糖

一袋到来

一江戸御用状到来

○おたの・おみち分之書状来ル

一米倉分暑中見舞、家老共分

文通ニ而アンヘラ式枚到来、及返書

一水野江昨日之返書・籠德利一遣ス

一都筑出役、渡辺石郎来、逢遣ス

同廿七日 曇風

一役所半引

一甲斐庄江昨日之返書遣、妻子供へ

可遣もの品々遣ス

一金公事申渡有之

一播州福里村新兵衛外忝人博奕

一件、口書取之、重敲申付、御仕置

相済

一御用状八日限ニ而出ス

同廿八日 晴

一生玉祭礼ニ付、役所休日

一池田江文通、麦遣ス、返書移来ル

同廿九日 半晴少し過雨

一朝五ツ半時過出宅

○今倉熊蔵○川上猛次郎

右暑氣見舞、挨拶申置

○星野市郎兵衛

右拝領物歛挨拶申置

○八軒屋御普請所見廻、石堤

惣躰取懸、与力勘左衛門・元助、其外

同心共詰合逢、四ツ半時比帰宅

一京都市人式部参り、逢遣ス、夜分招

筒硯到来

一坂本分文通、拝領物歛酒式升・交看来

受取為遣ル

一嶋林与八郎出府、今朝出立

同晦日 晴

一住吉祭礼ニ付、八軒屋普請休日

一龍太郎、設楽江参ル、玉造稻荷

祭ニ付呼連候也

七月朔日 晴昼後曇

一朝六ツ半時

御城入、逐手・玉造出札有之、京橋

申置、四ツ時比帰宅

○杉浦江美濃部書状、島田江

石川書状、届方頼ム

同二日 曇涼氣時々雨遠雷

一金公事申渡有之

一安食善之丞来逢

同三日 曇夕雨遠雷

一昼後久貝因幡守方江相越、初而

逢談話、筒硯・紫ふくさ二贈ル

芭蕉布一養カ到来、七ツ時比帰宅

一夕刻設楽手附西田信一郎入来

逢度旨申聞逢、去月廿四日設楽

伯母濱田病死、近日表向届出候ニ付

振合問合有之、貸遣ス

同四日 晴

一江戸江御用状出ス

○道中方御貸附取斗伺、設楽

連名もの差立ル

一夕田中新五兵衛入来逢、夜五ツ時比

帰ル

同五日 晴

一金公事申渡有之

一久貝因幡守方使、自書并染筆・

扇式本差越、菓子一折贈ル、及

返書短冊送ル

一江戸へ御用状到来

○おろちの壱封

○小林藤之助壱封

ノ

同六日 晴

一朝六ツ半時過

御城入、設楽叔母御右筆頭濱田義

病死忌服届書、如左出ス

御城代 鈴木定右衛門

京橋 川上猛次郎

玉造 渡辺金四郎

斎藤左源太取次 波皮井周助

加藤修理取次 森 禎作

右相濟、五ツ半時比帰宅

一右之趣設楽江為申達ル

同七日 晴

一朝六ツ半時七夕出礼

御城入、逐手・玉造御逢有之

京橋番頭・加番例之通申置

五ツ半時過帰宅

一七夕祝儀、来人有之

一役所礼、帰宅後受ル

同八日 半晴少し過雨

一撰州味泥村重右衛門差免、出牢申付ル

一設楽江朦中見廻、菓子遣ス、返書来ル

同九日 晴

一朝五ツ時出宅、難波御蔵立會出役

仮役須田五郎兵衛納渡米有之、手代

鳴林梶三郎、九ツ時過退散○永井江

相越、古助ニ逢申置○悪水路御普請

所見廻、天神橋上下石堤築立

勘左衛門・元助詰合逢、八ツ時比帰宅

同十日 半晴少し過雨

一高橋平作之老封、為替便ニ而
到来

同十一日 晴

一朝薩摩屋仁兵衛入来逢、兼而
及内談置候博勞町毛馬屋
彦太郎改方之儀、差支無之旨
申聞ル

一水野之文通、永井能登守叔父御使番
揖斐文右衛門父隠居病死、今十一日忌
懸之旨申越、及返書

同十二日 朝曇晴昼後雨

一朝六ツ半時谷丁濱乗船、川浚見廻
堂嶋川之堀江川東横堀
見廻○永井能登守江悔ニ罷越
用人ニ逢申置○悪水路御普請所

見廻、豹三郎・覚助ニ逢○水野江

相越逢、毛馬屋彦太郎身元

糺之儀、設楽連名之書取持參

申談、九ツ時比帰宅

一久貝因幡守江文通、吉野真景

一幅貸、葛菓子一箱贈ル

昨十一日之落

一江戸江御用状差立ル

○小林藤之助江返書老封

メ

一坂本奎三郎、夕刻来逢、五ツ過帰ル

同十三日 曇折々雨

一役所半引

一靈祀如家例

同十四日 昨夜中ノ雨烈風終日

昼比合鎮ル

一 設楽、今日忌明ニ而入来逢、昼飯
振舞

同十五日 時々雨風

一天満橋定杭樋屋市次郎届

卯上刻 六尺

同中刻 六尺五寸

辰上刻 七尺

右ニ付、神崎川江岡田銃助、中津川江

石井益太郎、為水防遣ス

辰中刻 七尺五寸

一 岡田寛一郎、長屋遣候段申渡

同十六日 半晴

一 役所休日

一 久貝因幡守ノ使、吉野懸物返し

菓子一折到来、及返書

一 銃助・益太郎、水防合帰ル、川々無別条

同十七日 晴

一 木津川口大濠ニ相用候船も今夕改

今日合野田新家^(マ)ニゐて取懸、出役遣ス

同十八日 晴夜過雨

一 川路左衛門尉江書状、姫路鞆革一

相贈ル、芳野屋善二郎江為差立ル

同十九日 半晴

一 昼後淀川御普請所見廻、天神橋

上下石垣築立、勘左衛門・元助・同心共

詰合逢、出役尚太郎○

御城入いたし、久貝因幡守方江参逢

暫く談話、夕飯被振舞、寓居

哥話二冊貸ス、納戸改本田景之助ニ逢

夕七ツ時過帰宅

一須田五郎兵衛入来逢、昼飯振舞遣ス

同廿日 曇時々雷雨氣

一昼前設楽入来逢

一昼後出宅○池田庄太夫方江罷越

同人不快ニ付見廻逢、手製味噌遣ス

○坂本江參逢、炮術印条一冊

返ス、夕七ツ半時過帰ル

一同人分使、花并唐茄子到来、及

返書

一中山昇三郎悴今日病死届出ル

同廿一日 晴

一御用状到来

○おたの・おるち分巻封

一設楽分文通、先般拝領物歛肴

到来、及返書

一成瀬又太郎江文通、煮肴遣ス、受取来ル

同廿二日 二百十日時々雷雨氣

風静

一須田五郎兵衛分使、鰻差越、返書移品遣ス

同廿三日 雨折々止

一岡部金一郎入来逢、昼飯振舞

一久貝因州江文通、近衛殿懷箋一幅

求女塚碑銘貸遣ス、受取

一荻野勘左衛門入来逢、悪水路御普請所

内談有之

同廿四日 晴夕曇小雨又晴

一朝五ツ時過難波御蔵出役、出役

梶三郎・奉行兵三郎・五郎兵衛

水戸殿御取替米渡、式千六拾俵

其余渡納共有之、水戸殿勘定

組頭之由磯野源四郎初而逢、右

下役躰之もの、千田川七兵衛与申もの

出ル、是者相撲頭取ニ而家来分之由

九ツ半時過帰宅

一天満橋水丈、辰中刻六尺届出ス

同廿五日 晴

一金公事申渡有之

一池田江不快見舞、★江文通ニ而

手製梅か香遣ス、返書来ル

同廿六日

一無記事

一西井源次郎入来逢

同廿九日

一無記事

同晦日 半晴

一朝六ツ半時谷丁濱乗船、川浚見廻相越

尻無川浚所見廻、与力服部雄五郎

詰合逢、出役鎗三郎○八軒屋御普請所

見廻、近藤左衛門・同心共詰合逢、九ツ時比

帰宅

同廿七日

一金公事申渡有之

一夕刻坂本入来談話、夜四ツ時過

帰ル

廿三

從弘化四年丁未

正月至七月

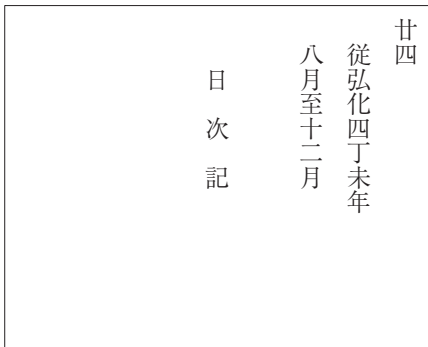
同廿八日

廿四

從弘化四丁未年

八月至十二月

日次記



八月朔日 半晴

一自分少々不快ニ付

御城入不致候

一家例之通祝儀相済、役所一統礼受ル

一郡中一同礼受、昼迄ニ相済

一夜ニ入杉浦大二郎入来逢、醬油代

持参受取置、酒振舞遣ス

同二日 曇風夜雨

一西丸御普請之節、上金いたし候もの江

御褒美銀五百三拾枚、支配所一鉢之もの江

夫々申渡銀相渡、忝人立候もの共書付一通ツ、

下遣ス

一水野江文通、飾馬^巻染一反出来遣ス、受取

来ル

一堤廻船方共御用状出ス

昨朔日之落

一米倉用人ハ破損奉行江之切紙ニ而

御修復中出札断之處出来、八朔ハ

礼受有之旨申越候段、地役一同江一紙

設楽ハ写来ル

同三日 雨風

一播州高田井村丈助、差免出牢申渡

一森田善作義、実母松平越中守家来

森田勝悦方ニ罷在、病氣ニ付立帰

出府いたし度旨相願、承届ル

一 網屋勘左衛門江築山・池田伺済受取過

返納年割納之儀申渡

一 善作義、今夕夜船ニ而江戸江出立致ス

一 摂州八部郡駒ヶ林村市兵衛義

同郡西須磨村外七ヶ村惣代申付

袴着用上訴差免ス

同四日 晴

一 高橋平作着いたし候由ニ付、山口瀬左衛門

遣ス、逢挨拶申来ル

但、今朝着之よし之處、矢張昨夕

着いたし候由

一 須田五郎兵衛江文通、築山・奈山江之

壱封、右着歓帯地壱筋ツ、書状添遣ス

一 岡部金十郎江文通、おみち江之

壱封板メ入、安藤江之壱封届方

頼遣ス

右兩人江更紗ふくさ一・扇五本ツ、

遣ス、返書来ル

一 昼後高橋平作入来逢

○ 上金御褒美被下方之一条

○ 羽州米大坂納振替之一条

○ 二条納之一条

右談判

一 川表増水内川浚止メ候事、町奉行

申来、及返書

一 水の今文通、かち染ふくさ単二對

到来、染料共宜差越ス、受取為遣ル

一夕刻出宅○石川周蔵申置

○ 高橋平作逢、五ツ時比帰宅

同五日 曇

一金公事申渡有之

一 高橋平作今朝出立ニ付、見立候もの遣ス

一 久貝家来本多三千之助江文通、可參

程合問合申遣、夕刻返書、明日八ッ時

宜旨申来ル

一 昼後出宅、御金仮役岡部金十郎・

三田彦三郎、御藏仮役永田傳左衛門・

須田五郎兵衛江暇乞申置○池田江立寄

逢、七ッ時過帰宅

一 岡部金十郎・三田彦三郎来、暇乞申置

播州宍粟郡須賀村

庄屋

傳四郎

右上下遣ス

同六日 曇

一 久貝家来本多三千之助江文通、久貝江

学校朱子墨刻・南都墨一箱

相贈、三千之助姉御使番梅可枝江

大平糖一折、お喜久ハ遣候積、届方頼遣ス

返書差越ス

一 昼後出宅、八軒屋御普請所見廻、与力

豹三郎・同心共・尚太郎詰合逢、石堤

根石者今日迄ニ而出来○樋屋由兵衛方ニ而

着替いたし

御城入、堀出雲守江（暇乞）申置○山木数馬江

相越逢、菓子一折・草文入遣ス○八ッ時過

久貝因幡守方江暇乞相越、明日出立之旨

仙臺平袴一具呉ル、自分花五十首点を頼

江府ハ差越候約束、坂本江御筒様之義

内話之義申聞ル、八ッ半時過退散○途中

尼崎又右衛門逢、久貝同五十首之本貸ス

○水野江立寄不快不逢、七ッ時過帰宅

一 松平伊賀守殿医師上坂便之よし

久須美六郎左衛門より之壺封、塩屋与兵衛

持参入手

一 地役廻状写（設楽ハ差越、石川良左衛門跡役小林半右衛門

被 仰付候旨達来ル

一 石川良左衛門義御書物奉行、右跡小林

半右衛門被 仰付候旨、島田鉄太郎・水品
権十郎ハ一紙廻ル

同七日 晴

一金公事申渡有之

一庭前之萩盛ニ付、設楽・坂本相招

八ッ半時過ハ兩人共參寛話、酒飯振舞

兩人ハ土産品相贈ル○坂本江久貝之

傳言申通、夜九ッ時過一同退散

一設楽ハ御城代廻状写來ル

爰許御三奉行

一木津川口大湊、五合船五拾艘・小船

三百艘を以、明後九日ハ湊取懸候旨

兩町奉行切紙を以申越、及返書

同八日 雨

一江戸表江御用状出ス

○石川新助江文通、西丸上金御褒美

銀之儀申遣

○塚越藤助江文通、御加増歎申遣

同九日 曇

一昼後出宅○水野若狭守方江相越

面會、悪水路御普請、下手今橋より水分

杭之儀、及内談○右御普請所見廻、勘左衛門并

左衛門代ハ甚五右衛門逢、同心共も逢○成セ

又太郎江相越逢、明日可參旨約ス、五郎太右

之儀頼受ル○星野一郎兵衛旅宿ニ立寄逢

七ッ半時過帰宅

一田中新五兵衛參り居逢、酒振舞

五ッ時比歸ル

一久貝家來宮田官藏、今日出立之處

為暇乞來申置候よし

一木津川口大湊、今日ハ取懸、日々懸手代出ス

同十日 曇

一 播州俵田村市兵衛外拾六人博奕

一件、口書申付ル

一夕七ツ時比成瀬又太郎入来、庭之

萩一見為致、酒飯振舞、夜五ツ半時比

帰ル、土産煎茶到来

京橋口大御門御修復所、当五月中

懸候ニ付、他之通行差支無之旨

相達置候処、此節御場所取懸

候間右申置、以前之通他之通行

差留候、此段相達候

八月

同十一日 雨

一 播州俵田村市兵衛外拾六人博奕

一件、重敲御仕置申付ル

一 当未役所諸御用懸一同江申渡

一 廻船方御用始致ス、御用達改方

御備船取締役呼出、取締申渡

畢而一同江酒肴振舞遣ス、都而

無滞相濟

一定例之通江戸江御用状出ス

一 破損奉行一紙廻、御城代（今日御渡）御書取

写、設楽分来ル

同十二日 曇

一 昼後出宅○水路御普請所見廻

天神橋上下石堤築立、豹三郎・甚五右衛門・

同心共詰合逢○永井能登守江罷越

松下古助ニ逢申置、成瀬・大井調物江

罷越居逢○御金御蔵方仮役四軒

着歎申置、七ツ時比帰宅

一 設楽分文通、饅頭到来

同十三日 半晴

一朝四ツ時比

御城入、三手・御目付珍重廻、番頭

式軒・加番四軒

御城入歎申置、九ツ時前帰宅

一 水野若狭守被為

召、^四、五六日之支度ニ而出府之儀、永井

能登守^六設楽連名文通来、及返書

一 同人^八内文通、金談之義申越

一 仮役四人罷越申置

一 設楽江昨日之及返書○池田孫ニ文通

祖父見廻品物遣ス、返書来ル

同十四日 晴

一 自分齒痛ニ而折々臥ル

一 設楽江文通、明日出札断申遣、返書来

一 水野江文通、懸屋之事并金談一条

申遣、返書来ル

一夕刻坂本李三郎入来逢

同十五日 晴月明四ツ時式分月蝕

四分半九ツ時九分終ル

一 自分齒痛同様

一 水野^八呼ニ差越、茂久左衛門差越候處

磯矢頼母談ニ而、平新一件急入用之分

当月中納方いたし、殘金者平野屋

孫兵衛引受、弁納差滞之節^者本家

平野屋五兵衛相納候積取極ニ付、寄有無

承候^尔付、右ニ而存寄無之旨申聞候由も申聞ル

一 坂本^八文通、菜飯到来、及返書

一 成瀬江文通、月見之團子・汁壺重遣ス

一 八幡祭ニ付、役所休日

同十六日 晴月明

一 水野江文通、錢別烟草一箱・砂糖漬

一箱遣ス、留守受取

一 七ツ時比水野江罷越逢、暇乞申述ル

設楽罷越一同退散、夕刻帰宅

一自分齒痛少し快方

一播州美囊郡・加東・加西郡田畑免上

吟味与して潤八郎差遣、今朝出立

同十七日 晴

一明六ッ半時谷丁濱乗船、木津川大渡

場所見廻、近藤左衛門・同心共兩人詰合

逢○淀川悪水路御普請所見廻

豹三郎・同心共詰合逢、石垣大跡出来致ス

八ッ半時比帰宅

一水野若狭守、朝六ッ半時前出立相濟候由

永井能登守ノ設楽連名ニ而為知来ル

同十八日 晴

一金公事申渡有之

一川表増水引落候ニ付、明十九日ノ

川浚相始候旨、永井能登守ノ申越

及返書

一甲斐庄江文通、千種壞帟一枚・

短尺一枚遣入、返書金百疋差越、直ニ孫八郎江

相渡

一薩州船難船一件口書申付ル

一御用状来

○おたの・おろち式封

○三岡兵助壹封

メ

同十九日 晴

一摂州今津常太郎船沈船一件

口書申付ル

一左藤寛齋ノ連吉江文通、返書（為）及候

同廿日 晴

一無記事

同廿一日 雨昼後曇

一 雨天ニ付、川浚・水抜御普請共休

一 播州太郎太夫村鹿之助不行跡之始末

吟味中手鎖宿預申付ル

一 御城代医師浅井宗寿呼ニ遣

夕刻入来、初而逢

同廿二日 曇

一 廻船方御用状出ス

一 右便地方御用状も出ス

○ 築山江過日之返書轉役之義

申遣ス

○ 久須美六郎左衛門江壹封短尺

○ おたの江壹封、お喜久兮之文

○ 小林半右衛門歛状

○ 石川良左衛門歛状

ノ

一 潤八郎帰坂、夜分逢

一 融通御貸附、去ル寅年分利銀之内

銀式拾貫目相納候ニ付、鴻池屋善右衛門

外拾人代罷出、能登守与力近藤保太郎・

同心本間小馬作・鈴木丁懸山下五四郎

罷越、一同為立會、自分共連印之受取

下遣候段申渡、組之もの共江も逢、例之通

取斗相濟、七ツ時比一同退散

一 千種江懷昏頼、孫八郎江申付為差立ル

同廿三日 晴夕過雨

一 暮六ツ半時比並河復一入来、夜講

聽聞、五ツ半時過帰ル

同廿四日 晴

一 明六ツ半時谷丁濱兮乗船、川浚見廻

上丁場浚所見廻、豹三郎・同心ニ逢

○ 水路御普請所見廻、元助・豹三郎・

同心ニ逢、石堤大躰出来、紀州屋敷前

石橋ニ取懸ル、昼前能登守見廻有之由

○池田江罷越逢、粟飴遣ス、先快方

今日分全く起居候よし○坂本江

相越逢、供取為致昼飯被振舞、夕

七ツ時比帰宅

一大坂屋貞二郎、従大津埴坂、藤方

彦市郎、廿日大津泊ニ而同人分

書状壺封、并久須美六郎左衛門分壺封

玄岱巻物一卷、おろち分_ニ之紙包壺封

相渡候よしニ而差出ス

同廿五日 曇夜雨

一撰州御影御備船壺艘・大坂廻船

壺艘難船、吟味之上船宿預申付ル

一杉浦大二郎分文通、柿到来、及返書

一麦遣ス、醬油受取為遣ル

同廿六日 半晴

一八ツ時出宅、京橋江罷越逢有之、暫時

談話、家老共并佐藤寛齋逢、金

談有之、酒飯被振舞、菓子一折并

手遊等子息江相贈ル、夕七ツ半時過退散帰宅

同廿七日 晴

一朝新倉与右衛門方江連吉遣し、昼後

可参旨申遣ス

一昼後与右衛門罷越、従京橋肩衣地一

鞆紐・干鮎被相贈、与右衛門ニ逢、金談有之

潤八郎・茂久左衛門為逢、夕刻帰ル

一金公事申渡有之

同廿八日 半晴

一伊達藤太郎分初而文通、哥状并

記文硯二相贈、兵庫詰田井源兵衛分

相届候よし

一御影直乘新藏船難船一件、口書申付

例之通申渡

同廿九日 晴

一朝設楽入来逢、岡崎不用船之一条

始末及演舌

一大坂和泉屋利兵衛船米吉乗破船

一件、口書申付ル

一竹尾清右衛門手代齋藤徳藏、摂州御影

米五郎船差出、受取申渡

一右難船之始末及吟味、一同宿預申付ル

一御城代々廻状到来

徳川昌丸殿病氣之處、養生

不被相叶、去廿日逝去絶言語候

公方様 右大将様御機嫌被為替候

御儀無之旨被仰下候、此段申達候、以上

八月廿九日 松伊賀守

御代官・御藏奉行仮役宛

一右承付いたし、定例之通取斗

一御城代公用人々剪紙ニ而呼出来、四ツ半時比

御城入、御城代江出ル、用人飯塚

権左衛門江右書付御渡受取、九ツ時過帰宅

徳川昌丸殿病氣之處、養生

不被相叶、去廿日逝去付、諸事

穩便ニいたし、普請者今廿九日迄

来月三日迄、鳴物者同六日迄停止

候付、火之元入念候様可被致候

八月廿九日

一右御藏方江廻達、設楽江写遣ス

一支配所一体江停止觸出ス

九月朔日 晴

一朝五ツ時過

御城入、徳川昌丸殿逝去ニ付御機嫌

伺、三手并両御目付申置○増寫

濤太郎・山本槐之助、何れも留守ニ付

申置、四ッ時過帰宅

同二日 晴

一当地拾三番御用状出ス

一明日夕川浚相始候旨、永井能登守夕

申越、及返書

一夜杉浦大二郎入来逢

一坂本江文通、花月草記一冊返し

長水画頼遣ス

同三日 晴

一明六ッ半時谷丁濱乗船、堤方廻村

懸兩人連ル○神崎川通佃村

○大和田村○西川村○出来嶋新田

○百嶋新田○西洲新田○北西嶋

右来春定例堤方御普請所川除

塚樋見分、目論見致し、暮六ッ時

帰宅

同四日 曇夕漸雨

一朝五ッ時比谷丁濱乗船、堤方廻村

懸兩人連ル

神崎川

○南西島

正蓮寺川

○嶋屋○恩貴嶋○秀野

中津川

○四貫嶋○野田

○春日出○西野

右塚樋川除目論見致し、夕

七ッ半時過帰宅

一江戸御用状来ル

○漣平夕手元江老封

○諸入用手形

メ

同五日 雨

一 雨天ニ付、堤方廻村延引

一 京橋家来入来、茂久左衛門江為及引合

金談之儀申聞ル

一 慎平帰便設楽江文通、検見出立

届之儀、申遣ス

同六日 半晴

一朝設楽入来逢、堤方諸色受負人

貸下金之儀、相談有之

一朝四ツ時比谷丁濱乗船堤方廻村

懸兩人連ル

淀川通

○南新田○代地場○湊屋

○石田

尻無川

○市岡新田

右川除樋見分目論見、長堀川

帰帆○悪水路御普請所見廻、同心共逢

七ツ時比帰宅、保助江今朝之挨拶申遣ス

一 池田江文通、不快見舞、煮豆遣ス

返書来ル

一 浅井宗寿入来逢

同七日 晴

一朝五ツ時出宅、天王寺村為検見

罷越、田方坪刈相済、村内會所ニ而

弁当後春法、八ツ時過帰宅

手代潤八郎・清二郎・齋助・鎗三郎

召連ル

同八日 半晴

一 無記事

同九日 昨夜夕雨朝収曇

一朝六ツ半時過

御城入、重陽出札、伊賀守殿・越中守殿

逢有之、丹後守殿者不快斷、加番々頭
祝義申置、御目付兩人着坂歛申置
四ツ時過帰宅

一家札相濟、祝義致ス

一役所一同礼受

一手代共家内八朔之礼断候ニ付、今日拜
礼ニ出ル

同十日 晴昨夜雨

一明六ツ半時谷丁濱乗船、木津川口

大浚見廻、出役銃助・与力工藤左之助・

同心共詰合逢、冲手壹番浚所をも

見廻、西横堀分上陸○悪水路御普

請所見廻、八ツ時過帰宅

一坂本分文通、留守受取遣候由

一明後日播州出立ニ付、先觸出ス

同十一日 曇小雨

一播州太郎太夫村長左衛門出牢、鹿之助
手鎖宿〔重〕差免、一同村預申付ル
一昼後

御城入、明十二日出立届

○御城代 飯塚権左衛門

○京橋 川上猛次郎

○玉造 小原作左衛門

○御目付兩人取次

右三手届書相直候廉之儀断置、夕

七ツ時過帰宅

一伴奎太夫入来逢、鰻到来、仁右衛門江沙汰

之儀頼、承知之旨及挨拶

一堺奉行柴田日向守、水野若狭守跡大坂

町奉行被 仰付、御城代被仰渡相濟候段

御城代廻状到来

一右之趣日向守分爲知、能登守分吹聴

申越、及返書

同十二日 晴折々曇過雨

一明六ツ時過為檢見出立、手代林茂久左衛門・

六嶋清二郎・中沢惠八郎・森田

鎗三郎、侍栗田連吉・中田力、足輕

茂助、中間三人召連ル○神崎

○昆陽○小濱弁当、此時九ツ半時比也

○道場河原江夕七ツ半時過着、本陣

花屋義三郎宅泊○有馬郡

村々増米吟味、其外取調ル○潤八郎

茂久左衛門江書状差越、古山善一郎

西国郡代被 仰付候段、飛脚屋申出候旨

申来ル○右飛脚帰便宅状遣ス

連吉分治平太江向為差遣ル

同十三日 曇少し過雨

一正六ツ時道場出立○竹原

○天神弁当○三草○西脇

○羽山七ツ時過着、直ニ檢見、夕

七ツ半時過庄屋善兵衛宅江着泊

春法致ス○夜ニ入村々呼出、諸増米

取調之儀申渡○山口瀬左衛門、宍粟郡

村々檢地見分、其外相済泊江相越逢

同十四日 半晴少し過雨

一朝六ツ半時過羽山出立○安田

川欠場所見分申立、不相当ニ付

及沙汰、取調直し可申立旨申渡

○間子○森本檢見○安坂

同断○茂利安坂准郷○中村町

檢見弁当、春法出郷無甲斐ニ付

出立懸上毛一坪刈、春法致ス

○奥中中村町准郷○鍛冶屋

檢見春法○高岸皮多・岸上

田野口・東山皮多・牧野新町

糀屋・天田、已上六ヶ村者鍛冶屋准郷

○安楽田町檢見、同村春法○門前

安楽田町准郷○夕七ツ時過安田楽

百姓——宅江泊着

一昨十三日夕出宅状飛脚便ニ而到来

平安之旨安意

同十五日 晴

一朝五ツ時比安楽田出立○西脇

検見、川欠場所見分○寺内耕地

及見、西脇准郷、寺内ニ而春法

越知作畑・福田新田、為手分山口

瀬左衛門差遣○奥荒田検見、的場

忠兵衛宅ニ而春法、小休○多田

耕地及見、奥荒田准郷、弁当

○豊部検見、西山・山口・丹治、内見不相当之

調方いたし候ニ付、及沙汰○観音寺

検見、同村山手耕地をも及見

夕七ツ時過豊部百姓左右衛門宅江

着泊、春法

同十六日 曇朝小雨、夕夕晴月明

一山口瀬左衛門、越知村外両村手分別様

相濟、昨夜中当村江相越候ニ付、今朝

春法いたす○的場村庄屋為次

増米之儀ニ付、心得違之申立いたし

不埒ニ付及察度、重々相詫候ニ付差免

○豊部朝四ツ時過出立○天船・坂本

検見、弁当○赤坂・門田両村者坂本

准郷願承届ル○下三草検見、春法

七ツ半時過着泊○下三草庄屋重太夫

村内取締宜、検見内見心付等正路ニ付

為褒美金三百疋差遣候段申渡、書下遣ス

同十七日 晴昼後曇小雨

一明六ツ時過下三草出立○青野原

新田検見、同村宮地ニ而春法

五郎兵衛受者准郷願出承届ル、九ツ時過

同村出立○小野通行、一柳土佐守

屋敷前江例之通使者出、及言訳

○太郎太夫村江夕七ツ時過着、近藤

仁右衛門宅江泊、仁右衛門父子逢○入湯

いたす、夜八ツ時比寝ル

同十八日 半晴

一朝五ツ時過太郎太夫村出立○国包

姫路領継場○加子新田同領

此所迄加古郡人足出迎継立

○昼九ツ半時過加古郡下西二見

庄屋久治宅江着、昼食○当郡

東二見・上下西二見・二子・福里検見

何れも耕地續又入會ニ付、右五村

打込検見ニいたし、七ツ時過相濟

久治宅江泊、春法いたす、当郡者

出来方も宜○着懸途中御用状到来

宅状も来一覽、平安之旨安意

○夕刻海岸網引之聲聞候ニ付

手代共其外連一覽ニ參ル、漁船ニ乘

半丁斗參、生船一覽、鯛・蛸舟ニ入

海中江浮ケ有之、東二見海岸ニ而

網引一覽、小魚品々漁獵有之、黄昏

泊江帰ル

同十九日 晴

一曉七ツ時過下西二見出立○明石五ツ時比

通行○須磨三ノ谷々一ノ谷迄之間

海岸御林新開場、大繩場所見分

反別取調ル○兵庫八ツ半時過着、直ニ

検見、川東水車場ニ而春法、夕

七ツ半時過本陣江着泊○名主惣代共

一同逢○兔原・八部郡惣代共呼出、諸

増米之儀申論○廻船方懸兩人、今日

返候よし逢○廣嶋屋平四郎・嘉納屋

弥兵衛逢○村々諸増米取調ル

○舞子茶屋ニ而休息、陶器を買

松下小松を採ル○垂水村往還

出帆

嘉政丸甚十郎

式丁斗登り山頂

出帆

嘉通丸弥十郎

仲哀天皇之陵拝覧○兵庫

出帆

威徳丸増太郎

春法濟、楠寺江參、宝物一覽

住勢丸栄太郎

○孫八郎便宅状到来、平安々意

浮亀丸権之助

千種之贈物き七綿一覽

東明

太神丸力蔵

清風丸作蔵

春日丸善蔵

四社丸弥八

同廿日 折々時雨

一朝四ッ時過本陣出立、兵庫津

天神前并湊川流末東河崎

当秋御高入場所檢地相濟、濱先

廻船方乗船、是令地方懸之もの共者

泊江遣し、廻船方懸兩人召連ル

御用達平四郎・取締役弥兵衛罷出ル

兵庫津湊ニおゐて廻船改、左之通

御影

嘉祥丸弥太夫

松吉丸権太郎

神吉丸権十郎

富貴丸永太郎

神明丸富十郎

金恵丸為十郎

御影

明宝丸徳太郎

定宮丸徳太郎

神戸

名宝丸半老郎

大石

喜徳丸徳太郎

御影

加吉丸権次郎

利吉丸権九郎

メ拾八艘

右相済、磯之町濱の上陸、夕七ツ時過

本陣江帰ル

一八部・免原郡村々諸増米吟味いたす

一夜五ツ時過船頭共呼出、御條目讀

聞ル

一廻船方之もの共明朝帰候ニ付、夫々逢

孫八郎江者宅状老封・（千種詠草）蒲鉾七

船頭重兵衛江舞子焼一包渡遣ス

一今朝網屋新九郎呼逢、好短冊懸一

遣ス

同廿一日 晴

一朝六ツ半時過兵庫出立○神戸ニ而休

早廻御廻米之儀為取調、村役人共江取締

申渡下、灘村々ニ而千石、花熊組村々ニ而

四百五拾石、来月十日兵庫積立之積

受書取之○脇濱・岩屋検見、味泥ニ而

春法○横屋検見○魚崎・住吉川

海口検地相済、同村百姓政五郎方ニ而

昼食○西宮夕七ツ時過着、直ニ検見

七ツ半時比本陣江着泊、春法致ス

○東明村處女塚小山田高家之

碑一覽○住吉村百姓辰三郎

差出初囲蔵出来、見分受度旨

申立候ニ付、立寄及見

同廿二日 快晴

一朝町濱役人共一同逢○五ツ時比本陣

出立、戎宮江参詣、直ニ出立○尼崎

○神崎弁当○八ツ半時過帰宅

いたし候由、懸申聞ル

同廿三日 曇折々雨

同廿五日 半晴

一留守中、町奉行衆川浚拂證文差越有之

一下瀨村無宿甚兵衛、敲御仕置

今日調印及返書、差返ス

申渡

一龍太郎、坂本江稽古ニ参候序、同人江之

一久宝寺町無宿梅吉、入牢申付ル

返書、甲斐庄江之沓封届付頼遣ス

一夜分孫八郎京都分帰、逢

一杉浦分久須美江之沓封頼来、受取為遣ル

一池田孫江文通、不快見舞菓子遣ス

一坂本江龍太郎幸便、土産漁之魚・柿遣ス

返書来ル

庭之菊花数種到来

一岡田寛一郎妻初而参逢、袖沓反

相贈候ニ付、帯地遣ス

同廿四日 晴

同廿六日 晴

一森田善勇^{マモ}作昨夜着いたし、岡田

寛一郎妻も着之よし、おみち分

一朝六ツ半時過出宅、東成郡検見

★文庫入届物持参いたす

潤八郎・瀬左衛門・清二郎・斎助・鎗三郎

一中野又兵衛、堺奉行被

召連ル○木野○中道検見

仰付候段、飛脚届出ル

森村庄屋嘉右衛門宅ニ而春法○森

一悪水路普請石堤、今日ニ而皆出来

○鳴野検見、同村庄屋九兵衛宅

ニ而春法、八ッ半時過相濟○田中
新五兵衛宅江相廻逢、黄昏帰宅

同廿七日 晴

一朝六ッ半時過出宅、東成郡天王寺村
畑方為検見相越、潤八郎外四人召連ル
坪刈相濟、會所ニ而春、九ッ半時比引拂
○坂本江立寄逢、七ッ時過帰宅

同廿八日 晴

一朝六ッ半時過出宅、西成郡検見
懸五人召連ル○北野○下三番
○光立寺検見、同村源助宅ニ而
春法、弁当○南濱検見、同村
春法、八ッ半時比場所引拂○悪水路
御普請所見廻、荻野勘左衛門其外
同心共詰合逢、石堤不残出来様通
杭打柱立方取懸居候○成瀬江

罷越逢、夕七ッ半時過帰宅

同廿九日 曇昼後雨

一廻船御用達平四郎・勘左衛門呼出
佐州地船雇并越前地船雇
として、下代共早々出立可差遣旨、及
沙汰遣ス
一設楽妻不快ニ付、奥令使遣し見舞

同晦日

一清水領播州加東郡杜村百姓
吉太郎疵受候一件、疵所見届
吟味下承届ル
一堺奉行中野又兵衛被 仰付候旨、御城代令
廻状到来、御蔵奉行江順達

十月朔日 晴

一廻船方御用状差立ル

一右序地方番外御用状出ス

○中野又兵衛江壹封

ノ

一藤方彦市郎江之壹封出ス

一昼後柴田日向守方江相越逢

御役替并着坂歛申述ル

一成瀬江文通、桜板并大河竹遣ス

同二日 晴

一坂本江昨日之返書、尼又江五日ニ

可参旨申遣ス

同三日 晴

一柴田出向目（守）門前通初藏巡見ニ付

定例之通家来出ス、連吉

同四日 雨

一浅井宗寿入来逢、酒飯振舞遣ス

一久須美順三郎江之壹封、佐藤清作宛

連吉上封ニ而遣ス、八日限便飛脚江

渡差立ル、杉浦壹封も届ル

同五日 半晴

一池田江病氣見舞、治平太使ニ而手製にしめ

遣ス

一八ッ時過出宅、将棊嶋御普請所見廻○尼崎

又右衛門方江兼役ニ付参ル、西井源二郎・坂本

鉦之助参り居、一同會話、庭前之菊一覽

香川一郎も参り逢、夜ニ入蕎麦并卷

飯馳走ニ成ル、土産物遣し、次男江画

頼墨相贈ル、夜四ッ時過帰宅

一江戸御用状来、廻船方御用状も来ル

同六日 快晴

一朝六ツ半時出宅、河州茨田郡為檢見

相越、懸潤八郎外四人連ル、守口本陣ニ而

小休〇八番村・七番村檢見、八番村

庄屋宅ニ而弁当後春法、九ツ半時過

場所引拂、八番村の乗船帰帆、備前嶋

渡し場の上陸〇池田庄太夫方江病氣

見廻りして罷越逢、暫く物語いたす

病躰不宜、夕七ツ半時過帰宅

同七日 曇昼後分雨

一久貝因幡守の飛脚便ニ而書状到来

詠草壺冊差越ス

同八日 半晴

一無記事

同九日 半晴

一朝四ツ時比

御城入、昨八日帰着之積、届書出ス

〇御城代 飯塚権左衛門

〇京 橋 茂呂多門

〇玉 造 小原作左衛門

〇御目付兩人共留守

右出ス、御城代ニ而両町奉行ニ逢

〇増喜壽太郎方ニ立寄逢、昼

九ツ時過帰宅

一御城代の廻状到来

先月廿三日

御即位、首尾好被 遂行之旨

從酒井若狭守注進之趣、及

上聞候処、御喜悦被

思召候旨被 仰下、恐悦之御事候

此段申達候、以上

十月九日 松伊賀守

御代官御藏奉行宛

右定例之通取斗

一 当未江戸御廻米壹番船、為積立
兵庫津江岡田寛一郎差遣、今朝
出立

同十日 晴

一 東成郡南平野町庄屋見習丈之助
本役願之通申付、親伊^{右衛門}兵衛^門役義
差免ス

同十一日 晴

一 昼後出宅、尉斗^號目麻^ニ而
御城入、三手江

御即位恐悦申置、九ツ半時過帰宅

一 設楽江文通、先般拜領物被

仰付候内祝、鳥子餅一重・鯉節

一 箱相贈ル、返書来ル

一 坂本江右同様贈ル、龍太郎稽古

帰之節、口上^ニ而挨拶申越ス

一 兵庫津壹番船、御廻米積立相濟
昨夜出帆いたし候由^ニ而、寛一郎
夜^ニ入帰坂逢

同十二日 晴

一 撰州下新庄村清八、同村吉兵衛江
為疵負候一件、吟味之上清八者入牢
同人親作左衛門者手鎖宿預申付ル

一 撰州西須磨村鉄拐山御林之内、新
開御高人伺書、繪圖相添、御取箇

組頭江文通共壹封、為替組江頼

差立ル

一 池田病氣見舞、孫亀太郎江文通

葛饅頭遣ス、返書来ル

一 夕刻田中新五兵衛入来逢、浅井宗寿

参り合、一同酒飯振舞、夜^ニ入帰ル

同十三日 曇

一 播州有賀村飯免状、同郡芥木村

庄屋江渡遣ス

一 設楽入来逢、昼飯振舞遣ス

一 真佐木利右衛門・塩屋与兵衛江使遣シ

利右衛門江鳥子餅・鯉節老箱、与兵衛江

鳥子餅・金百疋遣ス

文通慎平江渡ス

一 明十五日・十六日、堺七堂領ニおゐて坂本

町打有之、龍太郎昼後々參、止宿致ス

同十五日 晴昼後曇

一 明六ツ時過谷丁濱々乗船、木津川

海口大濠場所見廻、出役梶三郎

与力近藤左衛門逢、同心共兩人詰合

及挨拶、新(町)橋々上陸○御普請役

登八郎・榎本良藏着歛

申置○吟味方青山金左衛門・御勘定

竹尾^{吉十}金四郎同断申置、八ツ半時比帰宅

一 留守江御城代々呼出来、設楽江廻シ

同人罷出候處、用人 等を以左之通

書付御渡之由、写来ル

女院御違例之處、御養生

不被為叶、一昨十三日戌上刻

崩御之旨、從酒井若狭守申越ス

同十四日 曇

一 渡辺三十郎入来逢、来ル十八日夜

船三而出立、帰府いたし候暇乞ニ参り候也

一 廻船方御用状出ス、右幸便地方御用状も

出ス○おゐち江金子入壱封、竹尾清右衛門江

壱封共出ス

一 浅井宗寿入来逢

一 塩屋与兵衛、明十五日出府いたし

候よしニ而参候ニ付逢、久貝因幡守江之

壱封届方頼遣ス、錢別帯地壱ツ遣ス

一 明日出札断之義、設楽江申遣ス

依之今十五日夕十七日迄鳴物停止、普請者

不苦候

十月十五日

一江戸御用状廻船方共到来

○播州河崎村百姓弁次郎

遠嶋御仕置、牧野駿河守殿

御印状来ル

○青山録平之紙包・書状紙・烟草入

到来

同十六日 晴昼後曇

一明六ツ時過谷丁濱之乗船、廻船見分

慎平壱人連ル、御用達勘左衛門

右見分、設楽壱番船直ニ御廻米積立ル

八ツ（半）時過帰帆、天神橋上之陸○今般

帰府いたし候御普請役

同代佐藤祥藏江暇乞申置、夕

七ツ時過帰宅

一堺（町）打鳴物停止ニ付相止メ、来ル十八日ニ

相延候旨ニ而、龍太郎今朝堺引拂

昼後帰宅

一甲斐庄家来之文通ニ而、鳴尾半六

船之義ニ而懸合来、廻船方懸之為及

挨拶候

一青山金左衛門江岩田岩三郎之壱封柴

相届候處、内藤茂之助之紙包

差越、（海野）短冊・手拭三差越ス

同十七日 晴

一甲斐庄之昨日之返書来ル

一米倉家来新倉与右衛門外壱人之

文通、菓子一折到来、受取遣ス

一夕刻出宅、大竹次郎助・渡辺三十郎

明夜船ニ而出立いたし候間、為暇乞

罷越ス、何れも逢、餞別として品物遣ス

夜ニ入帰宅

一坂本堺町打、明十八日曉出立罷越候ニ付
龍太郎一宿之積ニ而、夜ニ入罷越ス

同十八日 晴

一大竹次郎助江内藤茂之助江之沓封
届方頼遣ス、内酒切手式枚・娘江遣し物品ニ入
一同人ノ文通、美濃紙五帖到来、及返書
移手拭ニ遣ス

一渡辺三十郎江（関ノ之）沓封頼遣ス、内大津絵・
猪口三入

一甲斐庄江平六船一件ニ付、懸合為及文通ル
一坂本方堺町打、今朝夕迄ニ相濟候よし
五ツ時過龍太郎帰宅

同十九日 晴

一甲斐庄ノ昨日之返書来ル

一

同廿日 曇夜雨

一池田ノ文通、庄太夫義久々病氣之處
昨夜亥ノ下刻大病相成候旨、為知来ル
一夕刻治平太池田江遣し、孫

龜太郎ニ逢、悔為申述ル

一藤方手代飯塚周蔵、銀納候ニ付出坂
いたし候由、罷越申置

一内藤茂之助ノ沓封、金式分入為替合届

同廿一日 曇雨

一高橋平作、西国代検見相濟、昨夜

西宮泊ニ而今昼後着ニ付、中山昇三郎遣

石川新助外式人ノ書状届ル

一夕刻同人入来逢、小倉木綿沓反到来

夜ニ入帰ル

一浅井宗寿入来逢

一池田庄太夫今夜内葬ニ付、為見立治平太

遣し、六ツ半時過帰宅

同廿二日 朝晴昼後曇

一 設楽入來逢、甲斐庄一条及相談

一旦帰又入來、夕方帰ル

一 昼後出宅、将基嶋初藏江相越、西

与力小川甚五右衛門・大須賀元輔、東与力

中嶋豹三郎、同心共罷出居、并惣年寄共も

罷在一同逢、無程柴田日向守相越

永并能登守者外御用有之不相越、与力

荻野勘左衛門者当病ニ付不罷出、日向守

同道、将基嶋堤伏越樋之邊迄見分

自分者船ニ而八軒屋船場江渡、日向守者

松ノ下今京橋筋相越、八軒屋樋先今

石堤通、紀州藏屋敷前今京橋往還

筋葎屋橋上ニ而水行落口見分、右ニ而

出來栄見分相濟、日向守并組之者共江

為挨拶、八ッ半時比帰宅

一 甲斐庄懸合一条ニ付、林茂久左衛門・

森田慎平、坂本江相越

同廿三日 曇

一 早朝星野市郎兵衛・田中新五兵衛

入來逢、星野今者内藤酒代金式両壹分

入手

一 御普請役見習石川周藏入來逢

一 昼後出宅、撰河州悪水路御普請

御用濟、御届書為差出方

御城如左出ス

追手 飯塚権左衛門

京橋 水村一馬

玉造 関 轍

御目付兩人共留主

右差出、八ッ半時比退出○高橋平作方江

為暇乞相越逢、餞別之品遣ス

御勘定方逐々罷越逢、夕刻新五兵衛同道

六ッ半時比帰宅

廿二日之分

一 撰州石屋村佐右衛門伴佐五郎、身持

不宜、其上両親江不孝ニ付、吟味之上
入牢申付ル

いたし候由ニ付、為船改孫八郎・真平
今朝遣ス、自分可罷越處、外御用
差湊候ニ付、懸斗遣ス

同廿四日 曇夜雨

一千種有功の贈物、如左到来

一江戸表江御用状出ス

○冠纓懸・短冊懸、有功好

当未御取箇帳其外差立ル

御即位の詠哥短冊一葉懸有之

一高橋平作今朝出立、枚方宿泊

○菓子一折椿餅
羊羹

のよしニ付、右泊江向飛脚便を以

○自分祝哥懐帯一枚

脇坂御預所作柄内糺書老冊差立

○切箱書付哥共染筆

内藤茂之助江之金子入、書状頼遣ス

○家号案

一池田庄太夫初七日待夜ニ付、靈前江

是者此程頼置候分也

饅頭五十一折、治平太使ニ而遣ス

一夕刻坂本鉦之助来、今日甲斐庄江

同廿七日 晴

罷越候由云々申聞、当方存意之儀も申

一 播州宍粟郡

委細及談話、夜四ツ半時過歸ル

河崎村

百姓

同廿五日 雨昼後雷氣

遠嶋

弁次郎

一兵庫津江御備船舳艘入津

右之もの義、兄寅之助江為疵負候一件

落着御仕置申渡、兄寅之助者無構旨

申渡

一昼後出宅、池田庄太夫墓参いたす

谷町筋寺町西角長久寺中ニ

葬ル、花を備拜ス、法号如左

顯性院殿忠岳日光居士

年七十五

○池田江相越、亀太郎ニ逢○設楽

甲斐庄引合一条申談、昨夜坂本

罷越談話有之候由、夕飯被振舞

夜五ツ半時過帰宅

同廿七日 曇夕雨

一朝五ツ時比出宅○淡路町壺丁目

高田八左衛門旅宿江相越逢、嘉皿一枚
扇十本

相贈ル、大矢参り合初而逢○難波御藏

出役、仮役近藤勝五郎・与力同心共逢

自分初納、東成郡村々御米納相濟

先例之通御藏奉行四人江扉屋

饅頭五十入一折ツ、手代共惣躰江同百人

二折遣ス、四ツ半時過退散○坂本江

相越、柴田勘兵衛参り合居逢、家内一同

逢、一昨々日不越候挨拶申述ル、夕七ツ半時

過帰宅

一夜六ツ半時過、番場御普請小屋合

出火、暫時■小屋焼失、無程鎮火

一右ニ付諸向并支配所村々、近出火見舞

之もの罷越候事

同廿八日 晴風

一昼後出宅、昨日近火見舞挨拶

如左相越○松平伊賀守殿中屋敷

○銅坐話丸橋金之助・御普請役兩人

○柴田日向守、右申置

一町奉行令文通、柴田日向守来月

初月番いたし候由、定例之通申来

及返書

一 河州世木村役人申渡

同廿九日 陰晴又雨

一 朝星野并島田江文通、何れも返書来

一 浅井宗寿来逢、夜ニ入帰ル

同晦日 晴

一 昼後坂本入来逢、今日甲斐庄江

罷越、半六船一条相互ニ坂本を以懸合

文通相返、引合無之積ニ取斗、和談

いたし候積申談候由申聞ル、七ツ時比

帰ル

十一月朔日 快晴

一朝六ツ半時

御城入、三手出札、四ツ時過退散

○設楽江相越、昼飯○設楽同伴

坂本江相越、半六船一条ニ付、甲斐庄江

罷越候義及挨拶、孫八郎・慎平も

右為挨拶罷越、甲斐庄家来来状

坂本江相返候由、兩人江も逢、夕

七ツ時過帰宅

一 御城代廻状到来

島田鉄太郎事石川良左衛門代

此地御具足奉行兼帯被

仰付候、此段申達候、以上

十一月朔日 松 伊賀守

御代官御藏奉行宛

摂州武庫郡

今津村

百姓

太助

弥三郎

同州菟原郡

石屋村

茂左衛門代兼

新在家村

百姓

与左衛門

長右衛門

宗五郎

右西丸御普請之節、上金いたし候ニ付

銀三枚ツ、被下候段申渡、書下渡遣ス

同二日 晴

一朝六ツ半時谷丁濱乗船、廻船見分懸

兩人召連ル、安治川沖市中船

三艘・兵庫船壹艘・木津川沖廻

川内遠州懸須賀船壹艘見分、夕

七ツ半時過帰宅

一明三日木津川大湊所出来栄見分

之旨、町奉行分申来、及返書

一田中新五兵衛・坂本鉦之助参り居

逢、田中者先江帰ル、鉦之助甲斐庄分

返書為相見、懸合状三通返受取

五ツ半時比帰ル

同四日 朝曇雨

一朝六ツ半時谷丁濱分乗船、木津川

津守新田錢七前ニ而待合、五ツ半時過

町奉行兩人共船ニ而相越逢、大湊所

出来栄立會見分致ス、天氣合不宜ニ付

沖手之方者遠見之積、町奉行者

恩加寫新田會所江小休、自分者直ニ帰帆

道頓堀分西横堀大川通帰、昼

八ツ時過帰宅

一今朝設楽江文通、甲斐庄文通相廻

直ニ坂本江返候様申遣、返書来ル

一田中江文通、返書

大城桜御門渡(御)櫓・窓・戸・古板式枚差越ス

同四日 雨

一 撰州御影村忠助、返翰等閑之始末
吟味之上手鎖宿預申付ル

同五日 曇

一 今朝の劔術三十日詰稽古相始ル
一 西小弥太呼寄逢、秋稽古罷越候ニ付
半紙五帖・烟草入沓ツ遣ス

一 秋稽古皆出席いたし候もの八人江
褒美半紙三帖・筆沓對ツ、遣し

小弥太の銘々江為相渡候

一 今日の金公事取上、定例之日限濟等
申渡

一 真佐木江治平太遣し、頼候料紙者
及断相返し、自詠短冊二枚遣ス

一 坂本江廻船方懸兩人遣、此程取扱之
及挨拶、鯉節一箱相贈ル

是者翌六日朝參ル

同六日 半曇

一 江戸御用状六日限去月廿四日出到来

○おたの沓封其外

○初納割賦

メ

一 撰州下新庄村作左衛門悻清八、平兵衛悻
吉兵衛江為疵負候一件、内濟いたし願下
いたすニ付、願之通下遣、清八出牢、作左衛門
手鎖村預差免ス

同七日 晴風

一 朝五ツ時谷町濱の乗船、廻船見分
懸兩人召連ル、安治川内長州船

沓艘・木津川内御備船入沓艘
直ニ当未御城米極印も打渡

長堀帰帆、安堂寺橋詰の上陸

○石屋源右衛門方江立寄、石及見

○柴田日向守方江相越、悪水路

御普請御褒美之儀、奉行衆江申上

呉候及挨拶申置、七ッ時比掃宅

一金公事申渡有之

同八日 半晴

一江戸江八日限便御用状出ス

一設楽江文通、新左衛門忝人勤手当之儀

打合申遣、返書来ル

一大坂屋新左衛門、明日呼出為差遣ル

一都築手代渡辺三平呼出逢、初仮湊

差出候義申談、直ニ出ス

一青山金左衛門江文通、返書来ル

同九日 晴

一廻船改方大坂屋新左衛門義、去午年

已来忝人ニ而骨折相勤候ニ付、為手当

銀三枚遣ス、四ッ時呼出申渡

一江戸御用状到来

一播州大伏村芳兵衛外忝人、其外

私領引合博奕一件、吟味之上手鎖

宿預申付ル

一摂州鳴尾村五郎兵衛、身代限取渡

紛敷取斗いたし候一件、吟味之上

手鎖宿預申付ル

一同州南寺方村伊兵衛・利右衛門義

不届之取斗いたし、吟味之上入牢

申付ル

一水野若狭守之之忝封、柴田之届

同十日 雨

一森田善作実母病死届出ス

同十一日 半晴

一摂州御影村憲吉、不行跡ニ付吟味之上

他参留申付置候處、相慎行状

宣趣ニ付、他参行差免、心得方申諭

遣ス

一同村忠助義、返翰箱^等閑之始末吟味

差免、手鎖宿預差免ス

一本庄安藝守殿家来村瀬与三右衛門

大坂詰被申付候由ニ而相越、鮭壺尾被

相贈ル

一御城代御書取破損奉行^ハ廻、設樂^ハ

来ル

京橋口大御門御修復ニ付、御修復中

京橋一手之外通行差止候段、相達置候処

追々御修復出来ニ付、他之通行

差支無之候、此段心得与して相達候

十一月

一夕刻^ハ浅井宗寿入来逢、夜ニ入

帰ル

一件、口書申付ル

一夕刻田中新五兵衛入来逢、夜ニ入

帰ル

同十三日 半晴

一播州大伏村芳兵衛外拾人博奕

一件、重敲御仕置申付ル

一江戸御用状到来

一金公事申渡有之

一夕刻高橋壱三郎入来逢、夕飯振舞

夜ニ入帰ル

一小林半右衛門着坂、一紙島田^ハ廻ル

同十四日 曇

一織田安藝守領分和州柳本村

役人代吉兵衛外八人、御貸附

納方等閑ニ付、手鎖宿預申付ル

一明日川浚見廻候ニ付出札断之儀、真平

同十二日 晴

一播州大伏村芳兵衛外拾人博奕

を以設楽江断申遣ス

同断御改附添

同十五日 晴夜雨

松田光之丞

一朝六ツ半時出宅、谷丁濱乗船、川渡

柴田日向守同心同断

見廻、長堀上之口・堀江川上之口渡

福田鉄三郎

見廻、与力弓削卯八郎・同心詰合

設楽手代

逢、心齋橋の上陸○永井能登守

山下五四郎

申置、古助ニ逢○田中新五兵衛

惣年寄

在宿、今日者先比病氣快氣祝儀

薩磨屋仁兵衛

いたし候由ニ而、赤飯被振舞、昼

井吉三郎助

九ツ時比帰宅

右一同逢、鴻池屋善右衛門外拾人代江

一撰州石屋村佐五郎、病氣ニ付

申渡相濟、例之通夫々取斗、八ツ時比

出牢、村預申付ル

八ツ半時過相濟

一濱地代銀被下方ニ付、如左相越

一廻船御用達平四郎・勘左衛門呼出、当未

能登守与力

運賃申渡、別段手当之儀及口達

近藤保太郎

川口運賃 銀七百六拾五匁

同人同心

播磨大坂同断 銀貳百九拾五匁

本間小馬作

同十六日 晴

一 船廻し物イ印・ロ印・ハ印・ニ印

一 厩屋伊三郎方ノ船差越渡為遣ル

一 昼後西井源二郎入来、龍太郎元服

一 祝哥并鏢一枚贈ル、夕飯振舞

一 六ツ時比帰ル

同十七日 陰晴風

一 柴田日向守ノ設楽連名文通

一 御城御修復御用被 仰付候旨申越

一 及返書

同十八日 曇風

一 御定番廻状写、設楽ノ来ル

一 昨十六日午中刻松平伊賀守

一 妾腹之女子出生有之候、依之

一 来ル廿六日迄産穢ニ相成候、前後畧

十一月十七日

惣廻状

一 廻船方御用状出ス

同十九日 晴風

一 朝六ツ半時過谷丁濱乗船、廻船見分

一 懸兩人連ル、安治川沖市中船壹艘

一 見分、八ツ時過帰宅

一 田中江文通、鯉節十本遣ス、返書来ル

一 九州筋御用濟留役増田作右衛門・

一 三橋貫之助・書役磯益之進・

一 田中平助・同出役岩村登十郎、今日

一 着いたし候由也、入来留守申置

同廿日 半晴

一 九州筋御用濟留役増田作右衛門・三橋

一 貫之進旅宿江相越兩人共逢、菓子

一 一折ツ、遣ス○成瀬江立寄、留守ニ付

一 待合、夕刻帰逢、暮合帰宅

一 坂本江文通、江戸表ニ居候亡娘三十五日

待夜ニ付饅頭一折遣ス、返書来ル

一今朝廻船見分之積之處、不相廻延引

同廿一日 朝晴夕曇雨

一朝六ツ半時谷丁濱ハ乗船、廻船見分

安治川沖御備船三艘・市中船

一艘見分、御用達平四郎・改方新左衛門

罷出ル、兵庫積廻船江荷物式箇

積置申付ル、尻無川帰帆、七ツ時比

帰宅

一都築平蔵着坂ニ付、手代遣ス

一坂本ハ文通、亡娘三十五日ニ付餅

到来、及返書

一浅井宗壽人来逢、夜帰

一金公事申渡有之

一夜四ツ時過臥候處咳血有之、烏犀角

相用、無程収臥ル

同廿二日 曇

一池田庄太夫三十五日待夜ニ付、孫亀太郎江

文通、靈前（靈）ニ密柑遣ス、返書来ル

一浅井宗壽呼ニ遣シ夕刻来、自分

診察為致ル

同廿三日 半晴

一池田亀太郎ハ文通、庄太夫三十五日

尔付、饅頭到来

一浅井宗壽人来、煎薬申受、今日ハ

相服ス

一江戸御用状到来

同廿四日 半晴

一播州太郎太夫村長左衛門外（老）人、身持

不宜村預申付置候處、相詫ニ付差免ス

一浅井宗壽人来、診察為致ル

同廿五日 晴

一金公事申渡有之

一昼後

御城入、京橋江罷越玉造(御)藏納ニ付

中御門達之儀申立候書付、設楽連名之分

用人水村一馬江相渡ス、川上猛二郎ニ

逢候上、丹後殿被逢度旨ニ付通逢

金談之儀云々、暮合帰宅

同廿六日 半晴昼後大風

一朝六ッ半時谷丁濱乗船、堤方廻村丁張

懸兩人連ル

淀川通

○點野○仁和寺○七番

○八番

右川除場所見分相濟候處、大風ニ而

乗船難相成、八番庄屋利兵衛宅ニ而

支度いたし陸路歩行、暮合帰宅

同廿七日 曇

一朝六ッ半時過出宅、堤方廻村丁張懸兩人

連ル、川崎渡網鳥船場々乗船

淀川通

○三番 ○橋寺○三大道

○北十番○下嶋○荒生

○赤川 ○毛馬○南長柄

○川崎

右川除場所見分、夕七ッ半時過帰宅

一柴田日向守々文通、二ツ茶屋八郎右衛門

東明善左衛門、内聞申聞ル

同廿八日 晴

一朝五ッ時出宅、御城代江罷越、先般女子

出生之欲申置○御弓丁茶店ニ而着替

○大手筋ニ而青山金左衛門ニ逢○谷丁濱

乗船、廻船見分懸兩人連ル、安治川内ニ而

廻船合拾艘見分、例之通御用達平四郎

改方新左衛門罷出ル、夕七ツ時比帰宅

一柴田江昨日之返書、昨夜認メ置、今朝遣ス

一撰州北野村松之助、札元ニ而青物

賣買ニ付賭事いたし候一件、吟味中

同人手鎖宿預、利兵衛外五人村預

利右衛門外老入他參留申付ル

一江戸出火、尾張屋惣右衛門届

当月廿日午中刻藝州廣敷内

不残焼失、申中刻鎮火

一加藤弥左衛門着坂いたし候由相越、奉書袖

壹反・短冊贈ル、御用多ニ付逢断遣ス

同廿九日 半晴

一朝五ツ時出宅、難波御藏納渡為立合

相越、御藏奉行比留間兵三郎・猪飼

平三郎・与力同心共罷出ル、納渡米有之

御目付瀧川三郎四郎為見廻相越

逢、八ツ時過退散、七ツ時過帰宅

一留守江川上猛二郎相越候由

一松平下総守使者罷越、今般八ヶ村引渡

候ニ付、金五百疋・鱧節壹箱相贈ル

一設楽江文通、明日出役断申遣ス、返書

来ル

十二月朔日 曇 昼九ツ時二分小寒

一朝六ツ半時谷丁濱乗船、川浚見廻

東横堀・長堀・堀江川・木津川

上ノ口ニ而久藤左之助ニ逢、堂嶋川

八田伴右衛門ニ逢、右ニ而見廻相濟、福嶋

濱ニ而河州茨田郡村々御廻米、水揚

廻し見分、西橋場波南寺方等者

俵拵升目等も堅ニ付、村役人誉遣

八番村外三、四ヶ村不宜分者村役人共

明朝役所ニ呼出為遣ル、厩屋伊三郎

宅ニ而弁当、出役惠八郎・瀬左衛門者

召連ル、福嶋分歩行ニ而七ツ時比帰宅

一夕刻川上猛次郎入来逢、金談

一夜五ツ時比南瓦屋町出火、直ニ鎮ル

同二日 半晴

一朝本庄家々来伴左太夫・村瀬与三右衛門

入来、同人初而逢、安藝守殿分玉子

一籠被相贈候

一河州茨田郡八番村外三ヶ村役人呼出

御廻米之儀及沙汰

一朝五ツ半時過

御城入、御城代・両御定番・両番頭・

加番四軒、寒中申置○永井能登守

○柴田日向守同断○田中新五兵衛江

立寄、留守悴ニ逢、瓢代老貫百文渡ス

○成瀬又太郎申置、四ツ半時過帰宅

一比留間分文通、寒氣見舞、奈良漬

到来、及返書

一江戸江御用状出ス

○下野守殿○但馬守殿○右京亮殿

○紀伊守殿江寒中書状四封

○漣平江老封、同人并圭助・宗蔵江

酒老樽ツ、切手ニ而遣ス

○安藤江酒老樽切手ニ而遣ス

メ

同三日 晴

一大矢善九郎・青山金左衛門・竹尾

吉十郎・成瀬又太郎江寒氣見舞文通

玉椿一折ツ、遣ス、返書来ル

一田中新五兵衛家来立寄、一封渡遣ス

一西井江龍太郎元服祝哥贈物

挨拶、松魚節一箱・

禁裏御茶碗一・高家石摺一枚遣、返書来ル

一宗壽入来逢

- 一坂本鉸之助入來逢、昼飯振舞遣ス
- 一増田碓右衛門罷越候由、土産品到來
- 一杉浦久須美江之沓封差越、受取
- 一並河復一入來、夜論語講聽聞

同四日 晴

- 一永井能登守江文通、寒中見舞・羊毛織
- 一反送ル、返書茶壺到來
- 一柴田日向守同断、返書來ル
- 一昼後出宅、寒中如左○坂本ニ通逢
- 丸橋金之助・御普請役兩人申置
- 設楽・田中新五兵衛・坂本鉸之助
會話、夜五ツ時過帰宅

同五日 晴

- 一川上猛次郎今文通、丹後殿今寒氣見舞
- カステイラ一折到來、及返書、金談之儀申越
- 是又及返書

- 一同家江文通、寒氣見舞、柴田より
到來之肴折遣ス

- 一柴田日向守今文通、内祝鳥子餅并
寒氣見舞、肴折一・菓子一折到來
及返書

- 一甲斐庄喜右衛門江文通、寒氣見舞、菓子
一折遣、内事申遣、受取來ル

- 一並河復一江鱈節一箱、角倉傳二郎江

- 同品、西小弥太江玉子五十入一籠遣ス
侍使

同六日 半晴

- 一廻船見分有之、潤八郎遣ス
- 一甲斐庄今使、昨日之返書并移品
- 干菓子一折到來、及返書
- 一尼又今文通、二男画出來差越、御城代今
到來之よし蕎麥（麥）到來

同七日 半晴昼後曇小雨

一朝五ツ時谷丁濱乗船、廻船見分、孫八郎

沓人召連ル、御用達勘左衛門・改方新左衛門

罷出ル、安治川内他国船合七艘見分

八ツ半時比帰宅

一尼又江昨日之返書移密柑、二男江

玉椿一折遣し、画頼遣ス、他ニ頼之

画幅も遣ス

一孫八郎江申付、千種江之頼額面

絹地其外遣し、^(寫)縮緬一反贈ル

一宗壽入来逢

一金公事申渡有之

一撰州石屋村佐五郎、村預差免、心得方

及教諭遣ス

同八日 曇

一朝五ツ時前谷丁濱乗船、川浚

見廻、出役銚助天神橋下手

京町堀見廻、木津川筑前屋濱分

上陸〇一橋清水代官申置〇甲斐庄

罷通逢〇久兵衛下代平八宅ニ而弁当

〇兩本願寺寒中見舞申置、八ツ半時比

帰宅

一杉浦大二郎分文通、久須美順三郎江沓封

差越、且醬油代式分差越、四匁釣り遣ス

同九日 半晴

一江戸御用状来ル

〇おたの沓封

メ

一設楽分文通、寒氣見舞、菓子并

鮎昆布養^巻到来、及返書

一水品権十郎分文通同断、砂糖・

玉子到来、及返書写遣ス

一石屋源右衛門江治平太遣し、石積立

申付ル

同十日 晴昨夜烈風今日も風

一融通御貸附御定納候ニ付左之通

西与力

大須賀元助

同心

本馬小馬作

設楽手代

多久官藏

右人来一同逢、例之通菓子遣ス

○与力・同心・設楽手代為立合、左之通申渡

鴻池屋

善右衛門

外拾人

其方共上ケ銀拝借御貸附御益銀

去ル寅年分銀五拾五貫四拾九匁

卯年分之内銀七拾五貫目、当未年分之内

銀貳百七拾貫目、同年長濱屋次右衛門

年賦之分銀三貫五百八拾七匁四厘、相納候ニ付

請取、書下ケ遣

右申渡相濟、定例之通為取斗、一同八ツ半時比

為引取ル

一道中十日限便を以、豊田藤之進之

壺封到来、書状并刀懸一・懸物紬一

到来

同十一日 晴

一松平下総守家来小川藤兵衛罷越

今般領分渡被 仰付候播州村々、当未

米銀之分、当月中引渡有之度旨、願書

差出候ニ付、承知之旨為及挨拶候

下三番村無宿

政吉

右博突いたし候間、重敲御仕置申付、御仕置

相濟候上、門前拂申付ル

摂州北野村

次兵衛

外八人

右賭事ニ紛敷取斗いたし候一件

吟味一同心得違相弁、宥免相願候ニ付、取締

申渡一同差免ス

河州南寺方村

伊兵衛

利右衛門

其外之もの共

右取書銀一件、事柄相分候ニ付、伊兵衛外七人

出牢、其外之もの共一同差免ス

一處々寒氣見舞、文通ニ而如左遣ス

○設楽 菓子一折
シラス干シ

○水品 奈良漬一桶

○西井 玉子一籠 ○近山 砂糖一箱

右何れも返書、移到来

一夕田中新五兵衛入来逢、酒飯振舞

六ッ半時比帰ル

一廻船方御用状出し、地方御用状も差立ル

○おたの江金拾両差立ル

○河野御隠居、病氣ニ付見舞

菓子料金式分贈ル

○杉浦兄弟状(弐封)、久須美江届方申遣ス

ノ

同十二日 晴

一去午年諸人用残米、河内屋清右衛門江拂

代金今朝上納相済

同十三日 晴昼後曇

一煤拂ニ付、役所休日

一表斗煤拂、住居向者逐而之積

一廻船御用達網屋勘左衛門下代半助

呼出、瀬戸内別段手当之儀、申談遣ス

同十四日 晴昼前風

一朝六ッ半時谷丁濱乗船、懸兩人連ル

安治川三艘、内七艘淡路屋孝七船

船怪不宜列ル、木津川内壹艘見分改

相濟、西横堀分上陸○並河復市

寒氣見舞申置、夕七ツ時過帰宅

一昨日之延金公事申渡有之

同十五日 晴昼後曇

一朝六ツ半時出宅、門前龜屋木兵衛宅

中野石見守休處江相越、今暁七ツ時比

夜船ニ而着いたし候ニ付、歡与して

罷越候處取込之躰ニ付、用人杉山与一右衛門ニ

逢申置

御城入、伊賀守殿・越中守殿者逢有之

例之通出札、丹後守殿者不快ニ而断

一増嶋濤太郎方江設楽同道ニ而

寒氣見舞ニ参逢、四ツ半時比帰宅

同十六日 晴

一川路左衛門尉江壹封差立ル

一坂本妻入来、夜四ツ半時比帰ル

同十七日 曇夜月明

一昼後出宅○今藏熊藏・川上猛二郎

寒氣見舞、返札申置、猛二郎者手紙

壹封持参、取次江渡置○桜町刀鍛冶

畠山大和介宅江立寄逢、鏝注文致ス

○坂本江相越、甲斐庄一条并坂本

養子左三郎身分之儀及内談、自分存意

申遣ス、柴田勘兵衛参り居逢、夕刻設楽

罷越一同談話、夜四ツ時比帰宅

一町奉行令文通、明十八日川浚相止候旨、例之通

申越、及返書

同十八日 曇夕夕雨

一朝六ツ半時谷丁濱乗船、川浚見廻

一上丁場綿畑前浚場見廻ル、与力丹羽

源十郎・同心二保孫助詰居逢、川崎

渡場ヶ上陸、寒氣見舞返礼如左

○尼崎又右衛門○荻野勘左衛門

○中嶋豹三郎 ○内山彦次郎

○近藤左衛門 ○小川甚五右衛門

○磯矢頼母 ○大須賀元助

○朝岡助之丞 ○松井与五右衛門

右相仕廻、松屋町筋江廻り、石屋源左衛門方

石燈籠一見、九ッ時過帰宅

一江戸御用状来

一本庄安藝殿家来村瀬与三右衛門

相越、蔵屋敷講會之儀、安藝殿ヶ

頼候儀申聞、海苔一箱被相贈候、逢遣ス

一茂久左衛門方江昨夜川上猛二郎罷越候由

一大矢善九郎ヶ文通、玉子到来

一潤八郎、酒造改相濟、昨夜帰宅

一中野石見守江着歡、例之通干鯛

一折、森田鎗三郎遣し相贈ル、又自書

ニ而歡申遣、麻上下地一懸相贈ル

同十九日 半晴

一森田鎗三郎、永并能登守方差遣候處

定例川浚手当金貳百疋、上丁場同断

金百疋呉候段申渡有之、筆墨代金

貳百疋与力ヶ相渡候由、申聞ル

一撰州北野村齊田新地旅籠渡世のもの・

村役人一同呼出、取締申渡、證文申付ル

一朝川上猛二郎罷越逢、金談

一成瀬江文通、一刀為見ル、返書来

同廿日 晴

一 撰州河原村

吉蔵兄

巳之吉

新兵衛弟

巳之助

右高利之金銀貸附、如何之及所業候一件

吟味之上巳之助者入牢、巳之吉者手鎖村預

申付、相手茂助・甚三郎者帰村申付ル

一 浅井宗壽人來逢

度旨申來ル、茂久左衛門為引合相返ス

同廿三日 快晴

同廿一日 曇

一 奥向煤拂いたす

一 江戸江御用状出ス

一朝五ツ半時過谷丁濱分乗船、真平召連
廻船見分、安治川内市中船老艘

御用達平四郎・改新左衛門出ル、八ツ半時比
帰宅

○ 久須美六郎左衛門江老封、加州落雁入

○ 築山・青山・岸本様・小泉様・

金井・松村・大竹

一米津江昨日之返書差遣ス、受取來ル

一 藤方手代井口錠助、明日出立之よし

右連平江老封ニいたし差立ル

罷越留守申置

一同人方江夜分漣吉遣ス、藤方江葛

老箱菓子老封遣ス

同廿二日 曇夜雨

一 大坂屋新左衛門呼出、廻船雇付之儀申談

遣ス

一夜講並河復一入來、今日納會、五ツ半時過歸ル

一千種江到來之雁老羽遣し、短冊

六枚頼遣ス

同廿四日 半晴夕曇夜雨

一 昼後

一米津越中守自書差越、家來

御城入、京橋江罷越、玉造御蔵粉納

罷越、融通方御貸付借受

ニ付、中御門御断之儀申置候、書付持參

川上猛次郎を以差出ス、直ニ帰宅

但、設楽月番之處、風邪之よしニ而

頼越、自分相越ス

同廿七日 曇時々雪

一 設楽江文通、子供江歳暮之品

其外遣ス

同廿五日 晴烈風

一 廻船方御用状出ス

一 田中江文通、留守受取遣候よし

一 地方御用状出ス

一 昼後出宅、尼崎蔵屋敷使者差越候

○ 増田作右衛門江忝封

挨拶申置○本庄安藝守殿

メ

一二ツ茶屋八郎右衛門、江戸江帰便

蔵屋敷江初而罷越、度々使者等被

おたのぐ之三封并連平・圭助江海苔

一 山木数馬江之書状到来

到来、圭助江者書状も差越ス

差越候挨拶申置、七ツ時比帰宅

同廿八日 晴

同廿六日 曇時々雪

一朝五ツ半時比出宅、柴田日向守通申置

一本庄安藝守殿使者被罷越、自分江

御城入、定例之通三手・番頭・加番

生龍門忝反被相贈ル

歳暮申置○永井能登守通申置

一成瀬又太郎入来逢

○田中江立寄、留守二男ニ逢、九ツ時前

一坂本奎三郎入来逢

帰宅

一 設樂入來逢、昼飯振舞

一 除夜祝儀如家例相濟

一 松平下総守の使者を以贈物有之

一 御定番・町奉行江例之通簀卷魚・歳暮

祝儀与して遣ス

廿四

從弘化四丁未年

同廿九日 曇

八月朔日至十二月

一 昼後出宅、成瀬江相越留守申置、夕

晦日

帰宅

一 設樂の文通、子供江歳暮之品差越

留守不及返書

同晦日 半晴 節分

一 設樂江昨日之返書・移り遣ス

一 田中江文通、鯛一・海苔二遣ス、留守

受取来ル

一 節分ニ付、次平太江年男申付ル

一 川上猛次郎入來逢、丹後守殿の

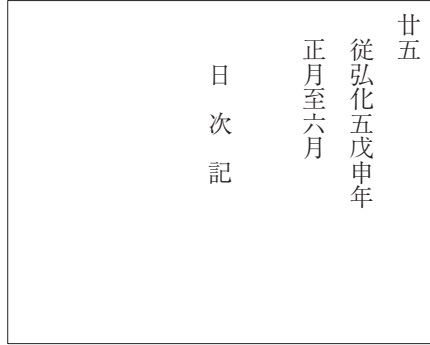
借入金為挨拶、無尽燈一相贈ル

廿五

從弘化五戊申年

正月至六月

日記



正月朔日 晴

一 正六ツ時起出、着替正服

關東御禮遙拜、家例之通祝儀

相濟

一 役所一同家來禮受ル

一 六ツ半時出宅、年札如左

○柴田日向守申置

御城入、御城代松平伊賀守殿・御定番

米倉丹後守殿・米津越中守殿例之通

出札、一同逢有之、兩番頭・加番四軒・

御目付兩人共年札廻勤、四ツ時少し過

御城出○設樂八三郎○丸橋金之助

〔銅坐話〕御普請役兩人○坂本鉉之助○小笠原采女

○西井源次郎 ○池田龜太郎通

○近山藤四郎 ○安食善之丞

○近藤勝五郎 ○久保左十郎

○猪飼平三郎 ○水品権十郎

○比留間兵三郎 ○坂登八郎
鈴木登四郎

○永井能登守 ○大屋善九郎

○田中新五兵衛 ○成瀬又太郎

○大儀見清三郎 ○梶山鉄六
橋本定藏 深沢常五郎

○青山金左衛門 ○竹尾藤四郎

○土屋四郎次郎 ○島田鉄太郎

○小林半右衛門 ○山村与助

右相仕廻、九ツ時比帰宅

一坂本鉸之助留守江罷越通候由

一年賀来客、柴田日向守地役其外

相越

同二日 晴

一朝五ツ時比設楽入来、同道出宅、川崎

渡船如左○宮寺五平次○杉浦重郎兵衛

○尼崎又右衛門年礼申置○建国寺

御宮拜礼、金百疋献備、直ニ退散

天満東組屋敷

○荻野勘左衛門 ○朝岡助之丞

○中嶋豹三郎 ○吉田百輔

右之外、組与力懸ツ、相越

同三日 曇

一朝五ツ時前出宅○今倉熊藏申置

○設楽江立寄休足、五ツ時過同伴

上本町筋分天王寺東門江參ル

御位牌所拜礼、金五拾疋献備

休足○瓦屋藤左衛門申置○坂本江

相越、留守通妻・李三郎ニ逢、四ツ半時過

帰宅

一年賀来人有之

同四日 半晴

一在宿

一年賀来人有之

同五日 晴

一去未十二月廿一日出、道中十日限御用状

到来

○御本丸上金之もの江御褒美

被仰渡之儀、申来ル

一同十二月廿九日出、道中六日限御用状

到来

○自分義、十二月廿九日被為

召、拝領物被 仰付候義申来ル、如左

右被仰渡等別記

一 支配所之もの共年礼ニ出ル

摂州東成・西成・

武庫・有馬・川辺・

兔原郡

河州茨田郡

村々庄屋・年寄

摂州西成郡

三番村

黒田善右衛門

同州西宮

庄屋

木村十左衛門

右一同年礼受ル

同六日 曇折々雪

一 明六ツ半時谷丁濱へ乗船、孫八郎老入

召連廻船見分、御用達平四郎、安治川

沖御備船式艘・市中船老艘見分致ス

○兵庫津ニ而廻船見分之積ニ而、直ニ

沖手へ出立、西宮江相越候、右尔付侍連吉者

差返し、設楽江白書を以

御城内御届、其外之儀申遣ス、孫八郎并

平四郎召連、直ニ出帆、西宮宿江昼

八ツ時過着岸、脇本陣壺屋源兵衛宅江

八ツ半時過着泊、村役人共罷越逢○夜

五ツ時過乗物并両懸等治平太差添

到着、宅状来ル○夜九ツ時過森田慎平

到着、九ツ時過寐ル

同七日 晴夕風雪

一 正六ツ時起出、庄屋十左衛門製差越候七種

粥を食ス、朝飯○明ヶ六ツ時過出立

住吉ニ而小休、四ツ半時過兵庫津本陣江

着泊○八ツ時過兵庫濱乗船、廻船

見分、市中船式艘見分○廻船調所ニ

立寄休足、夕七ツ半時過本陣江帰ル

○早春夕出役いたし、一同別而骨折候事ニ付

御用達并取締役其外江、自分酒肴

振舞遣ス○年始状其外認メ物いたす

同八日 半晴

一昼後兵庫濱乗船、市中船壹艘

見分、夕七ツ半時過帰ル○今日西宮の

当春新酒番船七艘出帆、沖手

乗通候を兵庫湊ニ而及見○年始状

其外認メ物いたす

同九日 晴

一昼後兵庫濱乗船、御備船壹艘

見分、夕七ツ半時過帰ル○昨夜大坂上町

釣鐘町出火のよし、御用達申聞ル

○網屋新九郎罷越逢

同十日 快晴

一朝五ツ時前兵庫出立、住吉小休

○西宮本陣昼食、十三ニ而灯燈

六ツ半時比帰坂

○兵庫帰途、摂州兔原郡岡本村

梅花一覽、往還今北江十町斗入、居村

山裾今山手江懸、畑一圓梅樹、惣体

式、三分之開花、處々梅花々一折

式、三町斗登、山腹ニ平坦之地有

字土取場与云、此處今梅樹を見下し

海面之眺望も佳、暫時寛歩

○西宮十日戎与唱、同處之戎宮

群集

同十一日 晴

一 在宿

一 摂州灘目筋・播州村々年礼ニ出ル、例之通

礼受

一大坂初番御用状出ス

○久須美六郎左衛門

○築山茂左衛門

○同順三郎

○青山録平

○同正一郎

○松村忠四郎

老封

○小泉次太夫様

○木原又左衛門

○岸本辰之丞様

○丹羽五左衛門

○おたの・おみち

○金井伊太夫

○後藤一兵衛

○堀伊賀守

○水野若狭守

ノ

一 廻船方初御用状出ス

○瀬戸内調同役御届

同十二日 曇夕合雨

一 昨十一日、兵庫合帰坂之積御届

御城入

逐手 山本市右衛門

京橋 水村一馬

玉造 小原作左衛門

御目付式人 取次

○逐手ニ而柴田ニ逢、拝領物之儀及内談

昼比帰宅

一 柴田合文通、京業到来、及返書

籠火入一遣ス

一 茂久左衛門、上京相願承届、今朝出立

同十三日 晴

一 旧臘廿九日、拝領物被 仰付候ニ付廻勤

朝五ツ時過出宅○柴田日向守通申置

手札

摂河州水場村々、悪水路

模様替御普請、御用立會

相勤候ニ付、拝領物被 竹垣三右衛門

仰付候段、阿 伊勢守殿被

仰渡、金壹枚被下置候御礼御吹聴

御城入、逐手・玉造・京橋・御目付式人

廻勤

但、江戸表三ヶ日御規式濟、恐悦

申置立帰、右御礼申置

○永井能登守通申置○成瀬又太郎

○水路御普請懸組与力

東 荻野勘左衛門 中嶋豹三郎

西 近藤左衛門 田坂直右衛門

小川甚五右衛門 大須賀元輔

右吹聴申置

成瀬九郎右衛門 服部勇五郎

右年始挨拶申置、九ツ時比帰宅

一役所のもの共、拝領物祝義受ル

一家来一同江祝義目録遣ス

一融通御貸附御用始ニ付如左

西与力 松井金三郎・大須賀元輔・近藤保太郎・

設楽手代多久官藏・山下五四郎・

融通方町人代拾式人

右罷越、一同酒飯出し逢、与力・手代者飯をも出ス

夕七ツ半時過一同退散

一設楽不快ニ付不相越、文通ニ而重話

遣ス、返書来ル

同十四日 折々雨

一岡田銃助、今朝播州江出立、御廻米

積立也

同十五日 晴

一朝六ツ半時過

御城入、三手出礼、何れも逢有之

○本多為助通着替、年始挨拶

逢、坂本同伴○御城代公用人三軒

年始挨拶申置、九ツ時比帰宅

一 川路左衛門尉江年始返書差立ル

一 小針忠太左衛門年礼ニ出逢

一 増寫鑄太郎江結状ニ而、藝術御賞誉

歛申遣、鯉節忝箱贈ル、受取来ル

同十六日 晴

一朝五ツ時過出宅、駕籠谷町筋迄

設楽同伴、四ツ半時過堺着、直ニ中野

石見守方江相越逢、暫く對話

例之通酒出ル、八ツ時過退散、紀国屋江(伊賀カ)

立寄弁当、暮六ツ時過帰宅

同十七日 晴

一 明六ツ時過谷丁濱乗船、廻船見分、懸

兩人連ル、安治川沖御備船式艘・

川内他国船五艘、外忝艘者船忤不宜列

七ツ時過帰宅

一 比留間江文通、当月六日出立届出ル

挨拶申遣、太平糖一折・鯉節十本遣ス

返書来ル

一 廻船方御用状出ス

○久須美順三郎宛 忝封

内

順三郎忝封 正一郎忝封

香川書二枚白雪糕

ノ

一 中山昇三郎、播州迄帰宅

同十八日 雨

一 初御用日金公事申渡有之

一 茂久左衛門、昨夜船ニ而帰宅、土産物呉ル

移遣ス

一 田中中松村両封届

一 浅井宗壽人来逢、酒飯振舞遣ス

同十九日 半晴

一朝田川熊二郎相越、設楽実弟

奥御右筆八十次郎養父佐山静意者

当月十一日病死、半減之忌服受候ニ付

御届書、其外調役参受取

一右ニ付、四ツ時比合

御城入、設楽忌服届如左出ス

逐手 波多与太夫

京橋 川上猛次郎

玉造 渡辺金四郎

御目付瀧川取次足立甲斐之助

阪部者留守中

右済、九ツ時比帰宅

一右之趣設楽江達ス

一同人江文通、朦中見舞すし遣ス

返書来ル

一柴田日向守江文通、すし遣ス、返書

移品々到来

一中野石見守江文通、孫女江如左遣ス

○花簪一○花さし込一○手遊菓子品々

右壱封亀木江渡差立ル

同廿日 半晴

一難船米初納方之儀ニ付、難波御蔵江

孫八郎差遣ス

同廿一日 半晴

一朝設楽合廻状写到来、土屋一紙

仁和寺宮、去月廿四日薨去候

右大將様御機嫌被為替御儀

無之候旨

右大將様御母方御叔父定式

御半減五日十五日之御忌服可被為

受処、御忌日数相立候ニ付、去十二日

一日御遠慮被遊

精姫君様ニ者御実父方御叔父

定式御半減十日四十五日之

御忌服可被為受処、御忌日教相立候ニ付

同十二日一日御遠慮被遊候旨

老衆今申来候間、此段申達候

正月廿日

一設楽忌明ニ付入来逢

廻船改方兼
取締役

大和屋万次郎

右役義差免候段、大和屋嘉左衛門江申渡

摂州御影村

伊勢屋嘉右衛門

右廻船改方・取締役兼申渡

右設楽参り合候ニ付、立會申渡

一昼前

御城入、仁和寺宮薨去ニ付、御機嫌伺

三手并御目付壺軒申置、昼後帰宅

一金公事申渡有之

一御廻米船、去々午難船一件落着、都合

三口申渡有之

一成瀬・田中江文通、手製之すし遣ス

何れも返書来ル

同廿二日 半晴

一木村甚兵衛・桑山九八郎江文通、時候

尋遣し、すし壺重・温範壺重遣ス

同廿三日 半晴折々風雪

一朝五ツ時過谷丁濱乗船、廻船見分、川内

三艘見分、勘左衛門・新左衛門罷出ル、孫八郎斗

召連ル、七ツ時過帰宅

一大儀見清三郎・橋本定蔵江文通、時候

尋遣し、すし・温範式食遣ス、返書差越

一増寫鑄太郎今拝領物歛申越、鴨壺番

到来

一京橋今蔵良左衛門今文通、年玉之由鍋内次

壺ツ相贈ル

同廿四日 半晴

一廻船方御用状出ス

○御備船之もの御賞詞願、其外件々差立ル

一八ツ（半）時過分坂本江罷越、設楽参り居閑話

娘共江年玉之品并土産白祿急須・

烟草入等遣ス、酒飯被振舞、夜九ツ時過帰宅

一今藏良左衛門江返書頼申遣ス

同廿五日 半晴

一金公事申渡有之

一永井能登守、明日川廻いたし候由申越

一久須美六郎左衛門分之紙包三ツ、惣年寄分

届海苔三帖到来、杉浦沓封来ル

一杉浦江之沓封為持遣ス

一豊田藤之進江紙包沓封、並便ニ而差立ル

先般、こま、都筑江縁付之歛紅梅織一反

遣ス、防州産短冊・菓子九、箱江入贈ル

同廿六日 半晴

一甲斐庄喜右衛門江文通、時候見舞、手製

すし・守口漬等遣ス、受取来ル

一星野江文通、すし并蛸遣ス、同断

一坂登八郎・鈴木登四郎江鯨并

温飩沓重ツ、遣ス、返書来ル

一梶山鉄六・深澤常五郎江前同断

同廿七日 晴

一朝六ツ半時過谷丁濱乗船、孫八郎沓人連

廻船見分、安治川沖御備船沓艘・

他国船沓艘・川内同沓艘・木津川内

同沓艘見分、平四郎・新左衛門出ル、夕

七ツ時過帰宅

一甲斐庄分昨日之返書差越、移品々到来

一大坂大和屋吉兵衛船沖船頭伊十郎乗難船

沓軒、口書申付ル、定例之通

一杉浦分久須美江之沓封差越、受取為遣ル

同廿八日 晴

一松平下総守江領分渡一条如左

下総守家来

小川謙藏藤兵衛

中村謙藏

右人來

播州加古郡東二見村

外四ヶ村

同州加西郡田原村

外三ヶ村

同州多可郡蒲江村

外六ヶ村

右村役人惣代共江、郷村引渡之段申渡

家来江も其段相達、畢而諸書物、其外

引渡之段、家来江達ス

一家来共三人別段逢

一下総守々自分江金五百疋・肴代式百疋

相贈ル

一昼後

御城入、郷村引渡、届書如左出ス

御城代 波多与太夫

京橋 川上猛二郎

玉造 関 轍

御目付上斗取次

右相濟、七ツ時比帰宅

同廿九日 晴

一朝五ツ時出宅、難波御藏為立合相越

仮役近藤勝五郎罷出ル、御藏目付共相越逢

納渡米有之○永井江立寄、家来逢申置

○田中江立寄悴共二逢、八ツ時比帰宅

摂州西成郡三番村

銀三枚 黒田傳右衛門

同州同郡江口村

庄屋

銀貳枚 田中善左衛門

右

御本丸御普請上金御褒美申渡、書下相渡ス

一宗壽入来逢

一設楽江文通、明日出札断申遣、返書来ル

一天王寺村庄屋見習猶二郎、庄屋申付

親与三左衛門、後見承届ル

一坂本左三郎入来逢、夕飯振舞、夜

帰ル

一初午前日ニ付、仕来之通昼後分表・裏

門共開、市在之もの共参詣為致ル

同二日 晴

一初午ニ付、役所休日

一右ニ付朝分表・裏門共開、市在之もの共

参詣、群集、当年者別而賑候

一四ツ半時過成瀬又太郎・青山金左衛門・

大屋善九郎・竹尾藤四郎・田中新五兵衛

入来、赤飯振舞暫く談話、昼後帰ル

一伴左太夫・棚橋平馬・村瀬与三右衛門

相越、逢度旨申聞逢、講之儀申聞ル

一左太夫壺人呼別段逢、丹後鳥

袴地壺反遣ス

二月朔日 晴

一朝六ツ半時出宅、川浚見廻与して谷丁

濱分乗船、東横堀葺屋橋下手并

伏見堀浚所見廻、与力工藤左之助・

同心共話合逢、西横堀分上陸、四ツ時過

帰宅

一江戸表江道中八日限御用状出ス

○郷懸銀納方之儀ニ付、中之間組頭江

設楽連名書状差立ル

一初午前日ニ付、役所半引

同四日 晴

一 御定番廻状写、設楽合来ル

前畧

松平伊賀守、今般以宿次、御鷹之

鷹被致拜領候、為御知、後畧

二月三日 両御定番

一 鳴林梶三郎、京都合一寸帰坂逢

同四日 晴

一 御城代江昨日申来候鷹拜領歛罷越

申置、昼前帰宅

昨三日之落

播州太郎太夫村

百姓

近藤仁右衛門代

父

近藤公藏

右

御本丸御普請之節、上金いたし候旨

為御褒美銀三拾枚被下候段、伊勢守殿

御差圖之旨申渡、御品相渡、書下忝通遣ス

一 江戸合十日限便到来

○ 築山合忝封、烟草二到来

○ 豊田忝封、別紙入之返書

○ 増田作右衛門忝封○木原又左衛門忝封

右之外年始状諸向到来

一 近藤公藏罷越逢遣ス

同五日 晴

一朝六ツ半時過谷丁濱乗船、廻船見分、孫八郎

忝人連ル、安治川沖御備船忝艘見分

御用達平四郎、八ツ半時過帰宅

一 今朝留守江田中新五兵衛入来、法帖其外

持参置帰ル

一 平岡孫太郎忝半三郎参宮合廻罷越候よし

奥江通り逢候旨書状持参

同六日 晴

一廻船方御用状到来、正月廿八日出

○御取箇組頭の印状差越ス、北国

買積船雇附方之儀、申越ス

一地方御用状到来

一宮寺の水野・金井の之両封届

一設楽江文通、岡崎不用船一件書類廻ス、返書来ル

同七日 晴

一設楽の文通、不用船一条廻し物差越ス、及

返書

一廻船方御用状出ス

○岡崎不用船一件取斗伺

○右二付組頭并高橋平作外式人江

書状壹封

一設楽江文通、妻不快尋遣ス、品物贈

返書来ル

同八日 晴

一石井益太郎、光立寺村江博奕取締与して

差遣、夕帰ル

同九日 晴

一浅井宗壽入来逢

一先般両度拜領物被 仰付候内祝、役所

一同・吉田孫三郎・大坂屋定次郎・

炭屋安兵衛代呼寄、酒振舞遣ス、夕

七ツ時過の暮六ツ時過相濟

一新五兵衛三男熊吉罷越、御拂方之事

申来逢申遣ス

同十日 晴

一無記事

同十一日 晴

一 昼後出宅、尚太郎・保助召連、天満

吹田屋藤助木場江罷越、扨樋式艘

諸式見分、本宅ニ而見分致ス、八ツ半時比

帰宅

一 当地三番御用状出ス

○ 西須磨御林跡新開伺書調直し

差立ル

○ 廻船方、正月ニ限御届差立ル

○ 久須美六郎左衛門江紙封一

○ 大小持扇二

○ 三郎江小墨一

✕

○ 漣平江沓封金五百疋入、来月

十五日御法事料遣ス

✕

一 設楽江文通、同人腫物見舞、菓子并

隠元煮召ニ遣ス、返書来ル

一 千種江旧冬之及返書、紗綾沓卷

海苔三帖相贈、貴嶺扇八本・短冊

一枚頼遣し、孫八郎上封ニ而差立ル

一 青山金左衛門江文通、渡辺三十郎

沓封差越、及返書

同十三日 曇

一 田中江及書通

一 並河復一入来、夜講聴聞、五ツ時過

帰ル

同十四日 晴

一 江戸御用状到来

○ おたの沓封

○ 久須美順三郎紙包沓ツ

○ 六郎左衛門・順三郎沓封ツ、

同十二日 曇折々細雨

○佐渡守殿ハ杉浦江壹封

○六郎左衛門ハ同人江壹封

○順三郎ハ同人江壹封

○同人ハ大二郎江壹封

○同人ハ坂本江壹封

○同人ハ小弥大江壹封

○同人ハ宮寺松之丞江壹封

ノ

○六郎左衛門ハ川上慎五郎江壹封

大御審也

一島田江文通、明十五日自分者廻船見分

設楽当病ニ付、出礼断之儀申遣、返書来ル

同十五日 晴

一明六ッ時過出宅、谷丁濱乗船、廻船見分

安治川沖式艘・木津川三艘内壹艘

勿ル、平四郎・新左衛門罷出ル、懸兩人連ル

七ッ半時過帰宅

一宮寺松之丞江順三郎書状渡、杉浦

大二郎江文通、久須美江之封届、宮寺江

頼遣ス

一坂本江順三郎書状頼届ル、受取来ル

一川上慎五郎江久須美壹封■受取来ル

同十六日 半晴

一朝六ッ半時過谷丁濱乗船、廻船見分

孫八郎壹人召連ル、安治川沖三艘

見分、平四郎・新左衛門罷出ル、八ッ時過帰宅

一夕刻田中新五兵衛入来逢、五ッ半時比帰ル

同十七日 半晴

一坂本ハ文通、彼岸桜・木蓮花到来

同十八日 雨

一江戸御用状到来、廻船方も来ル

摂州河原村

新兵衛事

出牢 巳之助

手鎖村預免ス 巳之吉

右貸金出入ニ付、相違之取斗いたし候一件

差免、書面之通申渡

一増嶋鑄太郎江文通、菓子一折遣ス

留守受取来候由

同廿日 雨

設楽八三郎殿

達義有之候間、明廿日四時

自宅江可被相越候、以上

二月十九日 松 伊賀守

一朝五ツ半時過

御城入、伊賀守殿御宅江出ル、両御定番・

両町奉行・堺奉行も相越逢、今日両町奉行

御褒美被仰渡有之候由ニ付、東西組与力共も

罷出居逢○中野石見守御足高御役料

設楽八三郎宛、同人江伊賀守殿御渡有之由、石見守

御證文彦通

相渡ス、受取、一鉢右ニ付、設楽呼出有之義ニ而、其處

全く用人共取斗相違いたし候由、尼崎又右衛門

申聞ル、九ツ時過帰宅

一山下五四郎罷越居逢、右御證文彦通

直ニ渡遣ス

一永井能登守ニ奉札、当地御用取扱候ニ付

同十九日 半晴

一甲斐庄江文通、手製牡丹餅

相贈、寓居哥話二編貸遣ス、受取

来ル

一成瀬江文通、牡丹餅蒜器江入遣ス

返書移来ル

一設楽文通、同品遣し、腫物見舞

遣ス、返書移来ル

一夜三人、同人ニ山下五四郎差越

明日名代之義頼来ル、承知之旨申遣

御城代達書如左

金五枚・時服三、撰河州悪水路模様替御普請

相動候ニ付時服三拝領、御城代被仰渡候由、為知来ル

一柴田日向守奉札、堺表御用取扱并撰河州

悪水路模様替御普請御用相動候ニ付

時服三拝領、御城代被仰渡候由、為知来ル

一甲斐庄々昨日之返書、玉子焼到来

一藤方々沓封到来

同廿一日 晴

一朝五ツ時出宅、永井能登守・柴田日向守

拝領物歛ニ相越、用人ニ逢申置、四ツ時比帰宅

一昼前大坂屋新左衛門呼出逢、買積船一条

直ニ承ル

一設楽江文通、右為挨拶用人藤助差越逢

一竹尾吉十郎江文通、返書来ル

一小林半右衛門入来逢

一坂本々文通、久須美順三郎江之沓封

届方頼来ル

同廿二日 晴

一明六ツ時過谷丁濱々乗船、廻船見分

懸兩人召連、天保山沖御備船一艘・

市中船沓艘見分、御用達平四郎・改方

新左衛門罷出ル、帰途九ツ時過川口上陸

○甲斐庄喜右衛門方江相越逢、八ツ時過

帰宅

一天王寺舞楽ニ付、御城代伊賀守殿

被相越候ニ付、出役銃助遣ス

一右ニ付、成瀬其外御勘定方等相越候ニ付

成瀬江文通、饅頭一重相贈ル

同廿三日 〱晴

一朝六ツ半時出宅、谷丁濱乗船、安治

川沖市中船沓艘見分、右ニ而当春

瀬戸内不残差伺済与相成ル、九ツ時過

帰宅

一夕刻々並河復一入来、夜講聴聞

五ツ時過帰ル

一 浅井宗壽入来のよし、不逢

同廿四日 半晴

一 田中の文通、御拂板之事申来、昼後

九枚小屋場江取ニ遣し、三枚来ル

一 同人江文通、鮭一相贈ル、返書来ル

一

同廿五日 曇朝漸雨

一金公事申渡有之

一 地方御用状出ス

○おゐち江壹封

○久須美六郎左衛門・順三郎へ壹封ツ、

但、菓子壹箱入、坂本壹封届ル

○岸本金八郎壹封

一

一 廻船方御用状出ス

○瀬戸内皆済御届書

但、当月十九日迄

同廿六日 曇夕の雨輕平雨

一 設楽の文通、廻し物差越、及返書

一 当月十三日出御用状来ル

○漣平の岡崎不用船一条申越

○豊田の紙封、菖蒲草到来、且

内書差越

○関壹封

一

一 河州茨田郡惣代共呼出、来ル廿八日

都筑金三郎方江引渡候段申渡

一 右之もの共、別段表ニ而逢遣ス

一 都筑江引渡候ニ付、山口瀬左衛門今夜船ニ而

出立、金三郎江壹封遣し、加賀落雁一

相贈ル

同廿七日 〔朝曇〕半晴

一朝五ツ時過谷丁濱乗船、廻船見分、兩人

連ル、安治沖藝州船壹艘・御備船

壹艘、御用達平四郎・改新左衛門出ル、八ツ時比

堂嶋川渡辺橋分上陸○設楽江相越

不快見舞、腫物いまた不宜、蜆・梅香等贈ル

夕飯等出、暮六ツ時過帰宅

一廻船方御用状出ス

○御取ケ組頭江壹封、買積船一件

返書差立ル

御城入

逐手 飯塚権左衛門

京橋 川上猛二郎

玉造 渡辺金四郎

御目付瀧川取次

右差出、八ツ半時比帰宅

一西井源二郎入来逢

一駿河大林寺喆巖殿出阪いたし

相越、奥江通し逢、菓子相贈ル

金百疋遣ス

同廿九日 雨

一朝五ツ半時谷丁濱乗船、廻船見分、孫八郎

壹人召連、木津川内市中船壹艘見分

御用達平四郎・改新左衛門、八ツ時過帰宅

一坂本江文通、明日不參之儀申遣、返書来ル

同廿八日 曇

一河州村々為引渡、都筑手代鈴木庄助・

桑名佳十郎相越、諸書物并正金銀

受取、^(受取)々々書付相渡、兩人共逢

一右郷村受取候段、直觸出ス

一右受取渡相濟候届書為差出、昼後

同晦日 半晴曇

一 淀川水丈樋屋出
申二月晦日辰上刻

天満定杭水丈六尺

一 永井能登守の文通、出水ニ付川浚

差止申来、及返書

一 役所向其外手当給金渡

三月朔日 晴

一 昼後出宅、堤方諸色見分、懸兩人

召連、吹田屋藤助方江罷越、塚樋式艘

見分、極印打渡○天満組屋敷江罷越

先般悪水路懸拜領物いたし候与力共江

歎ニ相越、名前左之通

○近藤左衛門○田坂直右衛門○大須賀元助

○小川甚五右衛門○荻野勘左衛門○中嶋豹三郎

○源八渡船桜ノ宮堤通、帰途彼岸

桜華表前山桜等満開、単桜咲初

八重者いまた開かず、八ツ半時過帰宅

一 御用状出ス、地方五番也

一 江戸表塩屋幸八江向、久貝月のうた一冊返事分差立ル

○銀拾七匁九分六リ 槻板四枚

内

拾三匁四分七リ 同三枚代 田中江遣ス

同二日 朝小雨、四ツ時比合曇昼晴

一 節句前日ニ付、役所半引

一 田中合文通、留守受取遣候よし

一 地方廻船方御用状到来

同三日 朝小雨曇

一 朝六ツ半時比役所一統礼受

一 無程出宅、京橋口合

御城入、伊賀守殿・丹後守殿礼受有之

越中守殿者不快ニ付断、設楽尚病

断申述ル、京橋者今倉熊蔵江昨日父

良左衛門合文通ニ而、丹後殿合袴壹枚被相

贈候礼申述ル○両番頭・加番四軒

例之通上巳之祝儀申置、八ツ半時比帰宅

一 田中江文通、昨日之返書古板代銀

遣ス、留守之よし

一 茂久左衛門・碓右衛門、暇乞与して出立、途中江

参度旨相願遣ス

同四日 朝雨昼後曇

一朝五ツ時過谷町濱乗船、懸兩人

召連、廻船見分、安治川内他国船

式艘・木津川内大坂船老艘見分

七ツ半時過帰宅

同五日 曇

一 黒田傳右衛門・田中善左衛門・江口村庄屋

孫右衛門、身分之儀ニ付書付差出、同人

家事取締向之儀、来ル廿九日迄猶豫

申立候ニ付、尚心得方申諭、猶豫者承申届ル

一 河州洪川・丹南・丹北郡村々役人共呼出

支配替ニ付取締向申渡、證文取之

一 藤方彦市郎江返書老封、大坂屋江

為相渡候

一 七ツ時比分坂本江相越逢、桃花一覽

大半末ニ成ル、酒飯被振舞、夜四ツ時過

帰宅

同六日 曇

一 河州洪川・丹南・丹北郡村々惣代、願之儀

承置候段申渡

同七日 雨

一 撰州天王寺庄

安次郎

右所拂御仕置相成候處、日光

御参詣相濟候、御祝義之御赦ニ

御免申渡、奉行所宛證文取之

播州天田村

菊蔵

右盗いたし候件、吟味中入牢申付ル

河州北蛇草村

入牢

作右衛門

村預

安次郎

右作右衛門、村内藤次郎外老入江為疵負候一件

吟味之上書面之通申付ル

一御城代廻状写、設楽込到来

今度

姫君様被遊御誕生候処、表向被

仰出者無之、御名之儀者

鋪姫君様与奉称之、弥御安泰之

御事、御機嫌不斜旨被仰下

恐悦之御事ニ候、此段申達候、以上

三月六日

松 伊賀守

御代官
御蔵奉行 宛

右廻状端書認メ落之儀、今早朝公用人共シ

自分共江申越及返書、御蔵奉行江兩名ニ而

相達、設楽江も廻ス

一塩屋幸八江連吉シ書状ニ而、顕忠龍

百首老冊久貝江返ス、十日限ニ而今日差立ル

同八日 朝曇午シ晴

一朝六ツ半時過谷丁濱乗船、慎平斗

召連廻船見分、安治川沖御備船

壹艘・他国船三艘、勘左衛門・新左衛門出ル

尻無川筋シ堂嶋川、八ツ半時比帰宅

一廻船方御用状出ス

一田中新五兵衛入来逢、夜五ツ時比帰ル

一治平太国分寺村江遣し、同村内

桜花両三枝持帰ル、佳色右可愛

夜中柳瓶愛看

一帰帆懸、九條村妙専庵庭中を

花を看ル、古樹花様可愛、多く

枯枝可惜、一両小枝を乞、持而帰ル

坐右愛観

一廻船便如左書状出ス

○豊田藤之進

○成七得右衛門

右何れも返書也

同九日 雨

播州天田村

佐兵衛倅

菊蔵

右盗いたし候始末、口書申付ル

一田中の文通、設樂法帖代金貳両差越ス

一中野村庄屋桜花数枝贈ル、花三種

何れ佳色可愛、坐右愛看

一勝田次郎江先達而之及返書、当月

七日附也、半切二贈ル、大坂屋江渡ス

同十日 雨

一永并能登守の文通、撰州土砂留場

為見分、明日出立可致處、差支有之、来ル

十八日出立いたし候由申越、及返書

一淀川出水、天満橋定杭届

未中刻 六尺

申中刻 六尺五寸

同十一日 雨

一淀川出水、天満橋定杭届

辰上刻 七尺

右三付、神崎・中津川江清二郎・鎗三郎

為水防差出ス

一江戸江御用状出ス、申六番六日限

○増田作右衛門江壹封

○大草太郎左衛門江壹封

○漣平江壹封

一金市郎参り候ニ付、設樂江壹封遣

■澤分差越候法帖代二百疋遣ス

一夜分茂久左衛門・孫八郎呼寄、須磨理合之事
心得方申論ス

同十二日 曇午分晴

一朝五ツ時過出宅、難波御藏為立會

相越、仮役近藤勝五郎・猪飼平三郎・

御城代家来・町奉行与力罷出ル、渡米

有之、自分・設楽諸入用米・御役料米も

渡方有之、諸入用（去々午）出羽御役料、去々午

渡渡也○大御番上田庄右衛門ニ逢、同人

養祖母者近藤平八郎娘ニ而（當時先年）

病死いたし候事之由、八ツ半時比帰宅

一 浅井宗壽入来逢、夕飯振舞

一 設楽分昨日之返書差越、受取為遣置

一 備中表江罷越候論所地改、手代福井（附）

柳右衛門・手代山口藏次郎罷越、漣平分相渡候届物

如左持参

○おゐち分壹封、寫織八丈一反其外

○中井新右衛門分到来羽二重壹疋

紅壹疋壹箱

右入手、朝出懸兩人共逢遣ス

同十三日 晴

一朝六ツ半時過出宅、谷丁濱乗船、廻船見分

懸兩人連ル、安治川沖頭屋建一艘

平四郎・新左衛門出ル○甲斐庄江立寄

用人ニ逢、寓居哥談貸遣ス、八ツ半時比

帰宅

一金公事申渡有之

一坂本分文通、土筆・山葵・麩到来、明後日

御灵（靈）前江備候様申越、及返書

一柴田日向守分文通、明日分安治川

海口浚始候旨申越ス

一夕刻分並河復市入来、夜論語

講聴聞

同十四日 快晴

一朝六ツ半時過出宅、廻船見分、谷丁濱

乗船、孫八郎老人連ル、安治川沖

市中船一艘沖廻り、木津川内

新左衛門雇北国買積船一艘見分

平四郎・新左衛門出ル、西横堀の上陸

七ツ時比帰宅

一美囊郡形藏、手鎖村預差免ス

一地改手代福井柳右衛門外老人、明日

出立いたし候由罷越ス

一甲斐庄の文通、哥談二編返し

からすミ・蛸粕漬到来

一設楽の文通、明日出札断申越、帰宅之上

及返書

一夜分島田鉄太郎江連吉遣し、明日

出役ニ付出札断、設楽当病、同断申遣ス

承知之旨申越ス

一明十五日

大量院様十七回御忌御待夜ニ付(運)

御膳相備、一同拝礼

同十五日 晴

一大量院様十七回御忌ニ付、早朝

正服ニ而拝礼致ス、御膳者出宅後相備候

積申付置

一朝六ツ半時過出宅、廻船見分、懸兩人連ル

安治川沖御備船壹艘・川内他国

船壹艘、御用達勘左衛門、堂嶋川

渡辺橋の上陸、八ツ半時比帰宅

一水品の文通、宮寺廻文差越ス

同十六日 雨

一茂久左衛門外三人、酒造改相濟、七ツ時過

一同帰ル

一宮寺江文通、今日参候義断申遣

廻文相返ス

一当春渡諸入用金受取

同十七日 朝曇昼後晴

一昼後出宅○永井能登守江罷越、明日

撰州土砂留場巡見、出立之由ニ而暇乞

用人ニ逢申置○長崎江罷越候支配勘定

伊田彦太夫、平野町泊江相越申置

帰宅

一設楽江文通、返書来ル

同十八日 曇午後晴

一朝六ツ半時過谷丁濱兮乗船、懸両人

召連廻船見分、安治川冲御備船

壹艘作事不相届見合ル、川内御備

船壹艘見分、勘左衛門・新左衛門出ル

八ツ半時比帰宅

一永井能登守、今朝撰州土砂留所

見分出立ニ付、支配所江森田鎗三郎遣ス

一金公事裏判下遣ス

同十九日 曇昼後雨

一朝五ツ時過谷町濱兮乗船、廻船見分

懸両人連ル、安治・木津両川内ニ而

御備船壹船・他国船式艘見分、勘左衛門・

新左衛門罷出ル、八ツ半時比帰宅

一江戸御用状到来

同廿日 晴

一江戸並便飛脚到来、おるち兮之

壹封来ル、一同江贈物差越ス

一河州渋川郡北蛇草村作右衛門

同村藤次郎外壹人江為疵負候一件

差免、作右衛門出牢申付ル

一同州多治井村若者共祝儀銀

貰受候件、取締方申渡

一今廿日酉上刻

天満水丈杭六尺

一 茂久左衛門義、礮矢頼母・丹羽定二郎江

贈物為持遣ス

一 同人江臨時遣し物・寫織一反并

女帯壹筋遣ス

一 豊嶋屋門蔵呼寄逢、目錄遣ス

同廿一日 晴昼後曇夕合雨

一 岡崎兼三郎義、丹後国村々去々午

御廻米撰立方不行届、当表合差合

宿船不用船相成、御失墜相立候段不束

尔付、差扣被 仰付候段〔伊勢守殿被仰渡候旨〕、当月八日松平

河内守殿御役宅ニおゐて、林部善太左衛門江

被仰渡、当月廿九日郷村引渡差支候ニ付

当地御蔵納半金〔納〕之儀、兼三郎元メ

久保寺金兵衛合元メ共江頼、書状差越

銀納、出役手代今朝持参之由、茂久左衛門

申聞候間、納方之儀者承知いたし、設楽ニ

打合等之儀申付置

鈴木尚太郎

中山昇三郎

右者撰河州水場村々悪水路模様替

普請立會、格別骨折相勤候ニ付、為

御褒美金貳百疋ツ、被下候段、伊勢守殿

被仰渡候旨、松平河内守殿被仰渡候段

申渡

一 当月八日出御用状到来

一 設楽合文通、先般拝領物被仰付候歎

申越、交看到来

一 朝五ツ時比出宅、難波御蔵為立合

相越、諸向渡米有之、兵三郎・仮役兩人・

其外御蔵目付共罷越逢〇兵三郎合難船

再積廻、御初取斗方打合書卷通

相達受取〇八ツ半時過帰宅

一 潤八郎合差越候よし、千種合到来之由

折詰物一重、孫八郎差出ス

一木下平右衛門の文通、紀伊殿為帰国

当月十九日江戸表發駕、来月

五日此表通行之旨申来、及返書

同廿二日 雨夕曇

一潤八郎、昨夜帰坂いたし候由

一 千種の沓封、末廣一差贈、願置候

一 貴嶺扇八本認め出来差越ス

一坂本左三郎入来逢

一設樂の文通、及返書

同廿三日 半晴

一朝五ツ時過谷丁濱乗船、廻船見分

一懸兩人連ル、安治川沖并川内

一長州船老艘・大坂船老艘見分、御用達

一勘左衛門尻無川の帰帆、西横堀より

一上陸○榎屋市二郎木場江相廻、以榎

一見分、極印打渡ス、七ツ時過帰宅

一留守江廻状到来

去月廿八日年號改元有之

一為嘉永之旨酒井若狭守注進

一之事候、依之去ル十五日於江戸表

一御弘有之候段被仰下、恐悅之御事候

一此段申達候、以上

三月廿三日 松伊賀守

御代官御藏奉行宛

右例之通御藏方江順達、設樂江写

遣候よし

一右改元之義、支配一躰江廻状出ス

同廿四日 半晴

一中野石見守入来通達

一銅坐詰御普請役 入来逢

一★★十帖・烟草入・きせる筒到来、移り

一帯地一・鯉節五遣ス

一岡崎兼三郎手代

呼出、昨廿三日

銀納取斗遣候義ニ付、元メ共之返書其外
渡遣し、別段逢遣ス

同廿五日 曇夜雨

一朝五ツ半時比

御城入、服紗麻、年彌改元恐悦廻勤

三手并上御目付斗申置、設楽当病

断も申置○設楽江罷越逢、昼飯

被振舞、九ツ半時比退散○銅坐詰四軒

暇乞着歡申置、八ツ時比帰宅

一今津村酒造取締之儀、継添受書

申ニ付、受印取之

一江戸表江御用状八日限出ス

○築山江沓封○おたの沓封

○勝 沓封

メ

一千種江返書入短冊五拾枚贈、沓封

孫八郎江渡ス、明朝差立之積

同廿六日 曇夕々雨

一朝五ツ時過出宅、谷丁濱乗船、懸兩人

召連廻船見分、安治川沖市中船一艘・

御備船沓艘見分、勘左衛門・新左衛門出ル

八ツ半時過難波橋上手の上陸、直ニ

吹田屋藤助方江相越、塚樋見分

相濟、保助・尚太郎罷越居、七ツ時過

帰宅

一木柴屋平右衛門罷越逢、仁右衛門上納

初之儀、心得方申論遣ス

一設楽江文通、到来之肴遣、先日拝領物

歛肴到来之挨拶申遣ス、受取

一中野石見守之文通、自書博奕

取斗之儀問合、設楽連名之表状も

沓封到来

同廿七日 晴

一中野石見守江昨日之返書、設楽連名

ニ而老封、自書老封相添、足輕使を以遣ス

同廿八日 曇

一伴李太夫義、濃州今江戸表江罷越候由、為

暇乞来逢、為餞別嶋織八丈老反遣ス

一夕刻同人方江侍使ニ而如左遣ス

○安藝守殿江

短冊 百枚
小短冊 一
保阿弥作猿置物 一

○おみち江届物大小式封

同廿九日 半晴

一朝五時

御城入、三手夏足袋願出ス

追手 波多与太夫

京橋 水村一馬

玉造 小原作左衛門

右相仕廻、九ツ時過帰宅

四月朔日 晴

一朝五ツ時前出宅、谷丁濱乗船○安治川沖

川浚見廻、東西川方詰合逢○五ツ半時過

廻船方船江乗替、同川沖廻船式艘見分

森田慎平老人召連ル、大坂屋新左衛門・廣嶋や

平四郎出ル、八ツ時過川口今上陸○甲斐庄

喜右衛門方江罷越逢、夕飯被振廻、七ツ時過帰宅

一浅井宗寿来逢

一紀州留守居木下平右衛門入来、紀伊殿家督

初而国許江御暇被

仰出候旨、口上書持参

同二日 晴

一設楽江文通、手製煮メ遣、返書来ル

一井戸忠七来、花月逢

(この間落丁カ)

同十五日 曇

一昼八ッ時過發足、中山昇三郎・松田

治平太・中田力・中間四人召連、谷町

筋寺り天満橋を渡、淀川西縁川崎

藤堂下屋敷裏江參、此處へ栗田

連吉、三十石船江乗込待受居乗船、直ニ

出帆、淀川を登る、夕七ッ半時過船中ニ而

夕飯、柱本邊ニ而日暮ル、宵々供の者者

皆々為臥、自分も臥候処、此程より雨降

川水増し水勢強く、浪の音枕^ル響き

睡りかたし、筥引分て臥しなから望む

八幡・山崎の山々淀川のを隔て相對し

雲間の月朧なり、宵の間は伏見

より大坂へ下船多く、旅客の語りあふ船人の

うたふなど、かまひすしかりしも、夜更るま、^ル

ものさひし、夜四ッ半時過八幡邊ニ而、西国へ

引越候池田岩之丞、大坂江下る船を見懸ル

淀城の水車のきしる音幽なり、夜九ッ半

時比淀水橋ニ到る、此橋を過れば伏見

より流るゝ川のミ故、水聲も静^ルなり、少し

まとろミぬ、伏見京橋の邊へ着船、表町

生子や市兵衛与云旅籠や江上り、二階ニ而

休足、正六ッ時比朝飯を食ス、明六ッ時比

此家を立出、京橋通中橋通今富橋

中書寫、此處娼家なり、弁天の宮

參詣、蓬萊橋油懸通御香の宮

旅所、御香の宮參詣、林茂久左衛門親

類のよし過書坐役人三谷某、此處へ

參初而逢、宇治見山遠望、六地藏村

六地藏參詣、木幡黄^壁山万福寺三

室戸寺觀音參詣、興聖寺參詣、惠

心院離宮八幡遥拜、是夕宇治川縁を

戻ル、通圓茶店江立寄暫く休足、煎茶

を啜し、煎茶及び茶器を買、宇治

橋を渡、川縁さくや市兵衛宅二階

ニ而休足、前面宇治川^ル臨ミ、朝日山小幡

山等の山々眺望佳景也、此時九ツ時比ニ、三谷某出迎居世話いたす^し昼飯を食ス、頼政扇の芝跡平等院参詣、此處へ上林

同廿二日 曇
一 設楽江文通、京橋江贈物之儀申遣、返書来ル

味卜来初而逢、手製の茶を呉ル、同人宅へ立寄製茶一見、坐敷ニ而休足、煎茶を啜ス、宇治橋通上林家其外の屋敷遠望、宇治橋下手へ乗船、此船は

一 御城代尼崎邊巡見、鳴尾濱手江も被相越候由ニ付、定例之通支配所江手代出ス

屋形造り^ルて、上の間・吹^みの間に有之好船也

三谷某世話ニ而此船を出ス、宇治川を

同廿三日 半晴

下る兩岸、山野の景色最佳、陶工

一 藤方手代廣田戸三郎、銀納相濟

道八宅へ立寄、道八者留守ニ而留守居之もの

一 明朝出立之よし暇乞来逢、傳言

出、陶器を買、指月山月光寺参詣、豊後

申遣ス

はし上手より又乗船、伏見へ入三十石船ニ

一 御備船西宮常恵丸外七艘、去未

乗替、元の船路を下る、船中弁当、雨

出羽御城米積受、北海風波乗凌候段

頻り^ル降、淀邊より折々止、川水多く船早し

出精之儀ニ付、御賞詞之儀申立、此程

夜四ツ時過大坂八軒屋江着船、上陸帰宅

被仰渡有之ニ付、右八艘船主惣代

呼出申渡、書下渡遣、御用達勘左衛門

(この間落丁カ)

取締役嘉左衛門江も右之趣申渡

一 西岡庫十郎・船橋作次郎召連

罷越、兩人共別々ニ逢

一 並河復一入来、夜講聽聞、五ツ時過
歸ル

同廿四日 晴

一 船橋作次郎役所見習申渡、今日
出勤為致ル

同廿五日 半晴

一金公事申渡有之

一 坂本江文通、受取来ル

一

同廿六日 曇昼後雨

一 尼崎又右衛門入来逢、御城代金談

申聞ル

一 去未御普請小屋内出火一件、落着

ニ付地役廻状来、夫々順達

一 茂久左衛門、播州へ帰坂

同廿七日 雨

一 朝五ツ半時比谷丁濱へ乗船、堤方
当春御普請出来栄見分、廻村

○淀川通

○三番村 ○橋寺 ○西ノ村

右見分いたし候處、強雨ニ成候間、是迄ニ而
帰帆、八ツ半時過帰宅

一金公事申渡有之

同廿八日 半晴

一 昼後出宅、尼崎又右衛門方江相越

逢、御城代金談之義及演説

○成セ江相越逢、宇治新茶并

茶椀相贈ル、夕七ツ半時過帰宅

一 江戸江御用状出ス

一塩屋幸八帰坂之よし、今朝
罷越申置候趣、連吉申聞ル

同廿九日 半晴

一無記事

一朝五ッ時過出宅、難波御藏立會
出役、仮役近藤勝五郎・猪飼平三郎
罷出、其外御藏目付立會、納渡有之
九ッ時比退散○永井能登守江罷越
留守申置、八ッ時比帰宅

五月朔日 晴折々曇

一朝五ッ時比谷丁濱乗船、堤方出来栄

見分、懸兩人連ル

淀川通

○太間 ○點野 ○仁和寺

○七番 ○八番 ○北十番

○下嶋 ○荒生 ○赤川

○毛間 ○南長柄○川崎

右相濟、夕七ッ時過帰宅

同三日 時々雨

一成七江文通、柏餅遣ス

一田中江龍太郎分熊吉江文通、同品

遣ス

一並河復一介使、夜講断来ル

同四日 雨

一節句前日ニ付、役所半引

同五日 朝雨収昼後雨

一朝出前役所礼受

一六ッ半時過

同二日 晴

御城入、三手出札、番頭・加番共例之通
端午祝儀廻勤、四ツ時過帰宅

一 浅井宗壽人来逢

一 端午祝儀来人有之

同六日 晴雲立有之

一 安食善之丞人来逢

七日之分

一 江戸江御用状出ス、但廻船方

○月限届并御備船御賞詞

御札状等出ス

一 星野分文通、船廻し之儀頼来ル

及返書、西田屋正十郎方江孫八郎分

為申達ル

一 融通御貸附不納之諸家呼出、納方

之儀達方之儀、松井金二郎・大須賀

元輔・本間小馬作罷越、懸立合

家来共江与力分相達相済、一同逢

菓子差遣ス、山下作左衛門遅参いたし
間ニ不合逢遣ス

同七日 朝半晴、四ツ時過分雨

一 江戸御用状到来

一金公事申渡有之

一 設楽江文通、金市郎尋菓子

其外遣ス、返書来ル

同八日 晴

一 堤方御用状鈴木丁分出ス

一 右卒便漣平江壹封、おたの江壹封

遣し、同人江金拾両可相渡旨為

申遣ル

一 納庄屋帰便、おたの・おみち分之両封

相達ス

同九日 半晴雷氣

一 昼後坂本江相越、求肥饅頭

贈ル、夕七ツ半時過帰宅

一 池田庄太夫病氣之處、昨夜中

死去いたし候由、比留間兵三郎一紙

相廻ル

同十日 晴

一 四ツ時過出宅、和州葛上郡池ノ内村

論所為檢地罷越候もの共、旅宿江相越

左之通

留役

本町式丁目 屋代増之助

北久太郎町 青山伴右衛門

支配勘定

南久太郎町 石川弦之丞(定カ)

右何れも逢、更紗服紗一・扇五本ツ、

贈ル、当正月中出立、丹後国山論取調

相済、昨日着坂、今昼立ニ而堺泊、和州ニ

相越候由、昼後帰宅

一 右御用ニ付、相待候書役其外江者、手代共

差遣ス

一 池田亀太郎、明後日出立いたし候由

為暇乞相越、申置

同十一日 雨

一 池田亀太郎文通、錢別半紙十帖・

扇五本遣ス、受取来ル

一 浅井宗壽人来逢

播州須賀山方地役人

忠太左衛門悴

小針松三郎

右之もの義、今日着いたし候ニ付、初而

逢遣ス

同十二日 曇

一天満橋出水届

辰中刻 六尺

同下刻 六尺五寸

巳下刻 七尺

午中刻 七尺五寸

酉上刻 八尺

一 築留出水六尺五寸注進有之、為水防

尚太郎差遣ス、朝出立

一 出水ニ付川浚差止候旨、町奉行

申越、及返書

一 出水ニ付水防出役出ス

神崎川 中山昇三郎

中津川 嶋林梶三郎

一 江戸御用状到来

○ 増田作右衛門ノ壹封

一 龍太郎、金市郎為見廻相越ス

一 小針松三郎、役所見習申渡

同十三日 曇時々雨

一 中山昇三郎・嶋林梶三郎、逐々引水

ニ付、夕刻迄ニ帰ル、鈴木尚太郎も同様

帰ル

一 夕刻坂本入来逢、夜四ツ時比

帰ル

同十四日 曇時々小雨

一 河州久宝寺村百姓直右衛門・善右衛門・

三郎兵衛、名前相違之申立いたし候段

吟味之上、入牢申付ル

一 香川一郎、今日ノ子供手習教示ニ

月三才ツ、罷越ス

一 浅井宗寿来逢

同十四日(五カ) 快晴冷氣

一 朝六ツ半時過

御城入出礼、逐手・玉造御逢有之

京橋者風氣ニ付断、四ツ時過帰宅

一 今朝時服(箱)合着、遠用途中も相当

宅着者綿入ニ而丁度宜

一 十日限別便到来

○ 高橋平作の壱封、紙布一反
到来

△

同十六日 晴天冷氣

一朝田中新五兵衛人来逢

一 摂州光立寺村皮多兼吉外五人

博奕落着申渡

一 河州久宝寺村年寄新太郎外老人

手鎖宿預差免ス

一 加番板倉内膳正・本多伊豫守・

堀田豊前守の設楽連名之切紙到来

保科能登守義久々病氣之處、養生

不相叶、今晚寅中刻病死いたし候段

為知来ル、本紙設楽江慎平を以廻ス

一 嶋林梶三郎、二條表江遣ス

同十七日 晴天

一 廻船方御用状出ス

○ 廻船差向皆済御届

○ 岡崎運賃一条懸を為申遣ル

△

一 右卒便地方御用状も出ス

一 成瀬江文通、招候義申遣、十九日

可参旨申越ス

一 阿州江為遣代船為取調孫四郎遣、今晚出船

為致ル

一 上林味卜罷越候由、連吉逢申置帰ル

一 脇田平左衛門長崎より帰府、昨日着

明朝出立之よし、手代遣ス

同十七日 半晴雷氣

摂州脇濱村

傳兵衛倅

佐左衛門死失

同人姉

やく

右佐左衛門、日光

御参詣相濟候御祝儀之御赦申渡

一岡田寛一郎、播州今津村

高木健三郎手附

小比賀重五郎

自分手代

宮部潤八郎

右御暇明跡江御普請役格ニ而、御抱入

之奉行衆被仰渡候段、当月十日

岡田利喜次郎申渡候、自分名代

岩田鋏三郎江定例之通、河内守殿

被仰渡候段、十一日出御用状到来申越

一廻船方御用状も来ル

同十九日 曇

一成瀬又太郎近々出立ニ付相招、夕

七ッ時比合相越、菓子一折到来、夕飯
振舞寛話、夜四ッ時比帰ル

同廿日 雨

撰州今津村

百姓又右衛門倅

藤助

右中追放申付有之候處、日光

御参詣御祝儀之御赦ニ御免申渡

同州神戸村

八兵衛

右不正品取扱候一件、吟味中之處出牢

村預申付ル

西与力

大須賀元助

近藤保太郎

同同心

本間小馬作

鈴木丁懸

多久官藏

右入来、融通御貸付不納之諸家々来

呼出、納方之義与力合相達有候而、逢一同江

菓子遣ス

一夕刻成瀬江文通、餞別如左贈ル

○道八土瓶一 ○同菓子皿一

○大小風呂敷三

○久須美順三郎江紙封一茶三人菓子入

○同人江居合刀返之分、一同届方

頼遣ス

右来客中之由、受取来ル

一夕刻並河復一入来、夜論語

講聽聞、五ッ時過帰ル

同廿一日 曇

一金公事申渡有之

一夕七ッ時比合田中新五兵衛相越、引續

坂本・設楽入来、(酒)飯振舞、夜九ッ時過

一同帰ル

同廿四日 晴

一朝五ッ時過出宅、難波御藏為立合

相越、納渡米口々有之、猪飼平三郎・

近藤勝五郎・御城代家来并与力

相越逢、九ッ半時比退散○永井

能登守方江相越逢、御廻米積船

御仕法、年(季)明継年季伺之儀ニ付、差支

有無問合書、設楽連名老通相渡

同廿二日 雨

一江戸御用状到来

同廿四日 曇夕晴

一朝成瀬又太郎入来、暇乞逢

一大屋権九郎暇乞入来、申置

近日否可申越旨申談、八ッ半時比帰宅

○御蔵出役序、今宮村廣田社

戎宮參詣、御蔵分三丁斗往復也

一杉浦重郎兵衛入来逢

一成瀬分昨日之返書・菓子一折到来

一宗寿入来逢

同廿五日 晴

一夕七ッ時比出宅、帰府御勘定方江

為暇乞相越○御普請役桑山九八郎

申置○成瀬又太郎逢○大屋

善九郎逢、為贖更紗壹反・書条篋一・

堺塩一遣ス○田中新五兵衛逢、木綿

一反宗利菓子盆一、悴兩人江烟管一・

扇三ツ、遣ス、夜五ッ時過帰宅

一龍太郎、明日尼崎町打ニ付、暮合

已前坂本江参り、夜船ニ而罷越候積

同廿六日 晴曇

一朝六ッ半時過谷丁濱分乗船、市中

川浚見廻、東堀上之口・江戸堀

上之口・木津川上之口見廻、与力共ニ逢

東堀分上陸○御普請役坂登八郎・

梶山鉄六暇乞申置○星野江立寄

酒切手三枚取次江渡、四ッ時過帰宅

一江戸御用状来、漣平分壹封差越ス

一龍太郎、尼崎町打相済、夜船ニ而曉七ッ時

過帰宅

同廿七日 半晴

一金公事申渡有之

一坂本江治平太差遣し、昨日龍太郎

世話ニ成候挨拶申遣

一廻船御用達勘左衛門・平四郎呼出、受取過

年賦納願難被及御沙汰段、申渡

一おたの江おきく分文ニ而、葉十包壹封

漣平宛三而、八日限飛脚使出ス

一庭前松樹根江万年楯生立候を、龍太郎

見出し

一同一覽致ス

申立候間、引渡遣ス

一杉浦江文通、菓子遣、受取来ル

一坂本江昨日之返書、移品遣ス

同廿日 曇夕合雨

一宮部孫八郎、改印願承届ル

一米津越中守殿廻状、米倉丹後守殿

三男紹吉病氣之處、養生不相

叶、昨夜亥下刻病死致候為知

設樂合写差越

同廿八日 曇時々雨

一坂本合文通、柏餅贈ル、受取為遣ル

一夕刻星野市郎兵衛方江為暇乞

相越逢、饞別品々贈ル、設樂相越

一同退散、六ッ時過帰宅

同廿九日 半晴

一大御番森川廉次郎家来高橋

勇二郎、摂州橋寺村庄屋重五郎

宅三而、酒狂之上及乱妨候よし、昨夕訴出

森田鎗三郎差遣候處、右勇五郎召捕

罷帰候二付、森川用達町人を以為引合

同人家来今井瀬兵衛罷越、引取度旨

六月朔日 半晴夜二入雨

一朝六ッ半時過

御城入、伊賀守殿・越中守殿逢

有之、丹後守殿者昨日為知之

悔玄関江申置、四ッ時比帰宅

一堤廻船方年番交代、例之通

相濟、鈴木町懸兩人逢

一立會御貸附年番引渡相濟

六嶋清次郎

岡田儀一郎

右手限御貸附懸申付ル

同二日 時々雨

一金公事申渡有之

同三日 半晴

一藤方江過日之返書、難波御藏

買納調書添遣ス○長廣短尺三枚

真測像一枚相贈ル

一加番分設楽連名之切紙、酒井

大学頭加番被 仰付候段為知越、及返書

同四日 雨

一香川一郎、手習教授ニ来ル、逢

同五日 時々雨

一大坂屋新左衛門分使、菓子到来、移

品遣ス

一夜九ツ時過、潤八郎・尚太郎罷出

撰州嶋上郡廣瀬村水無瀬川筋

国役堤、切所出来候段ニ付、村役人訴出

候段申聞ル、直ニ起出、出立支度いたす

尚太郎者直ニ出立、役所江遣ス

同六日 雨風

一明ヶ六ツ時出立、岡田儀一郎召連、侍

治平太・力・駕籠足輕藤吉召連ル

○枚方宿本陣弁当、九ツ時比同所

出立、渡船西縁大塚村江移ル

八ツ時比場所着、直ニ見分

淀川通

水無瀬川筋字鳥合

永井遠江守御預所

一切所長三拾六間

廣瀬村

下手

一大欠所五間

右見分、仮メ切申付ル、遠江守御預所

役人猪瀬浅右衛門、其外下役共出逢

七ツ半時過役所引拂、御料百姓代

善五郎宅江罷越泊、山崎街道

往還筋也○淀川方役人江明朝

御普請見分立合之儀、申達ス

同七日 半晴少々雨

一朝五ツ時過場所江相越、淀川方役

岡鉦之助罷出逢、切所并欠所共急破

御普請之積、目論見致ス○町方同心

井上十次郎外壱人、水防見廻して罷越

逢○西与力小川甚五右衛門・東与力丹羽

源十郎・西同心二俣孫助・東同心杉浦房二郎

切所為見分相越逢、水無瀬川之切義者

国境之儀ニ付、松通川筋之儀元形通

向縁山崎領江も、村方より為打合、堤方

役所江申立、町奉行江打合方之儀、与力共江も

致談判置○西縁水防見廻森田

鎗三郎罷越逢○右川筋為打合并

仮メ切之儀、村役人共江再應申付ル

○九ツ時比場所引拂○御預所役人猪瀬

浅右衛門呼出、取締心得方之儀申聞置、八ツ時暁

廣瀬村出立○高濱へ渡船楠葉江

移ル、夕七ツ半時比枚方宿本陣池尻

善兵衛方江着、泊ル○川面逐々減水

同八日 曇

一朝六ツ半時比枚方出立○佐太小休

当村江川方組之もの泊居候ニ付、尚太郎

差遣ス○西奉行所江差遣候書物之儀、打合

為致ル○四ツ半時過帰宅

一永井能登守方江尚太郎遣、廣瀬村

切所之儀、申達書并繪圖面出ス、且

帰坂之達書も出ス、甚五右衛門江申談候由

一去ル六日坂本一紙、設楽少写差越有之

小普請組松平美作守支配高橋

弥兵衛惣領、大御番九鬼式部

少輔組高橋平馬三男、高橋

空三郎聶養子願濟、去ル六日

御城代被仰渡候段為知

同九日 雨

一朝四ツ時過

御城入、昨八日帰坂届

○逐手 波多与太夫

○京橋 川上猛次郎

○玉造 関 轍

○御目付上壱軒

右出ス、御城代ニ而中野石州ニ面會、暫

談話いたし、九ツ時過帰宅

同十日 半晴

一朝設楽入来○堤方御證文武通受取

(受取)
々々目録渡ス

同十一日 雨

一当地拾式番御用状差立ル

同十二日 雨

一江戸拾三番御用状到来

同十三日 雨

一福井柳右衛門外壱人、旅宿江次平太

遣し相尋、菓子折一ツツ、遣ス

一宗壽江刀遣し、柳右衛門旅宿江見廻

候様申遣ス

一金公事申渡有之

一淀川出水、天満水丈逐々届出ル

一右ニ付、淀川・大和川江水防出役出ス

同十四日 曇折々雨

一今卯上刻、天満水丈九尺之注進

有之

一右ニ付即刻支度、町奉行江年番ニ

達書遣し、六ツ半時出立、山口瀬左衛門・

侍連吉・力・足輕茂助召連ル、淀川

東縁堤野田村分見廻、九ツ時早メ

守口宿江相越、弁当〇夕七ツ半時過

枚方宿江相越、同所堤町旅籠屋鍵屋

太兵衛宅泊、本陣遠方ニ付為繰替

此宿江泊候也、御預所役人小曾根敬之助

為用聞罷越申置

〇此旅籠屋高名之由、庭前直ニ

大河ニ而、川向大塚村也、淀川上下之

眺望絶景也

過枚方出立〇守口宿本陣弁当

暫く休足、八ツ半時比東海道筋より

帰宅

同十六日 晴

一朝五ツ時前

御城入、昨十五日帰坂届

〇逐手 山本市右衛門

〇京橋 川上猛二郎

〇玉造 小原作左衛門

〇御目付壹軒

右出、四ツ時比帰宅

同十七日 晴

一無記事

同十五日 朝半晴昼前分晴

一明六ツ時過起出、髪月代致ス〇六ツ半時

同十八日 晴

一無記事

同十九日 晴

一無記事

同廿日 晴

一朝六ツ半時比

御城入、御城代・両御定番・両番頭・

加番三軒、暑中見舞申置○柴田

日向守・永并能登守同断申置、五ツ半時比

帰宅

一坂本・設楽逐々ニ来、通逢

一西小弥太入来逢

一播州大屋村々寺内村外式ヶ村江懸

山論一件、熟談内済いたし、為取替

證文并繪圖面を以、勝分カいたし候趣

聞届申渡

一今日々土用中、役所半引

同廿一日 晴

一江戸表江御用状、八日限便差立ル

○小泉様○岸本様○築山

○青山○大熊○松村○木原

○後藤更紗風呂敷ニ・革一入○豊田

○久六

一御城代伊賀守殿実父酒井雅楽頭養祖父

鷲山、去ル三日申上刻病死ニ付、伊賀守殿八月

十日迄忌中之旨、両御定番々之

廻状写、設楽々来ル

同廿二日 晴

一昼前

御城入、伊賀守殿江為悔相越申置

同廿三日 晴

一無記事

同廿四日 晴

一明ヶ六ツ半時谷丁濱乗船、安治川口
川浚見廻、与力同心共逢、帰途暑氣
見舞如左○甲斐庄喜右衛門并
四ッ橋清水代官申置、九ッ時過帰宅

同廿五日 晴

一御城代公用人ノ設楽連名之切紙

到来、被相逢義有之候間、只今老人

罷越候様申来、定例之通及返書

八ッ半時比

御城入、伊賀守殿江罷越候處、用人

波多与太夫を以、書取御渡有之

御簾中様御逝去ニ付

右大將様去十日より定式之

御忌服被為 請候、諸事

穩便ニいたし、普請者今廿五日より

来ル廿九日迄、鳴物者来月五日迄

停止候付、火之元入念候様可
被致候

六月

御簾中様御事奉称

天親院様与候旨、為心得申来ル

一天親院様御遺骸、増上寺江

御葬送

崇源院様 天英院様

廣大院様 泰明院様

御^(相方)★殿於大方丈五百部御法事

御執行可有之旨被

仰出候、且又去ル十八日辰上刻

御出棺之御事候旨被仰下候事

六月

田安一位殿病氣之処、養生

不被相叶、去八日逝去ニ付

公方様定式半減之御忌服

被為 請候間、諸事穩便ニ

いたし、普請者今廿五日より

明後廿七日迄、鳴物者来月

二日迄停止候付、火之元入念

候様可被致候

六月

右相渡受取、御藏奉行江者自分々

可相達旨被仰聞候旨、同人申聞ル、直ニ

帰宅

一 右写設楽江相達、御藏方江例之通

御書付三通達ス

一 支配所村々江停止觸、廻状出ス

一 永并能登守江文通、暑中見舞

菓子一折・急須一遣ス、移茶壺

到来

一 柴田日向守江同断菓子一折

七福酒壺陶遣ス、返書・菓子・茶到来

一 中野石見守江文通、同断菓子

陶器ニ入急須壺ツ添遣ス、返書移

寒晒到来

一 御機嫌伺之儀ニ付、島田江及間合

御城代忌中ニ付不罷出旨、申越ス

一天満祭ニ付、役所休日

同廿六日 晴

一朝比留間兵三郎入来逢

御機嫌伺之儀、打合申越ス

一 設楽用人来ル、逢右同断申遣ス

一 四ツ時過

御城入、御定番式軒・御目付壺軒

御機嫌伺申置、設楽ニ逢、四ツ半時

比帰宅

但、御城代者忌中ニ付、不相越

同廿七日

雨晴

一 西成郡庄屋孫右衛門退役、同人

悴猶二郎庄屋相願、々之通申渡(願)

右兩人并江口村善左衛門、一同別段逢、心得方申論遣又

昨廿六日之分

一御定番廻状写、設楽合来ル

前署

然者

御廉中様御不例、御養生

不被為叶、去十日

御逝去奉絶言語候

公方様 右大將様御哀惜

之御事候、乍然

御機嫌被為替御儀無之候、下畧

六月廿五日 兩御定番

地役一同宛

同断

然者田安一位殿病氣之處

養生不被相叶、去八日逝去

絶言語候

公方様 右大將様御機嫌

被為替御儀無之候、下畧

六月廿五日 兩御定番

地役一同宛

同廿八日 (半)晴

一無記事

同廿九日 晴

一藤方彦市郎合書状到来、即日

返書件大坂屋江渡又

一川路左衛門尉合過日之返書来ル

奈良團扇一本到来

一杉浦江文通、麦遣し、明朝日

御機嫌伺之義問合候處、不罷出旨

申来ル

嘉永元年六月

廿五

從弘化五戊申年

正月至六月

廿六

從弘化五戊申年

七月至十二月

從嘉永二酉年正月至

二月

日次記

七月朔日 晴

一朝六ッ半時出宅○今藏熊藏

○新倉与右衛門○川上猛二郎、右

暑中見廻挨拶申置○銅坐詰

支配勘定御普請役兩人、同断申置

○設楽江罷越逢、廻船方江戸表江

差立物之儀、并堤方土取場之儀及

演説、田川熊二郎江も逢、心得方

申聞置、四ッ半時比帰宅

一青山金左衛門江文通、暑中相尋

桜餅并あらめ遣ス、留守之よし

同二日 快晴

一御城代廻状写、設楽分到来

天親院様御法事、於

増上寺去月廿三日迄無滞

相濟候由被仰下、此段申達候、以上

七月二日 松伊賀守

御代官御藏方宛

一青山金左衛門分昨日之返書差越ス

一柴田日向守分文通、川表水引落

候ニ付、明三日分内川浚相始候由申来

及返書

同三日 晴

一朝六ツ半時出宅、天満組与力

暑中見舞相越候もの共、為

挨拶参申置○杉浦重郎兵衛

通逢、四ツ時過帰宅

一杉浦ハ文通、佐州産物到来、及

返書、夕刻焼印差越、又及返書

一設楽ハ使、菓子・茶到来、受取為遣ル

一浅井宗寿入来逢

同四日 晴

一設楽江昨日之返書旁團扇・

菓子遣ス、返書来ル

一甲斐庄江書通、砂糖カ折遣ス

返書来ル

一増嶋涛太郎江文通、菓子遣ス

一廻船方御用状出ス

○御備船継年季伺、其外

伺書早々差立ル

右自分方ハ出ス

同五日 晴

一杉浦ハ文通、御城代濠（濠）中見廻

之儀申越ス

同六日 晴夕雲立遠雷

一中沢邦之助江文通、暑中

相尋、寒晒カ箱遣ス、受取

一役所半引

一岡田寛一郎、昨夜中ハ從南都

帰坂

同七日 晴

一早朝役所一統礼受

一朝六ツ半時過

御城入、京橋・玉造出札有之

一御城代者忌中不相越、番頭・

加番例之通廻勤、酒井大学頭者

御城入歛をも申述ル、四ツ時過

帰宅

一七夕祝儀来人有之

一浅井宗壽人来逢

同十日 晴

一市中入之儀ニ付、瀬左衛門并菊池

権作一同能登守方江差遣、夫々

引合之趣罷帰申聞ル

一夕刻宗壽人来逢

同八日 晴

一市中入之儀ニ付、町奉行江引合

振為打合、設楽〔江〕瀬左衛門遣ス

一増寫濤太郎一昨日之返書来ル

同十二日 朝曇晴

一朝五ツ時過出宅○坂本江相越

通逢、李三郎智養子願濟

歛并暑氣見舞、答札兼參ル也

○永井能登守用人ニ逢、時候見廻

申置、四ツ半時比帰宅

同九日 晴八ツ時比地震

一伴李太夫、一昨七日濃州表へ帰宅

いたし候由相越逢、本庄安藝殿へ

廉素雲籠★★物光孝折紙添

被相贈候、昼飯振舞遣ス

一成七又太郎へ之書状到来

同十二日 晴

一朝五ツ半時

御城入、伊賀守殿江相越、用人

波多与太夫ニ逢、朦中御見廻

申置、猪飼平三郎ニ面會致ス

四ツ時過帰宅

一江戸江御用状出ス

○西須磨村新開場一件差立ル

右ニ付兵部木弥一右衛門江壹封

遣し、自分存寄申遣ス

○おたの・おゐち江壹封、中元

悦義金三百疋ツ、封入遣ス

メ

一鏡石助六、一昨日着坂いたし候由

弟子秀ヶ崎三吉召連来ル、逢

遣ス

一中澤邦之助今此日伺之返書差越ス

同十三日 晴雲立

一江戸今当月朔日出御用状到来

一芳賀覚太郎母持傳候由之

菊老鉢、自分江贈度旨、茂久左衛門ニ

申聞候趣同人今差出一覧

一家例之通夕刻

靈祀

同十四日 晴

一芳賀覚太郎母相贈候菊受用

為挨拶糸織一反遣、茂久左衛門今為遣ル

同十五日 晴

一設楽今中元祝儀小菊壹束

到来、返書挨拶申遣ス

一同人坂本江一紙文通、来ル十九日

甲斐庄江同伴之事申遣、差支

無之旨申越

一甲斐庄家来、文通ニ而十九日者差支

出来、十八日ニいたし度旨申越、返書

為及候

一右ニ付両家江文通申遣、返書

来ル

一 芳賀覚太郎手判町奉行
相渡、即日当人江為渡ル

一夜ニ入水品権十郎分文通、明日被為
召候旨為知来ル

同十六日 晴

一 水品権十郎入来、池田庄太夫跡

御藏奉行被 仰付候、吹聴申置

一 右之趣、御藏方并島田分一紙を以
申越ス

一 同断之儀、御城代廻状設楽

連名ニ而到来、本紙留置

一 甲斐庄江文通、来ル十八日両士

同伴参候義申遣、承知之旨家来

文通ニ而申越ス

一 浅井宗壽入来逢

同十七日 晴

一 永并能登守、明後十九日川々

見廻罷越候旨申越、及返書

一 設楽江文通、明日川口江相越候義
申遣、返書来ル、夜ニ入用人差越
逢、挨拶申遣ス

一 安田春庵入来逢

同十八日 晴、八ッ半時比雷雨

一金公事申渡有之

一 昼後坂本・設楽入来、同伴八ッ時

比出宅、谷町濱分乗船、甲斐庄江

相越寛話 土産之品相贈ル、酒飯

被振舞、夜四ッ時比退散、堂嶋

川筋帰帆、八軒屋分上陸、九ッ半時過

帰宅

同十九日 晴、残炎少し減

一 水品権十郎江結状ニ而鯉節

壹筥贈ル、受取来

一 甲斐庄家来、文通ニ而昨日贈物之

挨拶早々到来、且菓子一折贈ル

挨拶（為）申遣ス

一 星野一郎兵衛書状到来

一 樋屋市二郎・吹田屋藤助呼出

当申年季切替ニ付、心得方申諭

跡受願差出方申聞遣ス

同廿日 晴

一 無記事

同廿一日 晴

一朝六ツ半時過谷丁濱乗船、市中

川浚見廻相越、東堀（為）堂嶋

川筋木津川江出ル○甲斐庄

喜右衛門、明後廿三日出立ニ付、為暇乞

相越、留守ニ而用人江逢申置

○農人橋詰（為）上陸、水品権十郎

方江相越、御役替歛申置、四ツ半時

比帰宅

一金公事申渡有之

一 鈴木尚太郎、堺奉行江差遣ス

同廿二日 晴

一 無記事

同廿三日 晴

一 龍太郎、角力見物与して

天満江参ル、西小弥太同伴

朝（為）出、夕帰宅

同廿五日四 朝雨曇昼又雨

一 難波御藏ニ出役、谷丁濱（為）

乗船、兵三郎・勝五郎江出逢

雨天ニ付納渡延引ニ成、西

横堀川帰帆、九ツ時過帰宅

一当地御用状出ス

○星野一郎兵衛ニ忝封

ノ

同廿五日 朝雨半晴

一難波御蔵ニおゐて諸人用并

一御役料米相渡ス、出役清二郎

同廿六日 晴

一江戸御用状到来

一水品権十郎入来申置

同廿七日 曇大風、夜四ツ時過
大雷雨

一無記事

同廿八日 曇

一無記事

同廿九日 半晴

一朝五ツ時過谷町濱へ乗船、難波

御蔵為見廻相越、御蔵奉行

水品権十郎・仮役近藤勝五郎・

与力共相越、納渡并沢手見分有之

立會、八ツ時過帰宅

同卅日 曇夕過雨

一自分少々風邪氣ニ而、明日出礼

断之儀、設楽江頼遣し、返書来ル

一棚橋平馬、明日八朔祝儀使者与して

相越

八月朔日 曇折々雨

一如家例八朔祝義致ス

一朝五ツ時過役所一同礼受

一四ツ時過支配所村々礼受、昼前
相濟

一八朔祝義来人有之

一安田春庵・浅井宗寿来逢

同二日 曇

一生玉祭礼ニ付、役所休日

同三日 曇

一設楽分孫八郎便文通

一夕刻並河復一入来、論語講聴聞

五ツ時過帰ル

一大屋善九郎分之書状到来

同四日 快晴二百十日平穩

一江戸表江御用状出ス

○大屋善九郎江返書壹封

メ○おたの江お喜久分壹封

一猪飼平三郎・近藤勝五郎為
暇乞入来申置

一 撰州奥平野村

吉左衛門

同人悴

佐太郎

右野荒、吟味入牢申付ル

一 中澤邦之助分文通来ル、八日出立之旨
申越ス

同五日 晴

一朝五ツ時前

御城入、両番頭堀田豊前守

暇乞申置、中沢邦之助・増嶋

濤太郎江暇乞相越逢、餞別品

遣入、植村庄右衛門江暇乞申置、四ツ時

比帰宅

一屋代増之助宅状頼越、及返書

八日限を以連平江為差遣ル

一浅井宗壽人来逢

摂州中宮江村

伊左衛門

右理不尽一件、吟味之上手鎖宿預

申付ル

同六日 晴

一設楽文通、自分・龍太郎不快

見舞、菓子・鯛味噌到来、及返書

移品遣ス

一朝五ッ時前出宅○近藤勝五郎・猪飼

平三郎江暇乞申置○久保佐十郎・

小笠原采女同断申置○永井

能登守江相越、用人ニ逢申置、四ッ時過

帰宅

一久保佐十郎・小笠原采女暇乞入来申置

一岡田儀一郎妻今朝出産、男子出生

いたし候段届出ル

同七日 半晴風

一堀長門守使者

御城入相済候ニ付、太刀一腰・銀壹枚

贈ル

一御城代々廻状、当地御具足奉行

藤本勇次郎被 仰付候段達、御蔵方江

順達

一右之趣、島田鉄太郎も一紙来ル

摂州新在家村

新五郎

森之助

右村内傳七・源助其外之もの共を及

打擲、其上博奕をもいたし候一件、吟味中

入牢申付ル

同州熊内村

源次郎

岩藏

神戸村

宗兵衛

右不正之品取扱候一件、吟味中手鎖

村預申付ル

一淀川出水天満橋水丈届

午上刻 六尺

午中刻 六尺五寸

未上刻 七尺

未下刻 七尺五寸

右三付、村々江水防廻状為差出、淀川

東縁江石井益太郎、西縁江中山

昇三郎為水防差遣ス

一堺奉行江鈴木尚太郎遣○石川・

大和川変化波寄取斗、設楽連名

書取為差出、逐而沙汰上致ス、組与力

申聞候よし○南嶋新田堤樋

国役堤除伺相濟候、書取渡ス

一夕刻宗寿入来逢

一石川定之丞江連吉遣、自分不参義

断申遣ス

一天満橋水丈

八尺

同八日 昨夜夕風、昼前夕雨風

一杉浦重郎兵衛冬春之内参府

願濟、地役一紙廻ル

一長崎詰支配勘定石川寅之丞・

御普請役衣笠弘助、今朝着いたし候由

入来申置

一細田三右衛門今朝着坂いたし候由

昼後入来逢、土産品々到来、酒振舞

七ツ時比帰ル

同九日 雨風夕収月明

八尺五寸

九尺

九尺五寸

同十日 半晴

一出水ニ付、為水防明六ツ時出立、鈴木

尚太郎召連ル、野田村ハ堤通

相越○河州茨田郡五番村堤内

数ヶ所吹水いたし、昨夜ハ村々ニも出

手当いたし罷在候由、場所見分致ス

村役人宅ニ而休足弁当、右吹水

いたし候場所不容易筋ニ而、居村并

水下村々役人共出合居候分呼出

心得方申諭、当場所見分致ス、両町同心共

水防見廻罷越逢、九ツ時過当村引拂

帰途○神崎川枝流鮎川自普請所

以樋洩水いたし、今晚ハ手当いたし居

万一及切所候而者、国役堤續之儀ニ付

尚太郎差遣、為及見ル、自分者七番村

庄屋利右衛門宅ニ而小休、昇三郎

西縁ハ廻り相越、無程尚太郎も罷歸

水防出来候由ニ而、夕飯支度いたし、暮

六ツ時過歸宅

一 島田ハ藤本勇次郎書状差越

設案分も届方頼来ル

一 松平越後守家来伊丹健十郎

鯉節ハ箱持参、潤八郎江申置

同人ハ申聞ル

同十一日 半晴折々通雨

一 島田江昨日之返書、藤本江之返書

壺封頼遣ス

一 杉浦江文通、返書来ル

一 長水江次平太遣し、名所画頼候分

十九人前為持認メ方頼遣ス

一 宗壽入来逢

同十二日 曇八ツ時過分雨風逐々
暴風雨、夜中弥強し

一朝五ツ時過

御城入、昨十二日帰坂之積届書出ス

○逐手 波多与太夫

○京橋 今藏熊藏

○玉造 関 轍

○瀧川三郎四郎 取次北條耕之助

右出ス、玉造ニ而土屋・設樂ニ逢、四ツ時過帰宅

同十三日 今暁分風雨収

一昨夜中之大風雨ニ而、御役宅内所々

破損所出来

一天満橋水丈届

○辰上刻 六尺

○同中刻 六尺五寸

○巳上刻 七尺

○同中刻 七尺五寸

○巳下刻 八尺

○午中刻 八尺五寸

○同下刻 九尺

右ニ付、淀川東縁江岡田寛一郎

西縁江岡田義一郎為水防差遣

一辰上刻大和橋水丈壹丈貳尺之注進

有之、嶋林梶三郎差遣

一同刻築留壹丈之注進有之

里村保助差遣

一昼八ツ時過川々為水防出立、山口瀬左衛門

召連ル○出立届之儀、設樂連名を以

例之通永井能登守江相達ス○淀川

東縁見廻○守口ニ而鈴木尚太郎

廣瀬分帰途逢、御用筋申含、帰坂

申付ル、八番邊大雨○暮六ツ時過

河州六番村江相越、泊宿年寄勘兵衛

○今市村三郎右衛門相越逢○神崎川

枝流（安藏川筋）別府村為自普請危く、防方

いたし居候由、鐘鼓之音頻〇夜

五ツ時過水丈壹丈三尺三寸之よし

今夜中天満水丈壹丈壹尺五寸ヨ之由

〇夜五ツ半時過堤江相越、水見分致ス
處々鼓聲聞ル

同十四日 晴夕曇漸雨

一朝髪月代致ス〇昨夜丑中刻摂州

別府村自普請堤及切所、村ニ水

押入候段、田中善左衛門申出ル〇五番村

吹水所見廻、専ら水防手当いたし

防留ル、同村役人宅小休弁当

〇安威川切所懇切之儀ニ付、江口村

外式ヶ村分差止之儀、願出候ニ付、水冠

村々江觸書差出、既ニ地頭役人ニも

取締方為及懸合ル〇點野堤洩水

いたし、専ら水防罷在候由ニ付、池田川村

清兵衛人足召連、防方可致旨書付為

差遣ル〇壹番村堤吹水いたし候ニ付

見廻、手当申付ル〇點野村處々

吹水洩水いたし、別而字和道堤筋

危急之場所有之ニ付、村々役人共呼出
人足多人数為差出、専ら防方為致

夜ニ入泊江着、永井左門足輕格田中

藤八郎宅江泊〇夜四ツ時過水丈壹丈

三尺八寸ニ到全満水、堤筋不絶見廻

夜九ツ半時比泊江引取、暫時休足

同十五日 曇八ツ時比雨

一昨夜中分逐々減水いたし、危急之場所

何れも防留候ニ付、尚太郎者外御用申合

一旦帰坂申付、今朝当所為引取候ニ付

宅状壹封遣ス〇朝五ツ時過泊出立

點野處々吹水所見廻候處、何れも

防留候ニ付、岡田寛一郎残置、場所

引拂、河州築留江向大和川・石川通江

相越、道筋如左

○點野^{廿丁}○佐太^{廿丁}○大久保^{一丁}○古橋^{一丁}

○今津^{一丁}○高井田^{一丁}
庄屋源左衛門宅
昼食

○八尾^{一丁}○築留○式番樋去ル十三日過

滴水之砌、樋表拾間四方程落込候處

村々人足多人数出、杭木土俵を以水防

いたし、漸防留候中減水ニ赴キ、先

相凌候由、場所見分いたし候處、申立候通

危急之体ニ相見ル、然ル處砂蓋一枚并

船梁式本、壱本者古折、壱折者新折ニ而樋

尻江持出候よし及見、色々右之損所分

堤落込候義与相相見ル、急水留手薄ニ而

当手当方申付○夕刻會所江着泊

○郷堤安堂村・高井田村切所見分相済

○夜ニ入樋元惣代・年番惣代詰合候分

呼出、式番樋手当方之儀及沙汰○夜

五ツ時過設楽泊江相越、今日江口村分一旦

帰坂、夕刻出直し相越候由逢、夜八ツ

半昨比旅宿江帰○暮六ツ時比大坂江

飛脚差立、宅状并設楽江之御用向書状

壱封遣ス

同十六日 朝雨収晴

一朝五ツ時比設楽入来逢、同人者直ニ

淀川筋江相越○築留樋組惣代・

年番惣代共呼出、式番樋水防手当

之儀申論、受書泊江可差出旨申付ル

○五ツ時過出立、式番樋見廻○片山

切所見分、自普請之儀及理解

○国府村大欠所其外見分、同様及

理解○誉田垠樋当春定例

之分、出来栄見分いたす○古市弁当

○喜志村切所見分、大場所ニも無之候間

自普請及理解○中野村切所

見分、急破目論見いたし、夕七ツ半時

比場所引拂、同村庄屋弥太郎宅

泊○今日見分之村々役人共、泊江夫々及
取調○今朝飛脚歸便宅状来、平安

同十七日 雨

一朝四ツ時比中野出立○河野邊通
通行、同所庄屋宅弁当、平野・
天王寺通行、夕七ツ半時比歸宅

同十八日 晴

一昼九ツ時過

御城入、昨十七日歸坂届
逐手 鈴木佐太右衛門
京橋 水村一馬
玉造 関 轍

御目付兩人共留守

右相濟、直ニ歸宅

一町奉行江自分・設樂共、昨日歸坂之義達
諸村切所之儀、連名ニ而書取出ス

一淀川逐々減水、寛一郎夕刻歸坂
一築留惣代共受書、森河内村齋助
持参出ス

一堤方御用状出ス

○出水届

○地方御用状并出水届

ノ

一淀川減水、天満水丈

已上刻六尺七寸

同十九日 晴

一明廿日石川通中野村切所、堺奉行
立會出立届
御城入

逐手 波多与太夫

京橋 水村一馬

玉造 小原作左衛門

御目付兩人共留守

右相濟、四ツ半時帰宅

一東成郡木野村綿作及水腐、毛替

願出ル、本庄・大今里水冠見分願出ル

一中野石見守切所見分一日相延、明後

廿一日之旨申来ル、右ニ付自分出立も一日相延ス

同廿日 晴

一江戸御用状来ル、廻船御用状も来ル

一設楽入来逢、夕飯出し、夜ニ入帰ル

同廿一日 朝曇半晴

一朝五ツ半時出立、懸兩人連ル○天王寺村

小堀口休、吉田孫三郎呼寄、画之事

申付ル○平野郷分川野邊通

同村庄屋源兵衛宅弁当、七ツ時比

中野村着、切所見分目論見、暮合

場所引拂、同村年寄三郎右衛門宅へ泊

○菊地庫次郎、損地見分出役いたし候由

夜分相越逢

同廿二日 朝雨曇夕又雨

一朝五ツ半時比分場所江相越、取調致ス

四ツ半時比中野石見守相越、立會

見分場所之様子及演説、同人者直ニ

壺井邊巡見之方江相廻、自分も場所

引拂○築留江九ツ半時過相越弁当

式番樋見廻、水防手当不残致候間

惣代共江及沙汰○河州豊浦村江夕

七ツ半時過着、当村者小林田兵衛知行也

元地代官相勤候よし、中村四郎右衛門宅江

泊、門江入左之方大松樹有、繁茂

神祖御宿陣之節、御馬繫之松与

言傳、側ニ立札有、玄関分入上之間八畳

御宿陣

入御之間与云、常々メ切上畳有之、其

次之間江止宿、其次者直ニ玄関なり

同廿三日 昨夜夕雨、朝五ツ時比夕収半晴
一宿四郎右衛門持傳候御由緒之品々

拜見致ス

○

神祖御黒印御下文 一通

○御宿陣之節村内制札一枚

○先祖拝領御刀 志腰

○右御刀拝領之下文 一通

右之外先祖着料之具足・手鑑・古

人別帳等一覽

○御馬繫之松一覽、松葉を採、五ツ時

過出立○河州中野村之内三壺小休

立場茶屋ニ而弁当、八幡道枚方江之

追分也○枚方宿江出ル、淀川西縁ニ

渡船○大塚町堤見分○暮六ツ時過

廣瀬村着、百姓次郎兵衛宅江泊

御預所役人段野八郎兵衛、様躰聞ニ

相越

○途中日下村往還六、七町山手江
登り、日下の瀧一覽、随雲山
大龍寺中之瀧也、境内分本堂
之邊をも一覽、都筑金三郎支配所也

同廿四日 晴

一朝五ツ時前廣瀬出立、同村水無瀬川

筋切所急破御普請出来栄見分

致ス、淀川役并高槻御預所役人共

罷出ル○西縁江渡船○楠葉村分

順々堤筋見廻東○渚村切所式ヶ所共

目論見致ス、淀川方者は引取○枚方

本陣弁当○東縁村々堤筋見廻

東海道往還帰途、夕七ツ半時過帰宅

一留守江柴田日向守分文通、金談申越ス

同廿五日 晴

一昼後

御城入、帰坂届

○追手 山本市右衛門

○京橋 川上猛二郎

○玉造 小原作左衛門

○瀧川三郎四郎取次

右相濟、八ッ時比歸宅

一金公事申渡有之

一昨日東之返書遣ス

一豊田江之沓封、江戸江差立ル、桑山

圭助一条申遣ス

一金公事申渡有之

一融通方江年番ニ而、東金談〔昨日〕申聞候處

尚一同申談可申立旨申聞候由、山下

仙左衛門相越申聞ル

一柴田江沓封、茂久左衛門江為持関

秀五郎方江遣ス

一江戸御用状到来

同廿八日 晴

一鈴木尚太郎、堺奉行江遣ス

同廿六日 曇半晴

一八ッ時過東江參、日向守面會金談

○設楽江相越逢、右一条申談、熊二郎ニも

逢、融通方江談之儀申聞ル、夜

五ッ時過歸宅

同廿九日 晴冷氣

一昼後設楽入來、融通方町人共東

金談断之儀申聞ル、夕刻同人柴田江

參、其段申通候積ニ而歸ル

一里村保助、渚村為見廻遣ス

一坂本之文通、久須美順三郎江之沓封

差越ス

同廿七日 曇

九月朔日 晴

一朝六ツ半時谷町濱乗船、安治川口

定浚見廻、同心詰合逢、九ツ時過帰宅

○百裏召連天保山上陸、川浚

真景を為写ル

一設楽分文通、受取為遣ル

一里村保助、渚村見廻相済帰逢

一堤方諸色受負人市次郎・藤助呼出

直段増調直し之儀及理解、差出候

書類下遣ス

一夜分宗寿人来逢

返書来ル

一炭屋安兵衛代為助・千草屋宗十郎代

繁八呼出、柴田借受銀之儀兩人分

為申談ル、否来ル六日年番役所江

申置候由ニ而引取候由

一撰州打出村小前もの共、村役人相手取

不埒之取斗いたし候一件、手限取締

申渡

同四日 晴

一設楽分文通、及返書

一北平野町之もの共、隠賣女ニ紛

渡世いたし候一件、一同呼出、取締

申渡答差免

一明五日堤方廻村出立届、昼後

御城入

同三日 雨

一設楽江文通、柴田銀談之儀申遣

追手 山本市右衛門

京橋 水村一馬

玉造 小原作左衛門

瀧川取次足立甲斐之助

右七ツ時過帰宅

一 地方御用状・堤方御用状共来ル

一 夜分坂本父子入来逢、五ツ半時過

帰宅ル

一 宗寿入来、一寸逢

同五日 朝半晴曇折々過雨

一朝六ツ半時過出立、谷丁濱乗船

淀川通西縁

西ノ村 中ノ村 柱本

三嶋江 唐崎 大塚村

大塚町村立會

右定例御普請所目論見致ス

永井遠江守堤役并使者出ル、大塚

先者淀川役岡柳之助例之通

出ル

前嶋村

右急破御普請目論見、夕刻相濟

同村庄屋喜右衛門宅江着泊

○村々并堤役泊江相越ス○此泊

去未年壹度泊候宅也

同六日 曇折々雨

一朝六ツ半時過出立○楠葉村定例

急破とも目論見○渚村切所

埋立方見廻、人足百人程土船ニ而

土砂持運埋立方専ら取斗罷在、猶

心得方申論○三矢村欠所見分、目論見

○木屋村吹水所其外見分、目論見

○點野村吹水所其外見分、川除目論見

夕七ツ半時過同村庄屋 宅江着

泊場所江永井金三郎家来堀田意作

罷出、泊江も相越

○先般之出水ニ而、東縁之内木屋村・

點野村・五番村處洩水いたし、難場
尔付、水下村々江〔普請〕助力之儀、申論候積、兼而
七番村利右衛門江及沙汰置候間、泊江
惣代共左之通出ル

淀川東縁摂州水下惣代

今市村

庄屋

三郎右衛門

七番村

庄屋

利右衛門

此四人重立候
もの共三付、別段西橋波村

逢遣、尚一同及

理解

池田川村

庄屋

久右衛門

清兵衛

蕨嶋村

年寄

四兵衛

門真二番村

庄屋

喜兵衛

下馬伏村

庄屋

重兵衛
宗右衛門

高柳村

庄屋

喜左衛門

大利村

庄屋

忠兵衛

平池村

庄屋

久兵衛

梶村

庄屋

宗右衛門

右之もの共呼出、前書ニケ村普請所

助力之儀及理解、一同承伏

點野村

庄屋

政右衛門

年寄

弥兵衛

東三郎

外庄屋

經太郎

竹四郎

右之もの共心得方閑（等）閑ニ付、及沙汰

同七日 晴夕雨

一朝永井金三郎家来堀田意作

呼出、国役御普請心得方申論、五ッ半時

出立、当村御普請所目論見致ス

四ッ半時過場所引拂○仁和寺村

○老番村吹所及見卷ッ目論見方者
見合候積 ○五番村

吹水所見分、目論見致ス、水下村々惣代

一同罷出居、夕七ッ半時比場所引拂、帰帆

暮六ッ半時比帰宅

同八日 半晴

一画人長年罷越逢、晝注文いたす

同九日 曇

一早朝役所一同礼受

一家例之通重陽之祝義致ス

一朝六ッ半時過

御城入、伊賀守殿・丹後守殿逢

有之、重陽之祝詞申述ル、両番頭・

加番例之通祝詞申置、越中守殿者

不快ニ付逢断、今般交代之御目付江

歎申置○昨八日婦坂之積、届書

三手江出ス、用人名前左之通

逐手 山本市右衛門

京橋 今倉熊藏

玉造 小原作左衛門

御目付取次

右相濟、四ツ時過婦宅

一重陽之祝義、來人有之

同十日 曇時々雨

一村役人役義申渡有之

一廻船方御用状鈴木丁々廻來、一覽

返ス

一尚太郎・保助堤方下見分与して

新田向其外江遣、今朝出立

同十一日 曇

一東成郡玉造村・古屋敷新田、先般

出水之砌、逆水ニ而水湛不作いたし、破免

檢見入之儀先般願出、今日も書付差出候ニ付

再應及理解候處承伏いたし、兩村共

右願下いたし候ニ付、願書下遣ス

一尚太郎・保助下見分相濟、八ツ半時過

婦坂逢

一甲斐庄喜右衛門分書状到來、八月

十八日附也

一市中入取調ニ付、町奉行組之もの

見分、立會与して中山昇三郎・

森田鎗三郎差遣、北野村市中

續之場所見分相濟候よし、西与力

勝部与一郎・東与力朝岡助之丞并

同心老入ツ、惣年寄共相越候よし

一御城代分廻状到來、例之通御藏方江

廻達

同十二日 雨

一 地方御用状差立ル

○久須美順三郎江耆封

坂本・杉浦両封届ル

一 堤方懸両人、当年出水等ニ而格別骨折

相勤候ニ付、金貳百疋ツ、遣ス

一 宗壽入来逢

同十三日 曇

一 御用状到来

○豊田ノ耆封

ノ

一 増田作右衛門江返書、耆封役所江渡ス

同十四日 晴

一 朝六ツ半時過谷丁濱乗船、堤方目論見

出役懸両人連ル

淀川通

○三大道○橋寺 ○三番

○荒生 ○赤川 ○毛馬

右見分、夕七ツ半時過帰宅

一 宗壽入来逢

一 保助帰便、明日出札断設楽江申遣

同十五日 晴

一 朝六ツ半時過出立、谷丁濱乗船

淀川通三ツ頭ノ

中津川通

○光立寺○古堤新田○成小路

○堀 ○今里 ○塚本

○野田○四ノ寫ノ春日出

○南新田○六軒屋○西野

右目論見相済、夕七ツ半時過帰宅

一 林茂久左衛門義、東成郡大今里村

作方為見分遣ス、於場所理解之上

破免願上之儀申立、明日願下申立候旨

申聞ル

同十六日 曇夕漸雨

一朝六ツ半時過出宅、歩行懸兩人連ル

堤方廻村

淀川通○柴嶋

神崎川通

○上下新庄○三大道○蔭江○神崎

○佃○大和田○福

右目論見相濟、暮六ツ時過帰宅

同十七日 曇昼後雨

一無記事

同十八日 雨昼後収

一無記事

同十九日 晴夕雨

一設楽分文通、津守新田国役除

之儀ニ付、御勘定所書上一冊差越、及

返書、保助帰便右書上相返ス

一堤方諸色受負人、直段増様帳

調直し差出ス

一築留樋組惣代植忝村理兵衛

外吉人罷出、忝番樋水防御手当

之儀願出ル、及理解、願書者下ル

同廿日 晴

一洪川郡植松村庄屋利兵衛義

夜分茂久左衛門方江罷越、同村小前

当作方之儀ニ付多人數相集、不埒

之取斗いたし候段、内訴之儀同人

申聞ル

同廿一日 晴

一八部郡ニツ茶屋村勘兵衛同人母

しやう・作五郎儀、神戸村金左衛門

宅江罷越及不法候一件、(申口相分候ニ付)差免、出牢

申付ル

一金公事申渡有之

仁兵衛
外八人

同廿二日 晴

一武庫郡鳴尾村常吉一付

右村内氏神境内江多人数寄集

此もの共重立候ものニ付、一通吟味之上

入牢申付ル

口書申付ル

一水品権十郎の御役替内祝、鳥子餅

同廿四日 晴

結状を以到来

一摂州中野村・深江村之もの共、松平

一渋川郡植松村江為捕方中山

遠江守領分同州小路村樋普請

昇三郎・岡田儀一郎差遣、今朝

之儀ニ付、同村江多人数罷越、及不法

出立

候段、右役場を懸合状今曉到来之由、

明六ツ時比茂久左衛門申聞候ニ付、為取締

同廿三日 晴

山口瀬左衛門即刻差遣ス

一夜ニ入並河復一入来、論語講聞

一朝六ツ半時過出宅、難波御蔵江

問、五ツ半時帰ル

為立合相越、水品権十郎・土田清助

一昇三郎・儀一郎儀、植松村の夜

其外御蔵目付出ル、納渡米有之

五ツ時過帰坂

九ツ半時比退散、出役清二郎

河州植松村

○永井能登守方江時候見廻相越

用人ニ逢申置、七ツ時比帰宅

○難波村瑞龍寺江相越一見

一東成郡新喜多新田水腐場

為見分茂久左衛門差遣、夕七ツ時過

帰り見分之趣申聞ル

同廿七日 雨夕曇

御城出○設楽江相越逢、当中

破免取斗之儀及内談、暮六ツ時過帰宅

一御城代 召状、今朝内着候由及承

一昼後堤方廻村懸兩人連、九ツ時過出宅

上福罵塚樋見分定例○九條塚樋

見分急破、庄屋真兵衛宅休足、夕

七ツ時過帰宅

一浅井宗壽入来逢

同廿五日 雨

一金公事申渡有之

同廿六日 雨

一昼後

御城入、明廿七日夕堤方廻村并検見

出立届、如左出ス

同廿八日 朝晴曇折々過雨又半晴

一朝五ツ時過出宅、検見手始撰州

天王寺村江相越田方検見、風水損ニ而

出来劣、九ツ時過會所江相越、春法後

弁当、茂久左衛門・寛一郎・昇三郎・儀一郎・

○上御目付老軒取次

右相濟、玉造兮

益太郎召連ル○坂本江立寄逢

七ツ半時比帰宅

○帰途高津宮江参詣

一 設樂ハ藤助を以追手御用

召ニ付、心得方問合取調候處、去々子年

井上河内守殿之節、別段不相越

候ニ付、其旨文通ニ而申遣ス

一 御定番ハ之廻状写、御藏奉行ハ到来

及返書候由、設樂ハ廻し来ル

以廻状申入候、松平伊賀守御用之儀

有之候間、六、七日之支度ニ而可致

参府旨、奉書致到来候、右為

御知如此御坐候、已上

九月廿八日

米津越中守

米倉丹後守

地役宛

尚々竹垣三右衛門・設樂八三郎江者

御藏奉行ハ通達可有之候、已上

同廿九日 曇

一 設樂ハ文通、破免伺之儀ニ付内事

申越、及返書

一 江戸ハ御用状到来

○久順ハ壹封、坂本・杉浦江之両封差越ス

明日稽古人ハ届候積

同晦日 曇時々雨

一 撰播州為検見明六ツ時出立、懸り

潤八郎・儀一郎・益太郎召連ル、寛一郎・

昇三郎者昨日先江差立、羽山村ニ而待

受候積、侍治平太・力・中間老人・足輕

老人○大塚式里神崎式里昆陽壹里

小濱弁当四里半道場河原、夕七ツ半時過

本陣——宅江着泊、撰播州支配所

村役人共泊江出ル

十月朔日 半晴

一曉七ツ時過道場河原出立○道場_{三里}

竹原_{式里}○天神弁当_{式里}

下三草_{卷里}和布_{卷里半}羽山

夕七ツ半時過着、直ニ檢見相濟、年寄

善兵衛宅江泊、寛一郎・昇三郎待受居

是夕一同ニ成ル

同二日 半明朝漸雨

一朝六ツ半時過羽山出立、檢見○森本

○糶屋○安坂○茂利、右相濟、安坂

春法○奥中_{中村准郷}○中村春法

弁当○間子○岸上、右相濟、岸上春法

○高岸皮多○天田_{右阿村鍛冶屋准郷}

○鍛冶屋檢見濟春法、百姓

宅江泊ル、夕七ツ半時比着、髮月代致ス

同三日 晴

一朝六ツ半時鍛冶屋出立○牧野新町

田ノ口_{准郷}○田野口○東山皮多

○安楽田町檢見、同村春法○門前

安楽田_{准郷}○山野邊○西脇_{寺内准郷}

○寺内檢見、春法○奥荒田

○多田_{豊部准郷}○豊部○大袋

檢見○觀音寺手分○丹治○山口

○西山○市原_{大袋准郷}、夕七ツ半時過

豊部江着、百姓左右衛門宅江泊

春法○雪信筆楓ニ雉子鶉之

懸物一幅、買上候代金貳円也

同四日 朝晴昼後曇折々雨

一朝五ツ時比豊部出立○的場百姓

忠兵衛宅小休、博多織一覽

○天船坂本檢見、庄屋伊八郎宅ニ而

春法、弁当○門田○赤坂_{坂本准郷}

○俵田庄屋佐右衛門宅小休○下三原

検見、庄屋十太夫宅ニ而春法、泊

同五日 朝昨夜分雨朝止又折々雨

一曉七ツ半時下三原出立、朝五ツ半時過

青野原着、検見○新畑村庄屋

宅ニ而春法、弁当○小野通行之節

例之通屋敷前江使者、途中江家来

其外出ル○太郎太夫村江八ツ時過着

仁右衛門分家百姓久吉宅江泊○仁右衛門者

不快ニ而六蔵斗出逢、久吉者六蔵

甥のよし

同六日 朝晴昼後曇少し過雨又収

一曉八ツ半時過太郎太夫村出立

同村分三木江五拾町、三木分四ツ脚江

式里、同所分木津江耆里、同所分

兵庫江三里半、此間藍那立場ニ而

駕中弁当、兵庫江九ツ半時過

着、直ニ検見、川東水車場ルて

春法、夫分濱方字東出町検地相濟

夕七ツ時比本陣江着、泊○村々惣代

村役人共罷出一同逢○定例之通

懸り之もの江酒振舞遣ス

同七日 晴

一正六ツ時兵庫出立○脇濱○岩屋

右検見、味泥ニ而春法○住吉江

四ツ時比着、辰三郎方困穀蔵

見分相濟弁当、辰三郎呼出、東成

水腐村々手当差出金之儀申論

近日大坂江罷出可申立旨、申聞置

村役人共并吉田喜平次逢

○横屋検見、庄屋与左衛門宅ニ而春法

○深江・芦屋両村検地○西宮

濱方検地、直ニ検見、夕七ツ時過相濟

脇本陣小畑源兵衛宅江七ツ半比着

春法、泊西宮役人共并惣代共其外
相越、夫々逢

同八日 晴

一明六ツ半時早メ西宮出立〇十三

小休分懸り之もの先江遣し、荷物も

先江送ル〇九ツ時少し過帰宅

同九日 曇

一比留間分熊之助稽古役、追手

鑑札三枚、波多与太夫分受取候由

差越、受取書遣ス

一夜三人宗壽人来逢

一大坂屋新左衛門相越逢、毛馬屋

彦太郎義ニ付、内事申聞ル

同十日 晴

一都筑金三郎被為

召、明後十二日大津出立三付、大坂屋

定次郎罷越候段申立候ニ付、自書

壺封遣し、為餞別姫路革文庫一

遣し紙封一定次郎江渡ス

一明日河州出立先觸出ス

同十一日 晴八ツ時比曇

一明六ツ時出立懸茂久左衛門・寛一郎

昇三郎・儀一郎・益太郎・侍連吉・

力・中間三人・足輕茂助召連ル、玉造

より猪飼野通近道を相越、平野江

出ル〇平野分川邊江三拾丁、同村

庄屋宅小休〇川向堀村流作見分

〇川邊分多治井江壱里半余

同村検見、村柄耕地共中等

〇小平尾検見、村柄耕地とも

前村ニ劣ル、庄屋宅ニ而弁当後春法

〇野々上江廿五丁步行、検見、野中

村續檢見、野々上者村柄耕地とも

多治井ニ類し、野中者右ニ優ル

同村庄屋長右衛門宅江夕七ツ時過着

春法、泊ル

同十二日 晴

一正六ツ時野中村出立、川邊ハ平野郷

天王寺村江五ツ時過着、直ニ畑方檢見

平野街道ハ天下茶屋合法辻迄

及見、惣會所江九ツ時過相越、弁当

春法、八ツ半時比歸宅

一豊田藤之進江壺封、六日限便を以

出ス、大津之義申遣、京染服沙一贈ル

去ル十日設楽ハ写到来

前畧

鋪姫君様御病氣之処、御養生不

被為叶、去月廿八日亥下刻被遊御逝去

候ニ付

公方様ニ者御定式之通三日

御遠慮

右大將様ニ者同日一日

御遠慮被遊候、右ニ付

御機嫌伺ニ不及、普請・鳴物御構

無之旨、為心得被仰下候段、松平伊賀守

旅中ハ申来ル、下畧

十月八日

地役宛

兩御定番

御代官江者御藏奉行ハ達方之端書略ス

同十三日 晴

一河州植忝村次兵衛外四人出牢

同人外三人者村預申付ル

同十四日 曇折々小雨

一朝六ツ半時出宅、東成郡檢見懸

茂久左衛門外四人連ル○木野○中道

検見、両村共水腐等ニ而作方不宜

中道春法、弁当、本庄藤左衛門逢

○森村○鳴野検見、両村共作方

宜、鳴野善左衛門宅春法、夕七ツ半時過

帰宅

一江戸御用状来

○豊田壱封、当月八日附轉地

之儀申来ル

メ

同十五日 雨

一朝六ツ半時出宅、西成郡検見

懸五人連ル○南濱光○下立寺

右両村検見、同村源助宅春法

弁当○下三番○北野検見

同村庄屋源左衛門宅春法

七ツ時過場所引拂○堀川吹田屋

藤助木場江罷越、堤方懸両人

連ル、急破御普請諸色見分

いたす、検見懸者先江帰し、夕

七ツ半時過帰宅

同十六日 半晴

一当申御取箇調見込、両人之もの江

申付、河州丹北郡四ヶ村之儀者当年

初而検見いたし候村々ニ付、得与取調

及沙汰候積、其余撰河播州共村々

取米辻取組、仮仕出江組入候積申付

今夜夜延調いたす

一夕刻樋屋市二郎京橋木場江

相越、堤方諸色見分いたす、七ツ半時過

帰宅

同十七日 晴

一 撰州免原郡

住吉村

百姓

辰三郎

右東成郡当申水難村々、為手当金
百両差出方之儀及理解、即日右金
相納候ニ付書下相渡、悴勝二郎一同逢
寄特之段登遣、紋附盃一遣ス

同十八日 晴

一御取箇附見込相極、仮仕出不残出来
小印いたし、兩人江下ル

同十九日 晴

一 撰州西成郡

三番村

源左衛門

庄右衛門

差添

庄屋

勘左衛門

右者東成郡当申水難村々、為手当
銀拾貫目無利足拾ヶ年賦差出
方之儀及理解、即日承伏いたし
受書差出ス

一尚太郎、石川大和川の帰坂
一夕刻石垣東平来逢、夜五ッ時過帰ル

同廿日 晴

一設楽の文通、及返書

同廿一日 晴

一四ッ時過出宅

御城入、昨廿日検見、其外相濟候積、帰着
届書出ス

逐手 波多与太夫

京橋 今藏熊藏

玉造 関 轍

御目付 耆人

右相濟、九ツ時帰宅

同廿二日 曇

一朝四ツ時過出宅、永井能登守方江相越

設樂相越居、堤方御普請諸色入札

於評席開札、川方与力立合相濟

九ツ時過帰宅

同廿三日 晴

一無記事

同廿四日 晴

一江戸御用状到来

○久須美六郎左衛門耆封

杉浦江之耆封頼来ル

一御蔵奉行分御塩噌水汲之義懸合来

比留間江瀬左衛門遣ス

同廿五日 晴

一御蔵手代罷越、水一条申談、及挨拶

一設樂入来逢

一堤廻船御用状出ス

同廿六日 曇

一撰河播州村々、当申御取箇仮免状

渡ス

一設樂分使、懸物来ル

同廿七日 晴

一無記事

同廿八日 半晴

一朝米倉丹後殿分九ツ時呼出有之、及

返書

一朝四ツ半時過出宅、柴田日向守方江罷越

安食善之丞相越居、一同評席江出

御鉄炮合藥合懸入札開札有之、相濟

同道

御城入、京橋江罷越

去十八日松平伊賀守殿事、御懇之

以 御錠御本丸和泉而被相勤旨

被 仰出、松平伊賀守殿事御懇之

上意連判之列被 仰付、久世出雲守殿

事御懇之以 御錠連判之列

被 仰付

右大將様江被為附候、且又内藤紀伊守事

此表御城代被 仰付候事

十月廿八日

追而久世出雲守殿事、大和守殿与

名被相改候事

右書取、丹後守殿宮寺五平次江直達

○桜御門前小屋ニ而着替、玉造江珍重廻

申置、伊賀守殿上屋敷江歛申置、八ッ時比

帰宅

一設楽江文通、右之趣申遣懸物返入、返書来ル

廿九日之分

一杉浦江久須美状届ル

同廿九日 晴

一浅井宗壽近々出立ニ付呼、夕刻相越

酒飯振舞遣入、夜四ッ時比帰ル

同晦日 晴

一明日川浚出役ニ付、出札断之儀、保助江

口上ニ而設楽江申遣入

十一月朔日 晴

一朝六ッ半時出宅、谷丁濱乗船、市中

川浚見廻出役、堂嶋川筋見分

組与力同心共逢、東横堀分上陸

○荻野寛一旅宿江相越逢、今般

東海道御普請所見分与して相越

明日守口泊ニ而帰府之よし、四ツ半時比

帰宅

一 荻野寛一入来、留守申置

一 去月中夕昼夜骨折ニ付、今日役所

半引ニ致ス

一 浅井宗壽明日出立之よし、夜中

罷越逢、久須美六郎左衛門江之老封頼遣ス

同二日 晴

一 坂本鉸之助夕刻入来、夜四ツ時過帰ル

同三日 晴夜雨

一 江戸御用去月廿八日出、六日限使到来

○ 去月廿七日武蔵・上総下・下野国江

場所替、日光今市御藏懸被

仰付候段、阿伊勢守殿被仰渡候旨

石河土佐守殿被仰渡、名代岩田

楯三郎之旨申来ル

○ おたの・おゐちの文到来

メ

一 右之趣設楽・坂本江内吹聴申遣

返書来ル

一 撰州東成郡村々、当作方水風宜ニ而

及損毛候處、理解之上定免相保候處

同州兔原郡住吉村辰三郎者金

百兩差出切、西成郡三番村庄右衛門・源左衛門者

銀拾貫目差出候ニ付、左之通割渡遣、其段

申渡

同四日 晴

一 設楽入来逢、昼飯振舞遣ス

一 森田慎平入来逢

一 江戸江御用状出ス

○ 当申御取箇帳并定例添物共

○ おたの・おゐち江老封

○漣平江耆封

ノ

一河州植松村ニおゐて、九月十六日夜

同村仁兵衛外三人、小作米之儀ニ付

多人数寄集候一件、吟味中右之もの共

入牢申付置候處、一通申口相分候ニ付

出牢申付、其余同村四拾五人之もの共者

村預差免

同五日 晴

一坂本々文通、今般轉地歛・看到來、及

返書

同六日 半晴

一鈴木尚太郎・里村保助、築留二番樋

為見分遣ス、夜中帰ル

一撰州新在家村新五郎外七人博奕

一件、口書申付、新五郎・森之助・喜五郎者

出牢村預申付ル

同七日 晴

一今般場所替被 仰付候届并廻勤

朝四ツ時過出宅、如左

○柴田日向守用人ニ逢申置

御城入○米倉丹後守殿御札之廉者

申置、届書者水村一馬江出ス○御目付

——取次江兩様共申置○米津

越中守殿者（届書）、渡辺金四郎江差出、四ツ半時過

帰宅

一朝出前役所一統祝儀受ル

一九ツ半時比出宅○永井能登守江相越

吹聴逢○（本町筋朱座三面）着替いたし、野服ニ成、堤方

船板為見分、九條村安右衛門方江相越

見分致ス、夕七ツ半時過帰宅

一轉地為祝義、鈴木町手代共其外罷越

同八日 晴

- 一 宮部潤八郎家事之儀ニ付、昨夜中迄及混雜候始末、茂久左衛門申聞候ニ付伴奈太夫呼寄、可及示談旨申聞
- 同人罷越取斗之趣、茂久左衛門申聞
- 夜中同人義、奈太夫方江相越ス

同九日 半晴

- 一朝青山金左衛門、轉地為欲罷越逢
- 一 昼後出宅、堤方諸色見分相越
- 樋屋京橋木場迄堀川吹田屋木場江相廻、杭木見分致ス○尼崎又右衛門方江立寄逢、夕七ツ半時過帰宅
- 一 坂本奈三郎入来逢、夕刻振舞
- 夜ニ入歸ル

- 一 茂久左衛門設楽江遣書通、潤八郎方家事一条及内話、森田鎗三郎身分之儀申遣、承知

同十日 半晴

- 一 今日難波御藏初納之處、朝天氣悪敷見合ル、例之通御藏方江盾屋饅頭遣ス、出役梶三郎
- 一 設楽迄昨日之返書来ル

同十一日 晴

- 一 山上藤一郎・元メ手代嶋田琵琶藏入来逢遣ス
- 一 水品権十郎入来逢
- 一 今津村仁左衛門来逢
- 一 江戸江御用状差立ル
- 豊田江沓封
- 漣平江沓封、今般轉地ニ而取扱事申遣ス

- 一 設楽江茂久左衛門遣
- 都築金三郎江沓封

一同人分森田鎗三郎貫受之書通来

明朝遣候返書取調、茂久左衛門江渡置

同十二日 晴

一宮部潤八郎呼出、心得方申論、今日分

出勤申付、孫八郎も同様申付ル

一江戸御用状到来

○おるち分壹封

ノ

一夜分鈴木分廻状写到来

以廻状申入候、今朝（金）江戸宿次

到来、去四日之奉書拜見候処

公方様 右大将様益御機嫌能

被成御座、今度

道幹様御贈官位

御院号之儀、京都江被

仰遣候處、去月十九日

贈正一位太政大臣

宣下相濟、御院号

勅号被 仰出

成烈院様与奉称候、且又

孝恭院様御贈官位之儀、京都江

被 仰遣候處、去月十九日

贈正一位太政大臣

宣下相濟候段被 仰出候旨被仰下候

此段申入候、以上

十一月十二日 米津越中守

米倉丹後守

類役一同

同十三日 晴

一河州植松村百姓

一 撰州西成郡

江口村庄屋

田中善左衛門

代兼

庄屋見習

得次郎

同

信次郎

右善左衛門退役、得次郎外老人庄屋役

申付ル

但、善左衛門義者格別人物宜、品々奇特

之行有之候ニ付、自分支配ニ成其段

申立、御賞譽相願候處、其身一代

苗字 御免相成、弥善行いたし候處

兼々自分支配限退役可致心底之旨

申居候由、其上已來病身ニ成、旁今般

轉地之折柄、速ニ退役いたし候事之由

格別志有之もの之儀ニ付、記置

一 朝杉浦江文通

御城内向振合間合、返書来ル

一 近山藤四郎、今般之欲ニ相越逢

一 設楽江文通、右ニ而家来来逢

一 昼後服紗麻ニ而

御城入、昨日達有之候請之義申置

尤京橋・玉造両手斗〇京橋樋屋

市二郎木場江相越、着替之上諸色

見分いたす、保助老人連ル〇杉浦江罷越

逢吹聴、過日参候挨拶〇宮寺同断申置

〇吹田屋木場江罷越諸色見分、夕

七ツ時過帰宅

同十四日 晴昼後曇夕雨

一 江口庄屋得二郎相越逢

同十五日 曇

一朝五ツ時前

御城入、出札〇京橋不快逢無之

玉造逢有之〇坂本江罷越逢

風邪ニ而在宿〇設楽江罷越吹聴并融通

御貸附町人進退、如左申渡

一助松屋忠兵衛御用御免、跡米屋平吉郎代判

平左衛門江被 仰付候段、自分立合年番申渡

西組与力大須賀元輔・近藤保太郎・同心

本間小馬作・自分方懸岡田儀一郎、年番懸

一同罷出ル

一当申濱納屋地代銀、西分引渡有之候ニ付

一同出席、例年之通濱納屋地代銀被下候段

町人共江年番申渡

右相濟、七ツ時比退散、轉地吹聴左之通

申置○跡部三郎兵衛○水品権十郎

○土田清助○服部九十郎○鈴木三郎兵衛

○安食善之丞○近山藤四郎○比留間兵三郎

○島田鉄太郎○山村与助

右相仕廻、七ツ半時過帰宅

同十六日 晴夕曇

一無記事

同十七日 晴

一撰州天王寺村・北平野町帰宅申渡

有之

同十八日 晴雲立有

一江戸江御用状出ス

○久須美六郎左衛門江壹封

去ル巳年中差越有之金百兩之

話、又壹通戻

○漣平江壹封

ノ

一夜坂本鉸之助妻入来

同十九日 快晴

一朝六ツ半時過出宅、難波御藏納并為

立會相越、比留間兵三郎・土田清助

与力共出ル、八部郡并河州村々納米有之

其余渡米并御拂米納共有之立會

八ツ時比退散○竹尾吉十郎・青山金^款之助

明夜船ニ而出立ニ付、為暇乞相越、菓子

一折ツ、贈ル、七ツ時比帰宅

一山上藤一郎手附雄右衛門悴増田勝次郎

相越、今夜茂久左衛門方ニ一宿いたし候由

轉地歎鯉節一折贈逢遣ス

同廿日 晴

一江戸御用状当月十二日出ニ而到来

○おゐちろ箱封并別封書状到来

御役替内沙汰有之候段申越候

当月十日附

メ

一玉手棠洲江画頼遣ス

同廿一日 晴

一内山彦二郎轉地歎申置

一摂州新在家村新五郎博奕

一件、落着申渡

一河州植森村一件、落着申渡

同廿二日 晴

一増田作右衛門ノ書状来ル

同廿三日 曇小雨過雨

一朝六ツ半時出宅、谷町濱乗船、川浚

見廻、安治川口沓番浚場所見分

四ツ半時比南新田江罷越、此處江堤方

懸兩人出迎、同新田来春定例

御普請所目論見致ス、夫ノ向縁

代地場堤上置場所目論見相済

西国橋ノ上陸、夕七ツ時比帰宅

○天保山江登り海面眺望

一藤方彦市郎ノ書状并錢別与して

紺■足袋到来

同廿四日 半晴

一無記事

同廿五日 半晴

一無記事

同廿六日 晴昼後曇

一明六ツ半時比出宅、懸兩人召連堤方

廻村、陸路東海道筋相越○渚村

切所急破場所見廻、式ヶ所共過半

出来、右場所之儀者水深六間余も

有之義、埋立秋堤築立候土場之處

多分村入用をも相懸、出精いたし候義ニ而

右下埋入用之内江銀^圓目、今般増

相下候旨、村役人共江申渡、仕様帳引替

遣候處、一同格別狩難有罷在候、領主役人も

罷出逢○枚方本陣、昼食弁当

○木屋村急破場所見廻○點野村

同断場所見廻、普請取懸罷在、増論見

致ス○五番村同断場所見廻、大半

出来大造之腹付出来、村々安堵狩

難有候段、村役人共一同申聞、大悦候躰

主役ニおゐて本意之儀也、居村ニ而休足

夕飯支度いたす

都築元支配所

七番村

利右衛門

同断

橋波村

五郎兵衛

同断

池田川村

清兵衛

設楽支配所

今市村

三郎右衛門

右惣代共水防有来、今般水下村々

申論遣ス

普請之儀、一同出精いたし候義ニ付逢

尚心得方申論、一同悦服いたす、夜

同廿九日 晴

五ツ時比帰宅

一無記事

同廿七日 半晴

同晦日 晴

一五条村久宝寺屋藤助ハ轉地歎与して

奈良人形壺箱、米屋利平ハ榮山寺鐘銘

一今市村三郎右衛門・七番村利右衛門罷出
急破御普請場所模様替之儀申立

相贈、五条村平兵衛持参、奇特之儀ニ付篤く

一同逢、心得方申論

及挨拶、移遣ス

一設楽江文通、明日出礼断申遣、返書来ル

同廿八日 曇

一設楽江文通、孫八郎遣、廻船方廻し物

十二月朔日 晴

加筆いたし遣ス

一朝五ツ時比出宅、懸兩人召連、堤方

一尚太郎儀、築留一条ニ付堺奉行江遣

諸色見分、京橋樋屋市二郎

夜ニ入帰ル

木場ハ堀川吹田屋藤助木場江相廻

一淀川東縁急破御普請所之儀ニ付

杭木見分、懸兩人者直ニ點野村堤

今市村三郎右衛門呼出、模様替之儀

御普請所為見分遣、自分者市中所々

相廻、九ツ時過歸宅

一江戸江御用状出ス

○漣平江壺封

○おたの江壺封

○おるち江壺封

メ

一夕刻杉浦大二郎入来逢、餞別之品

到来

同二日 雨

一無記事

同三日 晴

一無記事

同四日 半晴

一夕刻坂本鉸之助入来閑話、夜

五ツ半時過歸ル

同五日 半晴

一和州五条中屋源兵衛常樂屋(カ)

久兵衛為暇乞出阪、源兵衛者奈良

人形一箱・木綿わた、久兵衛者葛壺箱

贈ル、夫々移品遣し、一同逢遣ス

同六日 半晴

一無記事

同七日 半晴

一江戸江御用状来ル

六日之落

一設楽分廻状写来ル

前畧

去月廿日三州於大樹寺

成烈院様御贈官位御法會

相濟候旨被仰下、恐悦之御事ニ候

下畧

十二月五日

兩御定番

右ニ付昼後

御城入、兩御定番御目付恐悅

廻勤、夕歸ル

○足袋

五

花月江

右逢及挨拶

同十三日

一昼後分設樂・坂本并尼崎又右衛門相

招寛話、夕刻酒飯振廻、夜ニ入皆々

歸ル

同八日 曇

一無記事

同九日 晴

一江戸御用状來

○おゐち分壹封、去月廿三日被為

召、御右筆被 仰付候吹聴状

○久須美六郎左衛門分壹封、金百兩返濟

一設樂分用人藤助、使ニ而餞別之品到來

○毛氈

五枚

○帶地壹筋ツ、御母様お喜久江

○鼻紙帛

龍太郎江

○縮緬切

子供兩人江

同十六日

一昼後分お喜久・おかよ・おミち駕籠ニ而

出宅、天満分難波橋を渡、市中處々

見物いたし、坂本江參、自分者夕刻分

出宅、同家江參、色々馳走ニ成、夜九ツ

過退散、同歩、上本町分追手ニ入、帰宅

同十八日

一朝五ツ時出宅

御城入、明十九日出立之旨、三手江相届

両町奉行江同断申置、昼前帰宅

一暇乞ニ相越候もの、夫々逢

一夕七ツ時比ハ坂本・設楽入来、坂本悴

李三郎も参寛話、酒飯振廻、翌暁

出立之節、三人共玄闕江見いたし

暇乞致ス、右三人者自分出立後帰候由

追而承ル

○十二月十九日〔噺〕大坂谷町御役宅出立、谷町

筋ハ松之下京橋を渡、備前橋ハ備前嶋

河岸乗船、家族者先江出立、同所ニ而一同ニ

成ル、見送之もの大勢夫々暇乞いたす、淀川

登船○五番村・點野村堤御普請所及

見、上陸いたし、惣代村役人共江此上心得方等

之儀申諭ス、渚村堤者川筋ハ及見○淀小橋

亦て日暮ル、六ツ半時比伏見本陣江着泊

船路十里

○同廿日〔噺〕朝五ツ半時過出立○京都江入京

西門跡見物、昼九ツ半時過神泉苑町江着

昼食○着替いたし、所司代・両町奉行江

今日着一宿いたし候段届ニ相越、小堀勝太郎江も

相越申置○夕七ツ時過野服ニ而泊を出○北野

天神平野明神参詣○今出町織殿一見

暮六ツ時過帰泊○伏見ハ道法三里○小堀来★

○同廿一日朝五ツ時過出立○

御所拝覧○祇園参詣、中村屋昼食

○清水観音参詣、途中雷雨両三聲

○中村屋江立寄休とき、此處迄送来大坂へ

帰ル○知恩院見物○蹴上ケ茶屋小休

○夜五ツ時過大津本陣江着泊○京都より

道法三里

○同廿二日〔噺〕朝五ツ時過出立、都築元手代北村

廣作・小林林八郎宿外迄送ル○草津荷物

貫目改ル、目川^カ立場茶屋昼食○石部

○水口、暮六ッ半時過本陣着泊○大津より
道法十里

○同廿三日朝五ッ時過出立○土山○坂ノ下
鈴鹿峠立場昼食○関、暮六ッ半時過

本陣江着泊○水口分道法六里半十三丁

○同廿四日朝五ッ時過出立、逐分分伊勢

路江入○楠原江一リ○椋本江一リ○豊久野江

廿五丁○久保田江廿五丁○津江壺里半、入口

茶屋昼食、大橋・岩田橋を渡○雲津江

二リ○松坂江二リ、暮六ッ半時過本陣鈴幣

紀内方江着泊、家名美濃屋与云、明日分

参宮之支度いたし、不用荷物者本陣江

預ヶ置、人足壺人銭式^實式百文ツ、合三拾六人半

相雇、内壺人半者人足廻し壺人也○関分

道法九リ半

○同廿五日朝五ッ時過出立○貝原立場江

廿七丁○伊賀町江一リ○榎田村續なり
榎田川板はしを渡、祓川板はし

○金剛坂江二リ○新茶屋江一リ○小俣江

一リ○山田江一リ、町入口茶屋昼食、山田町

社前町家ニ而正服ニ着替

外宮参詣、金百疋奉納、社人江申込

案内為致、内陣ニ而一同拝礼、夕七ッ時

過妙見町江着泊○山田奉行江中山昇三郎

遣し、止宿之義申遣○自分・龍太郎者

泊江相殘

御母様・お喜久・おかよ・おミち者夜ニ入古市

油屋江参、伊勢躍見物いたし、五ッ時半時

過一同帰○松坂分道法五リ

○同廿六日^晴朝五ッ時過出立、古市町より

間の山凡五十丁、社前町家ニ而正服ニ着替

御師岩瀨二頭太夫家来案内為致、宇治

はしを渡、右江入、五十鈴川ニ而清メいたし

内宮内陣ニ而(二回)拜礼、神酒供物を受ル、八十

末杜参詣、宇治橋詰町家ニ而昼食○下道

通潮江渡船○二見角屋六右衛門宅江夕

七ッ半時過着泊○山田分道法三里○泊分

桑名迄之逐触出ス

○同廿七日晴明六ッ時過泊立出、七、八丁斗

二見浦海邊江参、旭山頭尔登而一同

處々見物、角屋江立寄休足、朝五ッ時

同所立出、潮江渡船、古市江出ル、間ノ山

見物、妙見町茶屋小休、昼飯○

外宮登山、登リ八町天の岩戸参詣

末杜を拜し、下り六、七丁

外宮江出再拜、四十末杜著御普請中也

社前江出ル、町外茶屋小休○小俣本陣

野呂久兵衛宅江夕七ッ半時過着泊○二見分

道法四リ

○同廿八日晴明六ッ半時立出○松坂本陣

立寄、昼食○津、夕七ッ半時過脇本陣瓢

箆や宗助方江着泊○小俣分道法八リ

○同廿九日晴暁七ッ時過立出○上野江

二リ半○白子江一リ半○神戸江一リ半

○追分江一リ廿一丁、是迄伊勢路也○四日市江

出ル、追分立場茶や昼食、四日市江一リ半

○四日市・桑名江三リ八丁五十丁道也

○桑名、暮六ッ時本陣丹羽善九右衛門

方江着泊○津分道法十一リ廿九丁

○嘉永二酉年正月元日朝雷、昼分

半晴○天氣相ニ付、佐屋廻明六ッ半時

出帆、領主分乗船差出、船役人乗込居逢

昼九ッ時過佐屋本陣江着、昼食○宮

暮六ッ時過脇本陣江着泊○定例尾州殿

使者相越候仕来ニ候処、本陣江内意申置

使者受候積ニ取斗○夜方熱田大神

宮江参詣いたす

○同二日(晴) 明六ッ半時出立○鳴海有松村

竹田庄九郎方小休、鳴海絞を買○池鯉鮒

立場茶や小休○岡崎領主先拂足軽

出ル、夕七ッ半時過本陣服部千左衛門方江

着泊○宮分道法六リ廿四丁ヨ

○同三日晴明六ッ時過出立○藤川一

○赤坂○御油本陣昼食、赤坂名主清太夫

潤八郎親類之よし来逢○吉田○二河

此宿ニ而日暮ル○白須賀、暮六ッ半時過

本陣大村庄左衛門方江着泊○岡崎分道法

十リ二丁

○同四日曇昼前分雨明六ッ時過出立

○荒井本陣小休、関所前濱手江参、先年

遠州中泉江

大量院様御在陣中御預被置候石々及見

○関所女改相濟、直ニ乗船渡海、智恩院

方使登船を見懸ル、四ッ時過着船○舞坂

本陣小休、那須田又七・問屋市左衛門来逢

○濱套、昼四ッ半時過本陣着泊○白須賀分

道法六リ○夜方江戸表江書状差立ル

○同五日半晴明六ッ半時出立、天龍川

船渡し往還分左江入、近道通行、一里近し、

途中江中泉小笠寺出迎逢、元家来

池田市太郎、当時見附宿ニ酒賣渡世いたし

居候よし、出迎逢○見附本陣神谷

三郎右衛門方小休、昼食

大量院様中泉御在陣中蒙御懇命候

もの小笠寺・山田呉雪・古田屋源六・(見付)平八・

松田屋忠兵衛来一同逢、いづれも産物等呉候ニ付

移り品物遣入、岡崎手代柴田庫太郎来逢

○袋井○掛川、夕七ツ半時過本陣沢野
弥惣左衛門宅江着泊○濱松分道法七リ半
二十三丁

○同六日晴風明六ツ時過出立○日坂佐夜
の中山旅中、初而不二晴峯を望○金谷
大井川湯水也○嶋田本陣昼食○藤枝
○岡部、夕七ツ半時過本陣内野九兵衛方江
着泊○掛川分道法八リ十五丁

○同七日(晴)暁七ツ半時過出立○鞠子阿倍川
步行渡○府中朝四ツ時過着、寺西
直次郎陣屋江罷越逢、家族者直ニ本陣江
着○本陣小倉平左衛門方江着泊○昼飯後
九ツ時過本陣立出、お喜久・龍太郎同伴―
曾我伊豫守知行駿州有渡郡沓谷村

日蓮宗貞松山蓮永寺江
岸本父上様御墓参として相越、南安東村

名主与七郎・井宮村名主庄左衛門江相頼
案内いたす、住持ニ逢、御法事執行、右料
金五百疋相納ル

十如是院様御霊前一同拝礼、同寺山中
御墓参拝礼、夕七ツ時本陣江帰ル、右与七郎・
庄左衛門本陣江来逢、産物呉候ニ付移品
遣ス○郷宿浅田屋清右衛門・安田屋次郎兵衛
来逢、前同断嶋林与八郎父子来逢、夜
八ツ時過寝ル○岡部分道法三リ廿五丁

同八日晴明六ツ半時出立○江尻清見寺
立寄、一見○興津さつた峠蔵沢立場
昼食、海岸一同步行○由井、夕七ツ時本陣
岩野邊郷右衛門宅江着泊、裏ニ別宅有、岸駒
岸袋の晝幅、品々一覽○府中分道法
六リ七丁

○同九日曇風朝五ツ時前出立○蒲原

岩測小休、雨畑硯を買、同宿名主斎藤億右衛門

用聞ニ成度旨申立、願之通聞洛○富士川

船渡し、不二峯之方雪有○秋山主殿知行

元市場村立場茶や瀧川屋又兵衛小休中

天氣晴曇消散、富士山全躰を望○吉原

入口和田川ニ懸候新橋の邊富嶽眺望

よし○元吉原又よし、其余處々ニ而眺望

二里斗歩行○原、夕七ツ半時過脇本陣

着泊○由井分道法六リ卅一丁ヨ

○同十日雨明六ツ半時出立○沼津○三嶋

本陣小休○三嶋明神參詣、途中逐々風

雨暴山○三矢中立場駕中弁当、大風雨雪交ニ而

山越差支、山中立場笹屋助左衛門宅江八ツ半時

過着、直ニ泊、江川太郎左衛門支配所也、夜中弥

暴風雨○原分道法五リ廿八丁

○同十一日朝小雨、箱根山中雪深し、朝

五ツ時前出立○箱根朝四ツ時過本陣江着

昼食、八ツ半時過畑小休、湯元細工を買一

○小田原、暮六ツ時過本陣片岡榮左衛門宅江

着泊○山中分道法五リヨ

○同十二日晴明六ツ半時出立○大磯嶋立沢

西行堂より河岸一同歩行、處々見物、同宿

立場茶屋昼食○平塚○藤沢、暮六ツ時

脇本陣和田十郎右衛門宅江着泊○小田原より

道法八リ九丁

○同十三日晴明六ツ半時比京都

御名代酒井左衛門尉、当宿通行ニ付、本陣

二階より見物○五ツ時過出立○戸塚立場

茶や昼食○程ヶ谷○神奈川、夕

七ツ時過羽沢屋佐兵衛宅江着泊、庭前海

岸ニ而眺望よし○藤沢分道法五リ半

○渡辺慎二郎出迎ニ參逢

○同十四日晴風朝五ツ時過出立○川崎 蒲田―

梅莊小休、花二、三分○品川途中江喜三郎

次兵衛・安之助出迎、八ツ時過本陣廣瀬―

次兵衛方江着泊○家族者不残先江江戸内

着之積、夕七ツ半時出立、自分者止宿○設楽

手代大塚道之助出迎ニ出逢○神奈川分

道法五リ

○同十五日晴明六ツ半時出立、赤羽ニ而

着替、弁当○久須美佐渡守殿江相越着

府届玄関江申置候上通、塚越左傳次ニ

逢、六郎左衛門部屋江通、夫婦共逢、順三郎も

面會、今日劔術稽古始ニ付、稽古場江

出席、正一郎・三郎太郎・敬之助等逢、四ツ時

過退散○池田播磨守殿○松平河内守殿

○石河土佐守殿江着府届、玄関江申置

九ツ時過帰宅○家族一同昨夜帰宅之由

去ル戌年大和出立分十二ヶ年目ニ而家族一同

無異帰郷相祝ス○役所之もの共一同逢○

岩田鉄三郎・鈴木右太郎来逢○豊田―

藤之進分使者、早々贈物有之逢、使者江目録

遣ス○出入之もの共參逢

○同十六日明六ツ半時過登

城、土佐守殿・播磨守殿・河内守殿江御目ニ懸ル

着府御届

御殿詰・組頭江申達ス、伊右衛門其外組頭共江

逢、退出分所々廻勤、夕刻帰宅

○同廿七日期五ツ時過

御殿江出ル、明廿八日

御城江可罷出旨、御書付ヲ以土佐守殿申渡

有之、御受書後藤一兵衛江出ス、留役青山伴右衛門・

屋代増之助も一同被為

召候

○同廿八日明六ツ半時登城、四ツ時過於御納戸構

御目見被 仰付、差添佐渡守殿・御奏者

番諏訪因幡守・御目付戸田能登守出ル

自分者一役一人三付、名前披露ニ成ル、伴右衛門・

増之助一同ニ出ル、着服熨斗目詰麻上下

相用ル、右相濟、例之通御礼申述退出、西丸

謁相仕廻、御老君不殘、御勘定奉行吟味役

不殘

御殿詰・御組頭兩人廻勤、帰宅

○二月十一日郷村受取渡相濟候、為御届朝

五ツ時過出宅、伊勢守殿用人服部九十郎・

主膳正殿用人吉住源作江御届書差出ス

御殿江出、昼後帰宅

○同廿四日朝五ツ時出宅、本庄安藝守殿江

相越中勝手江通、初而御目ニ懸ル○遠藤

但馬守殿江相越、松井与七郎ニ逢○久須美
参、暮六ツ時過帰宅

○同廿九日豊田江被相招、八ツ時過相越
采石も相越、品々馳走ニ成、寛話、夜九ツ
半時過帰宅

西二月廿九日

○大坂表江書状差立候向如左

○永井能登守

○柴田日向守

○中野石見守

○川路左衛門尉

○設楽八三郎

○土屋四郎次郎

○杉浦重郎兵衛

○安食膳之丞

○近山藤四郎

○比留間兵三郎

○宮寺五平次

○水品権十郎

○坂本鉦之助

○服部九十郎

○土田清助

○島田鉄太郎

○跡部三郎兵衛

○鈴木三郎右衛門

嘉永二年二月

○小林半之助

ノ

○

從嘉永元申年

七月至十二月

從同二酉年正月

至二月

京撰覚書

京大宮通姉小路下ル

米屋定吉

京錦小路烏丸東入丁

近江屋半兵衛

大坂鈴木町

大坂屋貞次郎

亥十三

貞次郎後家

れん

亥四十

貞次郎妹

亥十一

弟 亥六

後見

右れん弟 清次郎

亥三十八

江口村

庄屋

田中田左衛門

亥四十二

同人女房

せい

亥四十

同人悴

徳次郎

亥十八

同人女

たね

亥十六

くま

亥十

五条

野原
岡泰四郎兵衛弟也 中屋源兵衛

亥五十四

女房

つる

亥四十一

悴

岩太郎

亥二十六

二男

十四郎

亥十四

女

亥十二

大坂大手筋松屋丁西江入

書画屋表具兼

森川左兵衛

悴 新介

同嶋町二丁目

いせや豊野事

亥五月廿五日
引越

田中政江

亥三十三

同人妹

すへ

亥二十六

右大坂天満郷木村屋平三郎

妻也

岡町

醬油造 米屋庄兵衛

右政江世話いたし候もの

嶋町二丁目裏

越前屋与三兵衛

後家

政江姉

よね

田左衛門旅宿

上本町二丁目

濱屋卯兵衛

坂本左三郎妻

てい

亥三十五

嬢

亥三十二

悴

圭之助

亥六

堺櫛屋町天神

裏門前

紀伊国屋与助

北濱二丁目難波橋

一丁目南

書画屋 山中吉兵衛

心齋橋筋淡路町

南江入

書林 今津屋辰三郎

分家

文席堂 今津屋平七

書林書画屋兼

心齋はし

墨田屋

重重十兵衛

女房

ミミつ

亥六十

江戸

吹屋丁

越後屋

五兵衛

十軒店

鏡屋

六右衛門

文席堂_承て

かわほりも

とも_承追こす

蚊遣かな

野有

名取花

雪と見て駒やなつまむ

白妙_承にほふ真土の

山さくら花

大平

三月十一日、賀茂_承て

御製

朝夕_承武安かそ祈る

身の心_承かゝる

沖津志し浪

西門跡三階額

龔明閣

享保十一年の比

中井忠藏 贅庵

其子 同 善太 竹山

其子 同 七郎 石顆ク

履軒孫 同 修治 桐園

竹山外孫 並河復一 寒泉

京猪熊通錦小路下ル

京猪熊通錦小路下ル

専徳寺

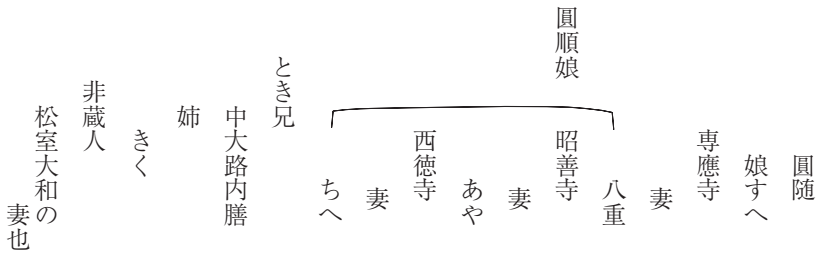
圓順

亥六十一

妻

ミさほ

新發意



兄
 中大路越前
 内淡路町筋御祓筋東
 南角道具や勘左衛門
 見立て水夫也
 松永善三郎
 亥十六
 同人弟
 亥十三
 妹 ミへ
 母 四十斗
 嶋丁四丁目
 伊中嘉吉
 呉服渡世 亥廿六
 ○祇園額堂之額
 巾八尺ヨ、堅七尺斗景
 高之圖

平安池無名

□ □ □

宝曆四甲戌年六月

應拳嵐山の畫幅

かある、三秀院ハ嵯

峨天竜寺中尔て

住僧桂州ハ寛政中の

詩人なり、角倉与一尔聞

○品川步行新宿

相摸屋

一 忠右衛門

三湊屋

某

二岩槻屋

某

亥六月十四日、唐崎

渡船案内いたし候宿

大津境川町

船役人拾式人之内

百艘船方
唱ル 松太郎

○詩仙堂の厄專聞

弟子

桂山

亥十七

(付箋)

谷町郡中惣代

川崎村庄屋

善之助

御影村庄屋

仁兵衛

弘化二己年十二月より

安政二卯年十月尔

到る

拾布玉

○同月廿一日六立、兵庫廻船見分

神崎・尼崎通○西宮本陣昼、住吉

休○兵庫津夕七半泊本陣

○廿二日六半出、濱手より乗船、兵庫・神

戸両浦尔て見分、船中弁当、廻船四

十七艘、黄昏本陣へ戻泊

○廿三日逗留○鳥井甲斐、去月十七日

此本陣昼休のよし

○廿四日昼後出、濱方乗船、兵庫・神

戸両浦廻船十一艘見分、暮六戻泊

○廿五日六半立、濱方より乗船、兵庫浦

廻船見分、二ツ茶屋より上陸、濱手車や

清右衛門宅休、是より渡海船尔乗、此時

四時風順よく、八時天保山下尔到ル、安

治川番所下より上陸、歩行、夕七半帰阪

丙

弘化三年六月十三日月明初夜

過より漸行、追手前より備前嶋渡口

松の下通、天満橋を渡、市場天

神はしを渡、八軒や九帰宅

○同年七★月七九七八七日朝より風雨、午後

愈烈暴風雨尔成

○八日暁より川々出水、四過天満はし

水丈九尺、即刻立、水防淀川東縁

○野田○中野○上辻弁当○河州

八番堤吹水五ヶ所○守口會所休、暮

六半帰宅

○九日六半立、水防嶋町筋より船

津橋を渡○福嶋、此邊往還出水

○逆川縁六軒屋新田吹水○四貫嶋吹水、設楽_ル逢○秀野新田堤四間

昨夜切所○百嶋新田農家_ルて弁当

○南鳥嶋堤十四間昨夜切所○西嶋

新田_ルて又設楽_ル逢○中嶋新田

堤欠所五百六十間、會所休、是より乗

船、淀川へ廻ル○野田新家渡場より上

陸○中津川西縁見廻○光立寺村

夜五過泊庄屋八兵衛

○十日五半立、中津川西縁○北長柄

休、帰途天満はし水丈九尺七寸、昨

夜一丈九寸_ル到よし、昼九帰阪

○同年八月廿九日六立、摂州河辺郡

灘目・播州筋検見○伊丹町酒造人

大和田や善兵衛休、伴善右衛門より利

久饅頭到来、かミや菊切手五枚買

宅状添大坂へ遣ス○小濱弁当○道

場河原黄昏、泊旅籠や花や仁兵衛

○此朝伊丹への途中、昆陽村昆陽の池秋景よし

○九月朔日曉七半立、三リ○竹原二リ

天神弁当一リ半○三草一リ半ヨ○西脇

二リ○羽山夕七半、泊年寄善兵衛

○二日六半立、終日歩行検見○森本

○糶屋○安坂○茂利○奥中○中村町

弁当○間子○岸上○高岸皮多○

○天田○鍛冶屋○牧野新町○東山皮

多○安楽田町夕七半泊

○三日六半立○山野邊○_{（奥）}西脇○_{（奥）}寺内

○奥安楽田○福田新田○越知○作

畑○多田弁当○豊部○市原○西

山○山口○丹治○観音寺_{（豊部へ戻）}夕七半泊る

庄屋宅宅状来ル

○四日五立○的場弁当○天船坂本

○門田○赤坂○下三原○俵田八半、泊

百姓利兵衛、此村當年初て泊_ル

成、居間南向^ルて前面田畑を

越て山高し、其余四面都て山なり

暮合^ル治平太、山頭の月奇なりと

云、立合て望む、西南の月頭^山ル月有

成程奇なり、此山頭の樹木の中^ル弓張

の月半を没す、治平太又云誰

屋しんの句^ル、明月や枝^ルかけ

たり、はつれたり、真^ル実景なりと

見るく月^ハ山の端^ル入ぬ、夜^ル入り

拍子木を打て廻る音、こたま^ル響て

一聲数聲^ル聞ユ、山々近き故なるへし

門前水車の音幽静、六半比^ルなりて

水車をと、めしか、前の流一時^ル聲有

○五日曉七立、明松数多を用、五十丁

七十丁交り、三里○青野原新田二リ○粟

生○新畑弁当○小野一柳土佐在所

○太郎太夫村百姓仁右衛門宅休、四リ半○加子

郡二子夕七半泊

○六日六半立○二子○福里○上下西二見

○東二見東濱手浪欠見分、庄屋孫

左衛門宅休^{五十三}五リ○明石^{五リ}○兵庫初夜泊本陣

○途中舞子の濱茶屋鶴屋玉

英宅休、此もの兵庫蔵元山田屋与三

左衛門親類のよし、去年兵庫より引

越、こ、^ル住と云、菓子を出し薄茶を

出ス、二杯吞舞子焼を買

○七日六半立○兵庫字川面・川東

検見、川東水車小屋^ルて春法○二ツ茶

屋村途中小笠原大左^京大夫^ル行會○岩

屋弁当○横屋○住吉濱手御影石

一見、吉田喜平次別荘へ寄、朝鮮黍并

楓樹一見○西宮夕七半、泊本陣

○八日六半立、西宮町濱検見○

尼崎・神崎○川辺郡小中嶋検見

陸路、夕七帰阪

○同月晦日曉七立、堤方谷丁濱

乗船、淀川毛馬ルて夜明

三番邊生駒山頭へ旭登る、鵜

殿邊ルて船中弁当○楠葉村

見分、東海道往還年寄宅休、此時

九半過也○八幡登山村内中程ル道

しるへの石有、南へ入是より本社まで

廿三丁、石標より野道へ入、七、八丁山道

少し登る、此處河・城の境なり

登りて塔前ル出る、又登り社前

なり、東西兩側ル石燈籠數多有

門を入、鳩多し、石坂を登り本社

也、社人出て案内す、廻廊を廻りて

東の口より入、内陣ルて拝し、銀子を

納たり、大槓一見、東の口より出石坂を

下る、一丁斗薬師堂前ル茶店

有休、此處東南を望、淀城大池

眼下ル有、伏見・宇治の山里遠景

地を望、暫時休、坂を下ル、一丁斗

石清水の清泉を啜ス、此向瀧本

坊なり、昭乗の旧趾茶室一覽、下ル

一丁斗元の道塔前へ出る、元の道

を下りて淀川縁へ出乗船、黄昏

前嶋村庄屋喜右衛門宅へ泊

○同年十月十一日朝川浚見廻、谷

町濱乗船、上丁場見廻、高麗はし上ノ

見廻、天神橋下手より上陸、帰途釣

鐘町の鐘一見、火ノ見へ登る、階子

三階登りて上ル到ル、番人一人詰居

昼夜二時代、五人ルて番いたすよし、大坂

中眼下ル見ゆる、家守二軒有、太田利

兵衛・瀧野吉兵衛と云、昼前帰宅

○同年十一月三日暁九時過曾根崎

新地耄丁目より出火、西南風強く大

火ル成、北野村風筋不宜、暁八時先手

出、引續出馬、市中老松町より

北野村の内才田新地へ火移、二丁程

焼ル、天王寺村・南北野町・光立寺村

人足を懸消防、人家引崩消留ル

處々見廻、北野村鴻池屋善五郎

別荘^テ休、今朝五半専念寺

御位牌所建国寺

御宮見廻、四時比一卜先帰宅○昼九時

再出馬、建国寺

御宮見廻、設楽^テ逢、風筋不宜詰

居、水野若狭・永井能登^テ逢、八時比

設楽一同引拂、北野村邊處々見廻

天満天神ハ四方とも焼、西土塀際迄

焼、社無難、天満郷大半焼、夕七時帰宅

夜四半時火鎮る

丁 弘化四未年

○二月廿日坂本俊貞宅へ招き^テル

應し、午後出宅参る、相客甲斐

庄喜右衛門・設楽八三郎、桃溪の桃花

満開、雨中の眺望よし、夜九過帰宅

○同月廿一日午後出宅、設楽へ参

同伴、天王寺村牢屋普請見分

休○四天王寺聖徳太子法會舞

楽見物、設楽同伴、棧敷へ参る、成七

又太郎・岡部金十郎・大竹次郎助・渡

辺三十郎并龍太郎・坂本三郎参居

舞楽左の如し

左方 右方

太平楽 狛 鉾 左 北庭楽

右 長保楽 陵 王 右 納曾利

左 甘 別 林 歌 左 蘓莫者

右 八 仙 賀 殿 右 地久

左 還城楽 抜頭^{舞ハ右方より六四云々} 陪 臚

右舞楽済、両輿還幸を拜し

設楽・龍太郎并金十郎同伴、五過帰宅

○同月廿六日午後出、(歩行)堤方淀川

○川崎見廻○北長柄竊満寺中

の花盛也、彼岸桜ハ末也○源八渡船

○桜の宮通行、単桜満開、八重も

咲出る、神主の宅_ルて休、村役人桜

二枝を折て呉る、単桜_ルて殊_ル

うるはし、携へて帰る、夕七帰宅

○同月廿八日明六出宅、桜の宮

の花を見る、単満開、八重早

きハ七、八分、遅きハ一、二分開く○源八

渡船西岸の花を見る、五、六分

開く○天満堀川へ廻、遅桜_ルて

未開○將棊寫御普請所見廻り

四過帰宅

○同年三月廿四日五出、難波御蔵

出役○西本願寺へ使者の挨拶、留

守居へ申置、此日与翌日ハ、新堂の

供養とて門跡新堂へ参、修行のこと

有よし、暫く待て見る、本堂より

新堂への廻廊を、衆僧渡りて行

行装華美盡す甚し、夕七帰宅

○同月廿六日六半出、谷丁濱乗船

川浚見廻○天保山_ルて町与力丹

羽源十郎并同心_ル逢、源十郎案内

いたし、高燈籠へ登りて見る○湊

屋新田帰帆の途中、西本願寺天

保山より帰路堤筋通行を見る、堤

筋群集、八帰宅

○同年四月五日千種有功へ桜の

宮の花并詠草を贈る、孫八へ渡

○同月九日夜大風雨

○同月十一日昨夜亥上刻、天満水丈

九尺の注進、明ヶ六出、淀川東縁○河

州茨田郡一番茶店_ルて弁当○仁和

寺邊迄見廻、一尺斗減水、東縁を帰ル

○八番邊見廻○守口休、七半帰宅

○翌十二日五立、堤方○河州石川通

中野村切所見分○葛井寺門前茶

屋弁当○中野村へ八半、庄屋宅泊

○十三日五半立○石川通碓井見分

○築留見廻○青地組會所昼

○平野郷・天王寺順路、七半帰阪

○同月十五日^四昼立、明日柴田日向中

野切所見分立會○天王寺・平野郷・

川野邊・葛井寺・誉田等の道筋

夕七半中野着、庄屋宅泊

○十四日四出、中野切所日向守立會

見分、日向ハ古市より船^ルて帰ル○碓

井見分○例の順路、上本町筋より七半帰坂

○同月十八日暁七立、御城代松平伊賀

守殿築留巡見、例の順路、四半築

留着の比、伊賀殿・水野若狭一同被參

築留一番樋・二番樋設楽同伴、案

内いたし休所^ルて逢、八過一同引拂

帰途太子堂^ルて御城代休中通を

暮六帰宅

○同月廿四日六半立、堤方灘目新

開場見分兼陸地順路○今津六

穀建場弁当○芦屋・深江新開場

見分○住吉濱先^ルて石及見○同

村字小穴新開場見分○夕七半住吉

善左衛門宅泊

○廿五日五立○西宮濱方新開場

見分、弁当○今津常源寺へ寄

院主娘^ル逢○陸路^地順路、夕七半帰坂

○同月廿七日六半立、堤方谷丁濱

乗船、淀川○西ノ見分○下ノ○柱本

○三馬江船中弁当○枚方宿上

陸、同宿の内岡村・岡新町・板橋見

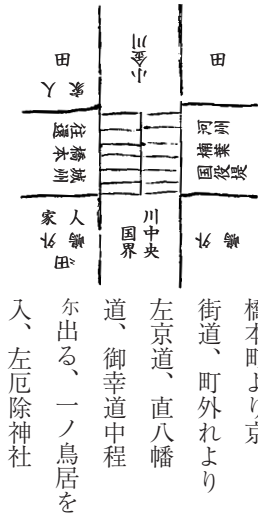
分、宿内休、天の川を渡、磯寫へ出る

途中夕立雷雨、是より乗船○楠

葉へ八半着、處々見分、夕七年寄庄

次郎宅泊、居間椽續少し上りて

書齋有、四疊半、西北外寫を越て



河・城国界圖の如し
 ○廿八日六半立、楠葉堤其外見分

淀川を望、廣瀬・高濱・山崎邊の山々眺望よし、此書齋尔て髮月代を致ス、夕七半過裏口より出、一丁斗行て淀川縁尔出る、天氣新霽、山水の眺望こと尔よし、乗船并淀藩の船、此川岸尔繫き、夜泊の躰なり、船頭佐吉船中尔有、暫く眺望、黄昏泊へ帰、暮六半夕飯を食ス

阿弥陀堂回廊あり、又入て左武内宿祢の社有、行て神輿の石臺

橋本町より京街道、町外れより
 左京道、直八幡
 川中央 道、御幸道中程
 尔出る、一ノ鳥居を入、左厄除神社

有、左方六松樹有、六本松と云、少し登り二ノ鳥居又登る、小川の板橋を渡、常ハ此橋なし、一昨廿六日臨時祭ありし故有と云、少し登り此處尔て遙拜いたす、八幡町へ出野道数丁、京街道堤へ出ル○三津村○木津川大橋、此はし去年の水尔て落、往来止、上手尔て渡船○淀城下町○孫橋此橋も落、下手尔て渡船、左淀城大手前茶師片木与四兵衛の家へ寄茶製を見、煎茶数品を買、此茶宇治の淀領尔て作り、此地尔て製スト云店尔て茶を吞休、城を左尔見町續淀川ニ出ル、小橋又落、上手尔て渡船中川中より淀城水車見ユル、處々の眺望よし、向河岸七番町過書坐尔て休、是尔て頼船を買、桂川縁葛町邊迄參、六番町唐人塙木より

乗船、淀川を下ル、左淀城水車有
城尔續下尔庭有、淀川の水庭中へ

續て見ユ、此邊より左八幡、右山崎の
山々、處々の眺望こと尔よし、乗船ハ

橋本尔待居、乗替、前嶋へ着○

大塚町○大塚村○點野○一番○四

番○七番○下寫○江口○暮六帰坂

○同年五月十三日朝、北の庭築

山枯松の根へ靈芝マジ五本大小九

本生立しを龍太郎見付、皆々

行て見る

○同月十六日千種有功より桜の返し、詠

草來る

○同年六月廿五日天満祭見物尔

川口甲斐庄喜右衛門御役宅へ招かれ

九半出宅參、坂本父子・設樂逐々

來ル、妻悴初見、夕より物見へ參

馳走尔成、祭見物水陸群集

夜五比神輿渡、御旅所へ入、暫く有て
帰帆、四半一同退散、九過帰宅

○同年九月十二日六立、検見○神

崎○昆陽○小濱弁当○道場河原

夕七半、泊本陣、宅状出ス

○十三日正六立○竹原○天神昼

○三草○西脇○羽山夕七半、泊庄屋宅

○十四日六立○安田○間子○森本

○安坂○茂利○中村町弁当○奥

中○鍛冶屋○高岸皮多○岸上

○田野口○東山皮多○牧野新町○

糞屋○天田、右六ヶ村准郷尔成○安樂

田町○門前○夕七安樂田へ戻、泊

○十五日五立○西脇○寺内○越知○

福田○奥安樂田○的場○多田昼

○豊部○西山○山口○丹治○觀音寺

○夕七豊部へ戻、泊

○十六日四立○天船坂本昼○赤坂○

門田○下三草、夕七半泊

○十七日六立○青野原新田○小野

○太郎大夫村夕七、近藤仁右衛門宅
泊、父子逢、夜八寐る

○十八日五立○国包姫路領○加子新田

同○下西二見加古郡也、昼○東二見○

上下西二見○二子○福里○夕七過

下西二見へ戻、泊、途中へ宅状来

夕海邊漁聲有見尔出る、漁舟

尔乗、半丁斗出る、生船有一覧

鯛・蛸数多舟中尔生ケて有、戻

海岸尔て網引を見る、小魚数多

取連る、黄昏泊へ帰ル

○十九日暁七立○明石○須磨三ノ

谷より一ノ谷迄、海岸御林新開見分

○兵庫夕七半、泊本陣

○舞子の茶屋休○垂水村往還

より二丁斗登、山上尔

仲哀天皇の陵有拜す

○廿日四立○兵庫津天神前

并湊川流末東河崎檢地○濱手

より乗船、廻船見分十八艘、磯ノ

町濱より上陸、夕七兵庫帰泊

○昨日宅状来、千種詠草菊の

させ綿よこす、今日廻船方帰便へ

返書、詠草・させ綿返し、蒲鋒

七、舞子焼遣す

○廿一日六半立○神戸休○脇濱

○岩屋○味泥○横屋○魚崎・住

吉川海口檢地昼○西宮夕七、泊

本陣

○東明村處女塚小山田高家

の碑一見

○廿二日五立、戎宮參詣、陸路尼

崎・神崎弁当、八半帰阪

⑤ 弘化五申年

○正月六日六半谷丁濱乗船、廻

船方安治川沖三艘見分、兵

庫へ船寄よし、沖合より直

出帆、八半過西宮着岸、脇本陣

泊、夜五過大坂より駕籠其外来

九過寐る

○七日庄屋十左衛門より七種(麴)を贈り

食、六立○住吉休○兵庫四半

本陣泊、八出兵庫濱乗船、廻船

二艘見分、夕七半帰泊

○八日午後出、兵庫濱乗船、廻船

一艘見分、夕七半帰泊○今日西宮

より当春の新酒、当船七艘出帆

沖合通船を兵庫湊、遠望

○九日午後出、兵庫濱乗船、廻船一

艘見分、夕七半帰泊

○十日五立○住吉休○西宮昼、陸

地尼崎・神崎・十三、暮六半帰坂

○帰途兔原郡岡本村梅花を見

西宮往還より北の山手へ十町斗入

人家有、山の裾より山へ懸、畑地一圓

梅有、此日二、三の花、山腹、平垣

の地有、字土取場、此處より梅を見

下し、又海面の眺望もよし○西宮

十日戎道筋群集

○同年四月十五日八過發足、中

山昇三・松田治・中田力連ル、谷町筋

より天満を渡、淀川西縁川崎藤

堂下屋敷裏の河岸へ栗田連吉

十石、待受て居乗船、直出帆

淀川を登る、夕七半船中夕飯、柱

本邊、日暮る、宵より供は皆臥

ら七、予も夜具引かきて臥たれ

とも、此比より雨降、川水増し、流水

早く、水勢船足、波立、船人

の棹さすこと、水音立て、枕響

き、睡無とすれ者、猶睡りかたし

臥しなから筈引分て、詠進者

いつか成尔候、方々八幡・山さきの山々

淀川を隔て對し、雲間の月朧

なり、宵の間は伏見の下り船多く

旅人の語りあふ聲船人の高く

うたふなど、かまひすしかりしも、今ハ

夜更るま、尔夜船も下り尽ぬ、四

半過八幡の邊_ルて下船有、近寄りて

見れハ、西国郡代池田岩之丞の西

国へ家族を連て、大坂へ下る船なり

人の旅路ことまで思ひやらる、淀城

の水車のきしる音幽_ル聞ユ、夜九

半淀の小橋_ル到る、此橋を過て

水聲静り、いつかま_とろミぬ、伏見

京橋の邊へ着船、表町旅籠や生

子や市兵衛の二階へ上り休、正六朝飯

出る、明ヶ六此家を立出て、處々見

物、京橋通中橋通今富橋中書

寫此處娼家多し、弁天の宮蓬

菜橋油懸通御香の宮旅所、林

茂久親類過書坐役人三谷某、此処へ

来初見、宇治見山遠望、六地藏村

六地藏、木幡黄壁_壁山万福寺三室

戸寺觀音、興聖寺、恵心院離宮

八幡遥拜、是より宇治川縁を戻ル

通圓茶店へ寄休、煎茶を吞

煎茶并茶器を買、宇治橋を

渡、川縁きくや市兵衛二階_ルて休

此家宇治川_ル臨、朝日山小幡山等

の山々眺望よし、此時九、三谷某方へ

世話いたす、昼飯を食ス○頼政扇の

芝の跡平等院、此處へ上林味ト

来初見、手製の茶呉る、此人の宅へ

寄茶製を見る、坐敷_ルて休、煎茶を

吞、宇治橋通上林六郎其外の屋

- 敷を遠く見る、宇治橋下より船に乗る、此船ハ三谷某世話して出すなり、屋形造り上の間・次の間有てよき船なり、宇治川を下ル、山野の景色甚よし、陶工道八宅へ寄道不在、陶器を買、庭の山へも登る、指
 今月山月光寺、豊後はし上より
 又船に乗、伏見へ出、三十石船に乗替、元の船路を下る、船中弁当
 雨頻降、淀の邊より止、川水増船早し、夜四過八軒屋着船、帰阪
 ○同年六月五日夜出水、摂州嶋上郡廣瀬村水無瀬川筋堤切所届、夜九申出、直尔支度いたす
 ○六日六立、駕籠○枚方本陣弁当○淀川渡船、西縁大塚村へ移、八時場所着、水無瀬川筋切所三十六間見分、夕七半廣瀬泊、山崎海道往還也
- 七日五出、場所見分、東西与力・同心も出ル
 九過場所引拂、高濱より淀川渡船、楠葉へ移、夕七半枚方本陣池尻善兵衛へ泊
 ○八日六半立○佐太休、陸地四半帰坂
 ○同月十四日卯上刻、天満水丈八尺の注進、堤方水防六立、淀川東縁野田村始、九時守口弁当、夕七半枚方着、堤町旅籠や鍵屋太兵衛宅へ泊、此旅籠や名高き家尔て昔より三十石船の唱哥尔こ、有、枚方鍵屋うらとうたふハ、此家なりとそ庭前淀川尔臨ミ、川向大塚村尔て此邊淀川の川中廣く、こと尔此日の出水尔て、川筋上下の眺望よし
 ○十五日減水六半立○守口弁当、八半陸地帰阪
 ○同年八月十日天満水丈八尺

五寸、六立、堤方水防、淀川東縁

野田村堤通○河州茨田郡五番

村堤處々吹水、水防休、弁当○七番

休、暮六元の道筋帰宅

○同月十三日天満九尺、大和橋一丈

二尺、築留一丈、八過立、堤方水防、淀

川東縁○守口○八番、此邊ルて大

雨○六番暮六、泊神崎川支流

安威川筋別府村、自普請堤

危よし、鐘鼓の聲頻りル聞ユ

○夜五過水丈一丈三尺三寸、今夜天

満水丈一丈一尺五寸のよし、夜五半過

より堤筋水見分ヲ、處々鐘鼓の音

を聞、丑中刻前の別府、堤切所ル成よし

○十四日五立○五番吹水見廻、弁当○

○點野洩水見廻、字和道堤危く

多人数ルて水防、夜ル入永井左門

知行へ泊、足輕格田中藤八郎の宅也

夜四過水丈一丈三尺八寸、堤筋處々

見廻水防、夜九半帰宅

○十五日朝宅状出ス、五立、夜中より

減水○河州大和川・石川通へ廻ル、道

筋○點野二十丁、佐田太二十丁、大久

保一り、古橋一り、今津一り、高井田一り

庄屋宅昼、八尾一り、築留、二番樋

見分、十三日昼満水ルて樋表十間

四方落込、杭木土俵ルて防、危く見ル

黄昏會所へ泊、宅状出ス

○十六日五立、二番樋見廻○片山切

所見分○国府○誉田○古市昼

○喜志○中野庄屋宅泊、宅状來

○十七日四立○河野邊通行、昼○平

野郷・天王寺順路、夕七半帰宅

○同月廿一日五立、堤方例の順路、天王寺

小堀口休、平野郷・川野辺通、弁当○

中野村切所見分、暮合年寄宅泊

○廿二日四半中野石見来、立會、切

所見分○築留、弁当○河州豊

浦村へ七半泊、此村ハ小林田兵衛知

行、元地代官中村四郎右衛門宅なり

門へ入左大松樹有、枝葉繁茂

此家

神祖御宿陣尔成、御駒繁の松と

云、傍尔立札有、玄関を入上ノ間口畳

入御の間メ切、上畳有

○廿三日宿四郎右衛門持傳の品拝見

神祖御黒印御下文 一通

○御宿陣村内制札 一枚

○先祖拝領御刀 一腰

○右御刀拝領の御下文 一通

右の外先祖着の具足・手籠・古人別

帳等一覽○五立○中野村の内三壺

休弁当、八幡道枚方への追分也○枚

方宿へ出、淀川西縁へ渡船○大

塚町見分○廣瀬暮六泊

○途中日下村往還より六、七町

山へ登、日下の瀧一覽、随雲山

大龍寺中也、境内一見、大伴支配也

○廿四日五立、水無瀬川筋切所出来

栄見分○東縁へ渡船○楠葉より

順々堤見分○渚切所見分○枚方

本陣弁当○東海道堤筋見分、夕

七半帰阪

○同年九月朔日六半出、谷丁濱

乗船、安治川口定凌見廻、九帰宅

○百裏を連天保山上陸、川凌

真景を写させる

○同月五日六半立、堤方谷丁濱乗

船、淀川西縁○西ノ○中ノ○柱本○三

寫江○唐崎○大塚○大塚町○前

寫庄屋宅、夕泊

○六日六半立、東縁へ渡船○楠葉○

- 渚○三矢○木屋○點野、夕七半泊
○七日五半立○仁和寺○一番○五
番、夕七半場所より帰帆、暮六帰坂
○同月晦日六立、撰播検見二リ○
神崎二リ○昆陽一リ○小濱弁当四
半○道場河原、夕七半泊
○十月朔日暁七立、三リ○竹原二リ
○天神弁当二リ○下三草一リ○和布
一リ半○羽山検見、夕七半泊
○二日六半立○森本○糶屋○安坂
○茂利○奥中○中村町弁当○間
子○岸上○高岸皮多○天田○鍛
冶屋、夕七半泊
○三日六半立○牧野新町○田野口
○東山皮多○安楽田町○門前○山野
辺○西脇○寺内○奥安楽田○多田
○豊部○大袋○観音寺○丹治○
山口○西山○市原○豊部へ戻泊
夕七半百姓歪右衛門、雪信筆楓尔
雉子鶉の画幅を買、價二円
○四日五立○的場○天船坂本弁当
○門田○赤坂○俵田○下三原泊庄
屋十太夫
○五日暁七半立○青野原○新畑
弁当○小野○太郎太夫村、夕七泊
仁右衛門分家百姓久吉
○六日暁八半立○五十丁○三木二リ
○四ッ脚一リ○木津三リ半、此間藍
那立場、駕中弁当○兵庫検見川
東水車場春法、濱方字東出町検
地、夕七泊本陣
○七日正六立○脇濱○岩屋○味泥○住
吉辰三郎囲蔵見分、弁当○横屋
○深江検地○芦屋同○西宮濱方検
地○夕七半脇本陣へ泊
○八日六半立、陸路、順路尼崎・神崎

昼九過帰阪

○同年月十一日六立、検見○玉造

より猪飼野・平野三十丁○川邊休

○川向堀村流作一り半○多治井○小

平尾弁当二十五り○野々上○野中、夕

七泊

○十二日正六立、川邊・平野郷通○天

王寺村畑検見、天下茶屋合法ヶ

辻惣會所弁当、八半帰阪

○同月十五日六半出、西成郡検見

○南濱○光立寺弁当○下三番○

北野庄屋源左衛門宅春法○堀川吹

田屋藤助木場へ廻、堤方諸色見分

夕七半帰宅

○同年十一月三日去月廿八日出江戸

御用状来、去月廿七日武藏・下総へ

場所替の事申来る

○同月廿三日六半出、川浚見廻、谷丁

濱乗船、安治川口一番浚場所見

見廻○南新田堤方来春日論見

見分○代地場堤見分、西国橋より

上陸、夕七帰宅

○安治川口一番場所より上陸、天

保山へ登り海面眺望

○同月廿六日六半出、堤方陸地

淀川東縁○渚切所急破場所見

分○點野枚方本陣昼○木屋

○點野○五番大腹付見廻、夜

元の道筋より初夜帰宅

○十二月十六日おきく・おか代・おみち

昼後より駕籠来て出宅、天満橋

より天満天神参詣、難波はし

を渡、市中見物、坂本鉦の宅へ参

即今夕出宅、同家へ参、酒飯を

振廻われ、家族逢、夜九過退散

同歩、上本町より追手前帰宅

○同月十八日五出

御城入、明日出立届三手申置、両

市尹申置、四半帰宅

○同日夕七設楽八・坂本鉉・杳来

酒飯振廻居を翌曉発駕進

見立、玄関へ送暇乞いたす、三人とも

昼後帰りしよし、追て聞

○旅中別記二十五泊

○十九日伏見泊○廿日京都泊○

廿一日大津泊○廿二日水口泊○廿三日

関泊○廿四日松坂泊○廿五日妙見町

泊○廿六日二見泊○廿七日小俣泊○

廿八日津泊○廿九日桑名泊

巴 嘉永二酉年

○正月元日宮泊○二日岡崎泊○三日

白須賀泊○四日濱松泊○五日懸

川泊○六日岡部泊○七日府中泊

○八日由井泊○九日原泊○十日山

中泊○十一日小田原泊○十二日藤澤泊

○十三日神奈川泊○十四日品

川泊○十五日本所亀澤町屋

敷帰着

(記述は以後も続くが、江戸での記事につき省略)

(裏表紙)

世のなかの

積れる中に

ひろひいてし

石を玉とそ

おもひけるかな

竹垣直道の出会った人びと — 久須美祐明と采石 —

藪田 貫

『大坂代官竹垣直道日記』最終巻である本巻には、人名索引が付けられている。そこに出る人名は、武士であれ町人・村人であれ、大坂代官竹垣に出会った人だといえることができる。もし、そのなかのひとり、竹垣と同様、日記を付けるなり、あるいは手紙を書くなりして、竹垣その人について語ってあれば、竹垣の主観でなく、客観として受け取られた竹垣像が記されることになる。そうすれば大坂代官の世界にも、竹垣自身の姿にもより深まりがでる。自分のことは自分が一番よく知っているとしても、意外な側面を他人が発見することはおおいにありうることである。果たせるかな、わたしの長年、扱っているひとりの人物が、当の竹垣について語っている。

その人物とは、大坂西町奉行久須美佐渡守祐明。竹垣の大坂代官在任中に浪華大坂に着任し、二年にみたくして江戸にもどるが、彼の『浪華日記』に、竹垣その人が登場するのである。

久須美祐明の登場

『竹垣日記』の天保十四年六月二日条によれば、伏見に派遣していた下僚林泰蔵が早朝、役宅にもどり、久須美に出会ったことを竹垣に報じている。それを追いかけるように先番として孫の正一郎、家老の平井左五郎らが到着、その出迎にも下僚の仙之丞を派遣する。主人の久須美が到着したのは八

ッ半時（午後三時頃）、竹垣は西町奉行所に赴き、「夕刻今夜五ッ時過迄談話、退散」と記す。

それに対し久須美は、正七ッ時（午後四時頃）に八軒屋浜に着いたと書く。その後、本町橋袂の西町奉行所に供方を従えて向い、東町奉行水野若狭守道一に出迎えられて入館するが、それにつづけてこう書く。

竹垣三右衛門自分着以前入來待請、同役帰宅後長物語、夜五半時過帰宅、深切ニ者候得共、実者
当惑之次第也

同役水野は七ッ半時過（午後五時頃）には辞去しているので、竹垣は、それから五ッ半（九時頃）まで四時間も居座ったことになる。長い滞在であったことは竹垣も認めるが、受ける側の久須美との間には、「五ッ時過」と「五ッ半時過」で半時（一時間）近く差がある。竹垣の主観と久須美の主観には、相当の隔たりがある。その隔たりは「親切だが迷惑」の一言に集約されているが、訪問を受ける久須美のいつわらざる心境であろう。

この日を境に、『竹垣日記』に、久須美の名が頻繁に出る。対する久須美の『浪華日記』にも竹垣の名が頻出する。「佐州老人」の大好物鰻や鮎が、竹垣から久須美に贈られ（十四年八月十九日）、これに応えるように嫡子六郎左衛門の目付就任の内祝として、竹垣に赤飯と煮しめが贈られる（八月二十一日）というように。もちろん役職上、両者が出会うことはあるが、双方の日記に見える交流はそれを超えている。この交流の頻度は、いったいなにを物語っているのであろうか。

地役人と奉行

西町奉行新見正路にも日記があるが、彼は年始の挨拶に廻る記事のなかで、代官たちをさして「地役廻勤」と呼んでいる^①。また「地役廻状」という彼らの間を廻る城代からの連絡ルートがあった。破損・弓・鉄砲・具足・金・蔵の大坂城維持管理にかかわる六役奉行に、鈴木町・谷町の両代官を加えたメンバーが、「地役」と呼ばれる人たちである。町奉行同様、江戸から赴任しているが、彼らから「地役」と呼ばれるのは、両者の間にある超えがたい一線を示唆する。『御役録』での扱いにもその差が現れ、家紋入りで、しかも下僚も知行高も記される東西町奉行・船奉行の後ろに、地役仲間、氏名だけが並んでいる。天保十五年年頭版では、その数十五名である。

そんな地役のひとつと久須美が親しく交わるのは、彼が本来、奉行職にふさわしい家柄ではなかったからである。新見の知行高八百十一石余に対し、久須美の三百俵。まさに月とスッポンである。片や新見は、三十歳代にして目付から町奉行になるが、久須美は七十三歳にしての町奉行である。わずかに三百俵の大坂町奉行もめずらなければ、七十歳をこえた奉行も空前絶後。持つて生まれた身体強健、先祖以来の質実剛健の美質、それに加えて天保改革の追い風が、久須美を七十三歳にして大坂西町奉行にしたのである^②。

もし幸運が後押ししなければ、知行三百俵の久須美も、地役たちと同様な役職に就いていたと思われる。それを証明するように、大坂には竹垣だけでなく、旧知の間柄が複数、いた。御蔵奉行比留間兵三郎・池田庄太夫、鉄砲奉行西井源次郎たちで、いずれも地役である。このうち比留間と西井は、久須美の息子六郎左衛門たちと同世代で、彼らとの間では、故人となった比留間の父親の話題に及ん

でいるが、比留間は、父よりひとつ年下の久須美の昇進を羨んでいる。またひとつ年下の池田庄太夫とは、「若やぎ候間笑話ニ及ぶ」と久須美は日記に記している。こうした境涯が、奉行と代官のポストを超えて、地役である竹垣たちと久須美を結び付けていたのである。

師匠と相弟子

竹垣と久須美を結び付けていた要因は、ほかにもある。それは竹垣には龍太郎という嫡男、久須美には正一郎という次男祐義の息子がいたからである。「久須美江立寄、龍太郎・正一郎鉄炮稽古致ス、(略)佐州ニも一寸逢」(十四年六月十日)は、それを示す。正一郎は当時十八歳、龍太郎もおそらく同じ年恰好であろう。彼ら若者が、この機会とばかりに武術に励んでいる③。その実際を「龍太郎、久須美へ稽古」の短い記述の中で、竹垣は繰り返し返している。

この関係は、久須美祐明の次男順三郎祐義が大坂に来るに及んで、さらに加速する。「杉浦江罷越、采石罷越居、大治郎江寛話、昼比重郎兵衛帰宅一同談話」(十五年四月二十九日)に見える杉浦重郎兵衛は、地役のひとつ破損奉行、その息子が大治郎である。采石は、久須美順三郎祐義のこと。天満川崎町にある杉浦の役宅に、竹垣と久須美がそれぞれ手製の寿司を持ち寄つての席では、竹垣の娘おかよ(大坂にいる)を正一郎の嫁にする話が持ち上がっている。両者の家格は、釣り合っているのである。

奉行の職務に多忙な祐明とことなり、「厄介者」である祐義は、槍・剣に優れていたように、大坂でも龍太郎をはじめ門人を多数、とっている。そこで「龍太郎稽古役采石」、あるいは「采石先生」

と『竹垣日記』には出る。采石とならんで、龍太郎の砲術師匠坂本鉉之助が同席することも多い（たとえば十五年八月二十三日、十月一日）。彼らは、江戸から大坂に赴任してきた地役人の子供たちにとって、またとない武芸の師であった。久須美祐明本人との面会の機会が減るのを補うかのように、順三郎采石との面談や往信が、『竹垣日記』に増えていく。

久須美本人との記事で興味深いのは、久須美が竹垣から金二百両を借りた件である。『竹垣日記』によれば、借用は十四年九月十九日で、十五年六月四日には返済されている。「佐州内談有之候金貳百両」とあるが、『浪華日記』には、「当冬御足高米御合力米等請取方心得違」のために暮の入用不足が生じた、と余儀ない事情を記す。「勝手賄向等之儀者心ニ掛不申」とは久須美の胸中である。

『浪華日記』のその後

こうして急場を竹垣に救われた格好の久須美であるが、十五年十月四日、参府の命を受ける。その日、久須美は竹垣宅に赴き、「隠居奥方江も面談」、翌五日を最後に『浪華日記』は終わる。

ところが、その後を『竹垣日記』が補う。翌五日には「重法もの持参いたし振舞」、六日には佐州への餞別など、連日の訪問がつづく。八日には出発する久須美を見送るが、後発の順三郎・正一郎とは十一月七日まで、訪問の記事がある。八日、昼前に下僚に金百両をもたせ久須美正一郎に送った竹垣は、翌朝、坂本鉉之助と同行して守口宿まで見送りに向いている。龍太郎も相弟子たちと、一足先に出発している。久須美順三郎・正一郎父子との、深い情誼を感じさせる竹垣父子の行為である。一抹の寂しさが、彼らの胸中を去来したであろうことは推測に難くない。

- ① 藪田貫編『大坂西町奉行新見正路日記』清文堂出版、二〇一〇年一月刊行。
- ② 元田脩三「久須美蘭林父子及びその一門（上）」『歴史地理』四十九卷三号、一九二七年三月。
- ③ 藪田「大坂代官の世界―竹垣直道日記について―」『近世大坂地域の史的研究』清文堂出版、二〇〇五年十二月。

（関西大学教授／なにわ・大阪文化遺産学研究所研究員）

大坂の風景画帖と竹垣直道 — 『浪華勝概帖』と『竹垣直道日記』 —

内海 寧子

はじめに

その資料の中に「竹垣」という文字を見つけた時、私の胸は一気に高鳴った。その資料とは大阪歴史博物館に所蔵される『浪華勝概帖』の序文である。

序

竹垣君莅任此地五六年属

画師圖近郊山水之諸勝装

為一帖將携而東歸或疑

君雖歸矣猶轉任関東守令之

職宜朝夕勿忘民瘼乃何以此

臥遊之具為也予謂宓子賤彈

鳴琴身不下堂而单父治巫馬

期以星出以星入以身親之而

单父亦治巫馬期間其故宓子曰

我之謂任人子之謂任力力者

〔現代語訳〕

竹垣氏は大坂に着任してから五、六年たった頃、画師に依頼して近郊の名所を描かせはじめた。今、表装して一帖にまとめ、これを携えて江戸に帰ろうとしている。ある人が、竹垣氏はただ江戸に帰るだけではないだろうと推測するように、江戸に帰れば関東郡代の職につくことになっている。どうか日々民のことを思ってください。

ではなぜ、このように風流な臥遊の具を携えて行こうとしているのか。ここに故事を引いてその理由を述べる。

宓子賤は琴を弾くばかりで堂から一步も出ずして单父を治めた。それに対して巫馬期は朝暗いうちから出勤し、夜は遅く帰り、全ての政務を自らが行った。单父は同じようによく治まった。巫馬期が宓子に

故勞任人者故逸 君之玩此帖

亦宓子之彈琴耳乃名以浪

華勝概帖而題其首

嘉永紀元戊申嘉平月

小竹散人篠崎弼書

成功の理由を問うと宓子は言った。

「私は人任せ。君は力任せだ。自分の力に任せるものは疲れ、人に任せる者は楽である」と。

竹垣氏がこの画帖を玩ぶことは宓子の琴と同じである。そこで浪華勝概帖と名付け、その巻頭に題する。

大坂の漢詩人、篠崎小竹による序文には、竹垣という人物が画師に頼んで大坂近郊の景色のよい場所を描かせ、表装して画帖を作ったこと。そして、この画帖を携えて東（江戸）に帰ろうとしていること。さらに、竹垣が「関東守令」の職に転任することが、『呂氏春秋』の宓子彈琴の故事を引いて記されている^①。故事には「宓子は則ち君子なり」と続くように、ここには竹垣氏ほどの人物なら宓子賤のように琴を弾いて大きく構えていても、その人徳から支配地をよく治められるであろうという賛辞が込められている。

『浪華勝概帖』の所有者「竹垣」に関しては、所蔵先の資料紹介でも人物が特定されていない^②。年代記述は嘉永元年（一八四八）十二月、ちょうど竹垣直道が大坂代官の職を終え、関東代官に就くべく大坂を発った時と一致している^③。

これは竹垣直道が所有していた画帖なのだろうか。そうだとすれば、直道とどのような関係があるのだろうか。本稿では、この問いのもとに『浪華勝概帖』と竹垣直道との関係について探っていく。

『浪華勝概帖』について

『浪華勝概帖』という題名は前掲の序文から篠崎小竹が命名したことがわかる。「勝概」とは「すぐれた趣」「よい景色」を漢語で表した言葉であり、題名の通り、この画帖には十九世紀中期の大坂の風景が描かれている。ここに描かれた画題は大坂城をはじめ、四天王寺・天満宮・住吉社といった大坂を代表する寺社、梅屋敷・野田の藤といった花の名所、野崎参りや天神祭などの風物である。それに加え、大坂らしい風景ともいえる淀川沿いや四ツ橋などの水辺の風景も見られ、合計で九十五の場面が収められている。画は二十八名の画師の筆になる。その中には、西山芳園や西山完瑛といった四条派系統の画師、また玉手棠洲や松川半山など、大坂を代表する画師が多くみられる。安政期（一八五四～一八六〇）に歌川国員らによって作られた錦絵「浪花百景」で取り上げられた大坂名所と比べると約四割の画題が共通しており、大坂の名所を描いた作品であるとも言えるだろう。それぞれの画は絹地に彩色が施され、二冊の折本状の画帖に表装されている。また各帖には序文・跋文が付されている。

竹垣直道と『浪華勝概帖』

『浪華勝概帖』と竹垣直道の間にはどのような繋がりがあるのだろうか。画帖と日記を引き合わせながら検証していこう。

・ 淀川西岸 田中秋亭画④

それぞれの画の横には貼紙で画題が示されている。「淀川西岸」と題された作品は、画中に「国分

寺樋口春景」との記述がある。

国分寺村の「樋之口」から南の一带は「木村堤」と呼ばれ、花の頃は遊覧の人びとで賑わう桜の名所であった⑤。画は、樋之口から南に遠望した大坂城と、右手に桜並木と花見客の姿が描かれた柔らかな春景色である。

一方、『竹垣直道日記』には、国分寺村の庄屋小兵衛から桜の花枝をもらい、自宅で花を活け、観賞したことが書き留められている。

一 国分寺村小兵衛、彼岸桜両三枝呉ル、満開可愛

(弘化三年三月十四日)

一 治平太国分寺村江遣し、同村内桜花両三枝持帰ル、佳色右可愛、夜中柳瓶愛着

(嘉永元年三月八日)

直道にとっても国分寺村は桜の名所であった。

また、この付近では長男龍太郎との次のようなエピソードが記されている。

弘化二年(一八四五)九月十五日の満月の夜、直道と龍太郎は淀川の月見に出かけた。天満橋から御城の東北を眺める。出はじめた月は清光である。川沿いから秋の月を眺めながら、国分寺村までそぞろ歩いた二人は樋之口の茶店で休息し、洪茶を啜った。この辺りの眺望は特に清々しい⑥。『浪花勝概帖』には、天満橋と秋月の画も含まれている⑦。

・ 谷街官舎庭前眺望 百丈画(口絵参照)

淀川の南岸から北の天満方面を眺めた風景である。中央には水を湛えた淀川、左手に天満橋、右奥

には桜の宮付近の桜並木が見える。この画に付された画題名「谷街官舎」に注目したい。大坂の代官屋敷は鈴木町と谷町にあり、竹垣直道の官舎は谷町である。弘化二年播磨屋九兵衛上木の地図によると⑧、谷町の代官屋敷は大坂城の西、淀川を北に臨むという立地で、まさにこの画の風景に一致している。

代官屋敷は竹垣直道にとって九年間の大坂生活を過ごした公私に渡る空間である。この画は竹垣直道の個人的な「名所」風景であったのだろう。

・天保山下川浚 百丈画

次に取り上げる画も百丈の作品である。安治川口の川浚えの作業を描いたものだが、浚渫作業をこのような画帖の画題にすることは珍しい。なぜこのような画が大坂の風景として選ばれ、描かれたのか。その答えは、大坂代官の職務内容にあった。

大坂代官の職務には堤奉行としての職務、つまり、大坂周辺の河川で堤普請や樋を管理する役目がある⑨。その一環として安治川口の浚渫作業を監督していることが日記にもみえ、画題が大坂代官と関わるものであることを示している。さらに興味深いのは、日記中の以下の記述である。

一朝六ッ半時谷町濱乗船、安治川口定浚見廻、同心詰合逢、九ッ時過帰宅

○百襄召連天保山上陸、川浚真景を為写ル

(嘉永元年九月朔日)

画師の百丈(百襄)を連れて安治川の河口にある天保山に行き、そこで自らが監督する川浚えの様子を描かせているのである。天保山の川浚と画師の百丈。そして「川浚真景を写させる」との記述。

『竹垣直道日記』と『浪華勝概帖』との一致がここに見られる。

先例の庭前風景を描いたのも同じ画師であることから、竹垣直道と画師の百丈は親密な関係だったと考えられよう。日記には百丈のほか、石垣東山や藪長水、玉手棠洲といった『浪華勝概帖』に揮毫している画師が登場する。

以上の検証から、初めの問いである『浪華勝概帖』の所有者「竹垣」は、間違いなくこの日記の著者、竹垣直道であると言えよう。

おわりに

大坂の風景画帖『浪華勝概帖』に記された「竹垣」が、竹垣直道であることを証明することを主に述べたが、最後に『浪華勝概帖』と竹垣直道との関係から見えてくることについて述べておきたい。

江戸時代には『撰津名所図会』を代表する大坂の名所を紹介した書籍が数多く出版されていた。また名所を描いた一枚摺りの錦絵も残っている。このような名所絵は、観光都市となった大坂の土産物として生産・消費されていた。しかし、木版摺りの印刷物とは対照的に、『浪華勝概帖』のような肉筆画帖は大量生産できるものではなく、画師に画作を注文するという購入方法から考えても、肉筆画帖を所有することができない人物は文化的にも社会的にも上層者であろう。竹垣直道が画師に画作を依頼し、このように優れた作品を手に行っていることは、直道の文化的背景を物語っている。おそらく直道は、篠崎小竹や画師たちと接点のある文化的グループに属していたのであろう。

日記には、これまでの解説文で紹介したように、大坂代官の職務はもちろんのこと、和歌詠草や名

所見物、植物への関心など、直道の人物像を思い起こさせる記述が見られた^⑩。ここに『浪華勝概帖』を加えることで、文人としての竹垣直道の姿がより明らかになるだろう。さらに、『浪華勝概帖』について見れば、これまでは美術作品として注目されてきたが^⑪、大坂における江戸出身の武士の文化的行動や、大坂代官クラスの武士の教養を示す歴史的資料としても注目しなければならないだろう。

『浪華勝概帖』には大坂の名所や優れた風景が描かれているだけでなく、上述した画のように、竹垣直道の太坂での記憶、大坂の印象が描き込まれている。この画帖は、竹垣直道が江戸に帰るに当たり、大坂での職務や生活の記念の品として、つまり大坂土産として作らせたものであろう。江戸に帰ったのち、この画帖を開き、江戸にいた直道の娘おいち・おたのに大坂の土産話を語り、江戸の武士たちには仕事の成果や西国の名所、大坂の文化人との交流を自慢げに話しただろう。竹垣直道の太坂話が今にも聞こえてきそうだ。

① 『呂氏春秋』卷二十一開春論・察賢（楠山春樹『呂氏春秋』明治書院、一九九八年）。

② 大阪市立博物館館蔵資料集八『浪華勝概帖』大阪市立博物館、一九八〇年。

③ 本書二二二頁。

④ 画題名は原画に貼付されているものを用いた。

⑤ 『摂津名所図会大成』（船越政一郎『浪花叢書』第八、名著出版、一九七八年、四二七頁）。

⑥ なにわ・大阪文化遺産学叢書10『大坂代官竹垣直道日記』（三）関西大学なにわ・大阪文化遺産学研究センター

一、二〇〇九年、一二二頁。

⑦「淀川」行本珉山画『浪華勝概帖』（前掲注②）。

⑧「大坂細見図」古地図史料出版株式会社（復刻版、弘化二年乙巳三月新上木、浪華高麗橋一丁目書房、播磨屋九兵衛）。

⑨藪田貫『近世大坂地域の史的研究』清文堂出版、二〇〇五年、三九三頁。

⑩松本望『逸史』の講釈について」（なにわ・大阪文化遺産学叢書2『大坂代官竹垣直道日記』（一）関西大学なにわ・大阪文化遺産学研究センター、二〇〇七年）。内海寧子「竹垣直道の名所見物」（同前著）。松永友和「大坂代官の職務」（なにわ・大阪文化遺産学叢書5『大坂代官竹垣直道日記』（二）関西大学なにわ・大阪文化遺産学研究センター、二〇〇八年）。松本望「竹垣直道の詠歌と人びととの交流」（同前著）。内海寧子「竹垣直道の植物採取」（同前著）。

⑪前掲注②。柴田就平「久保田桃水筆『大坂風景画帖』における制作姿勢と粉本主義」（『美學』二二二一、美術会編、二〇〇七年）。

水田紀久先生には漢文読解に際し御教示を賜りました。末筆ながら深謝いたします。また『浪華勝概帖』の利用・閲覧には、大阪歴史博物館学芸員の澤井浩一氏・岩佐伸一氏に便宜をお図りいただきました。厚く御礼申し上げます。

（関西大学なにわ・大阪文化遺産学研究センター非常勤研究員）

天保再建時の谷町代官所絵図

木村 修二

天保八（一八三七）年二月十九日におこった大塩の乱に伴って発生した大火（大塩焼け）により谷町代官所が焼亡してしまった。二十日暮六つ時（午後六時）過ぎのことだったという（幸田成友『大塩平八郎』（東亜堂書房、一九一〇年）。すぐ東隣りの東町奉行所は被害を免れたというから、谷町代官所にとってまことに不運な出来事であった（図1）。このため当時の代官池田岩之丞の役所は、一時天王寺村へ移ることを余儀なくされた。役所では直ちに再建へ向けて動き出したと思われるが、およそ五ヶ月経過した八月三日によく普請方の入札が執り行われることになった。普請の仕様は役所が指示しているが、入札の次第は摂河播州惣代中、つまり谷町代官所管下の村々の惣代庄屋衆が取り仕切っている。

神戸大学附属図書館社会科学系図書館に収蔵されている摂津国八部郡花熊村（現神戸市中央区）の村上家文書のなかに、右記の普請入札に関係する史料があり、そこに一連の文献とともに、谷町代官所の絵図が含まれている。こうした史料が大坂からかなり離れた摂津国八部郡の文書群に含まれている理由は、当時の村上家当主である五郎兵衛（花熊村庄屋）が幕府領摂津国八部郡灘組村々の惣代庄屋の一人だったためにほかならない。

いうまでもなく、このとき再建された谷町代官所のはちに、五条代官だった竹垣直道が池田岩之丞

の後を承けて入った役所そのものであり、その絵図は竹垣の日記を読もうとするわれわれにとってまことに得難い史料なのである。

「谷町御役所御普請一件書物」

絵図とともにあった「谷町御役所御普請一件書物」（以下「一件書物」）から、代官所の普請入札に

あたり、役所が示した定書をみておこう。

定



図1 谷町代官所の位置（弘化2年大坂図より）

一玄関・表書院・奥書院・居間迄八角柱、其余御役所分長屋迄不残丸木角付ケ、可成丈木品丈夫向、軒端・高天井・敷居・鴨居・床・雨戸縁頑、書院・座敷向之外は別板打付、縁壁・上ぬり迄惣瓦・建前・手伝等一式引請之事
一障子・畳・建具・地形直し・足石等別段之事
一手斧始軒あけ諸祝義事一式無構、音信向堅断、中間小ものニ至迄遣ひもの、且ねたり等有之候ハ、其時々可被申聞事
一絵図面之内増減等有之候ハ、其時々模様ニ寄り直段積之上別段之事

右之通候条、見付悪敷候共木品丈夫向保方第一心掛、若手拔等之仕様有之候ハ、幾度も為相直可申、見廻り世話方心附可申事

酉七月

見られるように、入札する大工が引き受ける範囲（仕様）が細かく示されるとともに、建築の時々に行われるべき祝儀や音物等を一切拒否している。さらに、見栄えが悪くとも丈夫な材木を使用して建物の頑丈さを優先するように心がけ、もし手抜きを行った場合は何度でもやり直しをさせると厳しく宣告している。

ところで、絵図面と異なる変更があった場合の経費の対応が四条目に記されているが、ここに示されるように、絵図はあくまで建築計画図であり、図面通りのものが実際に建設されたとは限らない。しかし、大幅な変更が生じたとも考えにくく、概ねこの絵図通りに建設された役所にやがて竹垣直道は入ってきたはずである。

紙幅の都合により入札の様子については簡単に触れておくにとどめたい。入札は天王寺村に置かれていた谷町代官所の仮役所で実施された。落札者は播州佐用郡弦谷村（現兵庫県佐用町）の大工久米三郎で、請負人は隣村の廣山村庄屋治郎左衛門だった。落札額は、銀四十一貫二百六十目だが、興味深いことにこれは入札者十六人中、二番目に安い額だった。この二番目に安い入札者を落札者とする方法は、「一件書物」に「引請入札之儀ハ弐番札江落札之定」との一文があることからわかるように、当時の慣習だったらしい。なぜこうした方法が取られていたのかはよくわからないが、落札をねらって著しく安価な入札が行われ普請内容に影響することを防止する目的があったとも考えられるが、あ

るいは何らかの不正対策の意味があったのかもしれない。このほか役所の玄関、御殿台所、御門脇道具置場、長屋などをそれぞれ別の大工が担当したことが「一件書物」からわかる。また普請中は、郡中惣代衆から三名ずつが五日毎の輪番で普請現場に詰めたことも知られて興味深い。

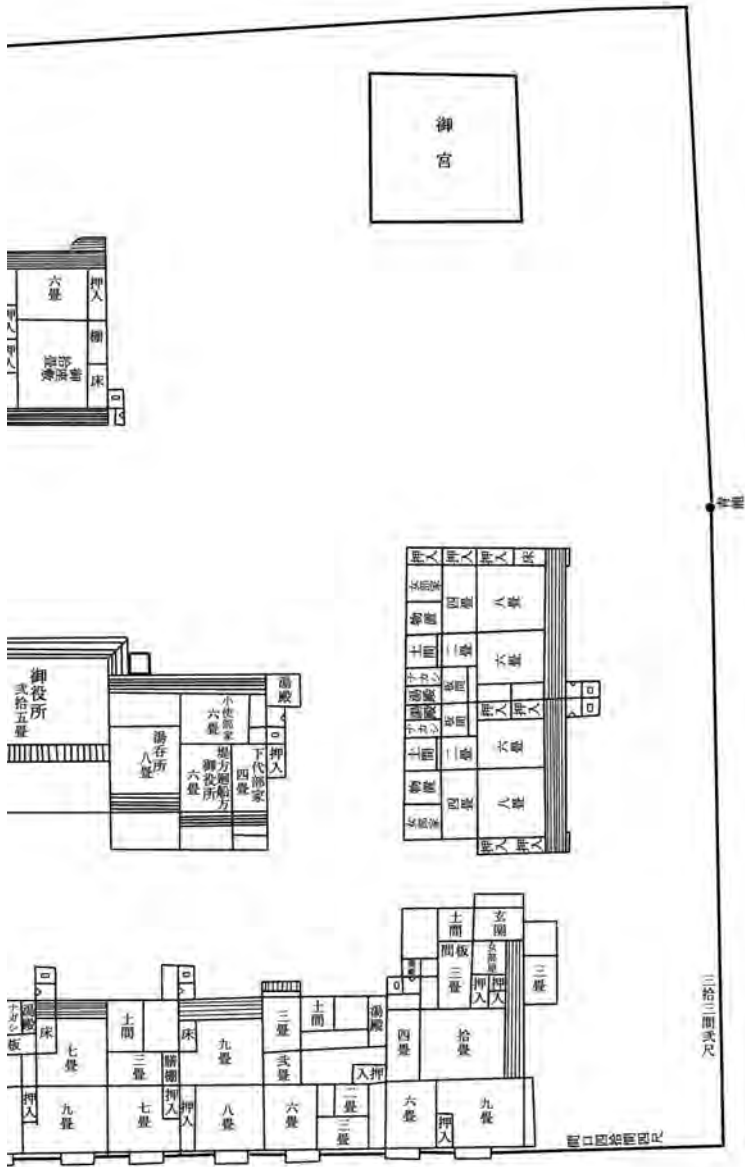
絵図の内容

次に絵図をみてゆく。絵図の寸法はヨコ（東西方向）一〇八〇ミリ、タテ（南北方向）九〇〇ミリである。彩色はなく、ただ建物の間取りと配置のみが描かれており、いわゆる「指図」であることは明らかである（図2）。

東・北・西の敷地境界線上にそれぞれ「青龍」「玄武」「白虎」の位置が丸点で示されており、当時の慣習から勘案しても再建にあたり家相（風水）を考慮にいった建物の配置がなされていた可能性は高い。そのことは鬼門とされる丑寅（東北）方に「御宮」（稻荷社）が配されていることも証左となる。

境界線に沿って敷地の四周の長さが示されており、当時の代官所敷地の正確な規模が判明する。すなわち、門のある南側が四十間四尺、北側は三十九間二尺、東町奉行所に隣接する東側は三十三間二尺、町家に接する西側が三十二間一尺で、わずかに東西方向を長辺とする長方形の敷地だったことがわかる。面積は、およそ四反三畝（約四二二三平方メートル）ほどになる。

敷地の中央には、ほぼ工の字形のやや大きな建物があるが、ここは代官所の中心となる役所空間（南側）と代官が日常生活を送る居住空間（北側）からなり、この二つの建物を繋ぐように「侍部



家」「用人部家」を含む空間がある。

南側の棟は、当代官所内でもっとも広い一室である「御役所」や「御白洲」を中心とし、その東側に位置する「堤方廻船方御役所」を含む文字通りの役所実務空間と、西側の「御玄関」や通用口である「中之口」とその周囲の部屋（前述の「定」にいう「表書院」か）からなっている。

「侍部家」から北側は、基本的に代官の私的な空間と捉えられていたと思われる。表記こそないが、「御玄関」から最も遠い位置にある「御座敷」と北隣の六畳間が「定」の文中にある「居間」とみてよいだろう。「御座敷」には床の間と棚が備え付けられており、書院造の部屋を容易に想像することができる。「用人部家」と廊下を挟んで隣接する八畳間・十畳間およびその北に連なる十畳・九畳の部屋などは準公的な空間で、「定」に見える「奥書院」に相当するのかもしれない。「中間部家」や「女中部家」などがあるあたりが勝手向であることはいうまでもない。

ところで、現存する唯一の幕府郡代役所である飛騨高山陣屋には、最大四十八畳にもなる大広間が備わっていたのに対して、谷町代官所では、最も広い部屋でも「御役所」の二十五畳間というように全体的にやや手狭な印象を受けなくもないが、役所としての機能や人員構成からみてもこれくらいの手頃なサイズだったのかもしれない。

表書院・役所棟の南側の敷地外縁に配置されているのは、代官所敷地内への入口となる「表御門」を中心とする長屋構造の居住スペースで、役所の東西に配置された二棟の二軒長屋を加えて、代官所属僚の居宅として準備された居住空間とみてよいだろう。これらの居住空間は、竹垣日記によればまさしく「長屋」と呼ばれていたことがわかる。間取りや広さなどはまちまちだが、一戸にかならず一



写真1 武家屋敷の雪隠（岡山県真庭市勝山城下の武家屋敷館渡辺邸）

ヶ所の雪隠があつたものとして数えてみると十戸分の家屋を見いだすことができる。雪隠は、記号で示されており、壁に接した三角形（小便器）、部屋の中央に置かれた小さな矩形（大便器）で表現され、どの雪隠でもおよそ一畳分の空間を半分に分ける形で大便と小便の便器が隣接して設けられていた（写真1）。また、全ての家屋に配されている訳ではないが、図示されているだけでも八軒分に

「湯殿」（風呂）が設けられている。なお、湯殿は、中央の建物においても表の「小使部家」脇と奥の「女中部家」脇にそれぞれに一ヶ所ずつ配されている。

長屋各戸の間取りは、畳数が記されている部屋が三間しかない家もあれば、比較的小さな部屋が七間で構成されている家屋もみられる。中には、およそ二畳程度の「女部家」を配した家もある。囲みのなかに何も記されていないスペースが見られるが、畳数の抜け落ちとも考えられなくもないが、あるいは、坪庭のような空間があつたのかもしれない。押入も部屋数に応じて各戸に設けられており、「膳棚」や「床」を持つ家屋もある。

ただし、この「長屋」には、代官所の全ての属僚達が入居したわけではなかった。長屋にはほとんど

恒常的に空き家があったらしいことが窺え、岸本督五郎という竹垣の実弟が大坂に滞在していた際、「明長屋」に一時的に住まわせたり（天保十三年正月二十九日条）、勝岡和田蔵と田中喜太郎という石州大森代官所役人見習の兩人を長屋に住まわせたりする余裕もあった（天保十四年八月二日条）。時には一度に四名の者に長屋を与えてもいる（天保十五年六月九日条）。

手代衆へ長屋を与える記事はしばしば日記にみられ（岡田寛一郎、弘化四年七月十五日条）、長屋を与えられた手代が「内祝」を行っている（天保十二年正月十五日条（桑山圭次郎）、天保十二年正月十六日条（林泰蔵））。さらに「長屋持格」という地位名称が見られる（森田舜助、弘化三年正月七日条）ように、手代衆にとって長屋を与えられること自体が一種のステータスだったのである。

南面する「表御門」は代官所敷地の正面入口であり、まっすぐ北へ進むと約三〇メートルほどで役所の玄関に至る。なお、絵図では位置が特定できないが、この谷町代官所には「裏門」もあり、毎年初午恒例の稲荷社参詣一般開放の時には、表御門と裏門の両方を開門して市民を敷地内に入れていた（弘化四年二月七日条）。表御門の東脇は「火事道具入」となっており、西脇には「門番所」があった。また訴訟などの用事で役所を訪れた庶民の控室である「コシカケ」が表御門の傍らにみえる。

以上にみてきたように、代官所内の建造物は、代官が日常生活を送る私的空間（奥・勝手）、役所実務を行なう公的空間（表）、そして属僚らが生活する「長屋」と概ね三つの空間からなっていた。この区分は役所の保守面にもそのまま適用され、「火之見」番の管轄範囲を、長屋、役所、奥・勝手とに三分し、長屋部分はおっぱら長屋住まいの者たち自身が、役所は役所附の者（小使・下代）らが、奥・勝手は太田権進という用人がそれぞれ担当していた（弘化三年正月二十九日条）。

絵図では、敷地の東北方にあった御宮（稻荷社）の周囲に何も描かれていない比較的広い空間がみられるが、ここには恐らく庭園が広がっていたのだろう。竹垣の日記によれば萩の花や、松が植えられていたことが知られ、時折植木屋に松の手入れをさせたり（天保十五年五月二十八日条）、八朔後の萩の花が盛りとなるころには属僚を集めて庭で酒宴に興じることもあった（弘化二年八月八日条）。竹垣は、早春のある夜、月明かりに誘われて庭園を逍遙し、興に乗じて歌などを詠んだりしている（弘化四年二月十五日条）。

その後の谷町代官所

花熊村村上家旧蔵文書には、その後たびたび実施された谷町代官所の修復・普請に関する史料が含まれている。その多くは、郡中割に関する史料で、役所の修繕や普請の諸経費を、谷町代官所の支配を受ける村々が負担していたことを示している。こうした史料の存在そのものが物語っているように、谷町代官所は、経年による傷みに対して、修繕や普請を繰り返しながら明治維新まで推移していったのである。

江戸幕府から明治新政府へ政権が移行するに伴い、谷町代官所もその役割を終える。代官所の敷地は東隣の東町奉行所とともに新政府に接収され、両役所の敷地を合体させる形で、日本初の陸軍病院（大阪衛戍病院）が明治三（一八七〇）年に設置された。明治十九年に測図された「大阪実測図」には、「陸軍副病院」と表記されている（図3）が、東町奉行所だった敷地東側には、奉行所時代の建物をそのまま使っていたかと思われるような建造物のシルエットが描かれているのに対し、敷地西側の谷町代官所跡地付近にはほとんど建物が見えず、代官所の建物は維新後かなり早い段階で撤去され

【表紙】「道頓堀歌舞妓戯場」(摂津名所図会) 卷四下、関西大学総合図書館所蔵

江戸時代の大坂を代表する大繁昌地の一つが、道頓堀の南側。道頓堀をはさんで北側は島之内、南側は芝居小屋が立ち並んでいたことにちなみ、芝居側と呼ばれた。芝居側を北西から鳥瞰するこの絵は、「角の二のかりり」、すなわち、角座における正月初春の興行の様子を描いたものである。

絵の中央上部には芝居小屋の象徴ともいえる櫓やぐらが描かれている。その櫓からは、天に向かつて二本の梵天ぼんてん(大幣束へいぞく)が伸び、手前には五本の毛櫓と腕木が突き出ている。腕木の先には「大入」の文字看板が提げられている。櫓の中では太鼓が打たれ、興行の開始と終了を知らせる。櫓の下には台が設けられ、演目の一場面を人形にして、豪華な衣裳を着せ、人びとを芝居へと誘っている。さらに絵の右側には、「双蝶々ふたつちようちようるわ曲輪まがら日記」と記された看板も見える。当時の芝居小屋は、上方と江戸では趣がだいぶ異なっており、江戸からきた竹垣一家にとって、上方の芝居小屋は珍しかったにちがいない(服部幸雄『大いなる小屋―江戸歌舞伎の祝祭空間』、平凡社、一九九四年)。

道行く人びとに目を移すと、今にも話し声が聞こえてきそうである。飾り人形を見上げる人、入口で座っておしゃべりをする人、天秤棒を持ち振売りをする人、芝居小屋の隣の饅頭屋で品定めをする人など、さまざまな人びとが描かれている。

ところで、天保十一年九月から嘉永元年十二月までの八年余、大坂谷町代官所で過ごした直道は、幾人の人に出会ったのであろうか。日常的に頻繁に交流のあった久須美祐明や坂本鉦之助とは、家族ぐるみの付き合いをしていた。彼らをふくめ直道が大坂で出会い、そして日記に書き留めた人物については、そのすべてではないが、人名索引によって伺うことができる。

それぞれの人びととの出会いを胸に秘め、大坂での思い出の風景が描かれた『浪華勝概帖』を手に、竹垣直道は大坂を発った。

(解説 松永 友和)

247	下	6	北西鳶新田	北西鳶新田
258	上	14	東手濱沼欠所	東手濱浪欠所
269	上	3	坂登四郎	坂登八郎
280	下	14	大竹八郎助	大竹次郎助
281	下	15	榊道太郎	柳道太郎
284	下	1	石川七次郎	石川長次郎
309		16	本来なら四月に開催	本来なら二月に開催

75	下	2	佃屋勘左衛門	網屋勘左衛門
80	上	13	廣田清七	廣田清吉
101	下	11	佃屋勘左衛門	網屋勘左衛門
102	下	2	土屋四郎太郎	土屋四郎二郎
103	上	13・15	又太郎	又三郎
110	下	6	小川甚左衛門	小川甚右衛門
119	上	7	小林奈八郎	小林宗八郎
199	上	17	小原作右衛門	小原作左衛門
126	上	5	西木田連吉	栗田連吉
126	上	5	杉田治平太	松田治平太
142	下	6	竹内清二郎	竹内清太郎
148	上	12	松下士助	松下古助
163	上	18	小林宗四郎	小林宗八郎
166	下	4	河久保丈助	河久保又助
168	上	5	成瀬九郎左衛門	成瀬九郎右衛門
170	上	1	吉田源三郎	吉田孫三郎
189	上	2	杉浦太郎	杉浦大二郎
189	下	16	杉浦太郎	杉浦大二郎
193	下	12	栗田連吉	栗田連吉
195	下	2	小林宗四郎	小林宗八郎
199	上	17	小原作右衛門	小原作左衛門
203	上	3	榊道太郎	柳道太郎
208	上	8	竹尾清左衛門	竹尾清右衛門
235	上	7	取斗候故	取斗候旨
235	上	7	酉嶋新田	百嶋新田
235	上	10	酉嶋新田	西島新田
247	下	5	酉嶋新田	西嶋新田

249	上	16	天王子庄	天王寺庄
252	上	17	乘明	圓明
252	下	4	古備	左備
254	上	11	大塚	大堀
254	上	13	長京	長原
256	上	5	水野整三郎	小野整三郎
259	下	3	杉浦大郎	杉浦大二郎
259	下	10	寫本辰之丞	岸本辰之丞
261	上	10	寫本辰之丞	岸本辰之丞
270	下	9	田野郷	田野口
274	上	1	下三原	下三草
305	下	13	成瀬九郎左衛門	成瀬九郎右衛門
318	下	6	近山等太郎	近山篤太郎
310	下	1	西洲	酉洲
310	下	9	北西嶋	北酉嶋
310	下	10	東鳥嶋	本鳥嶋
338		14	^{ほうざつ} 『烹雜の記』	^{にませ} 『烹雜の記』

【三卷】

18	下	13	松原釣之助	松平釣之助
18	下	13	新三郎孫正月	新三郎様正月
20	下	12	松原釣之助	松平釣之助
32	上	9	竹内清二郎	竹内清太郎
42	下	11	清町	塩町
46	下	10	成瀬九郎左衛門	成瀬九郎右衛門
47	下	13	竹内清二郎	竹内清太郎
54	下	12	鴈原	鳥原

【二卷】

34	下	13	都筑又左衛門	都筑又右衛門
46	下	2	牧田八郎右衛門	牧田八郎左衛門
66	下	13	都筑又左衛門	都筑又右衛門
78	上	16	田中喜太郎	田中彦太郎
80	下	7	佐々木循輔	佐々木脩輔
90	上	3	都築又右衛門	都築又左衛門
94	下	9	田中彦二郎	田中彦太郎
107	下	1	大原太郎左衛門	大草太郎左衛門
110	上	1	平岡又次郎	平岡文次郎
110	上	2	青山九五郎	青山九八郎
115	上	9	白明	自明
117	上	8	山柏	山柏
118	下	11	下島	下品
120	下	7	馬取掃	馬取柿
154	上	2	尼崎又左衛門	尼崎又右衛門
155	下	10	長屋四郎次郎	土屋四郎次郎
159	上	2	大熊又叔	大熊文叔
160	下	10	大貫次右衛門	大貫次左衛門
177	下	7	戸田吾郎	戸田五八郎
180	下	13	服部孫左衛門	服部源左衛門
181	下	13	中沢良右衛門	中沢良左衛門
213	下	3	中沢良右衛門	中沢良左衛門
220	下	11	中沢良右衛門	中沢良左衛門
233	上	11	竹内清三郎	竹内清太郎
239	上	9	平岡又次郎	平岡文次郎
239	下	6	栗田連吉	栗田連吉

『大坂代官 竹垣直道日記』(一)~(三)正誤表

【一卷】

頁数	上・下段	行数	誤	正
2	上	6	上村六郎	上林六郎
22	下	8	樋屋市五郎	樋屋市次郎
23	上	6	豊田藤之丞	豊田藤之進
31	下	14	柳原太郎右衛門	榊原太郎右衛門
55	下	4	松井勘左衛門	松井勘右衛門
77	下	3	柳原太郎右衛門	榊原太郎右衛門
86	上	10	平岡又次郎	平岡文次郎
97	上	10	たち絶ぬ	たち縫ぬ
105	下	3	池田市三郎	池田市太郎
110	上	15	廣風村	屏風村
115	上	15	松井勘左衛門	松井勘右衛門
116	下	11	大貫次左衛門	大貫次右衛門
117	上	12	大貫次左衛門	大貫次右衛門
144	下	15	柏木音七郎	柏木音太郎
173	下	11	松平八郎平衛	松平八郎兵衛
176	下	7	榊道太郎	柳道太郎
183	下	13	榊原太郎左衛門	榊原太郎右衛門
187	下	13	鴻池や善左衛門	鴻池や善右衛門
207	上	9	網や勘右衛門	網や勘左衛門
218	下	5	林又左衛門	林又太夫
219	上	6	青山九十郎	青山九八郎
250	下	8	大貫九右衛門	大貫次右衛門

和田岬 (和田ヶ崎・和田御崎).....①	112, 167, 170, 248, ③132
和田村.....②	118
和布新田村.....③	59, 127, ④203, 252

社村……………③58, 127, ④93
 安賀村……………①130, ②102, 104
 安川村……………②275
 安田村……………④245
 八瀧村……………②84, 115
 柳馬場錦小路上ル町……………①51
 柳本村……………④107
 八幡村……………①113, ②245, 246, ④240
 八幡屋新田……………②190, 232, ④6, 8
 弥兵衛町……………①251
 山粕村……………②117
 山崎……………④244, 245, 248, 249
 山口村……………②273, ③128, 256, ④88, 203, 238,
 245, 252
 山國村……………②269
 山路村……………②119
 山田……………④223, 224
 大和町代地……………③42
 山中……………④227, 254
 山野里村……………①72, 80, 123, ②98, 132, 264,
 276, 277, 294
 山野部(辺)村……………②271, ③128, 219, 256,
 ④203, 238, 252
 山辺東庄(東莊)村……………②120
 山寄上村……………②273
 八幡……………④244, 245, 248, 251
 八幡町……………④244

ゆ
 夢野村……………①93, ②108, ③54
 由比(由井)……………④226, 227, 254
 湯山町……………①95, 97, ③126, 127

よ
 与井新村……………①135, 136, ②98, 277
 与井村……………①134, 136, ②98, 276, 277
 横屋村……………④239, 246, 252
 横道町……………③134

横山町(江戸)……………①230, ②154, 315, ③42,
 ④11
 横山村……………②105
 横屋村……………①60, 67, 73, 92, 107, 113, 139,
 140, 152, 173, 223, ②39, 111, 129,
 130, 267, 278, 319, ③38, 51, 54, 133,
 240, 259, ④12, 14, 40, 49, 91, 204
 吉田……………④225
 吉野村……………③57
 吉原……………④227
 四日市……………④224
 淀村……………②100, ④244, 245
 米沢町……………②251

じ

竜泉村(龍泉寺村)……………②252, 254
 両替町三丁目……………③33
 両国……………①206, ②315
 両国町……………②158
 両中島(北・南中島)……………①233

れ

蓮華寺村……………③57

ろ

六軒屋新田……………①49, 233, ②217, 246, 288,
 320, ③62, 73, 234, 248, 286, ④52,
 198, 238
 六地藏村……………④248
 六番町……………④43, 244, 250

わ

若江村……………①99
 若狭野村……………②277
 若林村……………②254
 脇川村……………③57
 脇濱村……………①37, 65, 67, 86, 93, 112, 138,
 172, 173, 220, 238, ②94, 109, 214,
 278, ③51, 132, 224, 258, ④91, 161,
 204, 246, 252

④52, 84
 南中島……………①33, 34, 39, 235, ③45
 南長柄(名柄)村……①232, ②249, 303, ③6,
 208, 276, ④46, 53, 111, 157
 南浜村……………②285, ③23, 37, 45, 61, 136, 260,
 ④93, 207, 253
 南平野町……①27, 29, 32, ②20, 43, 187, 188,
 191, 252, 254, ③36, 37, 67, 201, 238,
 ④25, 96, 241
 南堀江……………③16
 南堀江四丁目……………②158
 南町(伊丹)……………①225
 南山田村……………②274, ③57
 三原村……………②99
 宮……………④224, 225, 254
 宮浦村……………①216
 宮奥村……………②120
 宮腰村……………①187
 宮村……………③57
 妙見町……………④223, 224, 254
 妙法寺村……………①93, ②107, 108, 125, 130
 奥妙法寺村……………①93, ③54, 218
 口妙法寺……………①93, ③54
 三輪……………②121

む

椋浦(椋之浦)……①203, 209, 212, 217, ②
 145
 椋本……………④223
 武士山新田……………②17, 21, ③57, 269
 宗行村……………①132, ②99, 275
 村松町……………③42
 牟礼東村……①135, ②93, 98, 132, 276, 277
 室生村……………②115~117
 室津……………③130
 室町二丁目……………②243
 室村……………①131, 202, ②101

も

本(元)市場村……………④227
 元岩井町……………③42
 元濱町……………②251
 元町……………①206
 桃坂村……………②217, 268, ③57, 127, 149, 244
 桃俣村……………②117, 118
 森垣村……………②272, ③58, 220
 森河内村……①2, 5, 85, 126, 143, 188, ②17,
 24, 77, 95, 112, 262, 285, 286, 298,
 300, ④189
 守口……………②141, 180, 286, 307, ③16, 140,
 175, ④95, 186, 211, 237, 242, 249, 250
 守口宿……①72, 101, ②258, 302, 304, 306,
 ③70, 90, 137, 141, 204, 234, 262, ④
 32, 169
 守口町……………②286, ③37, 49, 82, 96, 149, 238,
 253, ④23, 25
 守具村……①23, 98, 104, 223, ②16, 18, 33,
 34, 37, 111, 213, ③50
 森小路村……………③261
 森添村……………②105
 森村……①99, 101, 104, 144, 212, 213, 218,
 219, 239, 246, 247, ②112, 281, 283, ③
 36, 37, 135, 261, ④207
 母里村……………②119
 森本村……②269, ③127, 256, ④87, 203, 238,
 245, 252
 諸木野村……………②115
 門前村……②271, ③128, 241, 257, ④87, 203,
 245, 252
 門柳村……………①109

や

八木村……………②84, 114, 119
 薬師堂村……………①232
 矢倉新田……………③247, 285

正吉町……………①131, 132, ②99, 275
 正吉村……………①131, ②99, 275
 増島（増島）村……………①144, 208, ④44
 松井村……………②118
 松坂……………④223, 224, 254
 松原駅……………③117
 松原村……………②122
 松山……………①242
 松屋町（大坂大手筋）……………④232
 松山村……………②106
 松山町（大和国宇陀郡）……………②70, 121
 松山町（武蔵国比企郡）……………③14
 の場村……………②271, 272, ③75, 145, 256, ④88,
 203, 238, 245, 252
 馬取柿村……………②120
 豆崎村……………①137
 丸子（鞠子）……………④226
 丸太河岸町……………③42
 丸島新開場……………①55, 98, 106, 114, 173, 183,
 192, 211, 213

み

御影村……………①23, 33～36, 50, 67, 73, 76, 85,
 92, 98, 102, 114, 119, 127, 147, 159,
 161～163, 167～169, 172, 182, 183,
 191, 196, 197, 205, 206, 208, 210, 213,
 217, 220, 221, 241, 244, ②5, 7, 8, 15,
 41, 46, 48, 57, 92, 93, 94, 111, 127～
 129, 131, 143, 144, 146, 150, 169, 173,
 175, 185, 245, 260, 280, 291, 292, ③
 23, 41, 51, 67, 68, 75, 78, 91, 92, 100,
 102, 123, 142, 144, 146, 170, 223, 240,
 260, ④9, 14, 31, 39, 40, 82, 83, 90, 91,
 105, 106, 131, 236
 三方町村……………①130, 236, ②105, 164
 三日月村……………②274
 三木（町）……………③56, ④204

三草村……………③59, 255, ④87, 238, 245
 三国村……………①187, ③88
 見佐村……………②91, 92, ③102, 261, 266
 御崎新浜村……………②93, 98
 三島……………④227
 三島江村……………①142, 182, 227, 240, ②12, 30,
 249, 303, 304, ③7, 78, 265, 266, 285,
 ④41, 194, 243, 251
 三津村……………④244
 三谷村……………①129, 236, ③106, 261
 見田村……………②84, 118, 119
 見附……………④225
 三ツ嶋（島）村……………③108, ④64～66
 三湖村……………①131
 三矢……………④227
 三津屋（三矢）村……………①235, ②10, 37, ④
 194, 252
 御幣島村……………①27, 75, ②310
 味泥村……………①97, ②109, ③51, ④66, 69, 91, 204,
 246, 252
 皆木村……………①130, ②102, 275
 水口……………④223, 254
 皆河村……………①129, ②106, ③58, 243
 湊屋新田……………①7, 8, 14, 24, 26, 49, ③248,
 ④28, 52, 85, 242
 南安東村……………④226
 南瓦屋町……………④113
 南久太郎町……………④159
 南久宝寺町……………②75, ③135
 南小平町……………①101
 南新田……………②182, 191, 217, 288, 320, ③26, 41,
 109, 286, ④52, 85, 198, 217, 253
 南寺方村……………③82, 137, 262, 290, ④25, 106,
 112
 南鳥嶋……………④238
 南西嶋新田……………①234, ③62, 64, 234, 235, 247,

福村……………①234, ②310, ③42, ④199
 袋井……………④226
 葛井寺村……②254, ③120, 156, ④33, 34,
 242, 243
 藤井村……………②120
 藤枝宿……………①43, ④226
 藤坂……………②115
 藤澤……………④227, 254
 伏見……①209, ②59, 71, 124, 150, 163, 176,
 201, 203, 204, 250, 307, ③33, 245,
 265, ④6, 154, 155, 222, 240, 248, 249,
 254
 二河（川）……………④225
 二子村……②255, 277, ③57, 131, 258, ④36,
 56, 89, 239, 246
 二柏野村（二栢野村, ニツ柏野村）……②98,
 276
 二木村……………①136, 138, ②97, 98
 二茶屋村（ニツ茶屋村）……①19, 21, 33,
 37, 65, 93, 115, 147, 163, 166, 222,
 243, 247, 250, ②38, 52, 56, 79, 81, 94,
 108, 125, 129, 130, 143, 169, 214, 219,
 257, 278, 285, ③23, 41, 53, 54, 64,
 132, 159, 162, 240, 259, 289, ④15, 35,
 111, 121, 199, 237, 239
 二見……………④224, 254
 府中……………④226, 254
 船越村……①39, 40, 45, 48, 131, ②100, 101,
 273
 船坂村……………③64, 126
 船橋村……………②252
 古市……………④223, 224, 243, 250
 古市場村……………②85, 88, 118
 古市村……………②57, 58, 252, 254, ④35, 188
 古橋……………④250
 古屋宿村……………①142

へ

平安……………④235
 別所町（尾崎）……………②17, 20, 240
 別所村……………②118, 119

ほ

放生津……………①245
 北條村……………②274
 宝蔵寺村……………②99, 275
 細野村……………②99
 穂積（ホツミ）村……………①234
 程ヶ谷……………④227
 堀切村……………①245
 堀留町……………③42
 堀村……………①232, ④198, 205, 253
 本小田原町一丁目……………②243
 本小田原町二丁目……………②243
 本材木町……………①35, 38, ③108
 本材木町五丁目（江戸）……………①35, 38
 本所相生町二丁目……………①181
 本庄村……①5, 99, 101, 126, 143, 144, ②23,
 72, 85, 94, 112, 281, ③31, 36, 37, 49,
 117, 238, 259, 277, ④9, 190
 本所亀澤村……………④254
 本西嶋新田……………②310
 本船町（日本橋船町）……………①6
 本町二丁目……………③251, ④159

ま

舞子……………④246
 舞子の濱……………④239
 舞坂……………④225, 226
 前嶋村……②29, 249, ③216, 264, 265, 285,
 ④43, 194, 240, 245, 251
 牧野新町……②270, ③128, 256, ④87, 203,
 238, 245, 252
 間子村……②270, ③128, 256, ④87, 203, 238,
 245, 252

一津屋村……………②249
 比布村……………②78, 86, 114, 119
 日見谷村……………②104
 姫路……………①128, 134, 136, ②97, 101, 107,
 274, 277, 309, ③251, ④89, 246
 百島新田……………①146, ②310, ③235, 285, ④
 84, 238
 兵庫……………①48, 66, 93, 106, 107, 110~112,
 127, 138, 145, 156, 163, 166, 167, 169,
 170, 171, 194~196, 201, 219, 220,
 231, 238, 239, 241, 243, ②27, 38, 96,
 107, 108, 125, 127, 129, 133, 141, 143,
 146, 278, 292, 311, 312, ③56, 130,
 131, 144, 155, 161, 162, 171, 188, 214,
 221, 258, 263, 273, ④19, 82, 89, 90,
 91, 104, 110, 126, 127, 204, 237, 239,
 246, 247, 252
 兵庫表……………①66, 68, 92, 167, 200, 202, 240,
 ②124, 136, 142, ③151, 160, 161, 170,
 ④31
 兵庫津（兵庫湊・兵庫浦）……………①1, 9, 67,
 72, 87, 104, 111, 112, 138, 151, 160,
 164, 166, 170, 194, 196, 197, 220, 231,
 242, 243, 249, ②96, 108, 125, 128,
 129, 146, 222, 238, ③132, 161, 240, ④
 60, 90, 96, 101, 125, 126, 237, 246, 247
 瓢箪町……………③135
 屏風村……………①110
 平池村……………④195
 平尾村（播磨国佐用郡）……………①133, ②99,
 100, 275, 276
 平尾村（大和国宇陀郡）……………②119
 枚方……………①30, ②22, 30, 258, ③15, ④18, 32,
 167, 169, 191, 218, 243, 249, 251, 253
 平谷村……………②100
 平塚……………④227

平野海（街）道……………②55, ④206
 平野郷……………②16, 57, 114, 166, 252, 254, ③8,
 9, 66, 120, 156, ④34, 180, 205, 243,
 250, 253
 平野町（江戸）……………①197
 平野町（摂津国東成郡）……………②4, 12, 95, 288,
 291, ③141, ④149
 平野町筋……………①240
 平野村（河内国大県郡）……………③8
 平野村（摂津国八部郡）……………①107, ②108
 平福村……………①28, 131, 132, ②99, 100, 101, 124,
 137, 274, 275, ③202, ④24, 29
 拾生村……………②67, 120
 広島（廣島）……………①196
 広瀬村……………②13, 29, ③16, ④41, 166, 167,
 186, 244, 249
 広田（廣田）村……………①224
 廣山村……………①200, ②99, 137, 274, 276, 291
 ふ
 備後町……………③270, 286
 備後町四丁目……………③251
 深江村……………①24, 89, 139, 140, 223, ②111, 175,
 208, ③50, 51, 117, 145, ④40, 200,
 204, 243, 252
 深河谷村……………②104
 吹上村……………①62, 145
 吹屋丁……………④233
 福里村……………②278, ③57, 129, 258, ④67, 89,
 239, 246
 福島村……………③234, 277, ④52, 112, 113, 237
 福田村……………④245
 福田新田村……………③116, 128, 256, ④88, 238
 福知村……………①130, ②104, 105
 福中町（姫路）……………②277
 福西村……………②119
 福野村……………①130, ②104~106

髯崎村……………②274
 橋寺村……………②249, ③173, 212, 274, ④44, 111,
 156, 165, 198
 橋波村……………③204, 238, ④218
 柱本村……………①142, 182, 227, ②249, 303, ③7,
 27, 78, 266, 285, ④41, 154, 194, 243,
 247, 251
 走水村……………①222, 247, ②108, ③54
 箸荷村……………②273
 橋本町(江戸)……………③42
 橋本町(山城国)……………④31, 244, 245
 長谷川町……………③42
 初瀬村……………②114, 115
 畑原村……………①23, 97, ②111, ③51, 133, 254,
 268
 八軒屋(八軒屋濱)……………①8, 14, 21, 25, 26,
 62, 82, 118, 124, 146, 152, 159, 179, ②
 204, 206, 302, ③70, 109, 227, 245,
 266, 282, 284, 286, 289, 295, ④2, 6,
 31, 38, 44, 48, 50, 52, 57, 59, 60, 64,
 65, 67, 68, 73, 76, 100, 155, 179, 237,
 249
 八軒屋倉屋敷……………①30, ②22, ③176
 八番村……………①101, 183, 229, ②174, 184, 209,
 304, ③10, 77, 78, 91, 137, 208, 234,
 238, 247, 251, 253, 262, 266, 270, 280,
 288, ④8, 11, 21, 22, 32, 33, 37, 94, 95,
 111~113, 157, 186, 237, 242, 250
 花熊村……………①70, 72, 93, ②39, 108, 143, ③
 54, ④91
 馬場村……………②304, ③10, 82, 261
 濱新田……………①51, 98, 114, 173, ③75
 浜松(濱松)……………④226, 254
 浜村(河内国茨田郡)……………③48, 81, 97, 204
 浜村(摂津国西成郡)……………①9, 134, 232
 林寺村……………②252, 254

林田村……………①128, ②106
 羽山村……………②269, 270, ③127, 255, ④87, 202,
 203, 238, 245, 252
 原……………④227, 254
 原田村……………①234
 原野村……………①94, ③54
 原村(播磨国赤穂郡)……………①135, ②98
 原村(播磨国宍粟郡)……………①131, ②102
 半坂村……………②120, 121

ひ

比井浦……………①226, ②145
 稗島(稗島)村……………①232, ②311, ③3, 26, 90,
 ④195
 稗田村……………①97, ②4, 109, 110, 111, 170, ③51
 東安積村……………①129, ②104, 105, 164
 東今里村……………③21, 65
 東瓜破村……………①186, ③67
 東小部村……………②108, ③54
 東河内村……………②101
 東河崎村……………④246
 東高津村……………①73, 86, ②252, 254, 314, ③
 31, 36, 37, 120, 200, 216, 238, ④25
 東下村……………①94, ②108, ③54
 東尻池村……………①30, 36, 53, 64, 67, 93, 110~112,
 149, 165~167, 169, 248, ②107, 197,
 213~215, 218, 256, 280, ……③54
 東須磨村……………①93, 99, ②27, 72, 107, 130,
 ③54, 90, 92, ④17
 東中村……………②268, ③57, 127
 東濱……………①195, 196, 220
 東二見村……………②179, 278, ③57, 129, 131,
 258, ④89, 133, 239, 246
 引原村……………①130, 131, ②103, 104
 菱屋新田……………①99, ③119
 備前島町……………④237
 秀野新田……………③234, 235, 247, 285, ④84, 238

西島（嶋）新田……②310, ③235, 247, 285,
④52, 238
西尻池村……①93, 174, 175, ②107, ③54
西新田村……①98, 173, 211, 212
西須磨村……①93, 104, 127, ②27, 107, 108,
130, 280, ③54, ④75, 96, 137, 178
西代村……①93, ②100, 107, 108, ③54, ④19
西谷村……③88
西垂水村……②107
西野（西ノ）……②249, ③42, 266, 285, 286,
④41, 84, 156, 194, 198
西野新田……①26, ②217, 246, 288, 317,
320, ③26, 41, 43, 248, ④52
西宮（西ノ宮・西之宮）町……①1, 7, 15,
21, 66, 67, 89, 105～107, 114, 123,
125, 139, 140, 154, 160, 162, 164, 171
～173, 179, 194, 195, 213, 223, 224,
241, ②27, 37, 41, 92, 93, 111, 125,
249, 278, 305, ③29, 133, 134, 139,
161, 186, 214, 259, ④17, 40, 56, 91,
99, 125, 126, 155, 204, 205, 237, 239,
243, 246, 247, 252
西橋波村……④25, 112, 195
西深村……①129, ②104
西二見村……②278, ③57, 131, 258, ④89
西安田村……②256, 269
西山村（播磨国宍粟郡）……①131, ②101
西山村（播磨国多可郡）……②272, ③128,
256, ④88, 203, 238, 245, 252
西山村（播磨国美囊郡）……③57
西山村（大和国宇陀郡）……②120
南弓削村……②252
西横堀……①204, ②61, 141, 173, 187, 211, ③
109, 172, 222, 289, ④24, 86, 134, 148,
151
西脇村……②271, ③58, 59, 127, 128, 255,

256, ④87, 88, 203, 238, 245, 252
日坂……④226
仁豊野村……②274
蛭子野新田……④58
式番町……④43
仁和寺村……④32, 111, 157, 196, 252
ぬ
沼津……④227
沼村……③8, 66, 157, 218
の
野依村……②119
野江村……①31, 104, 120, 143, ②50, 52, 111,
290, ③21, 65
野里村……①215, 232, ②198, 311, ③3, 26,
139, 277, 287
野尻村……②102, 103
野田新家……①232, 236, ③235, ④71, 238
野田町……②302, ③28
野田村（摂津国西成郡）……①3, 26, 49,
233, ②191, 298, ③287, ④52, 84, 198
野田村（摂津国東成郡）……①36, 88, ②24,
③65, 234, ④169, 185, 237, 249, 250
野田村（摂津国豊嶋郡）……①234
野田村……①214, 235, ②41
野中村……②254, ④206, 253
野々上村……④205, 206, 253
野寄村……①223
野呂谷新田村……③57
は
萩原村……②84, 88, 114, 120, 167
迫間村……②67, 120
馬喰町……②84
馬喰町一丁目……③42
馬喰町二丁目……③42
博労町……④70
箱根……④227

中野村 (摂津国東成郡)……①81, ③234,
 237, 250, 251
 中野村 (摂津国兔原郡)……①98, ②111,
 ③51, ④200
 中野 (中ノ) 村 (播磨国宍粟郡)……①
 129, ②102
 長野村……………②117, 138
 長原村……………②254
 長堀……………①185, 205, ②211, ③141
 長堀平右衛門町……………②17, 20, 26, ③278
 中本郷村……………②88
 中三河村……………①131, ②100
 中道村……………①101, 144, ②85, 112, 281, ③36,
 37, 117, 135, 192, 200, 216, 228, 248,
 261, ④92, 206, 207
 中宮村……………①70, 72, 93, ②108, ③54
 中村……………①94, ②108, ③54
 中村町……②186, 194, 197, 247, 254, 269, 270,
 273, 290, 297, ③32, 58, 59, 127, 190,
 225, 244, 256, 257, ④87, 203, 238,
 245, 252
 長柄 (名柄) 村……………①102, 184, 208
 渚村……②29, ③6, ④191, 218, 222, 251~253
 荒生村……②15, 20, 21, 36, ③21, 77, ④19,
 111, 157, 198
 灘目 (灘目筋・灘筋)……①48, 51, 64, 87,
 88, 105, 139, 165, 181, 219, 220, ②5,
 23, 36, 48, 52, 69, 90, 94, 123, 125,
 172, 176, 181, 214, ③29, 88, 112, 129,
 195, 214, 241, 254, 266, ④9, 40, 127,
 238, 243
 生瀬村……………③126
 名村……………①37
 行沢村……………②160
 奈良井村……………③57
 鳴尾崎 (鳴尾濱・鳴尾浦)……①212~214

鳴尾村……①50, 51, 55, 78, 85, 87, 89, 98, 103,
 106, 114, 145, 158, 163, 168, 169, 171,
 173, 183, 192, 211, 212, 214, 215, 222,
 ②5, 9, 46, 73, 77, 79, 90, 91, 111, 131,
 135, 144, 170, 220, 238, 281, 299, ③
 50, 75, 133, 240, 283, ④13, 19, 22, 25,
 30, 106, 155
 成小路村……①3, 49, 50, 98, ②311, 314, ③
 3, 13, 14, 19, 26, 30, 47, 50, 61, 62,
 114, 139, ④198
 鳴海……………④225
 難波……………①84, 103, ④17, 53
 難波御蔵……①4, 6, 18, 23, 24, 34, 51, 56,
 58, 62, 82, 87, 88, 116, 118, 146, 149,
 154, 158, 189, 193, 219, 250, ②13, 18,
 44, 51, 61, 139, 160, 199, 225, 231,
 257, 291, 300, 317, ③17, 20, 45, 79,
 83, 107, 141, 146, 147, 158, 205, 219,
 223, 241, 272, 278, 282, ④9, 24, 27,
 54, 69, 72, 102, 112, 130, 133, 147,
 150, 157, 163, 166, 180, 181, 200, 213,
 216, 242
 難波新地……………①80, ②187, ③107
 難波橋……①173, 205, ②196, 285, 297, 316,
 ③86, 122, 141, 202, 222, 286, 289, ④
 10, 152, 221, 253
 難波村……………①6, ④201
 に
 仁方村……………①132, 134, ②99, 124, 275
 西笠原村……………③57
 西河内村 (播磨国宍粟郡)……①128, ②101
 西河内村 (播磨国佐用郡)……①132, ②99,
 274~276
 西北外島……………④243
 西高津五右衛門町……………②51
 西塩野村……………②101

237, 238, 253
天満橋筋……………①232, ③114
天満堀川……………④242
典薬町……………①82

と

土井村……………②275
土居村……………①74, ③175
東郷（合）村……………②118
銅座（坐）……………①78, 82, 118, 148, 176, 207,
②139, 155, 205, 310, ③1, 69, 80, 203,
227, ④1, 26, 102, 123, 151, 152, 175
堂島新船町……………②248
道場河原村……………②268, ③127, 255, ④87,
202, 203, 245, 252
道谷村……………②103, 104
道頓堀……………①118, 217, ②61, 62, 173, 180,
189, 196, 211, 247, ③62, 109, 139,
223, ④104
東明村……………①37, 62, 78, 81, 88, 92, 97, 143,
144, 170, 195, 199, ②40, 46, 93, 100,
104, 107, 111, 125, 127, 170, 196, 212,
214, 222, ③51, 52, 240, ④36, 38, 39,
90, 91, 111, 246
通油町（油町）……………②251, ③42
通塩町……………③42
解船町……………①20, 22
徳井町……………②284
徳井村……………①97, ②40, 111, ③51
戸倉村……………①234
道修町……………③104, 188
道修町五丁目……………②257, ③248
豊島町一丁目……………③42
豊島町二丁目……………③42
栃原村……………②179
戸塚……………④227
泊……………④224

富田村……………①248, ②145
富田中間村……………③59, 219
友延村……………①132, ②99, 275
豊浦村……………③117, ④190, 251
豊久野……………④223
豊福村……………②100
豊部村……………②256, 272, ③128, 256, ④88, 203,
238, 245, 252
鳥飼村……………①227
鳥飼上之村（上之村・上ノ村）……………①142,
②249, 303, ③7
鳥飼下之村（下之村・下ノ村）……………①13,
25, 74, 142, ②12, 31, 249, ③285, ④
41, 243
鳥養中之村（中之村・中ノ村）……………①13,
25, 74, 142, ②12, 31, 249
鳥養西之村（西之村・西ノ村）……………①13,
25, 74, ②12, 31, 249, ③266, 285
西洲新田……………②310, ④84
鳥羽村……………②273
富田林村……………②252, 254, 255

な

中泉村（遠江国豊田郡）……………④225
中尾村……………①97, ②109, ③51
中川村……………③21
中小路町（伊丹）……………①225
長崎……………①78, 204, ②21, 79, 242, 243, 291,
295, 309, ③104, 136, 139, 186, 247, ④
52, 149, 161, 184
中嶋新田……………①78, ②182, 191, 217, 240, 246,
310, ③42, 235, 247, 285, ④52, 238
長谷村……………③57
中野村（河内国石川郡）……………②252, 254, ③
115, 117, 119～121, 157, ④33, 34, 188
～190, 242, 243, 250
中野村（河内国讃良郡）……………④191

丹治村……②273, ③128, 256, ④88, 203, 238,
245, 252
タンジョウ村(段上村)……………②91
丹波市村……………②121, 122

ち

千草町……………①131, ②101, 103
築留……………④243, 250, 251
中書島……………④248
長興寺村……①103, 217, ③119, 123～125
調子村……………②120

つ

津……………④223, 224, 254
通法寺村……………②57, 58, 166
塚本村……①3, 236, ②195, ③139, 277, 287,
④198
塚脇村……………②120
佃村……②240, 246, 299, 310, ③285, ④31, 84,
199
附木店町……………③42
土山……………④223
筒井村……①33, 65, 97, ②109, ③51
堤津……………①230
津堂村……………②254
角川村……………②115
壺井村……………②57, 58, 166, ④190
津守新田……②55, ③109, 272, ④104, 199
釣鐘町……………④240
弦谷村……………②99, 276, 282

て

出来島新田……………②310, ③285, ④84
鉄炮町……………③42
寺内村……②235, 269, 271, 292, ③127, 128,
256, ④88, 170, 203, 238, 245, 252
天下茶屋……①27, 31, ②43, 210, ③23, ④
206
天下茶屋合法ヶ辻惣会所……………④253

天神橋……③227, 268, ④65, 69, 71, 78, 98,
115, 237, 240
天神町……③59, 255, ④87, 203, 238, 245, 252
天王寺庄村……②249, 303, ③7, 11, 24, 35,
77, 252, 253, 274, ④44, 144
天王寺村……①2, 12, 14, 19, 23, 27～29, 31,
32, 37, 63, 71～73, 75, 86, 88, 99, 100,
105, 116, 140, 141, 145～147, 154～
158, 178, 179, 184, ②4, 8, 12, 14～16,
19, 26, 34, 36, 43, 48, 53, 54, 57, 72,
95, 105, 111, 114, 137, 143, 165～168,
170, 171, 188, 191, 192, 194, 199, 214,
217, 243, 252, 254, 263, 283, 285, 311,
③9, 31, 32, 36, 37, 41, 66, 67, 116,
119, 120, 124, 138, 143, 147, 149, 174,
177, 178, 201, 215, 216, 220, 227, 228,
237, 253, 275, 277, 278, ④10, 23, 25,
26, 34, 59, 85, 93, 124, 134, 189, 190,
201, 206, 216, 241, 243, 250, 253
天王寺村一件……①156～158, 178, 184, ②52,
72, 95, 105, 191, 285, ③177
天王寺村牟屋……①9, 155, ②12, 14, 199,
③215, 216, 253, 269, ④17, 23, 241
天保山……①82, 145, 200, 215, ②25, 141, 158,
189, 206, 217, 232, ③32, 62, 109, 145,
162, 263, ④27, 28, 140, 193, 217, 237,
242, 251, 253
伝法(傳法)村……………①26, 51, 234
天満……………④242, 247, 249, 250
天満組屋敷……②2, 183, 316, ③2, ④2, 124,
143
天満惣会所……………①153
天満六丁目……………③266
天満橋……①72, 101, ②182, 192, 197, 201,
226, 227, ③71, 122, 227, 233, 280, ④
32, 71, 73, 146, 154, 159, 184, 186,

99, 123, 143, 237, ②24, 95, 112, 137, 262, 285, 300, ③117, 119

高井村……………②115

高砂……………①71, 72, 137, ②107, ③7, 130, 141

高砂町……………①137, ②251

高篠新田……………③57, ④57

高田中野村……………②98, 137

高田村……………②114

高塚村……………②119

鷹巣村……………②101, 103

高浜（高濱）村……………②307, ③15, ④41, 167, 244, 249

高柳村……………④195

滝（瀧）村……………②118

竹原町……………②268, ③59, 127, 255, ④87, 203, 238, 245, 252

多治井村……………④149, 205, 206, 253

田高村……………②269, ③127

多田海……………①196

多田村……………②272, ③128, 256, ④88, 203, 238, 245, 252

龍野……………①131, 134, 136, ②97

田所町……………②251, ③42

田中村（摂津国兔原郡）……………①24, 98, ②111, ③51

田中村（摂津国川辺郡）……………③61, 68

谷丁濱……………①114, 143～146, 181, 183, 185～188, 190, 191, 197, 199, 200, 202～207, 209, 216, 217, 226, 227, 229, 230, 240, 241, 249, ②2, 7, 12, 61, 141, 150, 157～159, 161～163, 167～169, 171, 173, 174, 176, 180, 182～184, 187, 190, 194, 195, 200, 209, 211, 217, 225, 231, 232, 239, 241, 246, 247, 249, 251, 258, 260～262, 288, 297, 298, 302, 303, 309～311, 315, 316, 320, ③6, 10,

12, 13, 19, 26, 27, 37, 41, 43, 46, 62, 64, 76～79, 86, 107, 109, 110, 112, 138, 139, 141, 142, 144～147, 150, 153, 159, 169, 170, 172, 174, 175, 208～210, 213, 216, 222, 223, 226, 228, 241, 246, 247, 264, 266, 268, 270, 274, 275, 277, 283, 285, ④8, 10, 11, 21, 27, 37, 41, 44, 48, 51, 52, 54, 60, 64, 70, 73, 80, 81, 84～86, 97, 98, 104, 105, 108～112, 114, 115, 117, 118, 120, 125, 129, 131, 132, 134, 135, 138, 140, 142, 144, 145, 147～149, 151～153, 156, 157, 164, 171, 179～181, 193, 194, 198, 210, 217, 239, 240, 242, 243, 247, 251, 253

谷町（筋）……………①9, 100, 150, ②1, 75, 138, 156, 161, 206, 244, ③5, 81, 168, 174, 227, ④29, 129, 154, 222, 236, 247

谷町筋寺町……………①155, ②138, 161, ④102

谷村……………②104

田野口村……………②270, ③128, 256, ④87, 203, 245, 252

田林新田……………①97

玉造御蔵……………④48, 50, 111, 120

玉造町……………①114, ②48, ③117

玉造村……………④197, 253

垂水村……………③137, ④90, 246

太郎路村……………②117

太郎太夫村……………②229, 230, 232, 258, ③5, 7, 47, 56, 57, 72, 82, 83, 115, 129, 154, 258, ④4, 5, 58, 81, 86, 89, 110, 135, 204, 246, 252

田和村……………①133, 134, ②99, 275

俵田村……………②273, ③129, 145, 219, 257, ④78, 203, 238, 252

田原村……………②179, ③57, ④133

上下西二見村……………④239, 246
 庄本村……………①234, ③153
 城連寺村……………③157, 218
 白川村……………①70, 72, 93, ③54
 白鳥居(井)村……………②118
 白木……………①243
 白子……………④224
 白須賀……………④225, 254
 新大坂町……………②251
 新家村……………②315, ③13, 19, 24, 35, 77
 新家村(鞍作新家村)……………②252
 新在家町(兵庫津)……………①242, 243, 247, 248
 新在家村(摂津国兔原郡)……………①26, 35, 39,
 61, 67, 92, 163, 208, 244, 247, ②52,
 93, 111, ③53, 64
 新在家村(摂津国西成郡)……………②7
 新在家村……………④104, 183, 212, 217
 心斎橋筋淡路町南江入……………④233
 新材木町……………③42
 新町……………③42
 新山寺村……………②98
 神泉苑町……………④222
 新堂村……………②252, 254, ③8, 67
 新乗物町……………③42
 新畑村……………③57, 258, ④204, 239, 252
 新茶屋……………④223
 新町村……………②252, 254

す

水車新田……………①97, 113, ②37, 38, ③51
 吹田村……………①103
 末包村……………①132, 134, 202, ②100
 菅野村……………②117
 須賀村……………①128, 129, 236, 241, ②97, 106,
 275, ③66, 127, 152, ④76
 鈴鹿……………④223
 鈴木町……………①53, 128, 157, 164, 191, 206,

238, ②65, 66, 68, 82, 86, 149, 202,
 215, 235, ③5, 19, 111, 155, 171, 190,
 ④7, 81, 158, 163, 166, 197, 212, 214,
 231

洲到止村……………①233, 234, ③153
 須磨……………④246
 住吉浜……………④243
 住吉村……………①7, 24, 67, 75, 85, 86, 88, 92, 97,
 107, 113, 118, 127, 139, 182, 197, 214,
 215, 223, 232, 235, 241, ②37, 93, 94,
 111, 129, 143, 146, 150, 175, 247, 263,
 ③50, 51, 91, 123, 161, 240, 259, ④21,
 22, 40, 91, 126, 204, 207, 211, 237,
 239, 247
 住吉屋町……………③19

せ

関……………④223, 254
 関戸村……………②120
 世木村……………③49, 81, 82, 97, ④103
 関目村……………③276
 関屋村……………②114
 瀬戸物町……………②243
 千町村……………①128, ②105, 292, 293
 千本村……………②274

そ

曾根崎新地……………③275, ④240
 曾根崎村……………②188, ③67

た

太子堂村……………②252, ④36, 243
 大道津……………①205
 田井中村……………②252
 大仁村……………①235
 太間村……………④157
 高井田村(河内国大県郡)……………②56~58,
 114, 167, ④188, 250
 高井田村(河内国若江郡)……………①5, 25, 83, 85,

266, 281, 290, ③23, 36, 135, 261, ④
 92, 207
 茂利村……②239, 269, ③127, 256, ④87, 203,
 238, 245, 252
 蜆ヶ原……①223
 椎堂村……③222, 240, ④25
 七番町……④43, 244
 志殿村……②268, 269, ③57
 品川……④228, 236, 254
 篠野村……②119
 篠原村……①97, 113, 173, ②52, 94, 111, ③51,
 ④15
 芝生村……②120
 島江（嶋江）村……①234
 島田……④226
 島田（嶋田）村（撰津国豊嶋郡）……①234
 島田（嶋田）村（播磨国揖東郡）……②199
 島上町……②126, ③132
 島町……④237
 島町二丁目……④232, 233
 島町四丁目……④235
 島屋（嶋屋）新田……①233, 234, ②182, 191,
 311, 320, ③39, 247, 286, ④52, 84
 自明村……②115
 点野（點野）村……③10, 266, ④43, 111, 157,
 187, 188, 194～196, 218, 219, 222,
 245, 250, 252, 253
 下赤埴村……②115
 下井足村……②119
 下岩清水村……②120
 下宅原村……③59, 60
 下小野村……②104
 下櫛田村……①28, 37, 134, ②99, 275, 276
 下三番村……②285, ③45, 61, 136, 244, 260,
 266, ④93, 116, 207, 253
 下品村……②118

下島村……③135, 137, 262, 274, 283～285,
 ④43, 111, 157, 245
 下新村……②195, ③31, 35, 238, 274, ④
 25, 96, 105, 199
 下田口村……②115
 下竹村……②119～121
 下谷上村……①94, 107, ②108, 126, 278, ③54,
 240
 下田村（周防国大嶋郡）……①247
 下田村（大和国葛下郡）……②114
 下戸田村……②269, ③127
 下野村……①128, 131, 202, 236, 241, ②100,
 275, ③243
 下檜牧（桧牧）村……②114, 115
 下平井村……②119
 下福島村……②27
 下西二見村……④246
 下芳野村……②118
 下馬伏村……④195
 下三河村……①128, 131, 236, 241, ②100
 下三草村（播磨国加東郡）……②274, ③
 257, ④88, 203, 246, 252
 下三原村（播磨国多可郡）……②273, ③129,
 244, 257, ④203, 204, 238
 下村……②98
 下守道村……②118
 十八条村……①208, ③278
 十番村……③274
 北十番村……③137, 262, ④111, 157
 南十番村……③137, 262
 鷺林寺村……①224
 正覚寺村……②252
 将基嶋……①182③272～274, 277, 279, 280
 ～282, 284～287, 289, 290, 292, 295,
 ④6, 8～10, 12, 14, 15, 17～19, 23, 27,
 31, 44, 48, 100, 242

菰江村（蔣江）……①234, ②195, 200, ④199
 蒲江村……………④133
 小山村（河内国丹北郡）……………②254
 小山村（播磨国）……………③57
 木屋村……………①142, 182, 229, ④194, 218
 御油……………④225
 昆陽村……………③255, ④87, 202, 238, 245, 252
 強清水村……………③80
 小和田村……………②118
 金剛坂……………④223
 誉田村……………②254, ④34, 188, 243, 250

さ

齊木（齋木）村……①131, ②102, 219, ③153, ④97
 才田新地……………④240
 才元村……………①133, ②100, 275
 材木町（伊丹）……………①225
 堺町……………①76, ④98, 99
 境川町（大津）……………④236
 堺櫛屋町天神裏門前……………④233
 榭村……………②98
 坂越……………①244
 坂ノ下……………④223
 坂本村（摂津国八部郡）……………①94, ②40, 108, ③54, 260
 坂元村（播磨国加古郡）……………①138
 作畑村……①110, ②271, ③128, 129, 256, ④88, 238
 桜井村（摂津国島上郡）……………③16
 桜井村（大和国十市郡）……………②114, 115
 桜の宮……………④242
 桜町……………④118
 佐倉村……………②118
 桜山村……………②100
 雑喉場（沙魚場）町……………①51, ③203
 佐太（佐田）村……②184, ④167, 188, 249,

250

真広（真廣）村……………②98, 276
 左備（佐備）村……………②252, 254
 佐用谷村……………②98
 佐用村……………②99, 101
 申村……………①234, ②266, 310, ③43, 69
 沢村……………②83, 90, 119
 榎木町……………④31
 三軒屋村……………②7, 97, ③27
 三宮寺村……………②119
 三大道村（北大道村・西大道村・南大道村）……①25, 41, 74, 101, ②2, 3, 12, 31, 36, 249, 303, ③10, 77, 175, 274, ④111, 198, 199
 北大道村……………①240, ③252
 西大道村……………①240, ③208
 南大道村……………①240, ③208
 大道新家……………③252
 三ノ谷……………④246
 三番村……①227, ②229, 231, 232, 249, 303, 315, 316, ③7, 31, 35, 36, 77, 150, 208, 212, 238, 246, 264, 274, 276, 290, ④25, 44, 111, 125, 133, 156, 198, 208, 240
 三屋村……………①234

し

塩井村……………②117
 潮江村……………③268, 274
 四貫島（四ノ嶋）村……①49, 232, 233, ②217, 246, 288, 299, 311, 320, ③41, 234, 235, 248, 286, 287, ④84, 198, 238
 飾西村……………①128, ②106, 274
 新喜多（新喜田）新田……①99, 104, 143, 241, ②18, 21, 25, 95, 111, ③23, 28, 31, 36, 259, 271, ④31, 201
 鳴野村……①104, 144, ②18, 21, 95, 111, 205,

郡家村……………①99

け

蹴上……………④222

下河野村……………①128, ②101, ③153

毛馬（毛間）村……………①25, 50, 81, 102, 103,
144, 184, 208, 215, 227, ②12, 13, 249,
264, 276, 303, 315, ④22, 111, 157,
198, 240

源八町……………242

こ

小穴（字）……………①223, ④40

小犬丸村……………①136

河崎村……………①131, ②100, ④26, 58, 98, 101

糍屋村……………②269, 270, ③127, 256, ④87, 203,
238, 245, 252

高田井村……………②179, ④74

小付（小附）村……………②120

上津嶋村……………①234

河野原村……………①134, ②99

神戸村……………①53, 56, 67, 70, 72, 74, 76, 86,
93, 107, 112, 117, 118, 147, 159, 163,
169, 192, 196, 197, 204, 222, 230, 238,
247, 248, ②17, 18, 20, 28, 39, 40, 47,
94, 109, 125, 129, 132, 134, 137, 143,
169, 184, 233, 266, ③23, 41, 53~56,
77, 136, 147, 162, 170, 182, 224, 240,
287, 289, ④15~17, 23, 90, 91, 162,
184, 190, 246

神戸浦（濱・湊）……………①167, 172, 197, 243,
247, ②125, 128, 146, ③161, ④237

国府村……………①83, 103, ②58, 114, ③66, ④188

高野山……………①225, ②39, 116, 119, 246, 248,
④13

高麗橋……………④240

高麗橋一丁目……………②187

国府村……………④250

光立寺村……………②285, 315, ③36, 45, 48, 61,
64, 76, 136, 235, 260, 275, ④93, 136,
161, 198, 207, 238, 241, 253

河呂村……………①128, ②101, 103

郡山……………②119

小茅野村……………②101, 102

国分村（河内国安宿郡）……………②58, 174, 252

国分村（摂津国東成郡）……………①27, 30, 32,
②252, 254

国分寺村……………②249, ③35, 45, 61, 114, 122,
195, ④37, 145

石町……………③268, ④2, 59

極楽寺村……………②119

苔縄村……………①132, 134, 135, ②99, 193, 274,
276

越木岩新田……………①98, ②91, 92, ③50

御幸町……………③222

小島町……………②241

小島村……………③46

小島古堤新田（古堤新田）……………③277, ④198

越水村……………①98, 224, ②111, ③50

五条（五條）村……………①25, 120, ②80, 114, 119,
172, 267, ③8, 233, 236, ④219

五条……………③215, ④220, 232

小中嶋村……………③60, 134, 259, ④239

木野村……………①5, 126, 144, ②26, 94, 111, 212,
213, ③32, 36, 37, ④22, 38, 92, 190,
206

小浜町……………②268, ③15, 60, 126, 255, ④87,
202, 245, 252

小平尾村……………④205, 253

小伝馬町一丁目……………③42

小伝馬町二丁目……………③42

小伝馬町三丁目……………③42

駒ヶ林村……………①93, 127, ②107, ③54, 218, ④75

小俣村……………④254

北野村 (撰津国西成郡) ……②183, 198, 199, 202, 207, 216, 283, 285, ③45, 47, 61, 104, 114, 136, 149, 199, 201, 217, 260, 268, 275, ④93, 207
 北野村 (撰津国八部郡) ……②109
 北野村 (播磨国多可郡) ……②233, 269, ③54, 125
 北蛇草村 ……④145, 149
 北浜二丁目 ……④233
 北平野町 ……①13, 17, 24, 26, 27, 29, 32, 56, 58, 86, ②43, 162, 186, 189, 191, 213, 216, ③32, 37, 38, 43, 49, 75, 200, 201, 216, 236, 237, 268, 269, 270, ④22, 25, 193, 216
 北宮内町 (兵庫津) ……①138
 北山田村 ……③57
 木津村 ……③56, ④204, 252
 木寺村 ……①232, ③277
 鬼舞村 ……①187, 191, 247
 木屋新田 (撰津国東成郡) ……①27, 35, 36, 99
 木屋新田 (撰津国西成郡) ……③286, ④52
 休次 (治) 村 ……②98
 久宝寺町 ……④92
 久宝寺村 ……②16, ③9, 192, ④160, 161
 久宝寺橋 ……①58, ③109, 141
 京猪熊通錦小路下ル ……④234
 京大宮通姉小路下ル ……④231
 京都 ……④254
 京錦小路烏丸東入丁 ……④231
 京橋 (伏見) ……④248
 京橋四丁目 ……③269
 行原村 ……③59
 行力村 ……②268, ③57, 127
 清水村 ……②272, ③128, 145
 喜連村 ……②254, ③120

銀山村 ……②101

<

日下村 ……④251
 草木村 ……②105
 櫛田村 ……④223
 九条 (九條) 村 ……①3, 20, 26, 29, 80, 181, ②3, 299, ③11, 18, 253, ④12, 15, 145, 201, 212
 楠葉村 ……①227, 229, ③264, ④41, 42, 167, 191, 194, 240, 243, 244, 249, 251
 楠原 ……④223
 沓谷村 ……④226
 国包村 ……④89, 246
 柴島村 ……②315, ③114, 208, 276, ④199
 久保田 ……④223
 久保町 (天王寺村内) ……②53, 165, ③179 ~181
 久保町 (撰津) ……①106
 久保村 ……②99, 275, 276
 熊野部 (辺) 村 ……②272, ③145
 熊内村 ……①97, ②38~40, 94, 109, ③51, 55, 132, 240, ④183
 雲出 (雲津) 村 ……④223
 公文村 ……①130, ②104, 105
 草津 ……④222
 倉橋 ……①195
 椋橋庄 (倉橋之庄) ……①234
 栗谷村 ……②119
 車村 ……①93, ②107, 108, ③54
 来見村 ……②99
 呉田 (字) ……①223
 黒岩村 ……②117
 黒木村 ……②120
 黒土村 ……①131, ②101
 桑名 ……④224, 254
 桑津村 ……②252, 254

上田口村……………②115, 170
 上谷上村……………①43, 95, 97, 107, 108, 110,
 ②108, ③54
 上土井村……………②98
 上辻村……………①44, 65, 70, 75, 81, 100, 101,
 103, ②304, ③10, 21, 175, 208, 234, ④
 237
 上平井村……………②119
 上福島村……………②288, ④201
 上芳野村……………②118
 上三河村……………①131, ②100
 上守道村……………②118
 亀井町……………③42
 亀井村……………②252
 唐崎村……………②29, 30, 249, 304, ③7, 78, ④194,
 251
 烏原村……………①93, ②108, 125, ③54
 唐櫃（唐戸）村……………①95, ③59, 240
 唐物町……………①125
 川口新家村……………①232, ②311, ③3, 114
 川口村……………①232, 245
 川崎……………④228
 川崎……………②2, 141, ③76, ④118, 124, 154
 川崎（河崎）村……………①232, ②2, 24, 249, 304,
 ③25, 122, 276, ④10, 19, 22, 44, 111,
 157, 236, 241, 247
 川野辺村……………④243, 250
 川辺村……………②253, 254
 河原田村……………②105
 瓦町五丁目……………③223
 河原村……………①21, 97, 102, 138, 166, ②47, 52,
 111, 175, ③51, 55, 67, 91, 132, 133,
 221, 254, ④15, 119, 138
 神崎……………①67, 105, 140, 144, 150, 160, 234, ②
 125, 131, 198, 267, 279, ③126, 134,
 255, 259, ④237, 239, 246, 247, 252

神崎川筋（通）……………①44, 232, ②246, 299,
 309, 310, ③10, 42, 43, 46, 64, 69, 277,
 278, ④31
 神崎村……………①144, 208, ②37, ③277, ④245
 神崎宿……………①192, 194, 211, 224, 225, 234
 神田紺屋町三丁目（紺屋町）……………③42
 神田富松町代地（富松町）……………③42
 甘南備村……………②252, 254
 観音寺……………①188
 観音寺村……………②273, ③128, 256, ④88, 203,
 238, 245, 252
 蒲原……………④226
 神戸村（伊勢国安濃郡）……………④224
 上牧村……………①227, ②249, 250, ③16, 205
 冠村……………②249

き

祇園……………③222, ④222
 岸上村……………②261, 265, 270, ③256, ④87, 203,
 238, 245, 252
 岸田村……………①236, ②105
 喜志（貴志）村……………②252, 254, ③116, 117,
 156, 157, 119, 120, ④188, 250
 北大伴村……………③66
 北久太郎町……………④159
 北荘（庄）村……………③143, 144
 北新堀町……………①200, 244, 247
 北寺方村……………③112, 137
 北西嶋新田……………①44, 75, 234, ②7, 310, ③247,
 285, ④52, 84
 北中巖……………①144, ③64
 北長柄（名柄）村……………①232, ②184, 249,
 304, ③114, 208, 235, 276, 277, ④19,
 44, 238, 241
 木谷浦（安芸国豊田郡）……………①199, 207
 木谷浦〔大隅国肝属郡〕……………③27
 北野村……………④23, 112, 116, 119, 197, 240, 241

岡村（河内国茨田郡）……………④41
 岡本村（摂津国兔原郡）……………④126, 247
 小川下南村……………①237
 恩貴島新田……………②311, 320, ③247, 286, ④
 52, 84
 興津……………④226
 沖村新田……………③57
 奥荒田（奥安楽田）村……………②271, ③128, 256,
 ④88, 203, 238, 245, 252
 奥中村……………②255, 269, ③127, 256, ④87, 203,
 238, 245, 252
 奥平野村……………①93, ②108, ③54, ④182
 尾崎村……………③57
 押部村……………③56
 御旅町……………③222
 小田村……………②268
 小田原……………④227, 254
 越知村……………②271, ③128, 129, 256, ④88, 238,
 245
 追手前……………④237
 小野……………④88, 204
 小野新田……………①93, 238, ②109, ③51
 小野村……………①93, ②104, ③58, 246, 252, 258
 小橋村……………①144, ③36, 37
 小俣……………④223, 224
 小原村……………②121
 恩知村……………③8

か

貝塚村……………①30
 貝原……………④223
 貝脇村……………②304, ③10
 掛川（懸川）……………④226, 254
 掛村……………②117
 加古川宿……………①128, 137, ②97, 107, 277
 加古新村（加子新田）……………④89, 246
 加佐村……………②256

梶ヶ嶋村……………②7, ④31
 加島村……………①144, 208, ②7, 10, 12, 13, 22,
 37, ③142, 153, 277, 285
 梶村……………④195
 梶屋敷村……………①245
 鍛冶屋村（摂津国兔原郡）……………①97, ②110,
 ③51
 鍛冶屋村（播磨国多可郡）……………②270, ③69,
 128, 256, ④87, 203, 238, 245, 252
 柏原村……………②114, 252, ③157, 193, 218
 春日出新田……………①8, 234, ②288, 320, ③18, 42,
 ④84, 198
 葛町……………④244
 葛村（大和国宇陀郡）……………②117, 118
 片島村……………②277
 片山村……………④250
 門田村……………②273, ③129, 256, 257, ④88, 203,
 238, 246, 252
 門野村……………②98
 門真二番村……………④195
 門真三番村……………④25
 門村……………②272
 神奈川……………④227, 228, 254
 金子村……………①132~134, ②100, 275
 金谷……………④226
 金屋（金谷）村……………②121
 蒲島新田……………②299, ③285, ④31
 蒲田……………④228
 蒲田村……………①144, 208
 上赤埴村……………②115
 上井足村……………②119
 上岩清水村……………②120
 上鴨川村……………③57
 上瓦林村……………①85
 上郡……………①134
 上新庄村……………③274, ④199

- 92, 114, 173, 200, ②111, 144, 208, ③51
- 東青木村……①15, 18, 20, 21, 39, 57, 67, 70, 73, 80, 85, 89, 91, 92, 113, 114, 173, ②79, 92, 93, 170, 111, ③51, 52
- 西青木村……①67, 92, ②111, ③51
- 小河村……①94, ②98, 108, ③54
- 生石村……①36
- 大石村（佐渡国）……①18
- 大石村（摂津国兔原郡）……①67, 93, 163, 167, 169, 171, 172, 179, 186, 195, 243, ②5, 9, 52, 54, 77, 93~95, 111, 127, 144, 169, 174, 205, 246, ③23, 53, 55, 68, 123, 182, 240, 287, 291, ④91
- 大磯……④227
- 大猪伏村……②100
- 大今里村……①5, 99, 126, 143, ②94, 95, 112, 173, 189, 208, ③36, 37, 117, 192, ④190, 198
- 大井村……③193
- 大枝村……③49, 90, 97, 232, ④25, 28, 30, 62
- 大県（大縣）村……②55, ③8
- 大久保……④250
- 大酒村……①132, 134, ②99, 275, 276
- 大沢村……②118
- 大嶋村……③88, 169
- 大杉野村……②98, 99
- 大蔵村……②67, 120
- 太田村（河内国志紀郡）……①83, 103
- 太田村（丹波国氷上郡）……①109
- 大津……①5, ②74, 88, 89, 92, 203, 288, ③8, 106, ④66, 82, 99, 205, 206, 222, 223, 254
- 大塚町……②29, 30, ③265, 285, ④43, 191, 194, 245, 251
- 大塚村……②29, 249, ③265, 266, ④166, 169, 194, 202, 245, 249, 251
- 大手筋……①193, ②301, ④111
- 大手村……①93, ②107, 130, ③54
- 大伝馬町……③42
- 大伝馬塩町……③42
- 大利村……④195
- 大野……①245
- 大庭一番村……③137
一番村……③270, ④32, 43, 187, 196, 242, 245, 252
- 大庭二番村……③287
二番村……②2, 12, ③173, 294, ④32
- 大庭四番村……③137
四番村……④43, 245
- 大庭五番村……②2, 12
五番村……④185, 187, 195, 196, 218, 222, 250, 252, 253
- 大庭六番村……①240
六番村……④186
- 大庭七番村……③137, 262
七番村……①240, ②2, 304, ③10, 77, 78, 270, ④25, 37, 43, 95, 111, 157, 185, 195, 218, 219, 245, 250
- 大畑村……②271, 272
- 大畠村……①9, 132, ②100
- 大伏村……②269, ③127, ④106, 107
- 大堀村……②254
- 大山上村……①109
- 大屋村……②235, 292
- 大和田村……②310, ③285, ④31, 84, 199
- 岡崎……④225, 254
- 恩加島新田……④104
- 岡新町……④41, 243
- 岡部……④226, 254
- 岡町……④232
- 岡村（摂津国）……①103, ②254

岩清水村……………②120
 岩崎村……………②118
 岩野辺村……………①131, ②102, 104, 137
 岩端村……………②118
 岩測村……………④227
 伊和村……………①129, 236, ②106
 岩室村……………②120
 岩屋村（摂津国兔原郡）……………①62, 93, 113,
 138, 139, 145, ②9, 10, 13, 15, 38, 52,
 76, 109, 278, ③51, 132, 254, 258, ④
 91, 204, 239, 246, 252
 岩屋村（播磨国多可郡）……………②271
 因嶋……………①230

 う
 上ヶ原新田……………①98, 225, ②91, 92, ③50
 植木谷村……………①133, ②99, 275
 上野（伊賀国安芸郡）……………④224
 上野村（摂津国兔原郡）……………①201
 上野村（播磨国宍粟郡）……………①129, 202, ②
 102～104
 上本町……………③293, ④35, 36, 221, 253
 上本町二丁目……………④233
 植松村（伊丹）……………①225
 植松村（河内国澁川郡）……………②252, ④199,
 200, 206, 212, 214, 217
 魚崎村……………①88, 92, 113, ②93, 111, 170,
 185, ③51, 53, 145, 233, ④91, 246
 魚橋村……………②186, 269
 魚屋町（伊丹）……………①225
 宇賀志村……………②118
 牛立村……………①234
 碓井村……………②252, ③157, ④34, 35, 243
 内淡路町一丁目（松屋町筋淡路町）……………③
 276
 内淡路町筋御祓筋……………④235
 内神村……………①109

打出村……………①77, 89, 107, 114, 125, 139, 220,
 223, ②111, 137, ③51, 133, 240, ④3,
 12, 21, 23, 38, 193
 内骨屋町（骨屋町）……………②151
 内牧村……………②115
 内原村……………②120
 宇治……………④240, 244
 宇治山村……………②148
 鵜殿村（摂津国島上郡）……………②249～251,
 304, 307, 316, ③6, 7, 15, 16, 19, 20,
 48, 69, 78, 240, 264
 鵜殿村（紀伊国南牟婁郡）……………③139, 142
 宇野山村……………②98
 漆野……………①131, ②100
 嬉川原（嬉河原村）……………②120

 え
 江川町……………③42
 江口村……………②36, 195, 221, 233, 249, 309, ③10,
 24, 31, 35, 45, 49, 61, 76, 77, 80, 125,
 136, 238, 247, 270, 285, 291, ④4, 9,
 20, 25, 27, 43, 57, 133, 144, 173, 187,
 188, 214, 215, 231, 245
 江尻……………④226
 江戸堀……………②206, ③12, 112, 289
 江戸堀一丁目……………②75
 江之小嶋……………②317
 江之小嶋東町……………②248, 299
 海老江村……………①3, 78, 232, ②195, ③113, 139
 円明（圓明）村……………②252, ③66

 お
 老原村……………②252
 老松町……………③275, ④240
 追分……………④224
 近江町……………③268
 大袋村……………②273, 290, 291, ④203, 252
 青木村……………①18, 20, 21, 33, 37, 63, 88～90,

粟ヶ崎……………①244
 淡路町一丁目……………④102
 淡路町二丁目……………③70, 141
 粟之浦……………①236
 安西井宮村……………④226
 安堂村……………③8, 157, 271, ④188

い

飯見村……………①131, ②102
 庵村……………①131, ②99
 石部……………④223
 猪飼野村……………②224, ④205, 253
 伊賀町……………④223
 伊賀見村……………②117
 生栖村……………①129, ②104
 生田村……………①97, ②38, 39, 109, ③51
 池上村……………②82, 83, 87, 90, 119, 172
 池田川村……………④187, 195, 218
 池ノ内村……………④159
 池山新田……………①199
 生駒……………④240
 猪篠(笹)村……………②179
 石井村(摂津国八部郡) ……①93, ②74, 108, 125, ③4, 54
 石井村(摂津国兔原郡) ……②148
 石田新田……………④85
 石田村……………②119
 石屋村……………①23, 50, 67, 92, 97, ②13, 40, 41, 93, 104, 111, 170, 174, 225, ③34, 39, 44, 52, 53, 122, 163, ④36, 39, 100, 104, 108, 115
 伊勢……………④223
 伊勢町(イセ町) ……②243
 磯島(磯島) ……④243
 磯ノ町濱……………④246
 板橋……………④243
 伊丹……………①174, 225, ②67, 185, 267, 268,

289, ③13, 35, 85, 124, 126, 255, ④238
 板持村……………②252
 板宿村……………①93, ②107, 130, ③54, 207, 210, 227
 市岡新田……………①183, ③26, ④85
 一ノ谷……………④246
 市ノ本(一ノ本)村……………②121
 市原村……………②272, ③128, 256, ④203, 238, 252
 五津村……………②119
 糸魚川町……………①187
 稲戸村……………②118
 今市村(摂津国東成郡) ……②304, ③11, 204, ④37, 186, 195, 218, 219
 今市村(播磨国宍粟郡) ……②104
 今井村……………②117, 118
 今在家村……………①234, ③124
 今里村……………①232, ④198
 今津……………①247
 今津村(河内国茨田郡) ……③12, 49, 82, 96, 173, 238, 264, 287, ④25, 54, 188, 250
 今津村(摂津国武庫郡) ……①2, 19, 25, 28, 85, 89, 99, 104, 114, 125, 127, 140, 166, 186, 193, 214, 220, 224, ②5, 9, 46, 91, 92, 96, 111, 123, 125, 127, 129 ~ 134, 137, 143, 144, 146, 169, 170, 174, 189, 215, 260, 261, 265, 282, 297, 303, ③50, 123, 125, 133, 134, 182, 199, 210, 240, 290, ④25, 40, 80, 103, 152, 162, 213, 243
 今出町……………④222
 今福村……………③21
 今町……………①189
 今宮村……………④8, 164
 今和田新田……………③54
 入野村……………②277
 石清水……………④240

地名索引

あ

- 相川村……………①203
 間ノ山……………④223, 224
 青野原新田…②186, 194, 197, 237, 246, 268, 274, ③15, 57, 59, 129, 149, 150, 257, ④58, 88, 204, 239, 246, 252
 青海……………①245
 粟生村…②196, 197, ③57, 129, 244, 258, ④239
 赤川村…①25, 36, 44, 50, 65, 81, 82, 101, 102, 104, ②13, 174, 184, 209, 249, ③276, ④8, 111, 157, 198
 赤坂宿……………④225
 赤坂村…②273, ③129, 257, ④88, 203, 238, 245, 252
 明石…①118, 128, 138, 237, ②97, 107, 278, ③56, 130～132, 258, ④89, 239, 246
 赤羽……………④228
 赤松村……………①134, ②99, 275, 276
 秋村……………③169
 安坂村…②269, ③127, 256, ④87, 203, 238, 245, 252
 安治川…①173, 181, 206, ②151, 157, 167, 176, 240, ③3, 158, 162, 237
 安治川筋……………①26, 114, 241, ③62
 安治川沖…①62, 159, 207, 217, 226, ②206③146, 147, 153, 169, 170, 175, 201～203, 208, 210, 247
 安治川口…①119, 183, 191, 199, 204, 205, 209, 210, 230, 235, ②182, 190, 198, 199, 225, 247, 257, 258, ③26, 27, 41, 62, 79, 112, 124, 142, 144, 159, 172, 174, 202, 213, 226, ④251, 253
 安治川町……………①236
 安治川北巷丁目……………②145
 安治川橋……………②94, 247
 芦屋村…①26, 36, 37, 67, 89, 98, 114, 173, 219, ②92, 111, 129, ③51, 133, ④40, 204, 243, 252
 麻生田村……………②83, 87, 120
 足立村……………②119
 安土町一丁目……………②192
 網干……………①193
 網干湊……………①36, 71, 236
 尼崎…①51, 55, 85, 98, 105, 134, 138, 140, 160, 177, 211, 212, 223, 224, ②7, 17, 20, 41, 90, 91, 125, 131, 239, 240, 254, 279, ③75, 134, 259, 277, ④40, 91, 155, 237, 239, 246, 247, 252
 尼崎町……………②113, ④164
 天田村…②199, 211, 270, ③128, 256, ④87, 145, 146, 203, 238, 245, 252
 天船坂本村…②273, ③128, 129, 256, 257, ④88, 203, 238, 245, 252
 天船中村……………②273
 網島町……………①44, ④111
 新居（荒井）……………④225
 安楽田町…②186, 194, 197, 270, 271, 273, ③128, 218, 241, 244, 256, 257, ④29, 87, 88, 203, 238, 245, 252
 荒田村……………①93, ②108, 130, ③54
 有賀……………①131, ④97
 東有賀……………①130, ②102, ④96
 西有賀…①130, ②102, 273, 275, ③127
 有馬町…①94, 95, 97, 109, 110, ③59, 64, 127, ④5, 6, 54, 57, 58, 62, 87, 125
 有松村……………④225

山本善之助 [与力] ……③43, 171, 281, ④2
山本大膳 [二丸留守居] ……①240
山本鯉藏 (鯉藏) [坂本鉉之助門人] ……
②1, 141, ③267
山本万之助 [藏奉行仮役] ……①4, 6, 11,
12, 23, 34, 42, 51, 52, 54, 58, 82, 87,
122, 176

ゆ

由井八十太郎 [与力] ……①36
弓削卯八郎 [与力] ……③171, ④108

よ

吉井勘輔 [同心] ……①157
吉川銚七郎 [勘定] ……②88, 89, 124, 142,
149, 150, 160, 161, 167
吉田覺之丞 [与力] ……③2, 167, ④2, 65
吉田勝右衛門 [与力] ……①12, 75, ②89
吉田喜平次 [住吉村庄屋] ……①67, 85, 86,
97, 98, 107, 113, 118, 127, 182, 223,
241, ②37, 41, 45, 94, 150, 173, 175, ③
51, 240, 259, ④40, 204, 239
吉田半左衛門 [勘定] ……④62, 63
吉田孫三郎 [牢守] ……①9, 11, 14, 27, 176,
②1, 157, 171, ③170, ④4, 24, 49, 63,
136, 190
吉田百輔 (百介、百助) [与力] ……①12,
27, 36, ②35, ③171, ④2, 124
鎌姫 [家慶娘] ……②279, ③95
米倉丹後守昌壽 (丹後守殿) [大坂定番]
……①1, 9, 11, 13, 41, 42, 45, 46, 81,
82, 118, 120, 121, 153, 178, 190, 250,
253, ②28, 42, 51, 140, 152, 154, 159,
167, 181, 183, 186, 190, 192, 194, 202
~205, 209, 210, 221, 226, 228, 238,
251, 259, 308, 313, 317, ③1, 13, 14,
17, 22, 30, 34, 47, 49, 63, 74, 75, 84,
110, 125, 140, 148, 155, 166, 199, 207,

220, 233, 288, 292~294, ④1, 7, 15,
35, 38, 46, 47, 57, 61, 62, 67, 74, 86,
98, 111, 114, 118, 122, 123, 143, 165,
196, 202, 209, 210, 212, 214
米津越中守政懿 (越中守殿) [大坂定番]
……②18, 190, 192~194, 200, 203~
205, 209, 221, 226, 228, 235, 239, 251,
254, 259, 308, 313, 317, 319, ③1, 4,
14, 22, 30, 34, 39, 47, 49, 63, 69, 72,
74, 84, 89, 90, 110, 124, 125, 140, 145,
148, 155, 166, 199, 203, 207, 220, 229,
233, 260, 288, 293, 294, ④1, 7, 15, 35,
47, 55, 62, 85, 118, 120, 123, 143, 165,
196, 202, 212, 214

わ

脇坂淡路守安宅 [奏者番] ……②274, 277,
298
脇坂中務大輔安董 [老中] ……①68, 110
分部若狭守光貞 [大坂加番] ……②1
渡辺宇一郎 [普請役] ……②307
渡辺石郎 ……④67
渡辺金四郎 [米津越中守 (大坂定番) 公
用人] ……②203, 303, 305, ③5, 115,
155, 163, 286, ④35, 45, 69, 130, 142,
212
渡辺三十郎 ……③268, 270, 274, 280, 284,
④2, 17, 57, 58, 97~99, 137, 241
渡辺定右衛門 [東同心] ……①186
渡辺慎次郎 (慎二郎) [竹垣下僚・家臣]
……②89, 139, ④227
渡辺太郎助 ……①184
渡辺丹後守 ……③66
綿屋市兵衛 [廻船改方] ……①22, 161, 213,
243, 247, 248

183, 194, 197, 199, 202, 203, 209, 212,
216, 217, 220, 226, 230, 235, 238, 246
~248, 251
屋代増之助……………④159, 228
安田玄筑 [医師]……………①29, 215, ②8, 10, 74,
89, 136, 137, 156, 178, 191, 192, 194,
196, 224, 316
安田春庵 [玄筑の子]……………②224, ③89, 90,
98~100, 160, ④29, 30, 179, 182
安田随亭 [玄筑の子]……………②10
柳原幸助……………③56, 58, 59, 126, 131
柳道太郎 [銅座詰]……………①78~80, 118, 124,
126, 148, 159, 176, 204, 207, ②79,
291, ③203, 248, 281, ④1, 26
藪長水 [画師]……………④84, 185
矢部左近将監定謙 [南町奉行]……………①104
山上藤一郎 [代官]……………④213, 217
山内嘉十郎 [設楽下僚・家臣]……………②67,
72, 100, 104, 114, 141, 195, 198, 221,
231
山岡但馬守 [西丸留守居]……………①240
山木数馬 [藏奉行仮役]……………①11, 12, 42, 61,
122, 123, 164, 176, ③207, 210, 212,
213, 244, 246, 278, 286, ④10, 47, 76,
121
山口作助 [竹垣下僚・家臣]……………①5, 12~14,
17~20, 31, 47, 50, 51, 53, 56, 61, 64,
66, 70, 72, 73, 75, 77, 78, 88, 94, 99,
101, 102, 104, 121~124, 126, 127,
129, 131, 137, 138, 141, 146, 149, 155,
157, 174, 178, 183, 188, 192, 193, 213,
219, 250, ②11, 14, 20, 23, 41, 48, 51,
76, 84, 88, 171, 176, 190, 211, 212,
214, 226, 232, 251, 255, 280, 282, ③7,
44, 49, 50, 54~56, 58, 59, 103, 108,
127~129, 131, 132, 136, 137, 141,

149, 161, 162, 164, 193
山口瀬左衛門 [竹垣下僚・家臣]……………③177,
182, 185, 186, 189, 190, 200, 201, 214,
216, 218, 236, 250, 262, 264, ④7~10,
27, 65, 66, 75, 87, 88, 92, 113, 141,
169, 177, 186, 200, 209
山下五四郎 (吾四郎) [設楽下僚・家臣]
……………③75, 149, 172, 252, 264, 266,
270~272, 278, ④81, 108, 128, 139
山田啓助 [竹垣下僚・家臣]……………①6, 13,
14, 16, 19, 23, 27, 33, 35, 37, 41, 58,
62, 70, 75, 78, 87, 100~102, 105, 120
山田屋与三左衛門 [兵庫蔵元]……………④239
大和屋嘉左衛門 [御備船取締役]……………①182,
200, 221, 223, 235, ②143, ③219, ④
63, 131, 156
大和屋万次郎 (万二郎) [御備船取締役]
……………①147, 168, 177, 178, 182, 194,
195, 220, 223, 235, ③158, 161, ④63,
131
山中吉兵衛 [書画屋]……………④233
山村与次兵衛……………②35
山村与助 [大坂三町人]……………①11, 176, ②
155, 312, ③1, 168, 227, 282, ④3, 47,
124, 216
山室弥兵衛 [青山下野守 (大坂城代) 公
用人]……………①40, 45, 52, 57, 60, 63, 79,
81, 100, 124, 164, 197, 200, 237, ②5,
11, 34, 59, 90, 205, 251, ③1
山本……………③30, 63, 77, 102, ④64
山本安房 (阿波) 守 (源随) [典薬寮医師]
……………②255, 258
山本市右衛門 [松平伊賀守 (大坂城代)
公用人]……………③121, 125, 293
山本新左衛門 [大坂大番]……………②262, 267,
305, ③5, 14, 74, 76, 101

16, 51, 105, 117, 118, 122~124, 126,
127, 130, 138, 141, 149, 154, 155, 178,
183, 186, 188, 190, 191, 194, 199, 202,
204, 205, 209, 212, 213, 216, 217, 220,
226, 235, 239, 242, 244, 247, 248, 251,
②51, 86, 87, 97, 125~128, 141, 143,
150, 153, 158~161, 169, 172, 173,
180, 182, 183, 187, 217, 246, 248, 257,
264, 265, 308, 312, ③12, 18, 19, 28,
42, 74, 94, 103, 133, 142, 144, 146,
151, 155, 159~162, 170, 171, 175,
188, 191, 193, 202, 226, 263, ④22, 30,
47, 57, 58, 63, 80, 81, 90~92, 115,
125, 130~132, 135, 137, 138, 142,
147, 148, 150, 152, 158, 165, 182, 214,
219, 242
三好甚蔵 [竹垣下僚・家臣]……①2, 5, 47,
64, 84, 86, 120, 167, 171, 174, 209,
218, 230, 246, ②3, 33, 88, 135, 195
三好大膳 [小十人頭] ……②86

む

六嶋清次郎 (清二郎) [竹垣下僚・家臣]…
①80, 86, 99, 102, 120, 142, 148, 149,
152, 154, 155, 165, 166, 171, 178, 188,
192, 212, 213, 218, 219, 232, 234, 235,
②12, 37, 43, 51, 87, 125, 126, 162,
206, 225, 247, 258, 262, 267, 275, 276,
281, 285, ③11, 13, 28, 36, 37, 41, 70,
75, 86, 103, 106, 111, 169, 210, 236,
252, 292, ④23, 40, 85, 87, 92, 146,
166, 181, 200
村上佐五左衛門 ……②185
村田嘉言 [歌人、国学者] ……②56, 61,
66, 183, 184, 202, 235, ③92, 204, 229,
④23, 29, 48, 59

も

毛利伊勢守 ……①118
森越中守 ……②316
森川左兵衛 [書画屋表具兼] ……④232
森川廉次郎 [大坂大番] ……④165
森省吾 [竹垣下僚・家臣] ……①14, 21, 22,
28, 37, 80, 101, 121, 145, 148, 155,
178, 206
森誠一 [竹垣下僚・家臣] ……①5, 14,
17, 43, 50, 51, 60, 67, 73, 75, 84, 87,
94, 101, 105, 106, 113, 115, 119, 130,
136, 152, 154, 165~167, 170, 171,
178, 185, 186, 188, 192, 203~206,
209, ②139, 287, ③88, 177, 182
森田舜助 [竹垣下僚・家臣] ……②227,
263, 267, 274, 285, 317, ③44, 103
森田慎平 [設楽下僚・家臣] ……②181~183,
187, 217, 237, 282, 305, ③5, 27, 44,
45, 47, 62, 90, 95, 104, 144, 153, 161,
170, 202, 203, 221, 287, ④63, 85, 97,
98, 100, 103, 125, 145, 153, 161, 211
森田善作 [竹垣下僚・家臣] ……③72, 103,
169, 192, 193, 234, 236, 283, ④18, 55,
74, 75, 92, 106
森田善助 [竹垣下僚・家臣] ……②86
森田鎗三郎 [竹垣下僚・家臣] ……③187,
192, 222, 236, 253, 255, 260, 283, 289,
④10, 18, 55, 73, 85, 87, 92, 119, 146,
149, 165, 167, 197, 213, 214
森八左衛門 [代官] ……③151, 245, ④47
盛姫 [家斉娘] ……④26
茂呂多門 [米倉丹後守 (大坂定番) 公用
人] ……④95

や

八木与兵衛 [築山下僚・家臣] ……①21, 66,
115, 141, 160, 167, 170, 171, 179, 182,

57, 133
三雲新左衛門 [金奉行仮役] ……②1, 2, 42
水品権十郎 [大坂具足奉行、大坂蔵奉行]
……③261, 288, ④1, 6, 28, 47, 48, 62,
64, 77, 115, 117, 123, 148, 179~181,
200, 213, 216, 229
水野越前守忠邦 (水越前守殿) [老中]
……①76, ②75, 85, 112, 170, 235,
236, 294
水野日向守勝進 [大坂加番] ③1, 101
水野利八郎 [竹垣下僚・家臣]……①2, 6,
14, 22, 24, 29~31, 41, 78, 80, 83, 102
~104, 121, 150, 155, 178, 181, 184,
186, 192, 208, 210, 215, 227, 230, 233,
235, 240, 252, ②2, 3, 7, 10, 12, 14~
16, 27, 29, 33~35, 37, 55~58, 63
水野若狭守道一 (水野、若狭守、水野若
州) [大坂東町奉行] ①146, 185, 201,
211, 250, ②2, 9, 10, 18, 25, 27, 28, 42,
44~46, 49, 51~54, 59, 65, 66, 69, 70,
72, 83, 88, 91, 135, 136, 142, 143, 147,
150, 153, 157, 164, 165, 168, 170~
172, 176, 177, 182, 183, 188, 192, 198,
199, 210, 212, 224, 227, 228, 234, 247,
255~257, 287, 298, 301, 306, 309,
311, 314, 319, 320, ③1, 3, 4, 6, 9, 11,
17, 22, 23, 28~30, 32, 33, 46~48, 61,
62, 70, 74~76, 78, 82~84, 93~95,
97, 105, 112, 117, 121, 140, 150, 151,
155, 158, 160, 164, 166, 172, 174~
178, 183, 184, 197, 199, 200, 203~
205, 209, 212, 214, 217, 218, 223, 224,
226, 230, 233, 236, 237, 241, 246, 266,
268, 271~275, 282~284, 288, 289,
291, 292, ④1, 5, 6, 8, 13, 24, 28, 31,
36, 38, 46, 47, 52, 53, 57~59, 61, 62,

64, 66, 67, 70, 74, 76, 77, 79, 80, 86,
106, 127, 136
水村一馬 [米倉丹後守 (大坂定番) 公用
人]……④100, 111, 127, 153, 189,
193, 212
三田彦三郎 [金奉行仮役] ……④1, 76
三谷貞輔 (定助) [侍]……①5, 66, 80, 88,
105, 127, 130, 137, 160
源頼政……③59, 60, ④248
宮寺五平次 [大坂破損奉行] ……①231, 235,
252, ②2, 4, 6, 18~20, 27, 31, 36, 43,
45, 59, 60, 65, 87, 133, 139, 156, 163,
164, 171, 175, 176, 178, 184, 201, 203,
204, 220, 287, 297, 298, 306, 319, ③2,
88, 106, 114, 116, 145, 163, 167, 187,
190, 219, 231, 237, 241, 243, ④2, 21,
46, 124, 136, 148, 210, 215, 229
宮部潤八郎 (潤八、順八郎) [竹垣下僚・
家臣]……②12, 33, 36, 37, 55, 56, 60,
65, 67, 70~72, 73, 76, 79, 80, 82, 84~
86, 88, 95, 96, 103~106, 108, 121,
128, 133, 157, 160, 171, 180, 203, 204,
206, 214, 220, 223, 229, 235, 245, 259,
264, 267, 270~272, 274, 278, 282,
290, 292, 293, 311, 319, 320, ③5, 7,
11, 21, 25, 36, 37, 39, 43, 49, 59, 63,
65, 68, 70, 76, 90, 103, 108, 112, 124,
136, 137, 138, 161, 164, 176, 177, 183,
184~187, 191, 193, 195, 197~200,
204, 207, 209, 216, 223, 225~227,
231, 232, 236, 252, 254, 262, 263, 267,
269, 270, 283, 291, 294, ④6, 7, 17, 25
~27, 33, 40, 60, 80~82, 85, 87, 92,
93, 95, 114, 119, 151, 162, 166, 185,
213, 214, 225
宮部孫八郎 [竹垣下僚・家臣]……①2, 14,

松坂三郎衛門……………①36
松平古助 [大坂東町奉行公用人]……………③71,
72, 120, 148, 154, ④69, 78, 108
松平阿波守……………③174
松平伊賀守忠優 (伊賀守殿) [大坂城代→
老中]……………③2, 39, 40, 63, 65, 69, 82,
84, 86, 87, 89, 98, 105, 109, 110, 112,
124, 125, 136, 140, 148, 155, 166, 170,
175, 185, 189, 199, 207, 220, 228, 231,
233, 239, 243, 249, 260, 261, 288, 293,
294, ④1, 3, 7, 12, 15, 35, 36, 47, 50,
51, 55, 62, 76, 83, 85, 95, 102, 103,
109, 118, 123, 135, 139, 140, 143, 145,
151, 165, 170, 171, 175, 177, 196, 202,
206, 210, 243
松平和泉守乗全 [大坂城代→老中]……………
③2, 4, 21, 22, 25, 39, 40, 64, 65, ④210
松平右京大夫……………③243
松平越後守……………④185
松平越前守……………②12, ③205
松平越中守……………①103, ④74
松平隱岐守……………①242
松平甲斐守……………②70
松平加賀守……………①52, ③78
松平河内守……………③88, 153, 263, ④44, 150,
162, 228
松平軍次郎……………①9, ②281
松平左衛門尉近説 [大坂加番]……………③246, ④1
松平七郎……………③255
松平下総守……………③167, ④112, 116, 122, 133
松平四郎 [目付→勘定奉行]……………②21, 265,
287
松平新三郎 [竹垣直道養父直清の娘婿]……………
①170, 171, 174, ③18, 22, 24
松平遠江守……………①201, 211, ②17, 20, 148,
238~242, ③20, ④200

松平中務少輔信宝 [大坂加番] ……③1, 101
松平能登守乗美 [大坂加番] ……①39
松平八郎兵衛 [大坂大番] ①173, 176, 191,
199, 207, 217
松平肥後守……………②50
松平備中守正和 [大坂加番] ……③1, 101
松平兵部大輔……………②226
松平美作守 [定火消役→小普請支配] ……②
265, ④168
松平陸奥守正宗……………③167
松田機一郎……………②114, 143
松田治平太 (次平太) [侍]……………③27, 45,
66, 97, 103, 117, 126, 131, 162, 161,
173, 191, 255, 257, 259, 264, ④13, 24,
35, 41, 48, 53, 59, 87, 94, 99, 101, 105,
115, 122, 145, 154, 164, 166, 168, 185,
202
松田仁右衛門 [侍] ……②239, 243, 249, 252,
258, 267, 272
松田直兄 (直慶・直江) ……③148, 151, 263,
264, ④27
松永善三郎……………④235
松村忠四郎 [支配勘定]……………②89, 92, 96,
113, 124, 132, 135, 142, 146~150,
152, 153, 160, 161, 167, 236, ③13, 17,
47, 75, 176, 184, 189, 227, ④11, 12,
45, 120, 127, 170
間部下総守詮勝 [老中] ……①83
間宮仙太郎 [大坂大番破損方] ……①252
丸橋金之助 [銅坐詰] ②205, 224, 228, ④26,
59, 102, 114, 123
丸山応挙 (應挙) ……④236
万蔵 [中間] ……①105

み
三浦太仲 (多仲) [酒井右京亮 (大坂定番)
公用人]……………①197, 235, ②36, 41, 56,

188, 224, 226, 229～231, 248, 284,
286, 288, 292, ④3, 12, 47, 48, 65, 67,
77, 100, 103, 132, 158, 164, 165, 180,
181
細川越中守……………①74, 76, 87, ④31
保田左七郎……………②157, 162
堀田甚兵衛〔藏奉行仮役〕……………②1, 18, 44
堀田豊前守……………④161, 182
堀田備中守正篤〔老中〕……………①83
堀伊賀守利堅〔大坂西町奉行〕……………①9, 11,
12, 56, 63, 76, 78, 84, 113, 167, ②3,
159, ③70, 83, 173, 195, ④127
堀出雲守〔大坂大番〕……………④1, 76
堀伊勢守……………③83
本庄安芸守……………④53, 107, 113, 119, 121,
153, 177, 229
本多伊勢守……………①120
本多伊豫守……………④161
本多大膳成孚〔大坂船手〕①2, 12, 46, 179,
②3, 158
本多為助〔大坂定番与力〕……………①120～122,
124, 125, 146, 149, 151, 157, 158, 176,
181, 253, ②9, 18, 68, 74, 134, 155, ③
1, 25, 80, 93, 231, ④128
本多対馬守〔東番頭〕……………③1, 101,
本田若狭守……………①153,
本間(本馬)小馬作〔同心〕……………③110, 148,
171, ④81, 108, 116, 158, 162, 216

ま

前田小十郎〔同心〕……………①186
前田大和守〔大坂加番〕……………②1
曲淵甲斐守景山〔堺奉行〕……………①27
蒔田伸右衛門〔東同心〕……………③292
牧田八郎左衛門〔御目付代〕……………②1, 41,
44, 46
牧野駿河守成綱〔勘定奉行〕……………③25, 40,

④98
牧野備前守忠雅〔京都所司代→老中〕……………
①12, ②122
孫左衛門〔東二見村庄屋〕……………④239
増井原蔵(源蔵)〔築山下僚・家臣〕……………
①19, 20, 69, 70, 122, 157, 200, ②60,
179, 181, 207, 208, 211
増田信七郎〔東同心〕……………①157
増山石郎〔侍〕……………②226, 239, 255, ③28
増山正作〔竹垣下僚・家臣〕……………①152, 201,
203, 211, 219, 241, 251, 253, ②4, 33,
55, 114, 122, 123, 168, 171, 213, 224,
236, 245, 262, 263, 267, 268, 274, 281,
283, 285, 292, ③11, 13, 65, 76
松井勘右衛門〔遠藤但馬守(大坂定番)
公用人〕……………①48, 55, 68, 102, 105,
115, 124, 127
松井金次郎(金二郎)〔与力〕……………①12, 180,
238, ②148, 159, 230, 255, ③2, 168,
171, 252, ④2, 128, 158
松井辰之助〔与力〕……………①234
松井与五右衛門〔与力〕……………①174, ③2, 89,
167, 281, ④2, 65, 119
松井与七郎〔遠藤但馬守(大坂定番)家
来〕……………①127, 226, 235, 253
松浦助左衛門〔同心〕……………①157, 164, 180,
②82, 159, 148
松浦八蔵(のち中山登一郎に改名)〔竹垣
下僚・家臣〕……………①5, 9, 14, 17, 23,
24, 28, 31, 33, 36, 37, 51, 55, 66, 71,
79, 81, 82, 84, 87, 88, 100～102, 104,
105, 116, 121, 123, 127, 129, 130, 131,
145, 148, 149, 154, 155, 158, 159, 178,
179, 189, 193, 195, 208(中山登一郎
に改名), 211, 233, 251, ②20, 21, 37,
38, 40, 51

239
平井左五郎 [久須美佐渡守家老]……②32,
42, 44, 59, 61, 63, 64, 152, 164, 183
平岡熊太郎 [代官] ……………①217
平岡文次郎 [代官]……①86, 250, ②110,
239
平野屋……………①50
平野屋市郎兵衛 (一郎兵衛、平市)……①14,
33, 36, 119, ②29, 75, 123, 147, 257,
264～266, 281, 282, 287, 288, 294,
297, 309, 312, 319～321, ③33, 38, 43,
45～48, 62, 68, 72～75, 81, 158, 163,
164, 245
平山覚助 (輔) [東同心]……③273, 292,
④2, 6, 70
比留間 [比留間兵三郎]……①51～54, 57,
59, 121, 124, 126, 140, 165, 174, 183,
185, 189, 191, 193, 194, 198, 201, 203,
216, 218, 235, 237, ②4, 60, 176, 178,
179, 180, 191～193, 215～217, 220,
226, 229, 230, 231, 289, 298, 321, ③
17, 22, 29, 78, 89, 90, 92, 111, 113,
163, 171, 189, 200, 209, 225, 228, 243,
261, 283, 286, ④3, 14, 29, 30, 46, 47,
51, 59, 61, 113, 129, 205, 209
比留間邦之助 [坂本鉉之助の養子、坂本
邦之助と同一人物]……②235, 295,
296, 318, ③38, 107, 140, 152, 269
比留間兵三郎 [大坂藏奉行]……①11,
12, 18, 24, 28, 33, 34, 42, 58, 87, 176,
189, 219, ②1, 10, 44, 49, 51, 139, 146,
155, 203, 231, 257, 297, ③1, 90, 107,
147, 158, 166, 191, 199, 219, 281, 282,
④1, 54, 62, 64, 72, 112, 123, 150, 159,
172, 180, 216, 229
廣嶋屋平四郎 [廻船御用達]……①22, 62,

66, 67, 126, 202, 205, 216, 217, 220,
236, 239, 240, 246, 247, 248, ②20,
150, 161, 163, 169, 172, 173, 177, 182,
189, 190, 194, 206, ③27, 101, 135, 142
～144, 147, 153, 161, 162, 170, 172,
201～203, 209, 216, ④24, 63, 89, 90,
93, 108, 110, 111, 120, 125, 132, 135,
138, 140, 142, 147, 148, 153, 164
百襲 (百丈) [画家] ……②172, ④193, 251
ふ
深沢常五郎 [普請役] ……………④123, 132
藤方 [藤方彦市郎]……③73, 125, 226, 271,
272, 281, 290, ④39, 99, 120, 140, 155,
166
藤方彦市郎 [代官]……③68, 70, 76, 80,
160, 186, 190, 206, 223, 291, ④47, 56,
57, 82, 94, 144, 173, 217
藤方政太郎 [代官]……③68, 70, 73, 74,
125, 139, 190, 205, 206, 271, 272, 291
藤本勇次郎 [大坂具足奉行]……④183,
185
舟越駿河守……………②164
古川仙之丞 [竹垣下僚・家臣] ①5, 17, 19
(太田仙之丞と改姓), 38, 75, 105,
136, 146, 155, 170, 181, 193, 200, 213,
251, 253, ②23, 26, 59, 62, 110, 113,
133, 134, 142, 153, 154, 164, 192, 200,
242, 243, 301
古屋源之助 [西与力] ……………①174
文次 [中間] ……………②249
ほ
穂井田忠友 (縹助) [国学者]……③124,
194, 197
保科能登守正丕 [大坂加番] ……………④161
星野市郎兵衛 (一郎兵衛) ……②156, 162, ③
137, 138, 144, 155, 156, 158, 166, 175,

295, 296, 305, 306, 312~315, ③1, 9,
22, 29, 39, 41, 49, 78, 81, 83, 98, 101,
104~107, 144, 152, 155, 173, 192,
200, 232, 242, 262, 267, 290, ④6, 30,
49, 58, 105, 114, 138, 170, 180
西田信一郎 [設楽下僚・家臣]……③252,
④68
西田清太夫 [与力] ……………①12, 41
西田千之助 [与力] ……………③141
西田徳太郎……………②212, 231, 295
二侯孫助 [西同心] ……………②190, ④118, 167
丹羽源十郎 [与力] ……④7, 27, 118, 167, 242
丹羽定次郎 [与力] ……………③28, ④150
丹羽竹三郎 [与力] ……………④231, 298

は

羽倉外記 [勘定吟味役]……①192, ②6, 16,
49, 64, 66, 68, 75~77, 79, 80, 86, 87,
95, 230, 233
波多与太夫 [松平伊賀守 (大坂城代) 公
用人]……③120, 122, 163, 220, 286,
④26, 130, 133, 153, 168, 171, 177,
186, 189, 201, 205, 208
八田衛門太郎 [与力] ……………①174, 188
八田軍平 [与力] ……………①12
八田種蔵 [与力] ……………③17
八田伴右衛門 [東与力]……②211, ③171,
236, ④7, 112
服部歆蔵 [竹垣下僚・家臣]……①13, 14,
19, 31, 33, 43, 55, 62, 67, 73, 86, 98,
99, 101, 105, 111, 114, 116, 118, 120~
122
服部九十郎 [大坂大番、伊勢守殿用人]……
②30, ④216, 229
服部源左衛門 [青山下野守 (大坂城代)
公用人]……①47, 48, 55, 68, 74,
77, 102, 105, ②13, 57, 66, 143, 177,

180, 202, 203, 289, 303, ③1
服部雄五郎 (勇五郎) [与力]……③158,
④73, 128
濱屋卯兵衛 (濱卯) ……………④233
林泰蔵 [竹垣下僚・家臣]……①5, 9, 10,
14, 18, 20, 21, 28, 29, 34, 50, 56, 66,
80, 87, 88, 93, 94, 101, 105, 122, 123,
141, 149, 151, 156, 164, 178, 185, 192,
195, 211, 214, 215, 218, 219, 232, 240,
253, ②4, 8, 9, 10, 11, 19, 27, 51~53,
59, 71, 76, 77, 82, 88, 90, 100, 101,
104, 105, 108, 111, 121, 124~126,
147, 149, 161, 167, 175, 177, 180, 202,
230, 233, 236, 245, 248, 259, 262, 263,
267, 281, 283, 285, 287, 290, 299, 308,
320, ③18, 21, 22, 24, 25, 28, 29, 38,
45, 47, 62, 65, 73, 74, 81, 88, 90, 91,
94, 102, 103, 108, 110, 126, 131, 137,
138, 143, 154, 155, 158, 164
林又太夫 [林泰蔵養父] ……………①93, 218
林茂久左衛門 [竹垣下僚・家臣]……③
178, 187, 191~193, 195~201, 208,
215, 218, 222, 226, 227, 232, 233, 236,
237, 253, 260~262, 266, 267, 269,
270, 294, ④18, 19, 23, 25, 26, 28, 31,
34, 35, 40, 54, 57, 60, 79, 82, 85, 100,
119, 120, 127, 129, 144, 147, 148, 150,
154, 156, 178, 192, 198~201, 205,
206, 213, 214, 217
原田敬右衛門……………③140, 141
早川安左衛門 [与力] ……………①12
伴信友 [国学者] ……………③176, 177
ひ
一柳一太郎直方 [寄合肝煎→浦賀奉行]……
②256, ④23
一柳土佐守 (直好)……③44, 58, 258, ④88,

183, 185, 187~189, 197, 200, 210, 221
中嶋豹三郎 [与力]……①12, 234, ②183, 211,
230, ③2, 46, 167, 266, 268, 279, 280,
284, 286, 287, 289, 292, 295, ④2, 6, 8,
9, 22, 48, 58, 59, 65, 70, 76, 78, 80, 81,
100, 119, 124, 128, 143
中田力 (主税) [侍]……②309, ③97, 103,
161, 201, 245, 255, 264, 285, ④41, 87,
154, 166, 169, 202, 205, 247
永田傳左衛門 [藏奉行仮役]……④1, 9, 54, 76
永田主水 [藏奉行仮役]……①11, 12, 18,
24, 29, 42, 51, 52, 54, 63, 122
中野石見守又兵衛長風 [堺奉行]……②
159, 195, ③173, ④92~94, 118, 119,
129, 130, 139, 151, 152, 168, 172, 190,
229, 251
永見健次郎……①197
中村勘兵衛 [築山下僚・家臣] ①36, 48, 49,
93, 144, 152, 155, 180, 181, 182, 186~
188, 190, 194, ②55
中村四郎五郎 [東同心] ……③292
中屋源兵衛……④232
中山昇三郎 [竹垣下僚・家臣]……②72,
86, 90, 92, 94, 96, 104, 160, 162, 168,
170, 171, 213, 225, 227, 255, 257, 258,
③11, 15, 21, 26, 27, 39, 40, 45, 61,
103, 135, 146, 169, 195, 216, 225, 236,
255, 260, 266, 273, 277, 279, 282, 287,
292, ④2, 4, 7, 24, 27, 32, 72, 99, 129,
150, 154, 160, 184, 185, 197, 200~
203, 205, 223
中山登一郎→松浦八藏
鍋島内匠頭直孝 [北町奉行] ……②316, 317
鯉江幸藏 [築山下僚・家臣] ①2, 7, 13, 14,
16, 27, 30, 31, 33, 49, 58, 78, 83, 105,
144, 150, 181, 186, 209, 210, 215, 227,

233, 240, 251, 252, ⑦7, 10, 33, 55, 64,
178
並河寒泉 (並川復一、又市) [懷徳堂教授]
……①183~185, 187, 189, 191, 193,
198, 201, 203, 218, 226, 237, 250, ②
161, 200, ③4, 12, 18, 25, 27, 33, 47,
63, 70, 72, 82, 89, 97, 101, 102, 105,
111, 117, 119, 208, 219, 225, 227, 230,
236, 241, 246, 259, 280, 291, ④9, 14,
23, 53, 56, 62, 65, 81, 114, 118, 120,
137, 140, 147, 156, 157, 163, 182, 200,
234
成瀬九郎右衛門 [西与力]……①12, ②281,
282, 287, 305, 319, ③5, 45~47, 62,
73, 74, 79, 94, 158, 168, 245, ④128
成瀬正兵衛 [西与力] ……①12
成瀬傳次郎 [西与力] ……③15, 17, 38, 43
成瀬又太郎 (得右衛門) [勘定組頭]……
②314, ③268, 270, 273, 279~281, ④
3, 14, 17, 20, 27, 30, 31, 39, 46, 54, 59,
62, 72, 77~79, 93, 94, 109, 113, 119,
121~123, 128, 131, 134, 139, 140,
146, 161~164

に

新見伊賀守正路 [御側御用取次]……①
55
西井 [西井源次郎]……②4, 12, 14, 19, 21,
23, 42, 60, 207, 295, ③21, 79, 105,
172, 205, 209, 227, 231, 233, 253, 268,
277, ④13, 30, 46, 60, 64, 113, 117
西井源次郎 (源二郎) [大坂鉄砲奉行]
……①235, 237, 252, ②1, 19, 63, 86,
95, 155, 182, ③1, 29, 104, 106, 166,
199, 217, 250, 271, 294, ④1, 62, 73,
94, 109, 123, 142
西小弥太 [大坂鉄砲方同心]……②42, 292,

284, 286
戸田長門守……………①178
戸田能登守〔御目付〕……………④229
戸田山城守忠温〔老中〕……………③39, 177, 198, 214
苦屋久兵衛（休兵衛）〔廻船御用達〕……………
①22, 66, 187, 194, 195, 200, 204, 220, 226, 252, ②84, 125, 143, 150, 161, 163, ③79, 101, 135, 139, 145, 156, 159, 161, 169, 174, 202, 204, 210, ④63
富田屋倍左衛門（吉左衛門）〔廻船改方〕……………
①126, 200, 204～207, 209, ②125, 127, 158, 159, 182, 183, 187, ③153, 169, 172, 174, 208, 209
豊田〔豊田藤之進〕……………②66, 67, 152, 207, ③83, 173, 249, ④135, 141, 170, 192, 198, 207, 213, 229
豊田藤之進〔飛騨郡代、久須美佐渡守三男〕……………①23, ②81, 124, 152, ③48, 71, 81, 83, 88, ④65, 116, 132, 146, 206, 228
豊臣秀吉……………①227, ②249, 250
鳥居（鳥井）甲斐守耀藏〔南町奉行〕……………②143, ③162, ④237

な

内藤因幡守政敏〔大坂加番〕……………③1, 101, ④1
内藤紀伊守信親〔大坂城代〕……………④113, 210
内藤左近〔目付〕……………①71, 77
内藤駿河守〔若年寄〕……………①37
内藤茂之助〔勘定組頭〕……………②218, ③100, 137, 138, 142～144, 147, 150, 152, 155, 158, 160, 166, 169, 170, 174, 188, 193, 199, 200, 203, 213, 214, 224～226, 230, 232, 240, 242, 243, 248, 250, 259～263, 269～271, ④8, 11, 26, 98～

101

中井岡二郎〔京都大工頭〕……………③281
中井碩果（石顆）〔懷徳堂教授〕……………④243
中井桐園（修次、修治）〔懷徳堂預り人〕……………
②161, 200, ③5, 208, ④53, 243
中井髯庵（忠藏）〔懷徳堂学主〕……………④234
中井竹山（善太）〔懷徳堂学主〕……………④234
中井履軒〔竹山弟〕……………②22
永井〔永井能登守〕……………③70, 125, 172, 226, 239, 266, 283, 294, ④46, 69, 133
永井左門……………④250
永井遠江守……………②12, 249, 304, ③6, 16, 147, 253, ④20, 29, 167, 194
永井能登守求馬尚徳〔堺奉行→大坂西町奉行〕……………②79, 152, 164, 166, 167, 195, 210, 220, 228, 232, 310～313, ③2, 4, 70～72, 76, 82, 91, 93～96, 105～109, 112, 135, 148, 152, 154, 155, 158, 163, 164, 166, 174～176, 199, 201, 203, 210, 218, 224, 225, 227, 231, 240, 248～252, 273～275, 279, 280, 284, 292, ④1, 9, 24, 35, 38, 45, 54, 56, 59, 61, 62, 70, 78～82, 84, 86, 100, 108, 113, 114, 119, 121, 123, 128, 132, 139, 140, 143, 146, 149, 157, 163, 166, 167, 170, 172, 177, 179, 183, 186, 200, 209, 212, 229, 241
中川兼二郎〔竹垣下僚・家臣〕……………②288
中沢恵八郎……………④87, 113
中沢斎助（斎輔）〔竹垣下僚・家臣〕……………
②231, 242, 245, 247, 262, 300, ③11, 23, 45, 61, 76, 108, 113, 126, 131, 133, 138, 169, 170, 190, 208, 210, 233, 236, 269, 270, 284, ④3, 24, 26, 85, 92
中沢良左衛門〔設楽下僚・家臣〕……………②181, 187, 200, 205, 213, 220, ③78,

土屋四郎次郎（四郎二郎）〔大坂破損奉行〕
 ②133, 139, 155, 264, 283, 285, 295, ③
 1, 69, 102, 108, 168, ④3, 50, 123, 229

都筑（都築）〔都筑金三郎〕……②312, ③
 73, 148, 272, 279, ④67, 106, 132, 141,
 142, 218, 222

都筑（都築）金三郎〔大津代官〕……②252,
 305, ③8, 66, 115, 183, 274, 281, ④33,
 46, 47, 64～66, 141, 191, 205, 213

都筑兵庫〔大坂大番〕……②224, 228, 239,
 254, 256

都筑（都築）又左衛門〔酒井右京亮（大
 坂定番）公用人〕……①164, 165, 173,
 210, 211, 215, 226, ②34, 66, 90, 312

坪井小左衛門〔青山下野守（大坂城代）
 公用人〕……①52, 59, 73, 115, 150,
 173, 175, 210, 211, 215, 235, 241

て

てい〔坂本空三郎妻〕……④233

寺島藤左衛門〔大坂三町人〕……①13, 177,
 219, ②2, 32, 33, 43, ③4, 173, ④
 3, 124

寺西蔵太元栄〔西国郡代〕……①117

寺西直次郎〔駿府代官〕……④226

寺西兵八郎〔与力〕……③114

天英院（熙子）〔家宣室〕……④171

天親院（有姫、任子）〔家定室〕……①94,
 ④171, 175

と

土井大炊頭利位〔老中〕……①143, ②40,
 110, 147, 175, 196, 238, 294, ③252,
 253

土井能登守利忠〔大坂加番〕……④1

樋屋……①58, ②12, 197, 312, 316, ③289,
 ④8, 11, 143, 213

樋屋市五郎……①22

樋屋市二郎（市次郎）……①20, 39, 44, 72,
 82, 184, 232, 233, ②7, 10, 14, 21, 25,
 178, 184, 192, 206, 226, 302, 303, ③3,
 11, 15, 19, 28, 33, 62, 69, 170, 233,
 263, 281, 284, ④71, 151, 180, 193,
 207, 215, 219

藤吉〔中間〕……③126, 131, 183

道具や勘左衛門……④235

道興大師……②253

藤太〔中間〕……③97

藤堂和泉守……②121

遠山左衛門尉景元〔北町奉行〕……③39

戸川播磨守安清〔勘定奉行〕……①147, ②
 72, 139, 265

土岐伊豫守……③8, 66

土岐丹波守頼旨〔大目付〕……③40

徳川家綱（厳有院様）……①57

徳川家斉（文恭院様）……①79, 99, 100,
 184, 185, 190, ②11, 14, ④10, 12

徳川家治（浚明院様）……①57

徳川家光（大猷院様）……①57

徳川綱吉（常憲院様）……②166

徳川斉昭（水戸殿、水戸中納言）……①
 201, ②215, 312, ④72

徳川秀忠（秀忠君）……①103

徳山五兵衛秀起（徳山石見守）〔大坂東町
 奉行〕……①7, 11, 13, 36, 40, 58, 60, 61,
 64, 72, 75, 81, 84, 88, 103, 115, 118,
 126, 147, 148, 149, 153, 155, 157, 173
 ～176, 178～180, 188, 192, 193, 194,
 204, 205, 208, 209

戸田采女正〔遠藤但馬実兄〕……①81

戸田吾八郎（五八郎）〔米倉丹後守（大坂
 定番）公用人〕……①11, 81, 100, 102,
 115, 164, 197, 210, 226, ②34, 56, 177,
 181, 228, 289, ③5, 62, 115, 155, 168,

田中市五郎 [同心] ……①168
田中左馬五郎 [与力] ……①87, 118
田中新五兵衛 ……④38, 39, 47~49, 53, 55,
60, 68, 77, 93, 96, 100, 104, 107, 108,
113, 114, 117, 123, 134, 135, 138, 145,
161, 163, 164
田中善左衛門 [江口村庄屋] ……②195, 221,
233, ③31, 35, 46, 49, 61, 76, 77, 80,
125, 136, 238, 285, ④4, 5, 20, 25, 27,
133, 144, 173, 187, 214, 215
田中田左衛門 [江口村庄屋] ……④231
田中彦太郎 [石見銀山役人見習] ……②78,
90, 94, 113
田中廣三郎 [銅座御普請役] ……④1
田中政江 ……④232
田中政之助 [普請役] ……①204, ②1
棚橋平馬 ……④53, 134, 181
玉手棠洲 [画師] ……④217
多羅尾 (多羅) 久右衛門 [代官] ……①72,
124, 150, ③281, ④46
丹波近江守 ……①153, 181
丹波若狭守 ……①109

ち

近山 [近山藤四郎] ……①183, 187, 189,
191, 193, 201, 203, 218, 237, ②42, 60,
156, ③17, 21, 43, 44, 78, 85, 94, 96,
165, 205, 250, ④13, 30, 46, 65, 117
近山藤四郎 [大坂金奉行] ……①11, 42,
176, ②1, 19, 155, 223, 289, ③1, 13,
35, 49, 63, 80, 89, 92, 98, 166, 203,
225, ④1, 55, 62, 123, 215, 216, 229
千種 [千種有功] ……③197, ④24, 30, 80,
81, 90, 91, 115, 120, 121, 137, 150,
151, 152, 246
千種有功 [公家] ……④7, 22, 51, 58, 101,
242, 245, 246

仲哀天皇 ……④90, 246
中坊金藏駿河守廣風 [日光奉行→勘定奉
行] ……①240, ②265, ③40
長八 [人足方] ……①40

つ

塚越左傳次 [久須美佐渡守家老] ……③247,
④228
塚越藤助 ……①184, ②119, 236, ④77
築山 [築山茂左衛門] ……①1, 2, 5~10, 13,
15~17, 19, 20, 23, 24, 27, 29, 30, 33,
34, 36, 38, 39, 41~46, 48, 50~55, 57
~59, 61, 63~66, 68, 69, 72~82, 84,
85, 87, 88, 92, 93, 100, 101, 104, 105,
115~121, 124, 140~152, 155, 156,
158, 174~178, 180, 182, 184~187,
189~191, 193, 194, 198, 200~204,
206, 209, 210, 215~218, 220, 230,
231, 233, 234, 237~239, 241, 250, ②
2, 4~12, 14~17, 20~23, 27, 28, 31,
35, 42~45, 47~51, 53, 55, 56, 59, 60,
62, 63, 65, 68, 69, 71, 73, 86, 89, 95,
108, 119, 121, 125, 126, 132, 135, 136,
138~143, 148, 151~154, 156~161,
172~176, 178~181, 196, 197, 207,
219, 223, 225, 230, 233, 282, 283, 314,
321, ③13, 17, 60, 81, 153, 184, 206,
272, ④45, 61, 75, 81, 120, 135, 152,
170
築山茂左衛門 [大坂鈴木町代官] ……①11,
12, 30, 31, 44, 48, 176, 209, 227, ②1,
110, 155, 177, 181, 205, 247, ③88,
188, ④11, 44, 61~63, 127
土屋 [土屋四郎次郎] ……②201, 206, 297,
320, 321, ③13, 17, 85, 86, 88, 90, 97,
105, 106, 112, 146, 163, 164, 177, ④
57, 130, 186

- 高橋近江……………③231
- 高橋繁之丞(盤之丞) ……②89, 92, 100, 104
- 高橋次助 [大物橋普請] ……②224, 237, 242, 243
- 高橋新蔵……………②188
- 高橋真兵衛……………③184
- 高橋道八 [陶工] ……③197, ④155, 163, 249
- 高橋平作 [勘定] ……①159, 174, 177~179, 188, ②92, 160, 185, 293, 311, ④45, 54, 56, 62, 63, 70, 75, 99~101, 136, 161
- 高橋平三郎 [設楽下僚・家臣] ……②178, 179, 188, 189, 223
- 高橋平馬 [大番九鬼式部組] ……③234, ④168
- 高橋正橋 [築山下僚・家臣] ……②125, 126, 127, 128, 141, 143, 150, 153, 158, 159, 161
- 高橋空三郎(坂本空三郎と同一人物) [高橋平馬息子、坂本鉉之助養子] ……③233, 234, 239, 283, 294, ④4, 17, 48, 54, 107, 168, 177
- 高橋弥兵衛……………④168
- 高橋鍵之助……………②314
- 田川音太郎 [築山下僚・家臣] ……①5
- 田川熊次郎(熊二郎) [設楽下僚・家臣] ……②266, ③81, 171, 183, ④130, 175
- 多久官蔵 [設楽下僚・家臣] ……②182, 183, 184, 191, ③75, 110, 155, ④116, 128, 163
- 竹内清太郎(保徳) [勘定組頭] ①159, 174, 177~179, 188, 207, ②71, 109, 176, 221, 233, ③32, 47, 142, 215, 223, 229, ④20
- 竹尾清右衛門 [西国郡代] ……①159, ②197, 211, ③88, 106, 123, 208, 210, 291, ④17, 18, 83, 97
- 竹垣三右衛門直温 [竹垣祖父] ……②253
- 竹垣三右衛門直道 [大坂谷町代官] ……①31, 171, ②110, ④44, 61, 128, 202
- 竹垣龍太郎(直好) [竹垣息子] ……①80, 82, 84, 106, 119, 121, 125~127, 140, 143, 144, 146, 148~150, 158, 167, 175, 183, 187~189, 193, 194, 199, 200, 206, 207, 211, 213, 216, 220, 239, 240, ②4, 10, 17, 18, 24, 25, 27, 36, 37, 48, 52, 61~63, 70, 71, 75, 82, 86, 88, 112, 132, 134, 141, 149, 150, 152, 159, 164, 171, 173, 183, 192, 195, 199, 200, 203, 209, 210, 212, 213, 216, 220, 221, 223, 228, 233~236, 242~244, 246, 248, 258, 267, 270, 277, 279, 280, 282, 286, 287, 289, 292, 295, 296, 300~302, 309, 318, 319, ③5, 6, 11, 12, 17, 19, 22, 25, 30, 32, 38, 47, 71, 79, 81, 90, 97, 109, 117, 122, 133, 140, 152, 159, 164, 184, 185, 192, 197, 206, 246, 250, 253, 259, 260, 262, 267, 268, 275, 276, 282, 288, 293~295, ④1, 3~5, 7~12, 17, 18, 24, 25, 27, 49, 53, 64, 67, 92, 96~99, 109, 113, 157, 160, 164, 165, 180, 183, 221, 223, 226, 241, 245
- 武川蜂助(蜂輔) [酒井右京亮(大坂定番)公用人] ……①153, 200, 220, ②28, 57, 59, 155, 182
- 武笠祐左衛門 ……①43, 81, 103, 115, 192, ②34
- 田坂源左衛門 [与力] ……①12, ③41, 76, 167, 273, 282, 289, 290, 292, ④2, 10, 31, 50, 52
- 田坂直右衛門 [与力] ……④128, 143
- 辰五郎 [足輕] ……①105

2, 6, 124, 164, 176, 184, 229
杉浦大次郎〔大二郎〕〔杉浦重郎兵衛弟〕
……②174, 184, 207, 237, 258, 259,
287, 289, 291, 292, 299, 301, 302, 315,
③18, 64, 73, 92, 119, 184, 189, 200,
203, 239, 242, 247, 248, 250, 263, 268,
④10, 46, 56, 74, 82, 84, 115, 138, 193,
220
杉浦藤馬〔藏奉行仮役〕……②146, 160,
200, 225, 256
杉浦房二郎〔東同心〕……④167
杉浦兵左衛門〔与力〕……①12, ③2
杉浦又三郎〔為三郎〕〔竹垣下僚・家臣〕
……①2, 7, 9, 14, 18, 20, 35, 36, 39,
41, 43, 51, 56, 64, 66, 67, 76, 78, 82, 86
～88, 93, 94, 99, 106, 119, 121, 123,
124, 126～128, 138, 141, 146, 149,
152, 154～156, 164, 173, 174, ②52,
72, 139, 175, 176, 186, ③103, 177,
178, 182, 193〔杉浦為三郎に改名〕,
203, 215, 261
鈴木次左衛門〔大坂弓奉行、大坂具足奉
行〕……①11, 17, 42, 52, 120, 176,
180, 183, 187, 189, 201, 203, 206, 211,
218, ②11, 153, 282, ③187
鈴木源次〔源司〕〔侍〕……②29, 70, 73,
114, 117
鈴木定右衛門〔松平伊賀守〔大坂城代〕
公用人〕……③93, 115, 140, 155, 190,
265, ④69
鈴木庄三郎〔尚太郎〕〔竹垣下僚・家臣〕
……③193〔鈴木尚太郎に改名〕,
195, 209, 214～216, 236, 241, 245,
253, 255, 260, 266, 271～273, 284,
292, 293, ④9, 27, 39, 48, 60, 62, 71,
76, 137, 150, 152, 160, 166～168, 180,

184～187, 192, 197, 208, 212, 219
鈴木兵左衛門〔藏奉行仮役〕……③104, 141,
147, 158, 166, 205, 245, 246
須田五郎兵衛〔藏奉行仮役〕……④1, 50, 69,
72, 75, 76
須田胎三郎〔竹垣下僚・家臣〕……①4, 36,
51, 56, 60, 61
角倉与一……④236
墨田屋重兵衛〔書林書画屋兼〕……④233

せ

清助〔中間〕……③255
関〔関保右衛門〕……①20, 70, 167, 184,
190, ②6, 321, ③231, 232, ④99, 141
関保右衛門……①202, 218, ②27, 65, 80,
108, 109, 152, 164, 172, 234～236, ③
270
関轍〔米津越中守〔大坂定番〕公用人〕③
49, 72, 121, 140, 265, ④39, 100, 133,
168, 186, 189, 208
善之助〔谷町郡中惣代川崎村庄屋〕……
③240, ④236

そ

添田一郎次〔出羽柴崎代官〕……①150, 214
祖父江孫助〔孫輔〕〔大坂具足奉行〕……
①11, 42, 52, 57, 59, 176, 189, ②1,
155, 210, ③1, 150, 151

た

泰明院〔泰姫〕〔家斉娘〕……②5, 8, 9, 13,
14, ④171
平敦盛……①128
平忠度……①127
高井但馬守……②1, 48, 51
高木作右衛門〔長崎代官〕……③151, 152
高木健三郎〔長崎代官〕……④162
高嶋督五郎〔築山下僚・家臣〕……①
179, 181, 191, ②82, 177

319, ③6, 32, 38, 140, 152, 200, 269, 294
設楽八三郎能潜 [大坂鈴木町代官]……②
157, 163, 172, 181, 188, 202, 204, 205,
③1, 166, 185, 187, 189, 198, 281, ④1,
46, 123, 139, 202, 229, 238, 241, 243,
245, 254
柴田……………④106, 112, 114, 127, 192, 193
柴田善之丞 [代官→美濃群代]……③84,
94, ④46
柴田日向守 (日向守) [堺奉行→大坂東町
奉行]……③40, 81, 174, 227, 281, ④
8, 34, 35, 48, 58, 62, 86, 94, 100, 102,
105, 108, 109, 111, 113, 114, 121, 123,
124, 127, 130, 140, 147, 170, 172, 175,
191, 192, 209, 212, 229, 243
島田 [島田鉄太郎]……③88, 167, 225, ④
28, 68, 103, 107, 138, 172, 179, 185
島田鉄太郎 [大坂弓奉行、大坂具足奉行]
……③33, 168, ④3, 48, 77, 103, 123,
148, 183, 216, 229
嶋林梶三郎 (梶二郎) [竹垣下僚・家臣]
……②113, 114, 117, 118, 121, 141,
198, 212, 214, 246, 247, 255, ③15, 28,
70, 71, 84, 108, 115, 126, 128, 129,
131, 132, 136, 137, 141, 187, 197, 199,
236, 268, 283, ④18, 19, 32, 56, 57, 69,
72, 97, 135, 160, 161, 186, 213
嶋林与八郎 [竹垣下僚・家臣]……①121,
127, 141, 143, 145, 146, 151, 170, 210,
215, 218, 219, 232~235, 240, 253, ②
23, 143, 150, 166, 174, 180, 182, 183,
184, 191, 194, 210, 211, 246, 249, 252,
286, 307, 310, 311, 316, ③3, 6, 14, 44,
47~49, 69, 103, 107, 109, 113, 117,
121, 154, 164, 188, 214, 226, 234~

236, 239, 242, 264, 266, 270~272,
285, 287, 290, ④13, 18, 21, 22, 31~
34, 36, 53, 55, 57, 60, 67, 226
松花堂昭乘……………③265, ④240
聖徳太子……………④241
真一郎 [侍] ……………①211, 220, 227
新助 [中間] ……………①215, 220
仁兵衛 [谷町郡中惣代御影村庄屋]……
④236

す

吹田屋…………②12, 13, 16, 249, ③12, 18, 26,
29, 34, ④213, 215
吹田屋藤助…………①16, 20, 22, 39, 44, 45, 252,
②2, 10, 21, 22, 178, 183, 299, 309,
314, ③43, 284, 290, ④13, 20, 137,
143, 152, 180, 207, 219, 253
杉浦 [杉浦重郎兵衛]……②24, 29, 31~33,
36, 42, 44, 51, 57, 59, 62, 63, 65, 73,
80, 123, 133, 148, 153, 156, 158~160,
171, 174, 176, 184, 193, 196, 201, 207,
222, 237, 245, 258, 280, 287, 292, 294,
297, 303, 308, 312, 313, 315, 319, ③4,
17, 18, 20, 27, 43, 64, 69, 76, 81, 83,
89, 90, 92, 93, 98, 99, 105, 112, 113,
120, 145, 154, 159, 160, 163, 164, 170,
184, 188, 195, 200, 208, 209, 213, 217,
223, 227, 230, 232, 273, 275, 276, 279,
286, 290, ④2, 8, 10, 11, 47, 60, 65, 68,
92, 94, 114, 117, 132, 138, 165, 173,
176, 185, 198, 202, 209, 210, 215
杉浦出雲守正義 [御側御用取次]……①41
~43
杉浦音五郎 [与力] ……………①12
杉浦重郎兵衛 [大坂破損奉行]……②25
~28, 83, 124, 163, 221, ③2, 3, 26, 46,
64, 73, 92, 117, 167, 214, 263, 283, ④

86, 92~94, 96, 97, 99, 100, 102~105,
109, 110, 114, 118, 124, 128, 132, 138,
140~142, 144, 147, 155, 156, 159,
160, 163~165, 168, 170, 177~179,
192~194, 198, 201, 202, 211, 212,
215, 221, 222, 245
坂本邦之助 [坂本鉉之助の養子、比留間
邦之助と同一人物] ①121~123, 125,
140, 149, 151, 159, ②49
坂本圭之助 [坂本空三郎粹] ……④233
坂本鉉之助 (俊貞) [大坂鉄炮方] ……①
11, 119, 125, 142, 148, 165, 176, 179,
180, ②1, 17, 32, 36, 94, 139, 155, 203,
234, 249, 284, 295, ③1, 2, 24, 77, 92,
93, 149, 166, 199, 207, 224, 233, ④1,
62, 94, 101, 104, 114, 123, 124, 211,
216, 220, 229, 241, 245, 253, 254
坂本嬢 ……④233
坂本空三郎 (坂本鉉之助の養子、高橋空
三郎と同一人物) ……④28, 70, 79,
118, 121, 124, 134, 177, 213, 222, 241,
254
佐々木新五郎 [武見殿代官] ……①2, 179,
②3
佐々木脩輔 [勘定組頭→勘定吟味役] ……
②80, 95, 124, ③70
笹本彦次郎 ……③107
笹本茂三郎 ……③203~205, 224, 226, 279,
④3, 20
佐藤 (左藤) 寛齋 [米倉丹後守 (大坂定番)
家来医師] ……④38, 39, 45, 52, 56,
80, 82
里村保助 [設楽下僚・家臣] ……②217,
222, 246, 249, 252, 286, 294, 307, 311,
315, 316, ③3, 49, 109, 114, 117, 144,
148, 155, 188, 191, 200, 202, 216, 230,

234, 236, 264, 282, 285, 292, 293, ④
15, 17, 24, 31, 33, 34, 36, 46, 49, 54,
85, 137, 152, 186, 192, 193, 197~199,
210, 212, 215

真田信濃守幸貫 [老中] ……②219

し

舗姫 [家慶娘] ……④145
設楽 [設楽八三郎] ……②171, 178, 200,
203, 206, 208~214, 216~219, 221~
224, 226~229, 231, 235~237, 242,
243, 245~249, 255~257, 260, 262~
264, 279, 280, 282, 285, 287, 290, 292,
294, 295, 298~300, 305~314, 317,
319~321, ③, 2~5, 7, 12, 17~20, 22
~25, 27, 28, 30, 32~34, 40, 41, 43,
44, 46~48, 62, 63, 65, 69~76, 78~
81, 84, 86, 87, 89~93, 95, 99~102,
104~111, 114~117, 124, 125, 139,
141~155, 158, 163, 164, 167~177,
181~190, 192, 194, 196~200, 202~
205, 207, 209, 212, 214~216, 220~
222, 224~231, 234, 235, 237, 239, 241
~243, 245, 252~254, 260, 261, 263,
265, 270, 272, 273, 275, 277, 279, 281
~283, 286, 288, 289, 292~295, ④1
~8, 10~18, 20~22, 24, 26, 28~30,
36~39, 45, 46, 50~53, 55, 57, 59~
62, 64~72, 74, 76~80, 83, 85, 93, 96
~98, 100, 102~104, 106~109, 111,
112, 114~118, 121, 122, 124, 125, 128
~132, 134~143, 145~153, 155, 158,
161, 163, 165, 166, 168, 170~173, 175
~179, 181~186, 188~190, 192, 193,
198, 199, 201, 202, 206, 208~211,
213, 215, 218~222, 228
設楽金市郎 [設楽八三郎粹] ……②295, 318,

小林半右衛門 [大坂弓奉行]……④76, 81,
107, 124, 140
小林藤之助 [代官] ……………④69, 70
小堀勝太郎 [京都二条代官] ……………④222
小堀主税 [京都二条代官]……①18, 71, 72,
95, 99, 183, 229, ②17
米屋定吉……………④231
米屋庄兵衛 [醬油造] ……………④232
近藤勝五郎 [藏奉行假役]……④102, 123,
133, 147, 157, 163, 180~183
近藤左衛門 [与力]……①233, ②183, 230,
316, ③2, 167, 228, 273, 279, 281, 283,
286, 295, ④2, 6, 8, 9, 38, 39, 56~59,
65, 73, 77, 80, 97, 119, 128, 143
近藤仁右衛門 [太郎太夫村庄屋] ……②229,
230, 232, 233, 258, 293, ③6, 47, 56,
72, 82, 83, 115, 154, 258, ④4, 5, 89,
135, 204, 239, 246, 252
近藤保太郎 [与力]……③252, 281, ④81,
108, 128, 162, 216
近藤三右衛門 [西与力] ……………①2, 12, 27
さ
齊藤左源太……………④69
齊藤徳藏 [竹垣下僚・家臣]……②81, 82,
93, 101, 104, 107, 141, 177, 214, 225,
237, 239, 248, 254, 291, 299, 302, 303,
309, ③7, 11, 13, 65, 123, ④83
酒井……②67, 141, 147, ③92, 162, 173, ④
64
酒井右京亮忠毘 (酒井殿、右京、右京亮)
[大坂定番]……①126, 152, 153, 178,
190, ②18, 27~29, 32, 41, 48, 51, 64,
74, 138, 140, 150~153, 180, 228, 231,
309, ③279, ④113
酒井隠岐守……………②1
酒井雅楽頭……………②255, ④170

酒井大学頭……………④166, 177
酒井若狭守忠義 [京都所司代]……②225,
315, 317, ③185, 189, 229, 281, ④95,
97, 151
榊原太郎右衛門 [大坂破損奉行]……①31,
42, 55, 57, 59, 63, 77, 174, 177, 183,
184, 189, 201, 203, 206
榊原主計頭忠義 [勘定奉行] ……………②265
坂登八郎 [普請役] ……③269, 278, ④97, 123,
132, 164
相模屋忠右衛門……………④236
坂本 [坂本鉦之助]……①57, 59, 121, 123,
124, 126, 142, 148, 149, 151, 158, 159,
175, 180, 183, 186~189, 191~193,
198, 201~204, 206~208, 216, 218,
220, 230, 237, 251, ②5, 8~10, 13, 22,
23, 25, 32, 47~49, 53, 60, 62, 63, 66,
87, 112, 123, 132, 138, 140, 142, 146,
149, 150, 152, 159~161, 168, 171,
173, 181, 183, 185~187, 189, 190,
194, 216, 218, 219, 231, 235, 237, 238,
241, 242, 259, 261, 266, 279, 282, 287,
288, 290~292, 294, 297, 301, 302,
309, 311~315, 319, ③4~6, 11, 14, 16
~18, 20, 24~26, 29, 31~33, 35, 38~
40, 46, 48, 49, 62, 63, 69, 80, 81, 84,
90, 92~94, 97, 104, 109, 114, 119,
121, 123, 125, 134, 136, 141, 145, 167,
168, 170, 171, 173, 176, 177, 184, 188
~190, 192~196, 198, 200, 202~204,
210, 212~217, 227, 228, 230, 233,
239, 244, 245, 248~250, 259, 260,
262, 263, 266~270, 272, 275, 278,
279, 288, 290, 291, ④4, 5, 8~11, 14~
18, 20, 34, 35, 46~48, 51~53, 55, 59,
64, 66, 67, 72, 73, 76, 77, 79, 82, 84,

137, 138, 140, 141, 163, 192, 198, 228, 229
 久須美正一郎 (のちの杉浦兵庫頭誠) [久須美佐渡守孫、順三郎息子]……②
 59～65, 67, 69, 71, 75, 76, 79, 81～83, 90, 95, 96, 111～113, 115, 123, 124, 150, 160, 171, 180, 207, 248, 255, 266, 284, 286, 295, 296, 301, 312, 315, ③4, 18, 29, 90, 92, 168, 170, 230, 232, 290, ④5, 8, 10, 12, 47, 127, 129, 228
 久須美六郎左衛門 (祐備) [久須美佐渡守長男]……①58, ②227, 246, 265, 266, 281, 300, 305, ③4, 173, 184, 188, 189, ④30, 76, 81, 82, 120, 127, 132, 137, 138, 141, 209, 211, 216, 221, 228
 久世出雲守広周 [老中] ……④210
 朽木近江守綱張 [大坂加番] ……②1
 葛山久之丞 [与力] ……③2, ④2
 工藤 (久藤) 左之助 [与力]……①12, ②316, ③2, 107, 112, 167, 241, 278, ④2, 86, 112, 134
 久保左十郎……④123, 183
 久保伴助 [築山下僚・家臣] ……①183, 189
 倉藏 [中間] ……③193
 栗田連吉 (漣吉、蓮吉) [侍]……②143, 205, 206, 239, 252, 267, ③66, 103, 117, 120, 126, 131, 186, 193, 198, 293, ④13, 40, 45, 56, 80, 82, 87, 94, 120, 125, 145, 154, 157, 161, 169, 205, 247
 黒川筑後守 [西丸御小納戸] ……③174
 黒田傳右衛門 [三番村庄屋] ……②229, 231, 232, ③32, 77, 80, 150, 176, 223, 238, 261, 276, ④25, 44, 125, 133, 144
 桑原信五郎 [与力] ……①12
 桑山圭次郎 (圭二郎) [竹垣下僚・家臣] ……①6, 14, 17, 21, 30, 41, 54, 59, 63,

66, 67, 73, 76, 80, 115, 116, 122, 160, 164, 166, 167, 170, 171, 174, 178, 179, 182, 184, ②67, 75, 78, 80, 84, 96, 135, 160, 165, 182
 桑山圭助 [竹垣下僚・家臣]……③278, ④63, 113, 121, 192
 桑山時右衛門 (圭次郎養父) ……①182, 184
 桑山修理……①84

け

桂昌院 (光子、秋野、お玉) [綱吉母] ……②116, 166
 敬助 [侍] ……②93
 源助 [中間] ……①22, 105, 130

こ

小泉様……④120, 170
 小泉次太夫……②136, ④127
 孝恭院 (徳川家基) [家治息子] ……④214
 廣大院 (寔子、篤姫、茂姫) [家斉室] ……①69, 199, ②308, ④171
 鴻池屋善右衛門……①187, ②149, ③111, ④81, 108, 116
 鴻池屋善五郎……③137, 275, ④241
 小坂和三郎 [竹垣下僚・家臣]……①15, 28, 29, 37, 57, 58, 70, 72, 85, 86, 97, 102, 104, 115, 121, 123, 126, 144, 160, 177, 178, 179, 181, 183, 185～187, 201, 204, 215, 230, 240, 241, 243, 246, 247, 251
 弘法大師……②116, 117
 五助 [足輕] ……①19
 小高登一郎 [勘定組頭] ……②26, 218
 後藤一兵衛……②8, 26, 159, 227, 236, 316, 320, ③206, 278, 283, ④44, 127, 170
 吾八郎 [侍] ……①194
 小林金之助……①12, 13, 179
 小林田兵衛……④251

168, 265, 293, ④3, 45, 67, 69, 86, 111
～114, 118, 119, 121, 122, 130, 133,
142, 168, 169, 175, 192, 201
河久保忠次郎……………①204
河久保又助〔銅座詰〕……………③69, 166
川路左衛門尉聖謨〔奈良奉行〕……………④71,
118, 129, 173, 229
川嶋東八郎〔普請役〕②123, 134, 138, 162,
289, ③191, 192
河野五郎左衛門〔青山下野守（大坂城代）
公用人〕……………①5, 23, 54, 60, 61, 142,
146, 165, 219, 226, ②56, 133, 151,
174, 179, 181, 193, 202, 204
上林六郎〔宇治代官〕……………①2, ④248
上林味卜……………④155, 161, 248

き

菊地庫次郎〔設楽下僚・家臣〕……………③44,
④190
岸本様……………①47, 84, 141, ②314, ④41, 120,
170
岸本十輔（武大夫）莊美（岸本父君、莊
美君）〔竹垣実父〕……………①128, ②58,
④226
岸本辰之丞〔竹垣実兄〕……………①126, ②259,
261, ③71, ④127
岸本督五郎〔竹垣実弟〕……………①84, 185, ②
259, 261
紀伊国屋与助……………④233,
木原又左衛門……………③95, 96, 176, ④8, 11, 12,
127, 135, 170
京極右近将監高景〔大坂加番〕……………②1
京極甲斐守高行〔大坂加番〕……………①39
清原（狩野）雪信〔画師〕……………④252

く

久貝因幡守〔大坂大番〕……………④1, 68, 70～
72, 75～77, 95, 97, 143, 145

楠木正成（楠公）……………①138, ②40, 50, 58,
250, 252, 253, 278, ③132, 203, 204,
213
楠木正行……………②250
久須美……………①23, 44, 58, 167, ②6, 24, 27, 33,
42, 59～63, 65, 68～72, 75, 76, 81, 88,
124, 142, 153, 158, 159, 171, 182, 192,
199, 212, 213, 221, 224, 234, 235, 242,
248, 266, 281, 283, 285～287, 289,
291, 292, 299～302, ③213, 233, 279,
④2, 4, 11, 92, 114, 117, 132, 138, 210,
229
久須美佐渡守祐明（久須見、佐渡守、佐
州老人）〔大坂西町奉行〕……………②27,
28, 31, 32, 42, 44, 59～61, 67, 69, 71,
81～84, 95, 96, 115, 124, 138, 139,
155, 159, 160, 164, 168, 171, 176, 183,
187, 191, 201, 212, 223, 225, 234, 237,
246～248, 255, 266, 280～282, 284～
287, 295, 298, 300, 301, 305, ③213,
214, ④138, 228
久須美先生……………①20, 58, 76, 167, ②24, 28, 42,
44, 60, 105, 153, 162, 164, 283, 301, ③
4, 185, 227, ④8, 65
久須美順三郎（祐義、采石）〔久須美佐渡
守次男〕……………①20, 167, ②24, 27, 28,
32, 42, 44, 60, 123, 150～153, 156,
171, 173, 180, 183, 187, 195, 207, 208,
216, 220, 222, 223, 228, 235, 237, 242,
245, 246, 255, 258, 259, 261, 262, 266,
267, 279～282, 284～289, 291～297,
299～302, 308, 312, 313, 320, ③2, 4,
20, 26, 29, 48, 71, 81, 102, 113, 169,
173, 184, 188, 191, 195, 196, 203, 206,
212～214, 227, 228, 231, 247, 248,
290, ④8, 12, 53, 56, 94, 115, 127, 129,

92, 98~104, 115, 118, 132, 139, 140,
147, 148, 153, 171, 176, 178~180,
197, 241, 245
賀川周益 [医師] ……………②42, 64
賀川周哲 [医師] ……………②307
鍵屋太兵衛 [守口宿本陣] ……………④169, 249
霧小十郎 [勘定組頭] ……………②119, 133, 138,
155~157, 162
笈鹿之助 ……………①11, 12, 42, 122, 123, 176
景樹 [香川景樹] ……………③197
梶山鉄六 [普請役] ……………③269, 282, ④2, 123,
132, 164
柏木音太郎 [築山下僚・家臣] ……………①144,
164, ②248
片木与四兵衛 [淀城大手前茶師] ……………④244
片桐石見守 ……………①51
片岡駒左衛門 [与力] ……………③171
勝 [勝安兵衛] ……………①5, 58, ②50, 173, ③119,
230, ④152
勝田次郎 ……………②110, 139, 140, 147, ③151, 209,
210, 279, ④47, 146
勝岡和田藏 [石見銀山役人見習] ②78, 113
勝部与一郎 [西与力] ……………④197
勝安兵衛 ……………③2, 183, 232, ④27, 56
加藤権之助 ……………②153, 156, 162
加藤修理 ……………④69
加藤弥左衛門 [酒井右京亮 (大坂定番)
家老] ……………②148, 150, 153, 155, 180,
182, 288, 300, 308, ④112
金井伊太夫 [大坂鉄砲奉行、大坂金奉行]
…………①2, 7, 8, 11~13, 15, 16, 38, 39,
42, 55, 57, 59~61, 64, 68, 69, 73, 75,
84, 116, 141, 142, 160, 165, 175, 176,
178~180, 183, 184, 188, 189, 191~
193, 198, 201, 203, 207, 215~217,
218, 226, 235, 237, 240, ②2, 4, 6, 15,

21, 22, 24, 31, 42, 43, 50, 51, 59, 60,
173, 209, 318, ③165, 176, 292, ④12,
120, 127, 136
金屋新二郎 (新次郎) [廻船改方] ……………
①214, 216, 217, 220, ②113, 168, 169,
172, 173, 176, 180
嘉納屋次五郎 (治五郎) ……………①160, 161,
167, 171, 206, 212, 213, 220, 231, 235,
239, 242, 244, 250~252, ②20, 316,
317, 320, ③72, 293
嘉納屋 (加納や) 次作 (治作) [廻船御用
達] ……………①66, 67, 75, 76, 78, 85, 86,
92, 112, 118, 126, 127, 143, 145, 163,
177, 191, 212, 218, 220~223, 239~
242, ②5, 6, 41, 45, 85, 91, 127, 128,
169, 257, ③51, 72, 170, ④63
嘉納屋弥兵衛 [御備船取締役] ……………①182,
195, 196, 200, 220, 223, 235, 248, ②
126, 127, 150, ③51, 135, 144, 156,
158, 161, 162, ④63, 89, 90
加保茶元成 [狂歌師] ……………③130
神尾安太郎 [二条藏奉行] ……………①213, 215,
218
神尾山城守 ……………①84
神谷伊織 [金奉行仮役] ……………①124, 176
亀屋喜兵衛 (木兵衛、亀喜、亀木) [用達]
…………①146, 154, 211, ②220, 313, ④
118, 130
加茂季鷹 [国学者・歌人] ……………①97, ②39
粥川小十郎 [遠藤但馬守 (大坂定番) 公
用人] ……………①74, 100, 119
川上猛次郎 (猛二郎) [米倉丹後守 (大坂
定番) 公用人] ……………①42, 48, 124, 150,
173, 200, 211, 219, ②28, 57, 66, 90,
133, 143, 146, 179, 202, 204, 228, 262,
305, ③9, 40, 49, 65, 116, 140, 163,

161, 167, 175, 185, 212, 225, 227, 257,
③11, 13, 28, 49, 50, 55, 56, 58~60,
71, 75, 86, 103, 107, 108, 124, 136~
138, 144, 152, 169, 207, 236, 253, 255,
260, ④7, 18, 20, 23, 27, 71, 86, 115,
128, 140
岡田理作（理作→完一郎、寛一郎）〔竹垣
下僚・家臣〕……②43, 81, 82, 90, 91,
93~96, 104, 108, 123, 199, 206, 239,
280, ③5, 11, 13（完一郎と改名）, 14,
21, 23, 103, 108, 113, 124, 126, 131,
138, 148, 150, 151, 156, 184, 187, 214,
236, ④10, 17, 18, 57, 71, 92, 96, 162,
176, 186, 187, 189, 201~203, 205
岡部金十郎〔金奉行仮役〕…④1, 17, 18, 75,
76, 241
岡本近江守成〔勘定奉行〕……①240, ②47
岡本振三郎〔竹垣下僚・家臣〕……②41,
51, 72
おかよ（お可代、おか代）〔竹垣娘〕……
①127, 200, ②22, 207, 233, 277, ③5,
83, 98, ④221, 223, 253
小川甚五右衛門〔西与力〕……①12, 17, 164,
180, ②231, ③2, 89, 110, 148, 155,
168, 171, 252, 281, ④2, 58, 65, 77, 78,
100, 119, 128, 143, 167, 168
おさく（お喜久）〔竹垣妻〕……①71, 165,
188, 193, 194, 212, 213, ②45, 173,
193, 194, 215, 218, 236, 256, 270, 277,
283, 318, 320, ③7, 40, 92, 101, 140,
160, 186, 194, 198, 207, 232, ④76, 81,
164, 182, 221, 223, 226, 253
荻野勘左衛門〔東与力〕……①12, ②183,
230, 316, ③2, 26, 41, 73, 76, 94, 167,
266, 273, 276, 280, 282, 287, 289, 290,
292, 293, 295, ④2, 6, 10, 19, 27, 31,

38, 44, 50, 57, 58, 60, 64, 65, 67, 69,
71, 72, 77, 93, 100, 119, 124, 128, 143
荻野七左衛門〔東与力〕……①158, 174, 192,
233, ③79
奥村賢斎〔中村町医師〕……③58
織田安芸守信陽〔大和柳本藩主〕……④107
おたの〔竹垣娘〕……①44, 58, 69, 71, 81,
184, 199, 209, 219, ②21, 99, 147, 173,
213, 215, 218, 224, 232, 233, 236, 320,
③40, 60, 69, 71, 94, 100~102, 119,
140, 153, 160, 162, 183, 198, 213, 221,
237, 282, 283, 287, 290, ④8, 13, 21,
30, 39, 45, 49, 53, 56, 59, 66, 72, 80,
81, 105, 115, 117, 121, 127, 137, 152,
158, 164, 178, 182, 211, 220
小野整三郎〔蔵奉行仮役〕……②189, 196,
197, 231, 256
小野仙蔵〔勘定〕……④61, 63
小野朝右衛門〔飛騨郡代〕……③205
小野母衣助〔同心〕……③148
小野主水〔竹垣龍太郎弓師匠〕……②36, 48
小原喜一郎〔設楽下僚・家臣〕…③44, 155
小原作左衛門〔米津越中守（大坂定番）
公用人〕……③9, 40, 62, 65, 116, 120,
125, 199, 254, 284, ④66, 86, 95, 127,
153, 169, 189, 192, 194, 197, 201
おみち（おミち）〔竹垣娘〕……①29, 33,
35, 36, 41, ②233, ③5, 83, ④221, 223,
253
小山田高家……④91, 246

か

甲斐庄喜右衛門正誼〔大坂船手〕……②
258, 310, 311, 317, ③3, 79, 80, 83,
109, 159, 163, 164, 169, 199, 204, 209,
213, 226, 267, 282~284, ④1, 6, 10, 17,
24, 48, 49, 52~54, 58, 60, 64~67, 80,

156, ③178, 182, ④25
大岡主膳正忠固 [若年寄] ……④44, 62
大草太郎左衛門 [代官] ……①111, ②179,
180, 290, 292, ③20, 151, 191, ④146
大國隆正 (野々口隆正) ……③130, 148, 150
大久保加賀守忠愨 [小田原藩主] ……①29,
32, 103, 186, ②29, 55, 136, ③66
大熊岩太郎 [代官] ……②109, ④170
大熊文叔 [醫師] ……②138, 159
大坂屋新左衛門 [廻船改方] ……①62, 66,
126, 161, 171, 182, 195, 231, 236, ②
84, 141, 143, 150, 157, 161~163, 167,
172, 176, 182, 189, 194~196, 202,
206, 213, ③27, 79, 110, 125, 139, 142,
159, 161, 162, 190, 201~204, 216, 245
~247, 262, 270, ④24, 63, 106, 110,
112, 115, 120, 131, 132, 138, 140, 142,
145, 147~149, 152, 153, 166, 205
大坂屋定次郎 (貞二郎) [用達] ……①
14, 15, 25, 30, 33, 70, 98, 100, 105,
123, 127, ②132, 135, 157, 196, ③68,
124, 186, 191, 202, 206, 237, 279, ④4,
13, 24, 49, 57, 82, 136, 205, 231
大塩平八郎 ……③167
大嶋甲斐守 ……①234
大須賀元助 (元輔) [与力] ……①12, ②
232, 316, ③154, 171, ④2, 57, 58, 60,
64, 65, 67, 69, 71, 81, 100, 116, 119,
128, 143, 158, 162, 216
大竹次郎助 [勘定組頭、勘定] ……③
249, 280, ④2, 17, 54, 57, 59, 60, 98,
99, 120, 241
太田權進 (權之進) [侍] ……③32, 47,
64, 68, 71, 73, 92, 95, 97, 101, 103,
106, 107, 117, 120, 122~124, 164,
165, 173, 183, 186, 194, 206, 232, 247,

250, 263, 264, 267, 270, 272, 273, 290,
④4, 13
太田仙之丞→古川仙之丞
太田備後守資始 (道醇) [老中] ……①115
大塚藤三郎 [竹垣下僚・家臣] ……①
154, 155, 175, 178, 192, 208, 233, ②18
大塚勇次郎 [竹垣下僚・家臣] ……①120,
147
大坪本左衛門 [築山下僚・家臣→竹垣下
僚・家臣] ……①2, 86, 151, 159, 180
大貫次左衛門 (治左衛門) [代官] ……
①47, 116, 117, 250, ②160, 217
大森亥十郎 [西与力] ……①5
大森信之助 [西与力] ……①12, 17, 157,
②82, 231, ③110, 168
大屋權九郎 ……④163
大屋 (大矢) 善九郎 ……④38, 102, 113,
119, 123, 134, 164, 182
御母様 (母君、母上様) [於町 = 竹垣母]
……①82, 84, 225, ②42, 223, 255, 257
③76, 83, 98, 138, ④221, 223
岡崎兼三郎 [代官] ……②88, 197, ④150, 151,
225
小笠原采女 [大御番破損方] ……①252, ④
123, 183
小笠原加賀守 ……③84
小笠原左京太夫 ……③259, ④239
小笠原新助 ……③107
小笠原備後守貞謙 [大坂加番] ……④1
岡田儀一郎 (義一郎) [竹垣下僚・家臣] ……
④166, 183, 186, 200~202, 205, 216
緒方洪庵 (尾形幸庵) [醫師] ……②319
岡田五作 (伍作) [竹垣下僚・家臣] ……②
44, 51
岡田銃助 [竹垣下僚・家臣] ……②65, 85,
89, 93, 101, 104, 108, 114, 125, 146,

①1, 6~8, 83, ③154, ④202
井上十二郎〔十次郎〕〔西同心〕……③292,
④6, 167
井上備前守秀栄〔勘定奉行〕…①240, ②95
稲生七左衛門〔大坂破損奉行〕……①11
猪飼平三郎〔藏奉行仮役〕……①176, 193,
219, 250, ④112, 123, 147, 157, 163,
177, 182, 183
今藏（今倉）熊藏〔米倉丹後守（大坂定番）
公用人〕……①105, 165, 215, 235,
250, ②36, 41, 59, 168, 180, 193, 203,
205, 228, 251, 254, 303, 310, ③22,
120, 121, 125, 155, 166, 199, 254, ④
35, 39, 66, 67, 118, 124, 143, 175, 186,
197, 208
今津屋辰三郎〔書林〕……④233
今津屋平七〔文席堂〕……④233
伊良子主税助〔典薬寮医師〕……②258
岩崎栄藏〔足輕〕…①12, 19, 55, 66, 88, 105,
220, 224, ②96, 114
岩田鉄三郎〔美濃郡代〕……①15, 58, 123,
150, ②77, ③97, 151, 186~188, 217,
④44, 45, 61, 63, 162, 211, 228
岩淵宗藏〔竹垣下僚・家臣〕……①167,
171, ②136, 147, 160, 165, 182, 195,
197, 259, 261, ④113
う
上田五兵衛〔大坂具足奉行〕……①2, 4, 11,
42, 57, 59, 176
上田庄右衛門〔大坂大番〕……④147
上田半吾〔東同心〕……②232
植村出羽守家政〔大和高取藩主〕……②114
卯木武十郎…①147, ②215, 220, 221, 224, ③
137, 138, 144, 155, 158, 166, 175, 188,
202, 224, 226, 248, 270
内田弾助〔築山下僚・家臣〕…①72, 81, 140

内山逸之助〔西与力〕……③17, 141, 158
内山玄伯〔鳴尾村医師〕……①212~214
内山彦次郎（彦二郎）〔西与力〕……①12,
②230, 316, ③2, 89, 94, 167, 228, 231,
250, 281, ④2, 65, 119, 217
宇野俊達〔須賀村医師〕……②106

え

江川太郎左衛門英竜〔葦山代官〕……④227
餌取権右衛門〔遠藤但馬守家来〕……①81
越後屋五兵衛……④233
越後屋与三兵衛……④233
圓順〔専徳寺〕……④234
遠藤善次〔侍〕……①155
遠藤善八郎〔侍〕……①160, 165, 211, 220,
②9, 29, 30, 33, 63
遠藤但馬守実方……①81
遠藤但馬守胤統（但馬守殿）〔大坂定番〕
……①1, 8, 9, 11, 13, 41, 46, 118~
120, 126, 127, 167, 180, 188, 190, 226,
②3, 96, 138, 159, 227, 284, ③83, 162,
173, 279, ④113, 229

お

おろち〔竹垣娘〕……①23, 44, 69, 141, 174,
181, 184, 209, ②6, 7, 13, 21, 45, 55,
108, 188, 213, 215, 218, 232, 233, 236,
237, 256, 279, 283, 318, 320, ③41, 81,
92, 140, 149, 150, 160, 162, 184, 193,
194, 221, 237, 263, 269, 271, 282, 283,
288, 292, ④13, 23, 30, 45, 57, 59, 66,
69, 72, 75, 80, 82, 92, 97, 127, 141,
147, 149, 153, 158, 178, 211, 214, 217,
220, 221
近江屋半兵衛……④231
大石内藏助良雄（大石良雄、良雄）……
①134, ③47, 63, 82
大浦五郎兵衛〔天王寺村庄屋〕……①154,

③158, ④228
池大雅（池無名）……………④235
石井益太郎〔竹垣下僚・家臣〕……………②86,
93, 172, 177, 198, 225, 263, 267, 274,
283, ③49, 54, 56, 58, 59, 71, 86, 103,
140, 143, 148, 152, 164, 169, 200, 207,
214～216, 236, ④18, 71, 136, 184,
202, 205
石垣東平（東山）〔画師〕……………②41, 231,
④208
石賀漣平（連平、蓮平）〔竹垣下僚・家臣〕
……………①209, 210, 216, 219, 241, ②3, 4,
7, 8, 10, 12, 21～23, 33, 36, 37, 64, 70
～72, 74, 76, 78～84, 86, 89, 92, 94,
95, 113, 114, 117, 118, 120, 121, 136,
141, 148, 156, 157, 185, 188, 196, 223,
224, 237, 239, 245, 246, 248, 254, 259,
261, 289, ③60, 71, 100～102, 140,
153, 154, 160, 173, 191, 192, 198, ④
49, 56, 84, 113, 120, 121, 137, 141,
146, 147, 158, 164, 165, 183, 212, 213,
216
石川〔石川良左衛門〕……………①252, ②6～8,
14, 25, 59, 63, 78, 79, 143, 164, 173,
176, 183, 210, 215, 217, 220, 223, 226,
260, 262, 306, 312, 314, ③11, 25, 33,
34, 93, 121, 143, 151, 167, 172, 175,
224～226, 269, ④28, 45, 48, 68
石川近江守総貨〔大坂加番〕……………①39
石川定之丞（貞之丞）〔支配勘定〕……………
③104, ④52, 184
石川長次郎……………③203, 205,
224, 248, 279, 284, ④1, 38
石河土佐守政平〔勘定奉行〕……………②263,
③100, 111, 153, ④211, 228
石川又四郎〔蔵奉行仮役〕……………①146, 158,

176, 189, 193, 250
石河美濃守……………②135, 137, 160, 175, 195,
245, 246
石川良左衛門〔大坂弓奉行、大坂具足奉
行〕……………①231, 237, 239, 252, ②11,
19, 155, 160, 161, 201, 216, 282, ③1,
17, 19, 168, 184, 261, ④3, 28, 48, 76,
81, 103
石渡彦大夫〔大坂破損奉行〕……………①12, 42,
74, 77, 120, 177, 183, 185, 187, 191,
201, 203, 209, 218
伊助〔中間〕……………③126, 255
和泉式部……………①138
磯野傳左衛門〔東同心〕……………②190
磯矢（磯谷）頼母〔与力〕……………①12, ②168,
170, 177, 230, 316, ③2, 167, ④2, 52,
65, 79, 119, 150
磯矢与一郎〔与力〕……………①12
板倉内膳正勝頭〔大坂加番〕……………④161
市川五郎兵衛〔西同心〕……………③292
市川保助〔銅座御普請役〕……………④1
市助〔中間〕……………①105, 220, ②267, ③126,
193
市野環〔青山下野守（大坂城代）公用人〕
……………②28, 34～36, 41, 146, 174
市橋勘兵衛……………③269
伊東左衛門〔蔵奉行仮役〕……………②1, 13, 19
井戸大内蔵覚弘〔目付→長崎奉行〕……………②157
伊中嘉吉……………④235
稲垣安藝守〔西番頭〕……………③1, 101
伊奈遠江守斯綏〔堺奉行〕……………②34, 35, 37,
48, 57, 58, 61, 62
稲葉丹後守……………②72, 304
稲葉兵部少輔正巳〔大坂加番〕……………①39, ②29
犬飼清蔵〔足輕門番〕……………③24, 26
井上河内守正春〔大坂城代→老中〕……………

阿部遠江守正藏（安部、遠江守、阿部遠州）〔大坂西町奉行→北町奉行→西丸小姓組番頭〕……①144, 150, 152, 153, 156, 158, 173～175, 178, 180, 184, 189, 194, 204, 219, 238, ②1, 3, 4, 9～11, 24, 26, 29, 30, 32
阿部能登守正瞭〔寺社奉行〕……③39
尼崎又右衛門（尼ヶ崎、尼又、又右衛門）〔大坂三町人〕……①4, 5, 7, 12, 26, 38, 46, 47, 49, 71, 74, 87, 88, 103, 165, 177, 198, 219, 237, 238, 253, ②22, 24, 30, 32～36, 43, 48, 51, 87, 140, 147, 148, 152, 156, 173, 190, 220, 230, 284, 285, 297, 301, 320, ③2, 19, 21, 26, 30, 74, 87, 89, 105, 108, 112, 119, 124, 168, 186, 192, 194～196, 199, 201, 213, 228, 231, 262, 281, ④2, 13, 17, 46, 54, 65, 76, 94, 114, 115, 119, 124, 139, 156, 213, 221
天野平三郎〔西同心〕……②211, 232
網屋勘左衛門〔廻船御用達〕……①160, 161, 191, 194, 195, 200, 204, 207, 242, 248, ②84, 127, 141, 150, 158, 159, 162, 168, 172, 176, 177, 180, 183, 187, 195, 206, ③161, 175, 202, 207, ④24, 63, 75, 93, 98, 108, 115, 117, 131, 145, 148, 149, 151, 152, 155, 164
網屋新九郎〔兵庫庄屋〕……①160, 231, 246, ②40, 125, 126, 129, 143, 278, ③132, 161, ④91, 126
有馬中務大輔慶成〔久留米藩主〕……④3
安藤鉄次郎（鏝二郎）〔築山下僚・家臣〕……②2, 10, 12, 14～16, 21, 29, 31, 33～35, 37, 43, 56, 58, 174
安藤奎之助〔城内御目付代〕……②280, ③115

い

飯塚権左衛門〔松平伊賀守（大坂城代）公用人〕……③99, 116, 189④39, 45, 51, 66, 83, 86, 95, 100, 142
飯沼次郎兵衛〔藏奉行仮役〕……②257, 258
飯室次郎兵衛（二郎兵衛）〔藏奉行仮役〕……②310, ③1, 17, 83, 102
生田岩藏〔同心〕……③148
池尻善兵衛〔枚方宿本陣〕……④167, 249
池田岩之丞〔西国郡代〕……①43, 214, ④154, 248
池田亀太郎〔池田庄太夫孫〕……③46, ④96, 99, 102, 110, 123, 159
池田市太郎〔侍〕……①21, 22, 66, 88, 105, 127, 155, 165, 199, ④225
池田庄太夫〔大坂藏奉行〕……①2, 4, 6, 11, 13, 18, 23, 27, 42, 51, 52, 54, 63, 68, 78, 79, 84, 105, 111, 116, 118, 120, 140, 146, 150, 156, 158, 165, 176, 180, 194, 237, 239, 250, 252, ②1, 4, 6, 18, 21, 59, 65, 67, 135, 136, 141, 155, 156, 163, 168, 189, 192, 197, 200, 201, 207, 228, 230, 231, 266, 287, 291, 295, 296, 298～300, 308, 317, ③1, 2, 17, 22, 25, 26, 30, 43～46, 48, 61, 68, 76, 79, 81, 90, 106, 116, 136, 138, 141, 144, 146, 148, 150～153, 160, 163, 166, 168, 169, 172, 189, 191, 195, 198～200, 205, 223, 226～228, 241, 266, 278, 280, 288, ④1, 2, 10, 24, 27, 29, 41, 46, 47, 59, 62, 64, 67, 72, 73, 75, 76, 79, 82, 85, 92, 94～96, 99, 101, 102, 110, 159, 179
池田筑後守〔作事奉行〕……②157
池田播磨守頼方〔奈良奉行〕……②85, 122,

人名索引

あ

- 愛知竹七郎〔勘定〕……………④62, 63
 青木駿河守……………①31, 33, 34～36
 青木茂助〔中間→足輕門番〕……………②93, 249,
 271, ③26, 255, ④36, 87, 120, 169, 205
 青山……………②171, ③17, ④45, 54, 120, 170
 青山因幡守忠良（因幡守→下野守）〔大坂
 城代→老中、丹波篠山藩主〕……………①6
 ～8, 11, 30, 41, 43～48, 50～52, 54,
 59, 68, 69, 74, 83, 109, 115, 119, 121,
 140, 151, 190, 227, 237, ②8, 9, 13, 14,
 20, 28, 31, 43, 45, 112, 159, 173, 183,
 186, 194, 196, 202～205, 209, 210,
 216, 221, 223, 226, 228, 235, 236, 238,
 251, 254, 259, 279, 294, 306, 308, 313,
 314, ③2, 4, 21, 98, 101, 104, 245, 261,
 267, ④113
 青山金左衛門〔勘定吟味方〕……………④97, 98,
 106, 111, 113, 123, 134, 137, 175, 213
 青山欽之助〔勘定吟味方改役〕……………②21,
 22, ④217
 青山伴右衛門……………④159, 228
 青山九八郎録平〔代官〕……………①219, ②110,
 ④98, 127
 赤松圓心（圓心入道）……………①134, 135
 精姫〔家慶養女、有栖川宮娘〕……………②293,
 ③30, 34, 73, 74, 242, ④3, 130
 秋元但馬守志朝〔出羽山形藩主→上野館
 林藩主〕……………③18, 154
 明智光秀……………②249
 浅井周次郎〔竹垣下僚・家臣→設楽下僚・
 家臣〕……………②71, 89, 100, 104, 141,
 231, 306, ③93, 99
 浅井宗寿（宗壽）〔松平伊賀守（大坂城代）
 医師〕……………④81, 85, 94, 96, 97, 99,
 103, 107, 110, 113, 115, 120, 129, 134,
 136, 141, 147, 153, 158～160, 164,
 168, 176, 177, 179, 182～185, 193,
 194, 198, 201, 205, 210, 211
 朝岡（浅岡）助之丞〔東与力〕……………①7, 12,
 39, 41, 84, 86, 149, ②168, 171, 230, ③
 2, 89, 167, 281, ④2, 65, 119, 124, 197
 朝岡盤吾〔東与力〕……………①7
 浅野中務少輔長祚〔先手→浦賀奉行〕③39
 浅羽鑄之助〔与力〕……………①82
 浅羽太膳〔与力〕……………②316, ③2, 89, 167
 旭屋忠八郎〔用達〕……………①128
 安食〔安食善之丞〕……………②60, 62, 63, 73,
 178, 179, 193, 207, 268, 287, ③225,
 277, 280, ④46, 56, 57
 安食善之丞（膳之丞）〔大坂鉄砲奉行、大
 坂金奉行〕……………②51, 138, 155, 176, ③1,
 38, 88, 166, 198, 199, 201, 250, ④1,
 62, 68, 123, 158, 209, 216, 229
 芦沢貞次郎（貞二郎）〔竹垣龍太郎馬術師〕
 ……………②48, 134, 142, 209, 210
 足代弘訓〔国学者、歌人〕……………③226, 276
 跡部三郎兵衛……………④216, 229
 跡部能登守良弼〔南町奉行→小姓組番頭〕
 ……………②170, ③39, 83
 阿部伊勢守正弘（伊勢守殿）〔老中〕……………
 ②112, 139, 140, 312, ③77, 82, 111,
 263, ④5, 44, 61, 62, 128, 135, 150,
 211, 229
 阿部隠岐守……………②1, 19, 133
 安部式部〔城内御目付代〕……………②280, ③
 115
 安部撰津守……………①234

索引

凡 例

- ・この索引は、『大坂代官竹垣直道日記』(一)～(四)までの人名と地名の索引を付したものである。配列は基本的に50音順とした。
- ・索引中の丸番号は巻数を指し、数字は頁数を示す。

(例) 一巻 100頁 → ①100

- ・人名索引は、竹垣直道を中心とした大坂代官研究を行う上で、重要と思われる人物を最小限の範囲で立項した。項目名は、最もよく知られた名を付し、必要に応じて()で補った。また、人物の役職や関係等がわかる場合は[]内に記し、推察される場合は〔 〕とした。

(例) 竹垣龍太郎(直好)[竹垣息子]…①80

- ・地名索引は、村や町名を中心に立項した。地名が『日本歴史地名大系』(平凡社)・『角川日本地名大辞典』(角川書店)で確認できる場合は、その名称で立項し、確認できない場合は、日記に記された名を付した。また、同一地名の場合、必要に応じて国郡を()で補った。
- ・索引の作成作業を通じて判明した『大坂代官竹垣直道日記』(一)～(三)の誤りを、「正誤表」として索引のあとに付した。なお索引の項目は、訂正後の語句をもとに作成した。
- ・索引の作成にあたり、下記の方々のご協力を得た。

栗野麻子 出口善明 山脇大輝 本田章訓 大河内莉南

(順不同・敬称略)

史料の解説および校訂については、
橋本 猛（関西大学古文書室）
吉川 潤（関西大学大学院文学研究科・
博士課程後期課程）
に多大なるご協力を賜りました。

史料および口絵の掲載については、

東京大学史料編纂所

神戸大学附属図書館社会科学系図書館

大阪歴史博物館

部落解放・人権研究所

関西大学総合図書館

に格別の便宜を賜りました。

（順不同・敬称略）

ここに記し、深く感謝の意を表します。

文部科学省私立大学学術研究高度化推進事業
オーブン・リサーチ・センター整備事業（平成十七年度）平成二十一年度）
なにわ・大阪文化遺産の総合人文学的研究
なにわ・大阪文化遺産学叢書15

大坂代官 竹垣直道日記（四）

編集 藪田 貫

（関西大学教授／なにわ・大阪文化遺産学研究センター研究員）

校訂 松永 友和

（関西大学なにわ・大阪文化遺産学研究センター）

リサーチ・アシスタント）

校訂 内海 寧子

（関西大学なにわ・大阪文化遺産学研究センター非常勤研究員）

発行日 二〇一〇年三月一〇日

発行 関西大学なにわ・大阪文化遺産学研究センター

〒五六四一八六八〇

大阪府吹田市山手町三一三三五 関西大学博物館内

（電話）〇六一六三六八一〇〇九五

印刷（株）廣濟堂